

1 年	講座名	現代の国語				単位数	2単位	1 年			
						対象年次	1年次				
	2 年	教科・科目名	国語・現代の国語	定員	—	難易度	—	2 年			
	3 年	担当者名							3 年		
	4 年	教科書	新 現代の国語						4 年		
必修 必選 自選	副教材	新版6訂カラー版新国語便覧（第一学習社）、ネクスト常用漢字(第一学習社)						必修 必選 自選			
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等							
		実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。							
概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						必修 必選 自選				
受講条件	なし										
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読	書	読	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
	1学期	聞く力 わかりあえないことから	□文章の構造を理解する。 □国語の授業に導入するための基礎的な教養を身に付ける。	伝える・伝え合う力を伸ばす ・ペアワークで意見を伝え合う ・小レポート作成と発表	0	0	知 認識や思考と言葉との関係を理解している。 思 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 態 問いに向かう姿勢、自力で考えることを大切にしようとしている。	〇〇〇	7	国語	
		宝探してみたいに 本の世界へ入っていきます。	□構成や展開を意識して文章を書く。 □根拠を明確にして、自分の意見を書く。	意見文を書く ・主張と根拠 ・反論の想定		0	知 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解している。 思 論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 態 意見文の相互評価および単元の総括をとおして、学習の	〇〇〇	8	公地民歴	
		中間考査				0	0		〇〇	1	数学
		水の東西	□ 叙述を的確にとらえる。 □ 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	文章の構造を把握する ・対比構造 ・具体と抽象		0	0	知 対比、具体と抽象について理解している。 思 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 態 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	〇〇〇	8	理科
		檻の中の街	□主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 □演繹・帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	論理的に読む ・文章の論理 ・帰納と演繹	0	0	知 推論のしかたについて理解している。 思 情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 態 情報の関係や推論のしかたに注意し、内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	〇〇〇	7	体育健	
		期末考査				0	0		〇〇	1	芸術
	2学期	コインは円形か	□さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に生かす。	魅力的に伝える ・比喩 ・ことわざ、慣用句 ・反復法、押韻法、対照法	0	0	知 比喩、ことわざ、慣用句など様々な表現の工夫を理解している。 思 正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 態 積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとしている。	〇〇〇	7	英語	
		ひとまず、信じない	□引用の仕方の基本的なルールを知る。 □資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	状況に応じた文章を書く ・言葉遣い ・文章形式	0	0	知 文と引用や図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 思 文章や引用や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 態 図表を伴う文章を読むことを通して、情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自らの学習を調整しようとしている。	〇〇〇	7	家庭	
		中間考査				0	0		〇〇	1	情報
		人が死なない防災	□情報の取り扱いの基本的なルールを知る。 □相手や場面に応じた文章を書く。	資料を駆使する ・資料と文章の関係	0	0	知 文章の種類に適した語彙を身に付け、使いこなしている。 思 「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考えて工夫している。 態 媒体ごとの体裁/特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を試みようとしている。	〇〇〇	7	商業	
		レポートを書こう 『問いをたてる』	□適切な情報を集め、問いを立てる。 □調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。	レポートを書く ・適切な情報集め ・構成の検討 ・問いをたてる	0	0	知 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 思 根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 態 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。	〇〇〇	8	教養	
	3学期	期末考査				0	0		〇〇	1	総合
		ものごとことば	□文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	主張を吟味して読む ・引用の意図 ・根拠の吟味	0	0	知 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 思 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、文章の構成や論理の展開などを評価し、自分の考えを深めている。 態 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。	〇〇〇	7	その他	
		ありのままの世界 は見えない	□複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	文章を比較して読む ・相違点、共通点 ・比較読み	0	0	知 個別の情報と一般化された情報との関係を理解している。 思 文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 態 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	〇〇〇	7		
	学年末考査				0	0		〇〇	1		

1 年	講座名	言語文化				単位数	2単位	1 年					
						対象年次	2年次						
	2 年	教科・科目名	国語・言語文化	定員	—	難易度	—	2 年					
	担当者名							3 年					
	教科書	三省堂「新 言語文化」											
副教材	新版6訂カラー版新国語便覧（第一学習社）、ネクスト常用漢字(第一学習社)						4 年						
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等									
	主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。									
必修	概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						必修					
	受講条件	なし											
必 選	国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話	聞	読	評価規準	知 思 態	配当時数	国語		
公 地 民 歴	1学期	「ゴール」	・物語の解釈の多様さについて、作品の内容や解釈を踏まえて読み進めることができる。 ・感想や考えを交流することを通して、物語を読むことの楽しさや意義を感じ取ることができる。 ・物語の多様な視点を理解して表現の仕方や語彙を増やす。	物語についての感想や考えを交流することで、自らの考えや集団の考えを発展させる。説明することにより、自分の考えを深める。 小説の言葉に触れることによって、言語の働きや役割に関する理解を深める。	0	0	0	知 我が国の言語文化への理解につながる語句所の意義と効用について理解を深めている。 思 作品の解釈を踏まえ、自分の物の見方・感じ方・考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。	〇〇〇	4	公地民歴		
		「オムライス」		別の語り手を設定するといった表現の特色を踏まえ、物語をつくることを通じて、心情表現の多様さを身に付ける。			0	態 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深め、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方・感じ方を深めている。	〇〇〇	6			
中間考査					0	0		〇〇	1				
「千年の時が与えてくれる安堵」 50音図、いろは歌、仮名遣い等		作品に表れている見方や感じ方、考え方を踏まえ、古典について考えたことの交流を通じて、言語文化の現代的な価値を考えることができる。	・随想を読んで、筆者が「枕草子」から読み取った現代との共通点を説明することを通して、新たに気付いた点を意見交換する。 ・古文に対する正しい知識と文法事項を身に付けている。			0	0	知 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 思 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	〇〇〇	6	理科		
「枕草子」		おおよその内容を理解してその特徴について考えることができる。また、このことを通じて、古典文学を読むことの楽しさや息を感じ取ることができる。	音読を通して筆者が取り上げている事柄を抜き出し、内容の大体を理解しつつ、自分なりの解釈を加えることができる。	0		0	0	態 筆者や作者の考え方を参考にして、自分自身の考え方や感じ方を文章にまとうようとしている。	〇〇〇	6	体育健		
期末考査						0	0		〇〇	1	芸術		
数 学	2学期	短歌七首 漢文訓読について	作品の内容や解釈を踏まえ、自分の考えをもつことができる。また、古典文学を読むことの楽しさや意義を感じ取ることができる。	・短歌、俳句の独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 ・それぞれの歌や句について、読解・鑑賞をして話し合う。	0		0	知 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 思 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	〇〇〇	2	英語		
			・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。	訓読の決まりについて正しく理解し、漢文を学ぶ意義について理解する。			0	態 進んで短歌、俳句、詩の特徴や表現効果を理解し、学習課題に沿って、それぞれの歌にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。	〇〇〇	4			
		中間考査				0	0		〇〇	1	家庭		
		「虎の威を借る狐」 「朝三暮四」	現代の生活に浸透している言葉の「故事」についての理解を深める。	故事の内容を理解し、要約する活動、具体的な事例を挙げる活動を通して日常的な言語活動に生かせるようにする。			0	0	知 日本語に根付いた故事成語の「故事」について理解している。 使用例を考える活動を通して語彙を豊かにしている。	〇〇〇		8	
		「待ち伏せ」	・海外の文学作品に触れて、共感できるものがあるかを検討することができる。。	・物語が提起する問題を把握する ・日本と海外で文学作品を通して共感できるか検討することができる			0	0	思 内容や構成、展開などについての確に捉えている。 態 故事成語が現代の生活に浸透している文化的背景について理解を深め、自らの学習を整理しようとしている。	〇〇〇		6	商業
		期末考査				0	0		〇〇	1		教養	
3学期	「羅生門」	物語に描かれる人物や考え方の変化を追うことを通じて、物語の展開を的確に把握することができる。	・原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。 ・自身の解釈の幅を広げることを目的に、他人の解釈や考えを聞き入れ、自身の価値観を見つめようとする。			0	0	知 表現の仕方や表現の特色について評価しながら、物語の場面設定を正確に捉えている。 思 作品の展開を捉え、自分の解釈やその根拠をまとめている。 態 物語の展開を根拠にして、自分なりの見方や考え方を文章に表現しようとしている。	〇〇〇	10	総合		
	学年末考査				0	0		〇〇	1	その他			

1年	講座名	文学国語（必修選択）				単位数		4単位(自選と合わせて)		1年		
						対象年次		3年次				
2年	教科・科目名	国語・文学国語		定員	一		難易度		一		2年	
3年	担当者名											3年
4年	教科書	第一学習社「標準 文学国語」									4年	
	副教材	カラー版新国語便覧（第一学習社）、ネクスト常用漢字（第一学習社）										
	目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等					
		主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。		深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
	概要	文学的文章を通した様々な学習を通じて自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養が持てるようになる。										
	受講条件	・「実践国語（必修選択）」を履修しているものは履修できない。（「実践国語（自由選択）」を履修することはできる。） ・「現代の国語」「言語文化」の両方またはどちらか一方が未履修の場合は選択できない。 ・自由選択科目「文学国語」を併せて履修すること。										
		単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		読	書	読	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について	・書かれていることを正確に読み取ることを目指す。 ・書かれていることに対する自らの考えをまとめることができる。		文章を正しく読み取れるようにする。				0	0	知 文章に使われている語句を中心に言葉の意味を理解し、内容を理解している。 思 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	3
	山月記	・内容を正確に理解した上で、登場人物に対する自らの考えをまとめることができる。		内容理解のための基礎知識(漢詩の技法や中国史)も指導し、より深い理解を目指す。					0		〇〇〇	4
	中間考査							0	0		〇〇	1
	ひよこの眼	・書かれていることを正確に理化した上で、書かれていないことを考察し、「読み」を深める。		書かれていることから読み取れることと書かれていることから思考し、解釈していくことの双方について学ぶ。				0	0	知 文章に使われている語句を中心に言葉の意味を理解し、内容を理解している。 思 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	4
	神様	・現代小説を読み比べることを通じて小説の多様性を理解する。		小説の多様性について考えを深める。					0		〇〇〇	3
	期末考査							0	0		〇〇	1
2学期	ころこ	・夏目漱石や近代文学についての知識を増やす。 ・内容を正確に理解した上で、自らのものの見方、考え方を深める。		内容理解のための基礎知識(近代史等)も指導し、より深い理解を目指す。				0	0	知 作者夏目漱石と近代文学についての知識を持つ 思 作品の世界観(近代)と自分自身(現代)の違いを踏まえ、内容を解釈している。 態 作品理解のために他者や社会、文化に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14
									0		〇〇〇	
	中間考査							0	0		〇〇	1
	ありときりぎりす	・教科書の作品を参考に翻案作品を創作する		必要に応じて他者との交流を取り入れ活動の手助けとする。				0	0	知 翻案とは何かや話し言葉と書き言葉など学習した事柄に対する知識を持つ 思 創作活動などに思考し取り組んでいる。 態 進んで翻案活動に取り組んだりや言葉のちがいなどについて考えようとしている。	〇〇〇	7
	戯曲の中の「対話」	・教科書の作品を参考にさまざまな種類の言葉について学ぶ。		「書く」ことを通じてこと模の違いを理解する。					0		〇〇〇	8
	期末考査							0	0		〇〇	1
3学期	文学の仕事								0	知 読むための言葉の知識を得る。 思 多様な読みを思考する。 態 読むことに対して主体的に取り組む。	〇〇〇	10
	小説はどう読めばいいのか？	これまで学んできたことを踏まえ自らの「読み」と向き合う。		正しく読むことと多様な読み方があることの違いを理解する。					0	0	〇〇〇	
	学年末考査							0	0		〇〇	1

1 年	講座名	実践国語（必修選択）				単位数	2単位	1 年		
						対象年次	3年次		2 年	
	教科・科目名	国語・実践国語（学校設定）	定員	—	難易度	—	3 年			
	担当者名							4 年		
	教科書	なし							必修	
副教材	パスポート国語必携五訂版（桐原書店）、2025年度版高校生の就職試験一般常識＆SPI（TAC出版）						必修			
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等				自選		
	日常生活において必要な日本語、文章表現および日本文化に関する一般常識を身に付けることができる。	授業を通して身に付けた一般常識および語彙を自らの表現に生かすことができる。		授業を通して日本語および日本文化への興味・関心を高める。						
概要	講義及び問題演習を通して国語常識を中心とした知識を習得し、表現活動を通して表現力の向上を目指す。							自選		
受講条件	・「文学国語」を履修しているものは履修できない。（「実践国語（自由選択）」を履修することはできる。）									
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知 思 態	評 価 規 準	知 思 態	配 当 時 数	国語	
公 地 民 歴	1学期	国語常識① 一般常識①	問題演習を通じて国語常識及び一般常識を身に付ける。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	000	3	公 地 民 歴
					0	0		000	4	
		中間考査			0	0		00	1	数 学
		国語常識② 表現活動①	問題演習を通じて国語常識や表現力の基礎を身に付ける。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	000	4	
					0	0		000	3	
		期末考査			0	0		00	1	
理 科	2学期	国語常識③ 一般常識②	問題演習を通じて国語常識及び一般常識を身に付ける。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	000	14	理 科
					0	0		000		
		中間考査			0	0		00	1	体 育 健 育
		国語常識④ 表現活動②	問題演習を通じて国語常識を身につけるとともに、表現力を高める。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	000	7	
					0	0		000	8	
		期末考査			0	0		00	1	
英 語	3学期	国語常識⑤ 日本文学史	問題演習を通じて国語常識を身につけるとともに日本文学史への理解を深める。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	000	10	英 語
					0	0				
		学年末考査			0	0		00	1	家 庭
商 業									情 報	
教 養									商 業	
総 合									教 養	
そ の 他									総 合	
									そ の 他	

1年	講座名	わかる国語				単位数		2単位		1年				
2年		教科・科目名		国語・わかる国語（学校設定）	定員	15	対象年次		1・2年次	2年				
3年		担当者名									3年			
4年		教科書									4年			
		副教材		ベネッセ：進路マップ『マナトレ』基礎編										
	目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等							
		日常的な文字表記や常用漢字、文法や語彙等に関して基礎的な知識をおさえ、読み書きの基盤を構築する。		語彙を増やし、場や状況に応じた適切な表現・言葉遣いができるようになる。 学習内容を振り返り、文章でまとめられるようにする。			粘り強くプリント学習に取り組もうとする。 意欲的に学習内容を振り返ろうとする。							
	概要	課題プリントに自己のペースで取り組む学習を中心に、以下の国語の基礎的な内容を学び直す。 ・かな表記　・漢字　・文法　・敬語法　・語彙 各自が自らの状況に応じて目標を設定し、根気強く集中して課題に取り組む必要がある。												
	受講条件	1．国語を苦手とし、小学校の基礎的内容から学び直したい生徒。 2．日常の日本語に不安を感じている生徒。												
国語		単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		読	書	活	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	かな表記 漢字	知 仮名や漢字を正しく表記することができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・平仮名、カタカナ表記 ・漢字の成り立ち ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 正しいかな表記ができ、漢字の知識を身に付けている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	公地民歴	
数学		漢字 文法	知 漢字を正しく表記することができる。文章の主語と述語の関係を理解できる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・漢字の成り立ち ・文法、主語と述語の把握 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 漢字の知識を身に付けている。文章の主語述語の関係を理解している。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	数学	
理科		中間考査	なし		なし					なし				理科
体育健		漢字 文法	知 漢字を正しく表記することができる。文章の主語と述語の関係を理解できる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・漢字の成り立ち ・文法、主語と述語の把握 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 漢字の知識を身に付けている。文章の主語述語の関係を理解している。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	体育健	
芸術		敬語法 語彙	知 敬語を正しく使うことができる。語彙を豊かにすることができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・敬語法 ・語彙に関する問題 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 正しい敬語法を身に付けている。豊かな語彙が身に付いている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	芸術	
英語		期末考査	なし		なし					なし				英語
家庭	2学期	文法 敬語法	知 呼応の副詞について理解できる。敬語を正しく使うことができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・文法、呼応の副詞 ・敬語法 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 呼応の副詞について理解している。正しい敬語法を身に付けている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	家庭	
情報		文法 語彙	知 接続語を正しく使って文章を作れる。語彙を豊かにすることができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・文法、接続語 ・語彙に関する問題 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 正しい接続語を使って表現している。豊かな語彙が身に付いている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	情報	
商業		中間考査	なし		なし					なし				商業
教養		文法 敬語法	知 呼応の副詞について理解できる。敬語を正しく使うことができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・文法、呼応の副詞 ・敬語法 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 呼応の副詞について理解している。正しい敬語法を身に付けている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	教養	
総合		語彙 文法	知 語彙を豊かにすることができる。接続語を正しく使って文章を作れる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・語彙に関する問題 ・文法、接続語 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 豊かな語彙が身に付いている。正しい接続語を使って表現している。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	総合	
その他		期末考査	なし		なし					なし				その他
	3学期	漢字 語彙	知 漢字を正しく表記することができる。語彙を豊かにすることができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・漢字問題復習 ・語彙に関する問題 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 漢字の知識を身に付けている。豊かな語彙が身に付いている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	7		
		文法 敬語法	知 呼応の副詞について理解できる。敬語を正しく使うことができる。 思 学習内容を適切にまとめることができる。 学 意欲的に学習に取り組むことができる。		・文法、呼応の副詞 ・敬語法 ・振り返りシート ・教材、一人1台端末の活用		0	0	0	知 呼応の副詞について理解している。正しい敬語法を身に付けている。 思 適切な語句、言葉遣いを用いて表現している。 態 粘り強くプリント学習に取り組んでいる。	〇〇〇	7		
		学年末考査	なし		なし					なし				

1年	講座名	論理国語				単位数		4単位	1年	
						対象年次		3・4年次		
	教科・科目名	国語・論理国語	定員	30	難易度	☆☆☆☆	2年			
	担当者名									
3年	教科書	第一学習者「高等学校 標準論理国語」							3年	
	副教材	新版6訂カラー版新国語便覧（第一学習社）								
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4年	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。			言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。				
必修 必選 自選	概要	様々な文章を読むことを通じて「現代の国語」で身に付けた読む力をより高めるとともに、新たに身に付けた知識を用い自らの考えを適切に「書ける」ようにする。								必修 必選 自選
受講条件	・受講希望者は事前に国語科教員に相談すること。 ・「現代の国語」「言語文化」の両方またはどちらか一方が未履修の場合は選択できない。									
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読書活動	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴 数学 理科 体育健	1学期	「進化が導き出した答え」 「新しい地球観」	文章を正しく読めるようになる。読み取ったことに対する自らの意見などを書く。	内容理解のために主張とその前提や反証、推論等が理解できるようにする。	0	0	知 文章の読み取りを通して語彙を増やすとともに、文や文章の組み立て、構造を理解する。 思 多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりできる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	公地民歴 数学 理科 体育健
		「数え方で磨く日本語」 「名所絵はがきの東西」			0	0		〇〇〇	14	
		中間考査	なし	なし			なし			
		「情けは人の・・・」 「バラと通貨はどう違う」	文章を正しく読めるようになる。読み取ったことに対する自らの意見などを書く。	内容理解のために主張とその前提や反証、推論等が理解できるようにする。	0	0	知 文章の読み取りを通して語彙を増やすとともに、文や文章の組み立て、構造を理解する。 思 多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりできる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	
		「共同性の幻想」 「鏡としての他者」			0	0		〇〇〇	14	
		期末考査	なし	なし			なし			
芸術 英語 家庭 情報 商業 教養	2学期	「新しい博物学を」 「哲学的思考とは何か」	文章を正しく読めるようになる。読み取ったことに対する自らの意見などを書く。	内容理解のために主張とその前提や反証、推論等が理解できるようにする。	0	0	知 文章の読み取りを通して語彙を増やすとともに、文や文章の組み立て、構造を理解する。 思 多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりできる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	芸術 英語 家庭 情報 商業 教養
		「SNSと意見の分極化」 「コミュニケーションの文化」			0	0		〇〇〇	14	
		中間考査	なし	なし			なし			
		「クマを変えてしまいう人間」 「経験の教えについて」	文章を正しく読めるようになる。読み取ったことに対する自らの意見などを書く。	内容理解のために主張とその前提や反証、推論等が理解できるようにする。	0	0	知 文章の読み取りを通して語彙を増やすとともに、文や文章の組み立て、構造を理解する。 思 多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりできる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	16	
		「僕らの時代のメディアリテラシー」 「支え合うことの意味」			0	0		〇〇〇	16	
		期末考査	なし	なし			なし			
総合 その他	3学期	法に関わる文章を読み比べる 「科学技術は暴走しているのか」	文章を正しく読めるようになる。読み取ったことに対する自らの意見などを書く。	内容理解のために主張とその前提や反証、推論等が理解できるようにする。	0	0	知 文章の読み取りを通して語彙を増やすとともに、文や文章の組み立て、構造を理解する。 思 多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりできる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	20	総合 その他
		「推論とは何か」 「帰納法のワナ」			0	0		〇〇〇		
		学年末考査	なし	なし			なし			

1 年	講座名	漢字			単位数		2単位		1 年
					対象年次		1・2・3・4年次		
	教科・科目名	国語・漢字（学校設定）		定員	30	難易度	☆☆		2 年
	担当者名								
	教科書	なし							3 年
副教材	自分で選び、購入した漢字検定テキスト								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等				4 年
		自分の漢字を読んだり書いたりする力を客観的に把握し、その力を伸ばしていく。	漢字の成り立ちや意味を理解し、漢字に対する興味・関心を育む。		継続して自主学習に取り組む態度・姿勢を養う。				
概要		・漢字を読んだり書いたりする力を養い、漢字そのものの意味を理解し、文章内で適切に使える力を身に付ける。 ・各自受検目標級を設定し、その級に応じた自主学習に取り組む。また一斉学習で漢字検定対策に取り組む。							必修

1年	講座名	文学国語（自選）			単位数		4単位(必選と合わせて)		1年	
					対象年次		3年次			
2年	教科・科目名	国語・文学国語	定員	30	難易度		－		2年	
3年	担当者名									3年
	教科書	第一学習社「標準 文学国語」								
	副教材	カラー版新国語便覧（第一学習社）、ネクスト常用漢字（第一学習社）								
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4年	
		主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
必修	概要	文学的文章を通した様々な学習を通じて自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養が持てるようになる。								必修
必選	受講条件	・「現代の国語」「言語文化」の両方またはどちらか一方が未履修の場合は選択できない。 ・必修選択科目「文学国語」を履修している生徒のみ履修する。								必選
自選									自選	
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読	書	読	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	「本を読むと道に迷う」 「想像し、物語ること」	・書かれていることを正確に読み取れるを目指す。 ・書かれていることに対する自らの考えをまとめることができる。 文章を正しく読み取れるようにする。		0	0	知 文章に使われている語句を中心に言葉の意味を理解し、内容を理解している。 思 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	3	公地民歴
	鞆	・内容を正確に理解した上で、登場人物に対する自らの考えをまとめることができる。	文章を正しく読み取れるようにする。			0		〇〇〇	4	
	中間考査				0	0		〇〇		
	詩歌	・詩歌の鑑賞、創作を行う	鑑賞したことが創作に活かせるようにする。		0	0	知 文章に使われている語句を中心に言葉の意味を理解し、内容を理解している。 思 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	4	
	陰翳礼讃	・内容を正しく読み取るとともに日本文化についての考察を深める。	内容理解のための基礎知識(日本文化論等)も指導し、より深い理解を目指す。			0		〇〇〇	3	
	期末考査				0	0		〇〇		
数学	2学期	舞姫	・森鷗外や近代文学についての知識を増やす。 ・内容を正確に理解した上で、自らのものの見方、考え方を深める。 内容理解のための基礎知識(近代史等)も指導し、より深い理解を目指す。		0	0	知 作者森鷗外と近代文学についての知識を持つ 思 作品の世界観(近代)と自分自身(現代)の違いを踏まえ、内容を解釈している。 態 作品理解のために他者や社会、文化に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	数学
					0	0	〇〇〇			
	中間考査				0	0	〇〇			
	檸檬	・梶井基次郎や近代文学についての知識を増やす。 ・内容を正確に理解した上で、自らのものの見方、考え方を深める。 内容理解のための基礎知識(近代史等)も指導し、より深い理解を目指す。		0	0	知 作者梶井基次郎と近代文学についての知識を持つ 思 作品の世界観(近代)と自分自身(現代)の違いを踏まえ、内容を解釈している。 態 作品理解のために他者や社会、文化に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	7		
					0	0	〇〇〇	8		
理科	期末考査				0	0	〇〇			理科
	3学期	『雪国』の謎				0	知 読むための言葉の知識を得る。 思 多様な読みを思考する。 態 読むことに対して主体的に取り組む。	〇〇〇	10	情報
	涙の贈り物	・これまで学んできたことを踏まえ自らの「読み」と向き合う。 正しく読むことと多様な読み方があることの違いを理解する。				〇〇〇	その他			
商業	学年末考査				0	0	〇〇			商業
教養										教養
総合										総合
その他										その他

1年	講座名	国語表現			単位数		4単位	1年			
					対象年次		3・4年次				
2年	教科・科目名	国語・国語表現	定員	30	難易度		☆☆☆	2年			
3年	担当者名								3年		
	教科書	東京書籍「国語表現」									
4年	副教材	国語表現ワークブック（東京書籍）							4年		
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等					
		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的に考える力、豊かに想像する力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり、深めたりする。			言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。					
必修 必選 自選	概要	様々な表現活動を通じて国語で表現する力を高める。							必修 必選 自選		
	受講条件	・「現代の国語」「言語文化」の両方またはどちらか一方が未履修の場合は選択できない。 ※ 旧課程の国語表現として受講可									
国語 公地民歴 数学 理科 体育健	1学期	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話	書	読	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健
		分かりやすく説明しよう	情報の取捨選択、重みづけを行えるようになる。	「書くこと」「話すこと」どちらでもできることを目指す。	0	0		知 語彙を増やし、適切な言葉遣いによる表現ができる。 思 自分の思いや考えを効果的に伝えられるよう話や文章の構成や展開を工夫することができる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	
		身体で表現しよう	演劇的な活動を通じて色々な表現に挑戦する。	「話す」「聞く」双方の立場から表現に対する理解を深める。	0	0			〇〇〇	14	
	中間考査	なし	なし	なし				なし			
		「問い」を考えよう	「問う力」「質問力」を高める。	インタビューを通じて対話について理解を深める。	0	0		知 語彙を増やし、適切な言葉遣いによる表現ができる。 思 自分の思いや考えを効果的に伝えられるよう話や文章の構成や展開を工夫することができる。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	
	「自分」を表現しよう	自分が伝わるように表現する。	「書くこと」「話すこと」どちらでもできることを目指す。	0	0			〇〇〇	14		
	期末考査	なし	なし	なし				なし			
	2学期	論理的な文章を書こう	「根拠」を明確にしながら自分の思い、考えを「主張」として組み立て文章にする。	内容理解のために主張とその前提や反証、推論等が理解できるようにする。	0	0		知 語彙を増やし、様々な表現技法について理解を深める。 思 自分の考えを明確にし、根拠を基に的確に説明するなど表現の仕方を工夫する。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	14	芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
		話し合う力をつけよう	ファシリテーションの技法を学ぶ。	様々な話し合いの形式を体験することで理解を深める。	0	0			〇〇〇	14	
	中間考査	なし	なし	なし				なし			
		情報活用力を身につけよう	正確な情報を用い、情報を編集、活用できるようになる。	これまでの学習で身に付けた表現力を協働的な学習に活かす。	0	0		知 語彙を増やし、様々な表現技法について理解を深める。 思 自分の考えを明確にし、根拠を基に的確に説明するなど表現の仕方を工夫する。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	16	
	説得力のある提案をしよう	プレゼンテーション能力を高める。	機器の使用能力に偏らず、身体表現など多角的に能力を高める。	0	0			〇〇〇	16		
	期末考査	なし	なし	なし				なし			
	3学期	表現を楽しもう	創作活動に意欲的に取り組む	個別学習やグループ学習を交互に取り入れるなどして創作に励む。	0	0		知 語彙を増やし、様々な表現技法について理解を深める。 思 自分の考えを明確にし、根拠を基に的確に説明するなど表現の仕方を工夫する。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	20	
	学年末考査										

1 年	講座名	古典探究				単位数		4単位	1 年			
						対象年次		3・4年次				
		教科・科目名		国語・古典探究	定員	30	難易度	☆☆☆☆		2 年		
		担当者名										
		教科書		東京書籍「新編 古典探究」							3 年	
副教材		カラー版新国語便覧（第一学習社）										
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			4 年				
	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。		古典を通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		言葉が持つ価値への認識を深め、古典に親しむことで自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
必修	概要	様々な古典作品を読むことを通じて「言語文化」で身に付けた知識をさらに発展させ古典への興味・関心を高める。								必修		
必選	受講条件	・受講希望者は事前に国語科教員に相談すること。 ・「現代の国語」「言語文化」の両方またはどちらか一方が未履修の場合は選択できない。 ※旧課程の古典Aとして受講可								必選		
自選	受講条件	・受講希望者は事前に国語科教員に相談すること。 ・「現代の国語」「言語文化」の両方またはどちらか一方が未履修の場合は選択できない。 ※旧課程の古典Aとして受講可								自選		
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話	聞	読	評価規準	知 思 態	配当時数	国語		
公地民歴	1学期	徒然草	筆者のものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 作品の基本理念(「をかし」・「無常」)などへの理解も深める。			0	知 語句の意味や用法を理解するとともに、作品の特徴について理解を深める。 思 文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉え、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、古典を通じて自己を向上させようとしている。	〇〇〇	14	公地民歴		
		方丈記				0		〇〇〇	14			
		中間考査										数学
		伊勢物語	物語内容を正確に読み取るとともに、歌物語においては和歌についての理解を深める。 現代につながる物語(話の筋)の面白さを理解する。			0	知 語句の意味や用法を理解するとともに、作品の特徴について理解を深める。 思 文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉え、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、古典を通じて自己を向上させようとしている。	〇〇〇	14			
		竹取物語				0		〇〇〇	14			
		期末考査										
理科	2学期	源氏物語	物語内容を正確に読み取るとともに、歌物語においては和歌についての理解を、軍記物語においては武装、武器、馬具などの理解を深める。 現代との共通点と相違点(恋愛観や結婚観など)を理解する。			0	知 語句の意味や用法を理解するとともに、作品の特徴について理解を深める。 思 文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉え、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、古典を通じて自己を向上させようとしている。	〇〇〇	14	理科		
		平家物語				0		〇〇〇	14			
		中間考査										体育健
		故事成語	内容を正確に理解するとともに、人と人のつながりという観点から自分の思いや考えを深める。 内容理解のための基礎知識(中国史)も指導し、より深い理解を目指す。			0	知 訓詁のきまりを理解するとともに、作品の特徴について理解を深める。 思 文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉え、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、古典を通じて自己を向上させようとしている。	〇〇〇	16			
		十八史略				0		〇〇〇	16			
		期末考査										
芸術	3学期	史記	内容を正確に理解するとともに、人と人のつながりという観点から自分の思いや考えを深める。 内容理解のための基礎知識(中国史)も指導し、より深い理解を目指す。			0	知 訓詁のきまりを理解するとともに、作品の特徴について理解を深める。 思 文章の種類を踏まえ、内容を的確に捉え、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、古典を通じて自己を向上させようとしている。	〇〇〇	20	芸術		
		漢詩				0		〇〇〇				
		学年末考査										
英語										英語		
家庭										家庭		
情報										情報		
商業										商業		
教養										教養		
総合										総合		
その他										その他		

1年	講座名	実践国語（自選）				単位数	2単位	1年			
						対象年次	3・4年次		2年		
2年	教科・科目名	国語・実践国語（学校設定）	定員	30	難易度	－	3年				
3年	担当者名							4年			
4年	教科書	なし							必修		
	副教材	パスポート国語必携五訂版（桐原書店）、2025年度版高校生の就職試験一般常識＆SPI（TAC出版）						必修			
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等				自選		
		日常生活において必要な日本語、文章表現および日本文化に関する一般常識を身に付けることができる。	授業を通して身に付けた一般常識および語彙を自らの表現に生かすことができる。		授業を通して日本語および日本文化への興味・関心を高める。						
	概要	講義及び問題演習を通して国語常識を中心とした知識を習得し、表現活動を通して表現力の向上を目指す。									
	受講条件	・「文学国語」を履修しているもので実践国語の履修、修得を希望するもの。（「実践国語（必修選択）」を履修しているものは履修できない。）									
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読	書	誌	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	国語常識① 一般常識①	問題演習を通じて国語常識及び一般常識を身につける。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	読	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	〇 〇 〇	3	公地民歴
数学					読	0	0		〇 〇 〇	4	数学
理科		中間考査	なし	なし	読	0	0	なし	〇 〇		理科
体育保健		国語常識② 表現活動①	問題演習を通じて国語常識や表現力の基礎を身につける。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	読	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	〇 〇 〇	4	体育保健
芸術					読	0	0		〇 〇 〇	3	芸術
	期末考査	なし	なし	読	0	0	なし	〇 〇			
英語	2学期	国語常識③ 一般常識②	問題演習を通じて国語常識及び一般常識を身につける。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	読	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	〇 〇 〇	14	英語
家庭					読	0	0		〇 〇 〇		家庭
情報		中間考査	なし	なし	読	0	0	なし	〇 〇		情報
商業		国語常識④ 表現活動②	問題演習を通じて国語常識を身につけるとともに、表現力を高める。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	読	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	〇 〇 〇	7	商業
教養					読	0	0		〇 〇 〇	8	教養
総合	3学期	国語常識⑤ 日本文学史	問題演習を通じて国語常識を身につけるとともに日本文学史への理解を深める。	問題演習だけに偏らないよう関連事項の講義を適宜行う。	読	0	0	知 必要な知識を身に付ける。 思 自らの知識を用い問題演習や課題に取り組んでいる。 態 主体的に授業に取り組む。	〇 〇 〇	10	総合
その他					読	0	0		〇 〇 〇		その他
	学年末考査	なし	なし	なし	読	0	0	なし	〇 〇		

1年	講座名	現代の国語R			単位数	2単位	1年		
					対象年次	2・3・4年次			
	2年	教科・科目名	国語・現代の国語R	定員	—	難易度	—	2年	
	担当者名								
	3年	教科書	大修館書店「現代の国語」					3年	
副教材	カラー版新国語便覧（第一学習社）、ネクスト常用漢字(第一学習社)								
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			4年	
		実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。				
必修 必選 自選	概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。							必修 必選 自選
	受講条件	1年次の必修科目「現代の国語」が未履修となっている生徒 ※ 旧課程の国語総合として受講可（ただし言語文化Rも履修すること。現代の国語Rと言語文化Rは並行して履修することができる。）							
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読書読	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
	1学期	考える技術	□文章の構造を理解する。 □国語の授業に導入するための基礎的な教養を身に付ける。	伝える・伝え合う力を伸ばす ・ペアワークで意見を伝え合う ・小レポート作成と発表	00	知 認識や思考と言葉との関係を理解している。 思 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 態 問いに向かう姿勢、自力で考えることを大切にしようとしている。	〇〇〇	7	
		水の東西	□叙述を的確にとらえる。 □具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	文章の構造を把握する ・対比構造 ・具体と抽象	0	知 対比、具体と抽象について理解している。 思 内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 態 積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	〇〇〇	8	
		中間考査			00		〇〇	1	
		動的平衡としての生物多様性	□主張と根拠、理由づけの関係をとらえる。 □演繹・帰納に着目して、文章の論理をとらえる。	論理的に読む ・文章の論理 ・帰納と演繹	00	知 推論のしかたについて理解している。 思 情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 態 情報の関係や推論のしかたに注意し、内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	〇〇〇	8	
		意見を書く(『プラスチック汚染からは逃げられない』)	□構成や展開を意識して文章を書く。 □根拠を明確にして、自分の意見を書く。	意見文を書く ・主張と根拠 ・反論の想定	00	知 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現を理解している。 思 論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 態 意見文の相互評価および単元の総括をおして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	〇〇〇	7	
		期末考査			00		〇〇	1	
	2学期	魅力的な紹介文を書く(『家守奇譚』評)	□さまざまな表現の工夫を知り、自らの表現に生かす。	魅力的に伝える ・比喩 ・ことわざ、慣用句 ・反復法、押韻法、対照法	00	知 比喩、ことわざ、慣用句など様々な表現の工夫を理解している。 思 正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 態 積極的に、学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い適切な評価を行おうとしている。	〇〇〇	7	
		『安くておいしい国』の限界	□資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	資料を駆使する ・資料と文章の関係	00	知 文と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 思 文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 態 図表を伴う文章を読むことを通じて、情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自らの学習を調整しようとしている。	〇〇〇	7	
		中間考査			00		〇〇	1	
		パン屋の手紙	□通信文の基本的なルールを知る。 □相手や場面に応じた通信文を書く。	状況に応じた文章を書く ・言葉遣い ・文章形式	00	知 通信文に適した語彙を身につけ、使いこなしている。 思 「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考えて工夫している。 態 媒体ごとの体裁/特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最適な表現を試みようとしている。	〇〇〇	7	
		「美しさ」の発見について 脳は美をどう感じるか	□複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。	文章を比較して読む ・相違点、共通点 ・比較読み	00	知 個別の情報と一般化された情報との関係を理解している。 思 文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 態 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	〇〇〇	8	
		期末考査			00		〇〇	1	
	3学期	贅沢を取り戻す	□文章中の根拠や引用に注目し、その妥当性や信頼性を吟味する。	主張を吟味して読む ・引用の意図 ・根拠の吟味	00	知 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 思 文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、文章の構成や論理の展開などを評価し、自分の考えを深めている。 態 情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読むようしている。	〇〇〇	7	
		レポートを書こう『問いをたてる』	□適切な情報を集め、問いを立てる。 □調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。	レポートを書く ・適切な情報集め ・構成の検討 ・問いをたてる	00	知 文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 思 根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 態 自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。	〇〇〇	7	
		学年末考査			00		〇〇	1	

1年	講座名	言語文化R				単位数	2単位	1年			
						対象年次	3・4年次				
	教科・科目名	国語・言語文化	定員	—	難易度	—	2年				
	担当者名										
教科書	東京書籍「新編言語文化」					3年					
副教材	カラー版新国語便覧（第一学習社）、漢字トレーニング新装版(いいずな書店)										
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			4年				
	主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。							
概要	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。							必修 必修 自選			
受講条件	2年次の必修科目「言語文化」が未履修となっている生徒 ※ 旧課程の国語総合として受講可（ただし現代の国語Rも履修すること。現代の国語Rと言語文化Rは並行して履修することができる。）										
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読書	読	評価規準	知 思 態		配当時数	国語	
公地民歴	1学期	さくらさくら「美しい」ということ	・読者に語りかける文章と、筆者の知識や見解を示す文章との表現上の特徴を、具体的に指摘している。 ・筆者の見解や主張について自分はどうにとらえ、ことばと文化についてどのような認識をもったか説明している。 ・ことばがそれを用いる人々の生活や地域環境と密接に関連することに興味をもとうとしている。	具体例から日本と外国での桜に対する感じ方の違いを理解する。 「美しい」と感じた経験や、「美しい」という言葉に対するイメージなどを発表する。	0	0	知 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。		〇〇〇	7	公地民歴
数学		古文に親しむ		古文と現代文の違いについて確認する。 歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。		0	思 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 態 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおとして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	〇〇〇	8	数学	
理科		中間考査				0	0	〇〇	1	理科	
体育健		訓読の基本 漢字の読みと意味	・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。	中学校で学習した唐詩・『論語』・故事成語を発表し、高校での漢文学習への意識付けを図る。 「訓読」の導入文を読み、漢文とは日本語と言語構造が異なるものであり、その漢文を日本語として読む工夫が訓読であることを理解する。	0	0	知 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 思 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	〇〇〇	8	体育健	
芸術		とんかつ 小説の読み方	・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考える。	・これまでに読んだ小説の中で、印象に残ったものを挙げ、小説を読む楽しさや意義について話し合う。 ・描かれた出来事を、登場人物・場面などに注意してまとめる。		0	態 進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って、故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。	〇〇〇	7	芸術	
英語		期末考査				0	0	〇〇	1	英語	
家庭	2学期	柳あをめる【短歌】 雪の深さを【俳句】 冬が来た【詩】	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。	・短歌、俳句の独自の特徴と表現効果を理解し、言葉にこめられた情景や心情を読み取る。 それぞれの歌や句について、読解・鑑賞をして話し合う。	0	0	知 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 思 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	〇〇〇	7	家庭	
情報							0	0	〇〇	1	情報
商業			短歌を作る 漢詩と日本文学 訳詩を書く	・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。	短歌を実作する前と、実作した後で、我が国の言語文化としての和歌（短歌）に対する考え方が変わったか、話し合う。	0	0	知 本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 思 「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。	〇〇〇	7	商業
教養			羅生門 元になった古典 作品と読み比べ	・古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。	原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。		0	態 進んで短歌や詩の構成や語句などの表現の仕方を工夫し、古典的技法に倣って効果的に書こうとしている。 進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとしている。	〇〇〇	8	教養
総合			期末考査				0	0	〇〇	1	総合
その他	3学期	伊勢物語 論語	・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・和歌を書き換えることを通して、解釈を深める。 ・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。	現代のコミュニケーションツールで伝え合うことを想定し、それぞれの歌を自分の言葉で書き換える。 書き換えた作品を互いに読み合い、元の和歌と比較しながら、表現の工夫について批評し合う。		0	知 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 思 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 態 自分たちのものの見方や考え方を豊かにしようとしている。	〇〇〇	7	その他	
		夢十夜	・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。	明治以降の文学の流れや特徴などについて、理解を深める。		0	0	知 我が国の言語文化について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 思 背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 態 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	〇〇〇	7	
		学年末考査					0	0	〇〇	1	

1 年	講座名	地理総合			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	1年次			
	2 年	教科・科目名	地理歴史・地理総合	定員	—	難易度	—	2 年	
	担当者名								
	3 年	教科書	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる （第一学習社）・標準高等地図（帝国書院）					3 年	
副教材	なし								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年		
		世界の諸地域の現況について、空間的な状況把握と理解ができるようにする。文字情報のほか、地図や画像等の地理情報システムを用いて、様々な情報を適切に収集、分析しまとめる技能を身に付ける。	地域社会や諸活動の成り立ちについて、地理学的な見方と概念を応用して多面的・多角的に考察し、発見、構想したことを説明したり、それらを基に議論する力を養う。		地理にかかわる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化に対する理解と尊重することの大切さについて自覚する。				
必修	概要	1．現代世界に生じているさまざまな事象を空間に位置づけて認識し、多様性と法則性を理解する。 2．地域の成り立ちや国際関係の変遷を学び、地域的課題と地球的課題の解決に向けて関与していく意識を高める。 3．地元八王子の地形および土地利用の変遷をたどり、地域への理解を深める。						必修	
必 選	受講条件	なし						必 選	
自 選								自 選	
国 語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数	国 語
		1学期	球面上の世界と地図	知 それぞれの大陸、海洋を判断できる。時差の計算ができる。 思 平面の地図と球体の地球のイメージの擦り合わせを行う。 学 必要な情報を地図から把握するとともに、地図上に表現する技法を学ぶ。	・地球の姿、大陸と海洋 ・緯度、経度 ・時差	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	
公 地 民 歴	国家の結びつきとグローバル化する社会	知 世界の国々の位置と分布を理解する。 思 国家の成立要件について考える。 学 国家の存立には流動性があることを学ぶ。	・世界の国々 ・現代世界の成り立ち		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	数 学	
		中間考査	あり				〇〇〇		1
数 学	生活文化の多様性と国際理解	知 地域によって自然的・文化的環境が異なることを理解する。 思 自然環境が生活文化に与えている影響について考える。 学 各地域の生活様式と気候との結びつきを知ろうとする。	・大気の流れと気候 ・世界の気候区 ・世界各地の気候と生活		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	理 科	
		地球的課題と国際協力	知 地球的課題を理解する。 思 課題解決に向けた社会全体の取り組みを考えることができる。 学 SDGsの達成に向けた個人個人の取り組みを考えようとする。	・持続可能な開発目標 ・地球的課題の地理的な側面		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇		4
体 育 健	期末考査	あり				〇〇〇	1	体 育 健	
		2学期	自然環境と防災	知 地球の構造や主要な地形の成り立ちを理解する。 思 日本の地形および地体構造に対する理解を深める。 学 すべての地形は変動しつつあることを認識する。	・プレートテクトニクス ・大地形と造山運動	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇		4
英 語	八王子の地形	知 拓真高校が河岸段丘に位置することを理解する。 思 地形図から土地利用の変遷を読み取り、表現できる。 学 八王子の地域性の変化と土地利用の変化を関連させて理解する。	・河岸段丘 ・実地調査 ・八王子の土地利用		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	英 語	
		中間考査	あり				〇〇〇		1
家 庭	生活・文化の多様性	知 気候区分を理解し、特徴を読み取ることができる。 思 気候と生活の結びつきを考察できる。 学 気候と生活の結びつきを考えようとする。	・世界の気候区分 ・気候と生活		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	情 報	
		世界の諸地域（テーマ学習）	知 環境に適応した生活文化が営まれていることを理解する。 思 諸地域の生活様式を気候や文化と絡めて考察できる。 学 環境と生活文化の関わりを知ろうとする。	・「衣」から見る世界 ・「食」から見る世界 ・「住」から見る世界		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇		6
情 報	期末考査	あり				〇〇〇	1	商 業	
		3学期	自然災害	知 暮らしを取り巻く自然災害を理解する。 思 日本の位置と自然災害との関係を考察できる。 学 日本で自然災害が多い理由を知ろうとする。	・地球の姿、プレート ・自然災害 ・変動帯の自然と防災	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇		6
商 業	防災	知 諸災害のメカニズムや、それに備える手段を理解する。 思 ハザードマップや地形図を基に避難経路を考察できる。 学 諸災害への備えや避難経路を学ぼうとする。	・災害への備え		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	教 養	
		学年末考査	あり				〇〇〇		1
教 養								総 合	
総 合								そ の 他	
そ の 他								そ の 他	

1 年	講座名	歴史総合			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	2年次			
	教科・科目名	地理歴史・歴史総合	定員	—	難易度	—	2 年		
	担当者名								
	教科書	高等学校 歴史総合					3 年		
副教材	明解 歴史総合図説 シンフォニア 初訂版								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			必修		
		生活や身近な地域などにみられる諸事象をもとに、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	複数の史料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現すること。	我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚。					
必修	概要	1、日本と世界の近代化、その背景と影響を歴史的事象から理解させる。 2、国際秩序の変化や大衆化を主題設定し、諸資料を活用して追究・探究させる。					必修		
必選	受講条件	なし					必選		
自選							自選		
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公 地 民 歴	1学期	産業革命と市民革命	・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現する。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。		国際商業の覇権争いと大西洋三角貿易 農業社会から工業社会へー産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 イギリスに挑戦したナポレオン イギリスの繁栄 後発国による「上からの近代化」 ロシアの近代化と南下政策 アメリカ合衆国の膨張	・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組めた。	〇〇〇	6	公 地 民 歴
		イギリスの繁栄と国民国家の拡大					〇〇〇	4	
		中間考査	あり			〇〇〇	1		
		アジア諸国の変貌と日本の開国	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。	オスマン帝国の衰退と西アジア 南アジアと東南アジアの植民地化 東アジアの動揺 東アジアの情勢と改革 明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。	〇〇〇	6		
		期末考査	あり			〇〇〇	1		
数 学	2学期	帝国主義の発展	・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。		日本の立憲国家への道のり 帝国主義の時代 列強の世界政策 日清戦争と中国分割 日露戦争とアジア	・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	〇〇〇	6	数 学
		中間考査	あり			〇〇〇	1		
		第一次世界大戦と大衆社会	・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付ける。 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	第一次世界大戦 ロシア革命とソ連の成立 ヴェルサイユ・ワシントン体制 アメリカの大衆社会 大正デモクラシーと日本社会の変化	・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソビエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめる技能を身に付けた。 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソビエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	〇〇〇	5		
		経済危機と第二次世界大戦		世界恐慌 ファシズム・軍部の台頭 ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化		〇〇〇	5		
		期末考査	あり			〇〇〇	1		
理 科	3学期	第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	国際連合と国際経済体制 冷戦の開始とアジアへの波及 敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 平和条約と日本の独立回復	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。	〇〇〇	4	理 科	
		冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭		アジア諸国の独立と中東戦争 アフリカ諸国の独立と第三世界の台頭 核戦争の危機から核軍縮へ 西側諸国の多極化と日本の動向		〇〇〇	5		
		国際秩序の変容と21世紀の世界	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	石油危機とイスラーム復興 東南アジア・東アジアの経済成長 冷戦の終結とソ連の解体 地域紛争の頻発とアメリカの動揺 グローバル化と地域統合の動き 情報通信技術の発展と環境問題への対応	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現できる。	〇〇〇	1		
		学年末考査	あり			〇〇〇	1		
体 育 健							体 育 健		
芸 術							芸 術		
英 語							英 語		
家 庭							家 庭		
情 報							情 報		
商 業							商 業		
教 養							教 養		
総 合							総 合		
そ の 他							そ の 他		

講座名		公共			単位数	2 単位
					対象年次	2 年次
教科・科目名	公民・公共		定員	—	難易度	—
担当者名						
教科書	『公共』（実教出版）					
副教材	なし					
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
	現代社会の諸課題についての考察・選択・判断の手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		現代社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら、考察したことを表現する。		よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての自覚を深める。	
概要	・ 現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につける。 ・ 社会課題について事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を身につける。 ・ よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と、社会に参画する主権者としての自覚を深める。					
受講条件	なし					
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態 配当時数
1学期	社会をつくる私たち	知 自らを成長させる人間としての在り方生き方を理解する。 思 社会の一員であることを多面的・多角的に考察し表現する。 学 社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・青年期とは ・自己形成の課題		知 自らを成長させる人間としての在り方生き方を理解している。 思 社会の一員であることを多面的・多角的に考察し表現している。 態 社会に参画する自立した主体についての自覚を深めている。	〇 〇 〇 6
	人間としてよく生きる	知 公正などの義務を重視する考え方について理解する。 思 地域社会の一員として生きる上で重要なことを考察する。 学 社会の一員としての生き方についての自覚を深める。	・古代ギリシャの思想 ・科学的思考の確立 ・自由の実現		知 公正などの義務を重視する考え方について理解している。 思 地域社会の一員として生きる上で重要なことを考察できる。 態 社会の一員としての生き方についての自覚を深めている。	〇 〇 〇 4
	中間考査	あり				〇 〇 〇 1
	他者とともに生きる	知 自身の生き方について探究することの重要性を理解する。 思 課題に対して自らも他者も納得できる解決方法を考察する。 学 他者とともに生きる存在であるという自覚を深める。	・人間と幸福 ・公正、正義		知 自身の生き方について探究することの重要性を理解している。 思 課題に対して自らも他者も納得できる解決方法を考察できる。 態 他者とともに生きる存在であるという自覚を深めている。	〇 〇 〇 4
	民主社会の倫理	知 人間の尊厳と権利・義務について理解する。 思 自由と権利、責任と義務の関係について考察し、表現する。 学 他者とともに公共性を確立していくという自覚を深める。	・人間の尊厳と平等 ・自由と権利、責任と義務		知 人間の尊厳と権利・義務について理解している。 思 自由と権利、責任と義務の関係について考察し、表現している。 態 他者とともに公共性を確立していくという自覚を深めている。	〇 〇 〇 6
	期末考査	あり				〇 〇 〇 1
2学期	民主国家における基本原理	知 民主主義の基本原則について理解する。 思 民主政治の実現方法とその課題を考察し、表現する。 学 よりよい社会の在り方を考えようとする意識をもつ。	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原則、しくみ ・世界の主な政治制度		知 民主主義の基本原則について理解している。 思 民主政治の実現方法とその課題を考察し、表現している。 態 よりよい社会の在り方を考えようとしている。	〇 〇 〇 4
	日本国憲法の基本的性格	知 日本国憲法の基本原則を理解する。 思 日本の抱える防衛問題について考察し、表現する。 学 現代社会の課題について主体的に考える態度を養う。	・日本国憲法の成立 ・自由権、平等権、社会権 ・平和主義と防衛問題		知 日本国憲法の基本原則を理解している。 思 日本の抱える防衛問題について考察し、表現している。 態 現代社会の課題について主体的に向き合おうとしている。	〇 〇 〇 4
	中間考査	あり				〇 〇 〇 1
	日本の政治機構と政治参加	知 国会、内閣、裁判所の役割を理解する。 思 選挙や司法参加の意義について考察し、表現する。 学 自らと政治とのかわりについて自覚を深める。	・国会、内閣、裁判所 ・地方自治 ・政党政治 ・選挙制度		知 国会、内閣、裁判所の役割を理解している。 思 選挙や司法参加の意義について考察し、表現している。 態 自らと政治とのかわりについて自覚を深めている。	〇 〇 〇 6
	現代の経済社会	知 経済の基本を理解する。 思 経済成長が生活とどのように関係するか考察し、表現する。 学 自らが経済主体であるという自覚を深める。	・経済主体と経済活動 ・市場のしくみ ・経済成長と国民の福祉		知 経済の基本を理解している。 思 経済成長が生活とどのように関係するか考察し、表現している。 態 自らが経済主体であるという自覚を深めている。	〇 〇 〇 6
	期末考査	あり				〇 〇 〇 1
3学期	経済と国民生活	知 消費者問題や労働問題について理解する。 思 社会の変化にともなう社会保障の課題を考察し、表現する。 学 現代社会の課題を主体的に解決する態度を養う。	・消費者問題 ・労働問題と労働者の権利 ・社会保障の役割		知 消費者問題や労働問題について理解している。 思 社会の変化にともなう社会保障の課題を考察し、表現している。 態 現代社会の課題を主体的に解決しようとしている。	〇 〇 〇 6
	国際政治の動向と課題	知 国際社会における我が国の役割を理解する。 思 国際社会における人類の課題について考察し、表現する。 学 国際社会の一員であるという自覚を深める。	・国際社会と国際法 ・国際連合 ・人種・民族問題		知 国際社会における我が国の役割を理解している。 思 国際社会における人類の課題について考察し、表現している。 態 国際社会の一員であるという自覚を深めている。	〇 〇 〇 4
	学年末考査	あり				〇 〇 〇 1

1年	講座名	実践社会			単位数	2単位	1年	
2年					対象年次	3年次	2年	
3年	教科・科目名	社会・実践社会（学校設定）	定員	—	難易度	—	3年	
4年	担当者名						4年	
必修	教科書	『公共』（実教出版）					必修	
	副教材	なし						
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選	
		諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことゝ妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。		自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める			
自選	概要	1．現代日本の政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習 2．国際政治・経済に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論について学習					自選	
	受講条件	なし						
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	現代日本の政治	民主政治の成立 法と民主政治 基本的人権の確立 日本国憲法の制定と基本原理 平和主義		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇	7	公地民歴
					知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇		
	中間考査	あり			〇 〇 〇	1		
	日本の政治機構	知 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 思 日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 学 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	国会と立法 地方自治 戦後政治と政党 世論と政治参加	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇	7	理科	
			知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇				
期末考査	あり			〇 〇 〇	1			
数学	2学期	現代日本の経済	現代の資本主義経済 経済活動の意義 経済主体と経済の循環 生産のしくみと企業 金融のしくみと機能		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇	7	数学
					知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇		
	中間考査	あり			〇 〇 〇	1		
	現代日本の諸課題	知 現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 思 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 学 諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かうとしている。	少子高齢社会における社会保障 地域社会の活性化 多様な働き方・生き方の実現 中小企業の意義と課題 持続可能な食料・農業の実現	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇	8	情報	
			知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇				
期末考査	あり			〇 〇 〇	1			
英語	3学期	現代の国際政治	国際政治の特質 国際社会と国際法 複雑化する国際政治と日本 戦後国際関係の展開と日本		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇	5	英語
					知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇 〇 〇		
家庭	学年末考査	あり			〇 〇 〇	1	家庭	
商業							商業	
教養							教養	
総合							総合	
その他							その他	

講座名				わかる社会		単位数	2単位	
						対象年次	1・2年次	
教科・科目名	社会・わかる社会（学校設定）		定員	15	難易度	☆		
担当者名								
教科書	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる（第一学習社）（必修地理総合で購入済）							
副教材	標準高等地図（帝国書院）（必修地理総合で購入済）							
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
	小・中学校で学んだ社会科の基礎的な知識の習得を目的とする。		調べ学習等を通して、自己の思考を適切な言葉で表現することを目標とする。 具体的な事象を多面的多角的に考えられるようになる。		粘り強くプリント学習に取り組もうとする。 意欲的に学習内容を振り返ろうとする。			
概要	以下の小・中学校で学んだ社会科の基礎的な内容を定着させる。 地理的分野。 歴史的分野。 公民的分野。							
受講条件	・小・中学校の基礎的な内容を学び直そうという意欲がある生徒 ・自ら問題意識を持ち、2時間集中して自学自習に取り組むことができる生徒							
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 読書を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 読書を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・読書プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	5
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 読書を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 読書を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・読書プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	5
	中間考査		なし					
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 読書を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 読書を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・読書プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	5
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 読書を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 読書を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・読書プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	5
	期末考査		なし					
2学期	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 調べ学習を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 調べ学習を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・調べ学習プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	12
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 調べ学習を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 調べ学習を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・調べ学習プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	12
	中間考査		なし					
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 調べ学習を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 調べ学習を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・調べ学習プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	12
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 調べ学習を通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 調べ学習を通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・調べ学習プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	12
	期末考査		なし					
3学期	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 プリントを通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 思考プリントを通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・思考プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	5
	地理的分野 歴史的分野 公民的分野 プリントを通した考察	知 重要語句の確認を行う 思 思考プリントを通した要約による自己表現 学 自学自習に取り組むことができる		・重要語句の確認 ・思考プリント ・一人1台端末の活用		知 重要語句を確認し、知識として修得している 思 事象を多面的に考察し、適切な言葉で表現できる 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている	〇〇〇	5
	学年末考査		なし					

1年	講座名	地理探究			単位数	2単位	1年		
					対象年次	3・4年次			
		教科・科目名	地理歴史・地理探究	定員	30	難易度		☆☆☆☆	2年
		担当者名							
		教科書	東京書籍『地理探究』					3年	
副教材	なし								
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4年			
	地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。		選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。		地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。				
概要	1. グローバル化の進展に伴って国や地域が結びつき、相互依存関係を理解する。 2. 身近な生活圏規模のレベルから、国家規模のレベル、地球規模のレベルに至るまで数多くの課題を地理的な見方・考え方を身に付けることで見出す。 3. 私たちが居住する日本の現状と抱えている課題をふまえながら、持続可能な社会の在り方について考えていく。						必修 必選 自選		
	受講条件	地理総合を履修している生徒 地理総合の評定2以上を目安とする。							
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	世界の地形	知 衛星画像や模式図を用いて、地球表面の起伏の状態について理解している。 思 大地形の分布の特徴について、プレート境界や地震帯・火山帯分布との関わりから考察する。 学 大地形の分布の特徴について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	地形をつくる プレートの運動とさまざまな境界	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	公地民歴	
		気候と自然環境	知 地球規模でみられる気温と降水量の分布の特徴について理解している。 思 気候の特徴について多面的・多角的に考察している。 学 気候の特徴と植生、土壌との関係について、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、捉えようとしている。	気候の見方 大気大循環と気候	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
	中間考査	あり				〇〇〇	1	数学	
	気候と人々の生活	知 雨温図やハイザーグラフの作成・読み取りを通じて各気候区について理解している。 思 各気候区について考察するとともに、人間生活との関係について表現している。 学 人間生活との関係について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	ケッペンの気候区分 熱帯の特徴と人々の生活	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	理科		
	日本の自然環境と自然災害	知 日本の自然環境の特徴について理解するとともに、今後発生する可能性のある自然災害について整理する。 思 自然災害について整理した上で、防災・減災へ向けた取り組みについて多面的・多角的に考察する。 学 防災・減災へ向けた取り組みについて関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	日本の地形と自然災害 日本の気候と自然災害	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	体育保健		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	芸術	
英語	2学期	エネルギーと鉱産資源	知 各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解している。 思 各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策によって生じる国際対立の解決策について表現している。 学 資源の分布や消費の地域的な偏りとの関わりから関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界のエネルギー需要 化石燃料	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	英語	
		交通・通信	知 交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。 思 交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて表現している。 学 交通・通信の発達により生じる問題に向けて関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	交通の発達 情報通信産業の発達	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	家庭	
	中間考査	あり				〇〇〇	1	情報	
	村落・都市	知 大都市圏の発展過程について多面的・多角的に理解している。 思 大都市圏の発展過程について多面的・多角的に考察している。 学 大都市圏の発展過程について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	村落の機能と形態 都市の機能と都市システム	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	商業		
	現代の国家と領土問題	知 国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ、問題の現状や要因、解決へ向けた取り組みについて理解している。 思 国家領域や領土をめぐる問題を世界的な視野でとらえ、問題の現状や要因、解決へ向けた取り組みについて考察している。	国家の領域と国境線 領土問題の要因と解決への取り組み	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	商業		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	教養	
総合	3学期	日本の地理的諸課題を読み解く	知 日本における産業立地や都市化の変化、国土政策の流れを理解している。 思 日本が抱える地理的課題について探究している。 学 日本が抱える地理的課題について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	日本の地域構造	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	2	総合	
		持続可能な国土像の探究	知 地球規模の視点で日本が抱える地理的課題について理解する。 思 けれども日本の持続可能な国土像について探究している。 学 日本の持続可能な国土像について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、とらえようとしている。	課題と仮説の設定	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	その他	
	学年末考査	なし				〇〇〇	1	その他	

1年	講座名	日本史探究			単位数	4単位	1年	
					対象年次	3・4年次		
	教科・科目名	地理歴史・日本史探究	定員	30	難易度	☆☆☆☆	2年	
	担当者名							
	教科書	実教出版『精選日本史探究 今につながる 未来をえがく』					3年	
副教材	なし							
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4年	
		我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、世界の歴史と関連付けながら総合的にとらえて理解する。	相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、考えたことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。		我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚。			
必修 必選 自選	概要	1. 人類の生存基盤をなす自然界に見られる諸事象を扱う 2. 資料を活用し、事象の関係性などを考察し、表現する。 3. 地球規模で諸地域がつながり始めたことに気づき、日本と他の国々と比較する。					必修 必選 自選	
	受講条件	歴史総合を履修している生徒 歴史総合の評定2以上を目安とする。 ※旧課程の日本史Bとして受講可。					自選	
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
1学期	先史社会の生活と文化	知 諸事象について、総合的に捉えて理解する。 思 事象の意味や意義、伝統と文化の特色考察したことを効果的に説明する。 学 課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	・旧石器時代の文化 ・縄文時代の文化 ・弥生時代の文化	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3		
	「律令国家の形成と古代文化の展開」	知 古墳文化、律令体制の成立と諸文化を理解する。 思 中国大陸や朝鮮半島との関係に着目し多面的・多角的に考察する。 学 「律令国家の形成と古代文化の展開」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・古墳時代の文化 ・律令体制の仕組み ・東アジアとの関係性	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
	中間考査	あり				〇〇〇	1	
	律令国家の形成と白鳳文化	知 複数の資料を活用し、情報を適切かつ効果的に読み取っている。 思 中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目している。 学 律令の形成と古代文化の学習について見通しを持つ。	・律令国家の形成 ・白鳳文化 ・天平文化	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
	「摂関政治と貴族文化」	知 貴族政治の展開、平安期の文化を理解している。 思 地方の諸勢力の成長と影響を根拠を示して表現している。 学 「摂関政治と貴族文化」の内容を振り返り、調整しようとしている。	・摂関政治 ・国風文化	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	
	2学期	朝廷政治の変容	知 院政の特色や荘園公領制の成立について、諸資料から適切かつ効果的に読み取り、理解している。 思 権力の主体の変化などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 学 見通しをもって学習に取り組む、課題を追究しようとしている。	・院政の仕組み ・武士の出現	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	
「武家支配の広がり」と国際交流」		知 武家政権の成立と展開を理解している。 思 公武関係の変化を根拠を示して表現している。 学 武家政権の成立と朝廷の内容に対して、自身の学習について振り返り、調整しようとしている。	・鎌倉幕府と執権政治 ・モンゴル襲来と社会の変貌 ・室町幕府の成立 ・自立する戦国大名	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
中間考査		あり				〇〇〇	1	
参勤交代と幕藩体制		知 参勤交代と幕藩体制に関する資料から情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 思 参勤交代と幕藩体制に関する資料を読み取り、表現できる。 学 近世の特色について明らかにしようとしている。	・幕藩体制 ・江戸時代の対外関係 ・幕藩体制の立て直し	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
幕府の崩壊と明治維新		知 複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。 思 幕府や諸藩の政策の変化などに着目して考察し、その結果を表現している。 学 次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	・天保の改革 ・開国と開港	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
期末考査		あり				〇〇〇	1	
3学期		激変する世界と日本	知 ・社会・経済・情報の国際化などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ理解している。 思 歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の面期などを根拠を示して表現している。 学 自身の学習について振り返り、調整しようとしている。	・日清、日露戦争 ・第一次世界大戦 ・第二次世界大戦	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	2	
	21世紀の日本	知 現代の日本の課題を理解している。 思 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について、多面的・多角的に考察、構想して表現している。 学 持続可能な社会の実現を視野に、主体的に探究しようとしている。	・冷戦 ・世界の中の日本 ・持続可能な社会	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3		
	学年末考査	あり				〇〇〇	1	

1年	講座名	世界史探究			単位数	4単位	1年	
2年					対象年次	3・4年次	2年	
3年	教科・科目名	地理歴史・世界史探究	定員	30	難易度	☆☆☆☆	3年	
4年	担当者名						4年	
必修	教科書	実教出版『世界史探究』					必修	
	副教材	なし						
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選	
		世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。	相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、考えたことを効果的に説明したり、議論したりする力を養う。		他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚。			
自選	概要	1.諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。 2.歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明する。 3.世界の歴史を、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					自選	
	受講条件	歴史総合を履修している生徒 歴史総合の評定2以上を目安とする。 ※旧課程の世界史Bとして受講可。						
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	地球と人類の誕生	知 古代文明の歴史的特質を理解している。 思 自然環境と生活や文化との関連性を考察し、表現している。 学 学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	・古代オリエントとエーゲ海地域 ・アジアの文明	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	公地民歴
		古代ギリシアとヘレニズム世界	知 諸資料から読み取り、理解している。 思 民主政を多面的・多角的に考察し、表現している。 学 古代ギリシアとローマ帝国の共通点と相違点についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	・古代ギリシア ・古代ローマ ・イスラーム世界	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
	中間考査	あり				〇〇〇	1	
	東アジアと中央ユーラシア	知 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 思 東アジア社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 学 見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・隋唐帝国と東アジア ・古代帝国の誕生	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
	アフリカ、オセアニア、古アメリカ	知 自然環境との関わりや文明の特徴を理解している。 思 諸地域相互の関わりなどに着目し、特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 学 自然環境との関わりや注目し主体的に学習に取り組もうとしている。	・アフリカ大陸に発達した文明 ・人類のオセアニア到達 ・南北アメリカ大陸の文明	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	
数学	2学期	インド洋海域世界の発展と東南アジア	知 諸地域の交易の進展を構造的に理解している。 思 インド洋海域世界と東南アジアの発展などを多面的・多角的に考察し、表現している。 学 見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・イスラームのインドとインド洋海域への浸透 ・東南アジア世界の発展	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	数学
		大交易時代と世界の一体化	知 交易とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 思 大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察している。 学 見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・アジア交易圏の再編と活況 ・ポルトガルのアジア進出 ・一体化に向かう世界	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
	中間考査	あり				〇〇〇	1	
	主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	知 宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争を構造的に理解している。 思 ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因を考察し、表現している。 学 学習に取り組む、課題を追究しようとしている。	・主権国家群の形成と宗教改革 ・オランダの繁栄と英仏の国家形成 ・大西洋三角貿易と奴隷貿易	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
	国民国家と近代社会の形成	知 近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。 思 大西洋沿岸諸地域の動向に関わる諸事象を考察し、表現している。 学 見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・産業革命と工業化 ・フランス革命とウィーン体制 ・南北アメリカの発展	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	
理科	3学期	第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	知 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 思 第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向を考察し、表現している。 学 見通しをもって学習に取り組もうとしている。	・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 ・大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	2	理科
		国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	知 ヨーロッパ諸国の動向について、諸資料から読み取り、理解している。 思 アメリカに出現した大衆社会を考察し、表現している。 学 諸地域の変容についての自らの学習を振り返り、学びを深めている。	・世界恐慌と政治経済の変容 ・第二次世界大戦の開戦と展開 ・冷戦と政治・経済秩序 ・グローバル化にともなう世界の変容	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	3	
	学年末考査	あり				〇〇〇	1	
体育健								体育健
芸術								芸術
英語								英語
家庭								家庭
情報								情報
商業								商業
教養								教養
総合								総合
その他								その他

1年	講座名	日本史基礎			単位数	2単位	1年		
					対象年次	3・4年次		2年	
2年	教科・科目名	地理歴史・日本史基礎（学校設定）	定員	30	難易度	☆	3年		
3年	担当者名							4年	
4年	教科書	高等学校 歴史総合					必修		
	副教材	明解 歴史総合図説 シンフォニア						必修	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修		
		我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多角的・多面的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。		我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。			必修	
必修	概要	1. 日本の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目する。 2. 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。							必修
必選	受講条件	なし						自選	
自選									自選
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	
公地民歴	1学期	近代国家と社会の形成	知 開国後の政治の主導権をめぐる争いの経緯についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 開国後の政治の主導権をめぐる争いについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 倒幕から明治維新に至る経緯を追究している。	世界と東アジア ゆれ動く幕末の政治と社会		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	2	公地民歴
数学		近代国家の誕生	知 19世紀後半の周辺諸国と国内情勢について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 取り入れようとした文明とは何なのか、多面的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 帝国憲法体制が成立する経緯を追究している。	明治政府の諸改革 文明開化		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	2	
		中間考査	あり(授業の実施時数によっては無し)				〇〇〇	1	理科
理科		二つの戦争と大日本帝国	知 国内外の情勢について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 産業革命や国民文化の形成について意欲的に追究している。	日清戦争と日露戦争 帝国形成期の社会		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
体育健		帝国とデモクラシー	知 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 大戦後の国際情勢への関心を高め、日本がどう関わったかについて意欲的に追究している。	大正デモクラシー ヴェルサイユ体制とロシア革命		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	体育健
芸術		期末考査	あり(内容によっては無し)				〇〇〇	1	
英語	2学期	東アジアの情勢と恐慌	知 日中戦争に至る経緯の基本的な事柄を理解している。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 日中戦争に至る経緯を意欲的に追究している。	昭和恐慌 日中15年戦争		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	英語
		アジア太平洋戦争	知 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 皇民化を進めていく過程や結果を適切に表現している。 学 国民と周辺諸国の人々に及ぼした影響について意欲的に追究している。	アジア太平洋戦争 戦時下の社会と抵抗		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
情報		中間考査	あり(内容によっては無し)				〇〇〇	1	情報
		戦後世界と日本	知 日本でどのような改革が行われたのかについて基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 占領下の日本の状況について意欲的に追究している。	戦後の世界 日本占領 民主権と日本国憲法		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
商業		冷戦と日米安保体制	知 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 日本の独立と安全保障がどのような背景で構築されたのか、意欲的に追究している。	朝鮮戦争 サンフランシスコ体制		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	商業
教養		期末考査	あり(内容によっては無し)				〇〇〇	1	
総合	3学期	高度経済成長下の日本	知 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 日韓中国交回復や沖縄返還の経過、および人々の生活の変化について意欲的に追究している。	日韓条約とベトナム戦争 沖縄返還と日中関係		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	2	総合
		経済大国	知 基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 思 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 日本が経済大国になっていく過程について意欲的に追究している。	石油危機 家族と労働の変化		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
その他		学年末考査	あり(授業の実施時数によっては無し)				〇〇〇	1	その他

1 年	講座名	世界史基礎			単位数	2単位	1 年	
					対象年次	3・4年次		
	教科・科目名	地理歴史・世界史基礎（学校設定）	定員	30	難易度	☆	2 年	
	担当者名							
	教科書	高等学校 歴史総合					3 年	
副教材	明解 歴史総合図説 シンフォニア							
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年	
		近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	近現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究している。			
	概要	1. 諸外国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目する。 2. 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。					必修 必選 自選	
	受講条件	なし						
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	ユーラシアの諸文明	知 今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 思 今日の世界諸地域における社会・文化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 四つの地域世界それぞれの自然環境、生活、宗教などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。	東アジア 南アジア オリエント ヨーロッパ	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	7	公地民歴
				知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇			
		中間考査	なし				〇〇〇	1
		一体化に向かう世界と日本	知 基本的な事柄を、世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 思 世界商業の進展と大西洋貿易の動向などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 ヨーロッパの主権国家体制の成立と大西洋貿易の動向などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。	ルネサンスと宗教改革 1大航海時代 絶対王政の時代 オスマン帝国とヨーロッパ 明から清へ 中華帝国の動揺 明治維新と東アジア 東アジアの変革	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	7	
				知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇			
期末考査	あり				〇〇〇	1		
数学	2学期	ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動	知 基本的な事柄を19世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 思 19世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 ヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌の特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 ナポレオンとウィーン体制 19世紀のアメリカ合衆国	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	7	数学
				知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇			
		中間考査	なし				〇〇〇	1
		現代世界のあゆみ	知 基本的な事柄を、両大戦の影響と平和の意義などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。 思 総力戦としての性格について、それらが及ぼした影響と平和の意義などと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 第一次世界大戦と第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格、それらが及ぼした影響と平和の意義などに対する関心を高め、意欲的に追究している。	帝国主義と世界分割 ヨーロッパ国際関係の緊張 第一次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制と国際連盟 世界恐慌とニューディール 満洲事変から日中戦争へ	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	8	
				知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇			
期末考査	あり				〇〇〇	1		
英語	3学期	第二次世界大戦後の世界	知 基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身につけている。 思 核兵器問題などに特質を見いだし、世界の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 学 米ソ両陣営の対立、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立、核兵器問題などの特質に対する関心を高め、意欲的に追究している。	第二次世界大戦後の世界 国際連合と冷戦 ヨーロッパとアジアの冷戦 アジア諸国の独立 冷戦後の世界	知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	5	英語
				知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇			
		学年末考査	あり				〇〇〇	1
家庭								家庭
情報								情報
商業								商業
教養								教養
総合								総合
その他								その他

1 年	講座名	歴史総合R			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	3・4年次			
		教科・科目名	地理歴史・歴史総合	定員	30	難易度		—	2 年
		担当者名							
		教科書	高等学校 歴史総合					3 年	
副教材	明解 歴史総合図説 シンフォニア								
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚。	4 年		
	生活や身近な地域などにみられる諸事象をもとに、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。	複数の史料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現すること。							
概要	1、日本と世界の近代化、その背景と影響を歴史的事象から理解させる。 2、国際秩序の変化や大衆化を主題設定し、諸資料を活用して追究・探究させる。						必修 必選 自選		
受講条件	歴史総合が未履修となっている生徒								
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公 地 民 歴	1学期	産業革命と市民革命	国際商業の覇権争いと大西洋三角貿易 農業社会から工業社会へー産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命 イギリスに挑戦したナポレオン イギリスの繁栄 後発国による「上からの近代化」 ロシアの近代化と南下政策 アメリカ合衆国の膨張		・日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現できる。 ・諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組んでいる。	〇〇〇	6	公地民歴	
		イギリスの繁栄と国民国家の拡大				〇〇〇	8		
	中間考査	あり			〇〇〇	1	数 学		
	アジア諸国の変貌と日本の開国	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	オスマン帝国の衰退と西アジア 南アジアと東南アジアの植民地化 東アジアの動揺 東アジアの情勢と改革 明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序 日本の立憲国家への道のり 列強の世界政策 日清戦争と中国分割 日露戦争とアジア	・18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解している。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解している。 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。	〇〇〇	8		理 科	
	帝国主義の発展	・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。		・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解している。	〇〇〇	8			
期末考査	あり			〇〇〇	1	体 育 健 育			
2学期	国際秩序の変化や大衆化への問い	・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりの技能を身に付ける。 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	第一次世界大戦 ロシア革命とソ連の成立 ヴェルサイユ＝フシントン体制 アメリカの大衆社会 大正デモクラシーと日本社会の変化 世界恐慌 ファシズム・軍部の台頭 ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化	・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりの技能を身に付けた。 ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	〇〇〇		8	英 語	
	経済危機と第二次世界大戦	あり		〇〇〇	8				
中間考査	あり			〇〇〇	1		家 庭		
第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	国際連合と国際経済体制 冷戦の開始とアジアへの波及 敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 平和条約と日本の独立回復 アジア諸国の独立と中東戦争 アフリカ諸国の独立と第三世界の台頭 核戦争の危機から核軍縮へ 西側諸国の多極化と日本の動向	・第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。	〇〇〇	8			情 報	
冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭	あり		〇〇〇	8					
期末考査	あり			〇〇〇	1	商 業			
3学期	国際秩序の変容と21世紀の世界	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	石油危機とイスラーム復興 東南アジア・東アジアの経済成長 冷戦の終結とソ連の解体 地域紛争の頻発とアメリカの動揺 グローバル化と地域統合の動き 情報通信技術の発展と環境問題への対応	・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 ・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現できる。	〇〇〇			5	教 養
	学年末考査	あり		〇〇〇	6				
総合	あり			〇〇〇	1		そ の 他		
その他									

1年	講座名	地理総合R			単位数	2単位	1年		
					対象年次	2・3・4年次		2年	
	教科・科目名	地理歴史・地理総合	定員	30	難易度	－	3年		
	担当者名							4年	
教科書	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる （第一学習社）・標準高等地図（帝国書院）					必修			
副教材	なし						必選		
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		自選			
	世界の諸地域の現況について、空間的な状況把握と理解ができるようにする。文字情報のほか、地図や画像等の地理情報システムを用いて、様々な情報を適切に収集、分析しまとめる技能を身に付ける。	地域社会や諸活動の成り立ちについて、地理学的な見方と概念を応用して多面的・多角的に考察し、発見、構想したことを説明したり、それらを基に議論する力を養う。		地理にかかわる課題を主体的に追究し、解決しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化に対する理解と尊重することの大切さについて自覚する。			必修		
概要	1．現代世界に生じているさまざまな事象を空間に位置づけて認識し、多様性と法則性を理解する。 2．地域の成り立ちや国際関係の変遷を学び、地域的課題と地球的課題の解決に向けて関与していく意識を高める。 3．地元八王子の地形および土地利用の変遷をたどり、地域への理解を深める。					必選			
受講条件	地理総合が未履修となっている生徒						自選		
国語 公地民歴 数学 理科 体育 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	1学期	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数
		球面上の世界と地図	知 それぞれの大陸、海洋を判断できる。時差の計算ができる。 思 平面の地図と球体の地球のイメージの擦り合わせを行う。 学 必要な情報を地図から把握するとともに、地図上に表現する技法を学ぶ。	・地球の姿、大陸と海洋 ・緯度、経度 ・時差		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	
		国家の結びつきとグローバル化する社会	知 世界の国々の位置と分布を理解する。 思 国家の成立要件について考える。 学 国家の存立には流動性があることを学ぶ。	・世界の国々 ・現代世界の成り立ち		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
		中間考査	あり				〇〇〇	1	
		生活文化の多様性と国際理解	知 地域によって自然的・文化的環境が異なることを理解する。 思 自然環境が生活文化に与えている影響について考える。 学 各地域の生活様式と気候との結びつきを知ろうとする。	・大気の流れと気候 ・世界の気候区 ・世界各地の気候と生活		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	
		地球的課題と国際協力	知 地球的課題を理解する。 思 課題解決に向けた社会全体の取り組みを考えることができる。 学 SDGsの達成に向けた個人個人の取り組みを考えようとする。	・持続可能な開発目標 ・地球的課題の地理的な側面		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
		期末考査	あり				〇〇〇	1	
	2学期	自然環境と防災	知 地球の構造や主要な地形の成り立ちを理解する。 思 日本の地形および地体構造に対する理解を深める。 学 すべての地形は変動しつつあることを認識する。	・プレートテクトニクス ・大地形と造山運動		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
		八王子の地形	知 拓真高校が河岸段丘に位置することを理解する。 思 地形図から土地利用の変遷を読み取り、表現できる。 学 八王子の地域性の変化と土地利用の変化を関連させて理解する。	・河岸段丘 ・実地調査 ・八王子の土地利用		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4	
		中間考査	あり				〇〇〇	1	
		生活・文化の多様性	知 気候区分を理解し、特徴を読み取ることができる。 思 気候と生活の結びつきを考察できる。 学 気候と生活の結びつきを考えようとする。	・世界の気候区分 ・気候と生活		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	
		世界の諸地域（テーマ学習）	知 環境に適応した生活文化が営まれていることを理解する。 思 諸地域の生活様式を気候や文化と絡めて考察できる。 学 環境と生活文化の関わりを知ろうとする。	・「衣」から見る世界 ・「食」から見る世界 ・「住」から見る世界		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6	
		期末考査	あり				〇〇〇	1	
		3学期	自然災害	知 暮らしを取り巻く自然災害を理解する。 思 日本の位置と自然災害との関係を考察できる。 学 日本で自然災害が多い理由を知ろうとする。	・地球の姿、プレート ・自然災害 ・変動帯の自然と防災		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	6
防災	知 諸災害のメカニズムや、それに備える手段を理解する。 思 ハザードマップや地形図を基に避難経路を考察できる。 学 諸災害への備えや避難経路を学ぼうとする。		・災害への備え		知 授業内の課題 思 授業内の課題 態 プリントの取り組み	〇〇〇	4		
学年末考査	あり				〇〇〇	1			

1年	講座名	公共R			単位数	2単位	1年	
2年					対象年次	3・4年次	2年	
3年		教科・科目名	公民・公共	定員	30	難易度	—	3年
4年		担当者名						4年
必修 必選 自選		教科書	『公共』（実教出版）					必修 必選 自選
	副教材	なし						
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等				
	現代社会の諸課題についての考察・選択・判断の手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。		現代社会の諸課題の解決に向けて、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら、考察したことを表現する。		よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての自覚を深める。			
概要	・現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につける。 ・社会課題について事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を身につける。 ・よりよい社会の実現に向けて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度と、社会に参画する主権者としての自覚を深める。							
受講条件	公共が未履修となっている生徒 ※旧課程の「現代社会」として代替可。							
国語 公地民歴 数学 理科 体育 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
1学期	社会をつくる私たち	知 自らを成長させる人間としての在り方生き方を理解する。 思 社会の一員であることを多面的・多角的に考察し表現する。 学 社会に参画する自立した主体についての自覚を深める。	・青年期とは ・自己形成の課題	知 自らを成長させる人間としての在り方生き方を理解している。 思 社会の一員であることを多面的・多角的に考察し表現している。 態 社会に参画する自立した主体についての自覚を深めている。	〇〇〇	6		
	人間としてよく生きる	知 公正などの義務を重視する考え方について理解する。 思 地域社会の一員として生きる上で重要なことを考察する。 学 社会の一員としての生き方についての自覚を深める。	・古代ギリシャの思想 ・科学的思考の確立 ・自由の実現	知 公正などの義務を重視する考え方について理解している。 思 地域社会の一員として生きる上で重要なことを考察できる。 態 社会の一員としての生き方についての自覚を深めている。	〇〇〇	4		
	中間考査	あり				〇〇〇	1	
	他者とともに生きる	知 自身の生き方について探究することの重要性を理解する。 思 課題に対して自らも他者も納得できる解決方法を考察する。 学 他者とともに生きる存在であるという自覚を深める。	・人間と幸福 ・公正、正義	知 自身の生き方について探究することの重要性を理解している。 思 課題に対して自らも他者も納得できる解決方法を考察できる。 態 他者とともに生きる存在であるという自覚を深めている。	〇〇〇	4		
	民主社会の倫理	知 人間の尊厳と権利・義務について理解する。 思 自由と権利、責任と義務の関係について考察し、表現する。 学 他者とともに公共性を確立していくという自覚を深める。	・人間の尊厳と平等 ・自由と権利、責任と義務	知 人間の尊厳と権利・義務について理解している。 思 自由と権利、責任と義務の関係について考察し、表現している。 態 他者とともに公共性を確立していくという自覚を深めている。	〇〇〇	6		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	
2学期	民主国家における基本原理	知 民主主義の基本原則について理解する。 思 民主政治の実現方法とその課題を考察し、表現する。 学 よりよい社会の在り方を考えようとする意識をもつ。	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原則、しくみ ・世界の主な政治制度	知 民主主義の基本原則について理解している。 思 民主政治の実現方法とその課題を考察し、表現している。 態 よりよい社会の在り方を考えようとしている。	〇〇〇	4		
	日本国憲法の基本的性格	知 日本国憲法の基本原則を理解する。 思 日本の抱える防衛問題について考察し、表現する。 学 現代社会の課題について主体的に考える態度を養う。	・日本国憲法の成立 ・自由権、平等権、社会権 ・平和主義と防衛問題	知 日本国憲法の基本原則を理解している。 思 日本の抱える防衛問題について考察し、表現している。 態 現代社会の課題について主体的に向き合おうとしている。	〇〇〇	4		
	中間考査	あり				〇〇〇	1	
	日本の政治機構と政治参加	知 国会、内閣、裁判所の役割を理解する。 思 選挙や司法参加の意義について考察し、表現する。 学 自らと政治とのかわりについて自覚を深める。	・国会、内閣、裁判所 ・地方自治 ・政党政治 ・選挙制度	知 国会、内閣、裁判所の役割を理解している。 思 選挙や司法参加の意義について考察し、表現している。 態 自らと政治とのかわりについて自覚を深めている。	〇〇〇	6		
	現代の経済社会	知 経済の基本を理解する。 思 経済成長が生活とどのように関係するか考察し、表現する。 学 自らが経済主体であるという自覚を深める。	・経済主体と経済活動 ・市場のしくみ ・経済成長と国民の福祉	知 経済の基本を理解している。 思 経済成長が生活とどのように関係するか考察し、表現している。 態 自らが経済主体であるという自覚を深めている。	〇〇〇	6		
	期末考査	あり				〇〇〇	1	
3学期	経済と国民生活	知 消費者問題や労働問題について理解する。 思 社会の変化にともなう社会保障の課題を考察し、表現する。 学 現代社会の課題を主体的に解決する態度を養う。	・消費者問題 ・労働問題と労働者の権利 ・社会保障の役割	知 消費者問題や労働問題について理解している。 思 社会の変化にともなう社会保障の課題を考察し、表現している。 態 現代社会の課題を主体的に解決しようとしている。	〇〇〇	6		
	国際政治の動向と課題	知 国際社会における我が国の役割を理解する。 思 国際社会における人類の課題について考察し、表現する。 学 国際社会の一員であるという自覚を深める。	・国際社会と国際法 ・国際連合 ・人種・民族問題	知 国際社会における我が国の役割を理解している。 思 国際社会における人類の課題について考察し、表現している。 態 国際社会の一員であるという自覚を深めている。	〇〇〇	4		
	学年末考査	あり				〇〇〇	1	

1年	講座名	数学Ⅰ			単位数	3単位	1年	
2年					対象年次	1年次	2年	
3年	教科・科目名	数学・数学Ⅰ	定員	—	難易度	—	3年	
4年	担当者名						4年	
必修	教科書	高校数学Ⅰ（実教出版）					必修	
	副教材	ステップノート数学Ⅰ 新課程版（実教出版）						
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選	
		基礎的な計算ができる。 方程式や不等式等を解ける。 式からグラフがかけらる。	文章題を考えることができる。 表やグラフをよみとることができる。 どの公式を使うか判断できる。 根拠を示すことができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。			
自選	概要	1. 基礎的な計算を徹底的に習得させる指導を行う。 2. 生徒の学力に応じて、中学校で学んだ知識を復習する。また、学習目標を明確に提示し指導を行う。 3. ノート、問題集、補習プリント等を定期的に提出させ、きめ細かい指導を行う。 4. グループワークを通して自分と相手の考えを比較したり共有しあい、学びが深くなる活動を行う。					自選	
	受講条件	なし						
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	整式の計算	・文字を使った式 ・整式どうしの加法、減法、乗法		知 整式どうしを計算し整理することができる。 思 具体的な数量を式で表すことができる。 態 整式の計算方法を学び、問題を解こうとしている。	〇〇〇	12	公地民歴
		乗法公式と因数分解	・乗法公式 ・共通因数をとりだす ・因数分解の公式		知 式の展開や因数分解をすることができる。 思 使う公式を適切に判断することができる。 態 公式を使って展開や因数分解をしようとしている。	〇〇〇	12	
		中間考査				〇〇	1	
		実数	・√を含む式の計算 ・分母の有理化 ・数の範囲の拡張		知 √を含む式の計算をすることができる。 思 有理化をする意義を理解することができる。 態 数の体系に関心を持ち、理解を深めようとしている。	〇〇〇	12	
		方程式と不等式	・1次方程式を解く ・不等式、不等式の性質 ・不等式の解き方、不等式の利用		知 方程式や不等式を解くことができる。 思 事象を数学的に捉え、1次不等式で表すことができる。 態 具体的な事象の考察に1次不等式を活用しようとしている。	〇〇〇	12	
		期末考査				〇〇	1	
数学	2学期	関数とグラフ	・1次関数のグラフ ・2次関数のグラフ ・平方完成 ・1人一台端末の活用		知 1次関数や2次関数のグラフをかくことができる。 思 2次関数のグラフの平行移動について考察することができる。 態 身の回りの物を関数として捉えようとしている。	〇〇〇	22	数学
		中間考査				〇〇	1	
		2次関数の値の変化	・2次関数の最大値と最小値を求める ・2次関数の利用 ・2次関数のグラフとx軸の共有点を求める ・2次不等式を解く		知 2次関数の最大値、最小値を求めることができる。 思 2次関数のグラフとx軸との共有点について考えることができる。 態 2次関数の考え方を利用して2次不等式を解こうとしている。	〇〇〇	22	
		期末考査				〇〇	1	
理科	3学期	三角比	・相似な三角形、三平方の定理 ・sinA、cosA、tanA ・三角比の表 ・地域探究課題		知 直角三角形について、三角比の値を求めることができる。 思 三角比を利用して高さや距離が求められることを考察できる。 態 校舎の高さや2点間の距離を三角比を用いて調べようとしている。	〇〇〇	10	理科
		三角比の応用	・鈍角の三角比 ・三角形の面積		知 鈍角の三角比の値を求めることができる。 思 三角形の面積を三角比を用いて考察することができる。 態 鈍角の三角比を鋭角の三角比を振り返って考えようとしている。	〇〇〇	10	
		学年末考査				〇〇	1	
体育健								体育健
芸術								芸術
英語								英語
家庭								家庭
情報								情報
商業								商業
教養								教養
総合								総合
その他								その他

1 年	講座名	数学 A（必修選択）			単位数	3 単位	1 年	
					対象年次	2 年次		
	2 年	教科・科目名	数学・数学 A	定員	—	難易度	—	2 年
	担当者名							
	3 年	教科書	高校数学 A（実教出版）					3 年
副教材	ステップノート数学 A 新課程版（実教出版）							
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年	
		順列・組合せの計算ができる。 簡単な確率を求めることができる。 図形の性質を理解することができる。	文章題を考えることができる。 身の回りの事象から確率を求めることができる。 図形の性質を考察し説明することができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。			
必修 必選	概要	数学の中で特に日常生活に直結する事項である場合の数、確率を中心に学ぶ。加えて数学的な見方考え方を学ぶために、図形の性質についても取り組む。 前半：①集合 ②順列・組合せ ③確率 後半：④図形の性質						必修 必選
	受講条件	数学 I を履修済み・あるいは並行履修していること。						
自選								自選
国語								国語
公地 民歴								公地 民歴
数学								数学
理科								理科
体育 健								体育 健
芸術								芸術
英語								英語
家庭								家庭
情報								情報
商業								商業
教養								教養
総合								総合
その他								その他

1年	講座名	実践数学（必修選択）			単位数	2単位	1年				
					対象年次	3年次					
		教科・科目名	数学・実践数学（学校設定）	定員	—	難易度		☆☆	2年		
		担当者名									
		教科書						3年			
副教材	完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング（実教出版）										
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			4年					
	数学Ⅰの分野において 1 公式を使い分けて計算ができる。 2 図形をかいて角や辺の長さを求められる。 3 様々なデータを読み取ることができる。	数学Ⅰの分野において 1 文章題を読んで、式で表すことができる。 2 表やグラフをよみとり、式やグラフで表せる。 3 公式を状況に応じて使い分けることができる。	授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。								
概要	1 SPI(就職試験)レベルの数学Ⅰを扱う。 2 SPI(就職試験)の思考力問題も必要に応じて扱う。 3 演習中心の授業になるため、自主的な学びの姿勢を要する。						必修				
	受講条件	必修選択で実践数学を受講する者は、自由選択の実践数学を選ぶことはできない。						必選			
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数		国語		
	1学期	数の計算 比率と割合・比例 と反比例	知 四則計算の規則にしたがって、値を求められるようになる。 思 比率・割合から値を求められるようになる。 学 文章題から数量を求めようとする。	・四則やかつこの混じった式の計算 ・小数の計算 ・比率・割合	知 四則計算の規則にしたがって、値を求められる。 思 比率・割合から値を求められる。 態 文章題から数量が求められる。	〇〇〇	8	公地民歴			
文字式・整式の計算 乗法公式による展開と 因数分解		知 整式の計算、展開と因数分解ができるようになる。 思 公式を適切に判断することができるようになる。 学 さまざまな展開や因数分解を解こうとする。	・文字の表し方 ・指数法則と乗法公式 ・因数分解の公式	知 整式の計算、展開と因数分解ができる。 思 公式を適切に判断することができるようになる。 態 さまざまな展開や因数分解を解ける。	〇〇〇	8	数学				
中間考査					〇〇	1					
無理数の計算 1次方程式		知 平方根の計算や1次方程式を解くことができるようになる。 思 有理化をする意義を理解することができるようになる。 学 具体的な事象の考察して、1次方程式を活用しようとする。	・平方根の計算 ・分母の有理化 ・1次方程式と連立方程式の解き方	知 平方根の計算や1次方程式を解くことができる。 思 有理化をする意義を理解することができるようになる。 態 具体的な事象の考察して、1次方程式を活用する。	〇〇〇	8			理科		
2次方程式 不等式		知 2次方程式や不等式を解くことができるようになる。 思 放物線をかいて、2次不等式を解くことができるようになる。 学 数直線から考察して、連立不等式を解こうとする。	・2次方程式の解き方 ・1次不等式・連立不等式の解き方 ・2次不等式の解き方	知 2次方程式や不等式を解くことができる。 思 放物線をかいて、2次不等式を解くことができる。 態 数直線から考察して、連立不等式が解ける。	〇〇〇	10				体育健	
期末考査					〇〇	1					
2学期	1次関数とグラフ 2次関数とグラフ	知 1次関数や2次関数の式や交点の座標を求めることができるようになる。 思 直線と放物線の平行移動について、考察することができるようになる。 学 直線と放物線の交点の座標を、グラフから理解できるようになる。	・1次関数の関数のグラフ ・2直線の交点 ・2次関数のグラフ ・放物線と直線の交点	知 1次関数や2次関数の式や交点の座標を求めることができる。 思 直線と放物線の平行移動について、考察することができるようになる。 態 直線と放物線の交点の座標を、グラフから理解できる。	〇〇〇	10		芸術			
	図形と角・合同な図形・ 平行線と線分の比 図形の面積・体積	知 平行線の性質を利用して角の大きさを求めることができるようになる。 思 図形の性質を利用して、図形の合同を証明しようとする。 学 複雑な図形から、表面積や体積を求めようとする。	・図形と角 ・合同な図形 ・図形の面積 ・立体の表面積と体積	知 平行線の性質を利用して角の大きさを求めることができる。 思 図形の性質を利用して、図形の合同を証明できる。 態 複雑な図形から、表面積や体積を求めることができる。	〇〇〇	10	英語				
	中間考査				〇〇	1					家庭
	三角比 集合と要素・命題 と証明	知 三角比の定義から、三角比の値を求めることができるようになる。 思 三角形の辺の長さや面積を、三角比を用いて考察することができるようになる。 学 集合を利用して、命題の真偽を調べようとする。	・三角比の定義と相互関係 ・正弦定理・余弦定理・三角形の面積 ・集合と要素 ・命題と証明	知 三角比の定義から、三角比の値を求めることができる。 思 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 態 集合を利用して、命題の真偽を調べようとする。	〇〇〇	10			情報		
	期末考査				〇〇	1				商業	
	3学期	表の読み取り・資料の整理	知 基本的なデータから代表値の値を求めようとする。 思 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察しようとする。 学 事象をデータの分析の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決に向けて活用しようとする。	・表の読み取り・資料の整理	知 基本的なデータから代表値の値を求めようとする。 思 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 態 事象をデータの分析の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決に向けて活用できる。	〇〇〇					
学年末考査					〇〇	1		総合 その他			

1年	講座名	わかる数学			単位数	2単位	1年		
					対象年次	1・2・3・4年次		2年	
2年	教科・科目名	数学・わかる数学（学校設定）	定員	15	難易度	☆	3年		
3年	担当者名							4年	
	教科書	なし							
4年	副教材	なし					必修		
	目標	知識及び技能 数の基本的な計算ができる。 文字式の計算ができる。 方程式を解くことができる。	思考力、判断力、表現力等 計算方法を考察できる。 具体的な事象を数学的に考えられる。 問題解決の過程を振り返ることができる。	学びに向かう力、人間性等 粘り強くプリント学習に取り組める。 意欲的に学習内容を振り返ることができる。				必選	
自選	概要	主として小学校・中学校で学んだ数学のうち、基本的と思われる内容の基礎的な部分から学び直すことを主目的とする。各自の理解度に差があると思われるので、プリント学習を基本として授業を進める。 ①数の基本演算のしくみ ②小数・分数の成り立ちと応用 ③量の性質 ④文字式の計算 ⑤方程式 ⑥思考・判断・表現を必要とする問題					自選		
	受講条件	以下の2つの条件を満たすこと。 ①数学の苦手な者。 ②小学校の基礎的な計算から学び直すという意欲・忍耐力のある者。							
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	数学	1学期	数の計算 知 2～3桁のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができるようにする。 学 粘り強くプリント学習に取り組める。	・2～3桁のたし算 ・2～3桁のひき算 ・2～3桁のかけ算 ・2～3桁のわり算	知 2～3桁のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	○ ○	8	公地民歴	
		思考問題	思 計算方法を考察して四則演算を判断することができるようにする。 学 意欲的に学習内容を振り返ることができる。	・思考力プリント ・振り返りプリント	思 計算方法を考察して四則演算を判断することができる。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	○ ○	8	数学	
		中間考査	なし	なし	なし				
		四則計算	知 四則が混ざった計算ができるようにする。 学 粘り強くプリント学習に取り組める。	・四則の混ざった計算	知 四則が混ざった計算ができる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	○ ○	8		理科
		思考問題	思 計算方法を考察して四則演算を判断することができるようにする。 学 意欲的に学習内容を振り返ることができる。	・思考力プリント ・振り返りプリント	思 計算方法を考察して四則演算を判断することができる。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	○ ○	8		体育健
		期末考査	なし	なし	なし			芸術	
英語	家庭	2学期	分数の計算 知 分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができるようにする。 学 粘り強くプリント学習に取り組める。	・分数のたし算 ・分数のひき算 ・分数のかけ算 ・分数のわり算	知 分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	○ ○	8	英語	
		思考問題	思 具体的な事象を数学的に考えることができるようにする。 学 意欲的に学習内容を振り返ることができる。	・思考力プリント ・振り返りプリント	思 具体的な事象を数学的に考えることができる。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	○ ○	8	家庭	
		中間考査	なし	なし	なし			情報	
		分数の四則計算	知 四則が混ざった分数の計算ができるようにする。 学 粘り強くプリント学習に取り組める。	・四則の混ざった分数の計算	知 四則が混ざった分数の計算ができる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	○ ○	8		商業
		思考問題	思 具体的な事象を数学的に考えることができるようにする。 学 意欲的に学習内容を振り返ることができる。	・思考力プリント ・振り返りプリント	思 具体的な事象を数学的に考えることができる。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	○ ○	8		教養
		期末考査	なし	なし	なし				総合
その他	その他	3学期	文字と式、平方根 知 文字式や平方根の計算ができるようにする。 学 粘り強くプリント学習に取り組める。	・文字式の計算 ・平方根の計算	知 文字式や平方根の計算ができる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	○ ○	7	その他	
		思考問題	思 自らの思考過程を振り返ることができるようにする。 学 意欲的に学習内容を振り返ることができる。	・思考力プリント ・振り返りプリント	思 自らの思考過程を振り返ろうとしている。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	○ ○	7		
		学年末考査	なし	なし	なし				

1年	講座名	数学演習			単位数	2単位	1年									
					対象年次	3・4年次		2年								
		教科・科目名	数学・数学演習（学校設定）	定員	30	難易度			☆☆☆☆	3年						
		担当者名							4年							
		教科書									必修					
副教材	新課程 基本と演習テーマ 数学Ⅰ+A（数研出版）					必修										
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。	2単位		自選									
	式の計算をすることができる。 方程式や不等式を解くことができる。 2次関数のグラフをかくことができる。 データの分析をすることができる。	式を多面的に考察することができる。 図やグラフを用いていろいろな性質を表現することができる。 どの公式を使うか判断することができる。 根拠を示すことができる。														
概要	主に数学Ⅰの内容を扱う。1年次に学習した内容を発展させていく。 前半：数と式、2次関数 後半：図形と計量、データの分析							自選								
受講条件	①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②数学Ⅰの評価・評定が4以上であることが望ましい。 ③進学希望で、数学が必要な者。（大学進学や医療系専門学校など） ※旧課程生も 学校設定科目 として受講可								自選							
国語	1学期	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態				配当時数	国語					
		式の計算	知 式の展開や因数分解ができるようになる。 思 式を多面的に考察し、展開や因数分解の工夫を試行することができるようになる。 学 式の展開や因数分解をしようとする。	・整式の加減乗法 ・式の展開と因数分解	知 式の展開や因数分解ができる。 思 工夫して式の展開や因数分解ができる。 学 式の展開や因数分解をしようとしている。	〇〇〇	8			公地民歴						
	実数 1次不等式	知 実数について理解し、根号を含む式の計算や方程式・不等式を解くことができるようになる。 思 数直線を用いて、方程式や不等式の解を考察できるようになる。 学 実数に対する理解を深めようとする。	・実数 ・根号を含む式の計算 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	知 根号を含む式の計算やいろいろな方程式・不等式を解くことができる。 思 数直線を用いて、方程式や不等式の解を考察できる。 学 実数に対する理解を深めようとしている。	〇〇〇	8	数学									
	中間考査				〇〇	1		理科								
	集合	知 集合に関する基本事項を理解し、いろいろな集合を求めることができるようになる。 思 図を用いて、集合の性質を考察できるようにする。 学 いろいろな集合を求めようとする。	・集合に関する基本事項	知 いろいろな集合を求めることができる。 思 図を用いて、集合の性質を考察できる。 学 いろいろな集合を求めようとしている。	〇〇〇	6			体育健							
	命題と証明	知 命題の基本事項を理解し、命題の真偽を判定することができるようになる。 思 集合の考え方をを用いて、命題の真偽や必要条件・十分条件を考察することができるようになる。 学 命題の対偶や背理法の考え方をを用いて、与えられた命題を証明しようとする。	・命題と条件 ・命題とその逆、裏、対偶 ・命題と証明 ・ $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明	知 命題の真偽を判定することができる。 思 集合の考え方をを用いて、命題の真偽や必要条件・十分条件を考察できる。 学 命題の対偶や背理法の考え方をを用いて、与えられた命題を証明しようとしている。	〇〇〇	12						芸術				
	期末考査				〇〇	1							英語			
	2学期	2次関数とそのグラフ 2次関数の値の変化	知 2次関数のグラフをかいたり、2次関数の値を求めたりできるようにする。 思 関数に値を代入して、グラフの平行移動や対称移動を考察できるようにする。 学 グラフをかいたり代入計算をしたりして、2次関数に対する理解を深めようとする。	・2次関数のグラフ ・グラフの平行移動、対称移動 ・2次関数の最大、最小 ・2次関数の決定	知 2次関数のグラフをかいたり、2次関数の値を求めたりすることができる。 思 関数に値を代入して、グラフの平行移動や対称移動を考察できる。 学 グラフをかいたり代入計算をしたりして、2次関数に対する理解を深めようとしている。	〇〇〇								10	家庭	
		2次方程式と2次不等式	知 2次不等式を解くことができるようになる。 思 2次関数のグラフや2次方程式の考え方を利用して、2次不等式の解法を考察できるようにする。 学 2次関数のグラフを用いて、2次不等式を解こうとする。	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	知 2次不等式を解くことができる。 思 2次関数のグラフや2次方程式の考え方を利用して、2次不等式の解法を考察できる。 学 2次関数のグラフを用いて、2次不等式を解こうとしている。	〇〇〇								10		情報
		中間考査				〇〇								1		
三角比		知 直角三角形や表を用いて、三角比を求めることができるようになる。 思 同一角に対する3つの三角比の関係を考えたり、鋭角の三角比から鈍角の三角比を求めることができる。 学 課題解決に三角比を利用しようとする。	・三角比に関する基本事項 ・三角比の相互関係 ・鈍角への拡張	知 三角比を求めることができる。 思 三角比の相互関係や鈍角の三角比を考察できる。 学 課題解決に三角比を利用しようとしている。	〇〇〇	5					教養					
三角形への応用		知 正弦定理や余弦定理を理解し、それらを用いて三角形の辺や角を求めることができるようになる。 思 三角比を通して、三角形の辺と角の関係を考察できるようにする。 学 三角比を用いて、三角形の辺や角を求めようとする。	・正弦定理、余弦定理とその応用 ・三角比を用いた三角形の面積の求め方 ・空間図形への応用	知 正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺や角を求めることができる。 思 三角比を用いて、三角形の辺と角の関係を考察できる。 学 三角比を用いて、三角形の辺や角を求めようとしている。	〇〇〇	5				総合						
期末考査					〇〇	1	その他									
3学期	データの分析	知 目的に応じて、データの特徴を数値化することができるようになる。 思 数値や言葉を使って、データの特徴や傾向を表現することができるようになる。 学 適切な手法を用いて、データの分析をしようとする。	・データの代表値 ・データの四分位数 ・データの分散と標準偏差 ・散布図、相関係数 ・仮説検定の考え方	知 目的に応じて、データの特徴を数値化することができるようになる。 思 数値や言葉を使って、データの特徴や傾向を表現することができる。 学 適切な手法を用いて、データの分析をしようとしている。	〇〇〇	9		その他								
	学年末考査				〇〇	1										

講座名		実践数学（自選）			単位数	2単位
					対象年次	3・4年次
教科・科目名	数学・実践数学（学校設定）	定員	30	難易度	☆☆	
担当者名						
教科書						
副教材	完全攻略 高校生の基礎数学トレーニング（実教出版）					
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
	数学Ⅰの分野において 1 公式を使い分けて計算ができる。 2 図形をかくて角や辺の長さを求められる。 3 様々なデータを読み取ることができる。	数学Ⅰの分野において 1 文章題を読んで、式で表すことができる。 2 表やグラフをよみとり、式やグラフで表せる。 3 公式を状況に応じて使い分けることができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。		
概要	1 SPI(就職試験)レベルの数学Ⅰを扱う。 2 SPI(就職試験)の思考力問題も必要に応じて扱う。 3 演習中心の授業になるため、自主的な学びの姿勢を要する。					
受講条件	①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②3年必修選択で実践数学を選択している者は受講できない。 ※旧課程生も 学校設定科目 として受講可					
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	数の計算 比率と割合・比例 と反比例	知 四則計算の規則にしたがって、値を求められるようになる。 思 比率・割合から値を求められるようになる。 学 文章題から数量を求めようとする。	・四則やかつこの混じった式の計算 ・小数の計算 ・比率・割合	知 四則計算の規則にしたがって、値を求められる。 思 比率・割合から値を求められる。 学 文章題から数量が求められる。	〇〇〇	8
	文字式・整式の計算 乗法公式による展開と 因数分解	知 整式の計算、展開と因数分解ができるようになる。 思 公式を適切に判断することができるようになる。 学 さまざまな展開や因数分解を解こうとする。	・文字の表し方 ・指数法則と乗法公式 ・因数分解の公式	知 整式の計算、展開と因数分解ができる。 思 公式を適切に判断することができる。 学 さまざまな展開や因数分解を解ける。	〇〇〇	8
	中間考査				〇〇	1
	無理数の計算 1次方程式	知 平方根の計算や1次方程式を解くことができるようになる。 思 有理化をする意義を理解することができるようになる。 学 具体的な事象の考察して、1次方程式を活用しようとする。	・平方根の計算 ・分母の有理化 ・1次方程式と連立方程式の解き方	知 平方根の計算や1次方程式を解くことができる。 思 有理化をする意義を理解することができる。 学 具体的な事象の考察して、1次方程式を活用する。	〇〇〇	8
	2次方程式 不等式	知 2次方程式や不等式を解くことができるようになる。 思 放物線をかくて、2次不等式を解くことができるようになる。 学 数直線から考察して、連立不等式を解こうとする。	・2次方程式の解き方 ・1次不等式・連立不等式の解き方 ・2次不等式の解き方	知 2次方程式や不等式を解くことができる。 思 放物線をかくて、2次不等式を解くことができる。 学 数直線から考察して、連立不等式が解ける。	〇〇〇	10
	期末考査				〇〇	1
2学期	1次関数とグラフ 2次関数とグラフ	知 1次関数や2次関数の式や交点の座標を求めることができるようになる。 思 直線と放物線の平行移動について、考察することができるようになる。 学 直線と放物線の交点の座標を、グラフから理解できるようになる。	・1次関数の関数のグラフ ・2直線の交点 ・2次関数のグラフ ・放物線と直線の交点	知 1次関数や2次関数の式や交点の座標を求めることができる。 思 直線と放物線の平行移動について、考察することができる。 学 直線と放物線の交点の座標を、グラフから理解できる。	〇〇〇	10
	図形と角・合同な図形・ 平行線と線分の比 図形の面積・体積	知 平行線の性質を利用して角の大きさを求めることができるようになる。 思 図形の性質を利用して、図形の合同を証明しようとする。 学 複雑な図形から、表面積や体積を求めようとする。	・図形と角 ・合同な図形 ・図形の面積 ・立体の表面積と体積	知 平行線の性質を利用して角の大きさを求めることができる。 思 図形の性質を利用して、図形の合同を証明できる。 学 複雑な図形から、表面積や体積を求めることができる。	〇〇〇	10
	中間考査				〇〇	1
	三角比 集合と要素・命題 と証明	知 三角比の定義から、三角比の値を求めることができるようになる。 思 三角形の辺の長さや面積を、三角比を用いて考察することができるようになる。 学 集合を利用して、命題の真偽を調べようとする。	・三角比の定義と相互関係 ・正弦定理・余弦定理・三角形の面積 ・集合と要素 ・命題と証明	知 三角比の定義から、三角比の値を求めることができる。 思 三角形の辺の長さや面積を、三角比を用いて考察できる。 学 集合を利用して、命題の真偽を調べようとする。	〇〇〇	10
	期末考査				〇〇	1
3学期	表の読み取り・資料の 整理	知 基本的なデータから代表値の値を求めようとする。 思 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察しようとする。 学 事象をデータの分析の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決に向けて活用しようとする。	・表の読み取り・資料の整理	知 基本的なデータから代表値の値を求めることができる。 思 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察できる。 学 事象をデータの分析の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決に向けて活用できる。	〇〇〇	8
	学年末考査				〇〇	1

1 年	講座名	数学 A（自選）			単位数	2 単位	1 年		
					対象年次	3・4 年次			
	教科・科目名	数学・数学 A	定員	30	難易度	☆☆	2 年		
	担当者名								
	教科書	高校数学 A（実教出版）					3 年		
副教材	ステップノート数学 A 新課程版（実教出版）								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年		
		順列・組合せの計算ができる。 簡単な確率を求めることができる。 図形の性質を理解することができる。	文章題を考えることができる。 身の回りの事象から確率を求めることができる。 図形の性質を考察し説明することができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。				
必修	概要	数学の中で特に日常生活に直結する事項である場合の数、確率を中心に学ぶ。加えて数学的な見方考え方を学ぶために、図形の性質についても取り組む。 前半：①集合 ②順列・組合せ ③確率 後半：④図形の性質						必修	
必選	受講条件	数学 I を履修済み・あるいは並行履修していること ①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②3年次は、2 年必修選択で数学 A を選択している者は受講することができない。 ※旧課程の数学 A として受講可						自選	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地 民歴	1 学期	集合	知 いろいろな集合を求めることができるようになる。 思 具体的な事象を、集合を用いて考えることができるようになる。 学 集合や要素の意味を積極的に理解しようとする。	・集合と要素 ・集合と要素の個数		知 全体集合や補集合などのいろいろな集合を求めることができる。 思 具体的な事象を、集合の要素の個数を用いて考えることができる。 態 集合や要素の意味を積極的に理解しようとしている。	〇〇〇	6	公地 民歴
		場合の数	知 二つの事柄が起こる場合の数を求めることができるようになる。 思 身の回りの事例の場合の数を考えることができるようになる。 学 和の法則や積の法則を積極的に理解しようとする。	・樹形図 ・和の法則 ・積の法則		知 和の法則や積の法則を用いて、場合の数を求めることができる。 思 和の法則や積の法則、樹形図などを利用して具体的な事例の場合の数を考えることができる。 態 和の法則や積の法則を積極的に理解しようとしている。	〇〇〇	6	数学
		中間考査					〇〇	1	
		順列	知 順列の総数を求めることができるようになる。 思 円順列や重複順列を考察することができるようになる。 学 順列の計算方法を積極的に理解しようとする。	・順列 ・円順列 ・重複順列		知 順列の総数を求めることができる。 思 円順列や重複順列の考えにもとづいて、場合の数を求めることができる。 態 順列の計算方法を積極的に理解しようとしている。	〇〇〇	7	
		組合わせ	知 組合せの総数を求めることができるようになる。 思 組合せと順列の違いを考察することができるようになる。 学 組合せの計算方法を積極的に理解しようとする。	・組合せ ・組合せの利用		知 組合せの総数を求めることができる。 思 組合せと順列の違いを理解し、適切に用いることができる。 態 組合せの計算方法を積極的に理解しようとしている。	〇〇〇	7	
		期末考査					〇〇	1	
英語	2 学期	確率	知 組合せを用いて、確率を求めることができるようになる。 思 確率を求める場合に、余事象の考えを活用することができるようになる。 学 身の回りの事象の確率に関心をもち、理解しようとする。	・確率 ・排反事象の確率 ・余事象を利用する確率		知 組合せを用いて、確率を求めることができる。 思 余事象を利用して、確率を求めることができる。 態 身の回りの事象の確率に関心をもち、理解しようとしている。	〇〇〇	10	
		独立な試行と反復試行	知 反復試行の確率を求めることができるようになる。 思 反復試行を求める式の見方や考え方が分かるようになる。 学 反復試行の確率に関心をもち、その確率を求めようする。	・独立な試行 ・反復試行		知 反復試行の確率を求めることができる。 思 反復試行が独立な試行の繰り返しとして考察することができる。 態 反復試行の確率に関心をもち、その確率を求めようとしている。	〇〇〇	10	家庭 情報 商業 教養 総合 その他
		中間考査					〇〇	1	
		条件付き確率と期待値	知 条件付き確率の意味を理解し、その確率を求めることができるようになる。 思 期待値を意思決定に活用することができるようになる。 学 条件付き確率や期待値に関心をもち、その確率を求めようとする。	・条件付き確率 ・期待値		知 簡単な場合の条件付き確率を求めることができる。 思 具体的な事象の期待値を求め、その結果を考察することができる。 態 条件付き確率や期待値に関心をもち、それらを求めようとしている。	〇〇〇	10	
		三角形の性質	知 三角形のいろいろな線分の長さを求めることができるようになる。 思 三角形の性質について考察することができるようになる。 学 外心・内心・重心に関心をもち、三角形との関係を理解しようとする。	・三角形の角と線分の比 ・三角形の外心・内心・重心		知 三角形のいろいろな線分の長さを求めることができる。 思 三角形の性質を考察することができる。 態 外心・内心・重心に関心をもち、三角形との関係を理解しようとしている。	〇〇〇	9	
		期末考査					〇〇	1	
総合	3 学期	円の性質	知 円の性質を用いて、いろいろな角の大きさを求めることができるようになる。 思 二つの円の位置関係を考察することができるようになる。 学 円に内接する四角形の性質を理解しようとする。	・円周角 ・円の接線 ・方べきの定理 ・二つの円		知 円の性質を用いて、いろいろな角の大きさを求めることができる。 思 二つの円の位置関係について、中心間の距離を考えることができる。 態 円に内接する四角形の性質を理解しようとしている。	〇〇〇	4	
		空間図形	知 空間における直線や平面の位置関係を理解することができるようになる。 思 立体の性質を考察することができるようになる。 学 多面体や正多面体を理解しようとする。	・空間における直線と平面 ・多面体		知 空間における直線や平面の位置関係を理解することができる。 思 多面体の頂点の数・辺の数・面の数の間に成り立っている関係を調べることができる。 態 多面体や正多面体を理解しようとしている。	〇〇〇	4	
		学年末考査					〇〇	1	

1 年	講座名	数学Ⅱ			単位数	4単位	1 年			
					対象年次	2・3・4年次				
		教科・科目名	数学・数学Ⅱ	定員	30	難易度		☆☆☆☆	2 年	
		担当者名								
		教科書	高校数学Ⅱ（実教出版）					3 年		
副教材	ステップノート数学Ⅱ 新課程版（実教出版）									
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		4 年					
	複素数の範囲で四則計算ができる。 直線の方程式を求めることができる。 いろいろな関数のグラフをかくことができる。 基礎的な微積分の計算ができる。	等式や不等式が成り立つことを証明できる。 図形の性質や位置関係を考察できる。 関数の式とグラフの関係について考察できる。 微分と積分の関係を考察することができる。	授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。							
概要	数と式では複素数、整式の除法を利用した高次方程式の解法や分数式の扱いを学ぶ。また方程式と図形の関係を知る。三角比は三角関数としてグラフや応用問題に取り組む。いろいろな関数の代表として指数・対数関数の基礎を学び、数学Ⅲへの導入として微分・積分の基礎的な知識を身につける。 前半：①複素数 ②高次方程式 ③式と証明 ④点と直線 ⑤円の方程式 ⑥不等式の表す領域 後半：①三角関数 ②指数・対数関数 ③微分係数と導関数 ④導関数の応用 ⑤積分とその応用					必修 必選 自選				
受講条件	①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②数学Ⅰを修得していること。評価・評定が4以上であることが望ましい。 ③進学希望で、数学Ⅱが必要な者。加えて、数学Aを受講することが望ましい。 ※旧課程の数学Ⅱとして受講可									
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準			知 思 態	配当時数	国語	
公地 民歴	1学期	式の計算	知 整式の計算及び分数式の計算ができるようになる。 思 式の計算方法を既に学習した数や式の計算から考察することができるようになる。 学 きまりや公式を用いて、整式や分数式を整理しようとする。	・乗法公式と因数分解公式 ・二項定理を用いた整式の展開 ・分数式の加法・減法	知 整式や分数式の四則計算ができる。 思 使う公式を適切に判断することができる。 態 きまりや公式を用いて、式を整理しようとしている。		〇〇〇	15	公地 民歴	
		複素数と2次方程式	知 複素数の範囲で二次方程式を解くことができるようになる。 思 二次方程式と解の係数の間に成り立つ関係を考察することができるようになる。 学 複素数の範囲で二次方程式の解を求めようとする。	・複素数の四則計算 ・複素数の範囲で二次方程式を解く ・二次方程式の解と係数の関係の利用	知 複素数の範囲で二次方程式を解くことができる。 思 二数の和と積から、それらを解に持つ二次方程式を考えることができる。 態 複素数の範囲で二次方程式の解を求めようとしている。		〇〇〇	16	数学	
	中間考査				〇〇	1	理科			
	高次方程式	知 高次方程式を解くことができるようになる。 思 わられる式、わる式、商、余りの関係を、等式を用いて考えることができるようになる。 学 因数定理を用いて積極的に高次方程式を解こうとしている。	・整式の除法 ・剰余の定理、因数定理の利用 ・高次方程式を解く	知 高次方程式を解くことができる。 思 因数定理を利用して高次方程式の解き方を考えることができる。 態 因数定理を用いて積極的に高次方程式を解こうとする。	〇〇〇	16		体育 健		
	直線の方程式	知 直線を方程式で表すことができるようになる。 思 直線の方程式と図形を関連づけることができるようになる。 学 座標平面上の直線に興味をもち、傾きや切片の意味を理解しようとする。	・2点間の距離、内分点、外分点 ・三角形の重心 ・直線の方程式	知 座標平面上の直線を方程式で表すことができる。 思 平行な直線や垂直な直線について考察することができる。 態 直線の方程式に興味をもち、いろいろな直線を式で表そうとしている。	〇〇〇	16				芸術
	期末考査				〇〇	1				
	2学期	円の方程式と領域	知 円の方程式を表すことができるようになる。 思 円の方程式と直線の方程式をもとに、円と直線の位置関係について考察することができるようになる。 学 円という図形に興味をもち、円の方程式を理解しようとする。	・円の方程式 ・円と直線の共有点の個数を求める ・軌跡 ・領域	知 座標平面上の円を方程式で表すことができる。 思 円と直線の共有点を求めることができ、位置関係を考察することができる。 態 円という図形に興味をもち、円の方程式を理解しようとしている。	〇〇〇		16	家庭	
三角関数		知 三角関数のグラフを活用しながら、三角関数の値を定義にしたがって求めることができる。 思 三角関数の性質と加法定理について考察することができるようになる。 学 一般角で定義された三角関数の値を求めようとする。	・一般角 ・三角関数の相互関係の利用 ・三角関数の性質とグラフ ・1人一台端末の活用	知 三角関数の値を定義にしたがって求めることができる。 思 三角関数の性質について考察するとともに、加法定理から新たな性質を導くことができる。 態 一般角で定義された三角関数の値を求めようとしている。	〇〇〇	16	情報			
中間考査					〇〇	1		商業		
指数関数		知 指数法則を用いて数や式の計算ができるようになる。 思 指数関数の式とグラフを関連づけ、考察することができるようになる。 学 身の回りにある指数関数で表されるものに興味をもち、グラフに表そうとする。	・指数の拡張 ・指数法則を用いた式の計算 ・指数関数のグラフ	知 指数法則を用いて数や式の計算ができる。 思 指数関数のグラフを利用して、数の大小を考えることができる。 態 身の回りにある指数関数で表されるものをグラフに表わそうとしている。	〇〇〇	16				教養
対数関数		知 対数の性質を用いて対数の計算ができるようになる。 思 対数関数の式とグラフを関連づけ、考察することができるようになる。 学 対数の意味を理解し、いろいろな問題に利用しようとする。	・対数の性質 ・対数関数のグラフ ・常用対数	知 対数の性質を用いて対数の計算ができる。 思 対数関数のグラフを利用して、数の大小を考えることができる。 態 常用対数を用いて、大きな数の桁数を求めようとする。	〇〇〇	16	総合 その他			
期末考査					〇〇	1				
3学期	微分	知 微分を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができるようになる。 思 関数とその導関数との関係について考察することができるようになる。 学 導関数の考え方に興味を持ち、それを求めようとする。	・微分係数と導関数 ・接線 ・関数の極大・極小	知 微分を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 思 関数とその導関数との関係について考察し、グラフの概形を表すことができる。 態 導関数をそれを求めようとしている。	〇〇〇	12		その他		
	積分	知 積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の積分の値を求めることができるようになる。 思 面積の求め方を、定積分と関連づけて考えることができるようになる。 学 積分に関心を持ち、定積分や不定積分を求めようとする。	・定積分 ・不定積分 ・面積	知 関数の定数倍、和及び差の積分の値を求めることができる。 思 積分を利用して、直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。 態 定積分や不定積分を求めようとする。	〇〇〇	12				
	学年末考査				〇〇	1				

1 年	講座名	数学Ⅲ			単位数	4単位	1 年			
					対象年次	3・4年次				
		教科・科目名	数学・数学Ⅲ	定員	30	難易度		☆☆☆☆	2 年	
		担当者名								
		教科書	最新 数学Ⅲ（数研出版）					3 年		
副教材	3 ROUND（数研出版）									
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年				
	いろいろな関数の特徴を理解し、それらのグラフをかくことができる。 数列や関数の値の極限を理解し、求めることができる。 いろいろな関数の導関数を求めることができる。 不定積分や定積分を求めることができる。	既習の関数から、いろいろな関数の特徴やグラフを考察することができる。 数列や関数の値の変化に着目し、極限を求める方法を考察することができる。 導関数の定義に基づき、いろいろな関数の導関数を考察することができる。 微分法を用いて、事象を数学的に解決することができる。 微分と積分の関係に着目し、積分法を考察することができる。 積分法を用いて、事象を数学的に解決することができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。						
必修 必選 自選	概要	数学Ⅱを学んだ後に、学ぶ科目である。数学Ⅱの内容をさらに発展、充実させたものになる。具体的には、「極限」「微分法」「積分法」を学ぶ。 「極限」では、新たに分数関数や無理関数を学び、数列や関数の値の極限を扱う。「微分法」や「積分法」では、数学Ⅱで学んだことを基に、扱う関数が増える。 前半：分数関数や無理関数、合成関数と逆関数、数列や関数の極限 後半：微分法とその応用、積分法とその応用					必修 必選 自選			
	受講条件	①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②数学Ⅱを修得していること。 ③理系大学進学を目指しており、進学に数学Ⅲが必要である者。加えて、数学Cを受講することが望ましい。 ※旧課程の数学Ⅲとして受講可（ただし、新課程の数学Ⅲ及び数学Cの受講が必要）								
	国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態		配当時数	国語	
	公地 民歴	1学期	分数関数 無理関数	知 分数関数や無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、そのグラフをかくことができるようになる。 思 既習の関数と関連付けて、分数関数や無理関数のグラフを考察することができるようになる。 学 分数関数や無理関数のグラフをかこうとする。	・分数関数とそのグラフ ・無理関数とそのグラフ	知 分数関数や無理関数のグラフをかくことができる。 思 既習の関数と関連付けて、分数関数や無理関数のグラフを考察することができる。 学 分数関数や無理関数のグラフをかこうとしている。		〇〇〇	18	公地 民歴
			逆関数と合成関数	知 逆関数や合成関数の意味を理解し、それらを求めることができるようになる。 思 グラフを用いて逆関数の特徴を考えたり、集合の考え方をういて合成関数の考察の可否を判断したりすることができる。 学 逆関数や合成関数を求めようとする。	・逆関数 ・合成関数	知 逆関数や合成関数を求めることができる。 思 グラフを用いて逆関数の特徴や集合の考え方をういて合成関数の考察の可否を説明することができる。 学 逆関数や合成関数を求めようとしている。		〇〇〇	18	数学
		中間考査				〇〇	1			
		数列の極限	知 数列の極限や無限級数について理解し、それらを求めることができるようになる。 思 適切に式変形をして、数列の極限を求める方法を考察することができるようになる。 学 数列の極限を求めようとする。	・極限の計算 ・無限等比数列 ・無限級数	知 数列の極限や無限級数の和を求めることができる。 思 適切に式変形して、数列の極限を求める方法を考察できる。 学 数列の極限を求めようとしている。	〇〇〇	18			
		関数の極限	知 関数の極限について理解し、いろいろな関数の極限を求めることができるようになる。 思 関数の極限の考え方をういて、関数の連続性を考察することができるようになる。 学 いろいろな関数の極限を求めようとする。	・いろいろな関数の極限 ・関数の連続性	知 いろいろな関数の極限を求めることができる。 思 関数の連続性を調べることができる。 学 いろいろな関数の極限を求めようとしている。	〇〇〇	18			
		期末考査				〇〇	1			
2学期	導関数	知 微分可能性、導関数の求め方について理解し、さまざまな関数の導関数、およびそれらの四則演算の導関数を求めることができるようになる。 思 導関数の定義に基づき、新たに学習する関数の導関数を考察することができるようになる。 学 いろいろな関数の導関数を求めようとする。	・微分係数 ・積や商の導関数 ・合成関数や逆関数の微分法 ・さまざまな関数の導関数	知 さまざまな関数の導関数または、それらの和、差、積及び商の導関数を求めることができる。 思 導関数の定義に基づき、新たな導関数を導くことができる。 学 いろいろな関数の導関数を求めようとしている。	〇〇〇	18	芸術 英語			
	微分法の応用	知 微分法と図形のつながりを理解し、いろいろな関数の値の変化を調べたり、グラフの概形をかいたりすることができるようになる。 思 関数などに表される事象を、微分法を通して考察することができる。 学 微分法を用いて課題を解決しようとする。	・接線の方程式 ・平均値の定理 ・関数の最大最小、グラフ ・方程式や不等式への応用 ・物理運動を考察するための利用	知 いろいろな関数の関数の最大最小を求めたり、グラフの概形をかいたりすることができる。 思 微分法を用いて、速度や加速度を求めることができる。 学 微分法を用いて課題を解決しようとしている。	〇〇〇	18				
	中間考査				〇〇	1		家庭 情報		
	不定積分 定積分	知 不定積分や定積分について、基本性質や求め方を理解し、それらを求めることができるようになる。 思 不定積分や定積分を求める方法について、微分法とのつながりから導くことや、式を多面的に見たり適切に変形したりして考察することができるようになる。 学 不定積分や定積分を求めようとする。	・不定積分とその基本性質 ・定積分とその基本性質 ・置換積分法と部分積分法 ・いろいろな関数の不定積分や定積分 ・定積分と極限や不等式	知 不定積分や定積分を求めることができる。 思 微分法や置き換えを利用して公式を導くことができる。 学 不定積分や定積分を求めようとしている。	〇〇〇	19				
	期末考査				〇〇	1			商業 教養 総合 その他	
	3学期	積分法の応用	知 定積分を利用して、関数で表せられる事象の数値を求めることができるようになる。 思 事象を関数で表し、積分法を用いて数値を求める方法を考察することができるようになる。 学 積分法を用いて課題を解決しようとする。	・積分法による面積、体積、曲線の長さの求め方	知 定積分を利用して、図形の面積や立体の体積、曲線の長さを求めることができる。 思 図形の面積や立体の体積、曲線の長さを関数で表し、積分法を用いて求めることができる。 学 積分法を用いて課題を解決しようとしている。	〇〇〇	24			
	学年末考査				〇〇	1				

1年	講座名	数学B			単位数	2単位	1年		
					対象年次	2・3・4年次		2年	
2年	教科・科目名	数学・数学B	定員	30	難易度	☆☆☆	3年		
3年	担当者名							4年	
4年	教科書	高校数学B（実教出版）					必修		
	副教材	ステップノート数学B 新課程版（実教出版）						必修	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等				必修
		数列の一般項や和を求めるができる。 確率変数の平均を計算することができる。 標準平均分布表を用いて、確率を求めることができる。	数列の一般項から、数列の各項を考えることができる。 正規分布の値を利用して、いろいろな現象を考察することができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。			必修	
	概要	1年次の学習内容を発展させていくとともに、併せて受講している数学Ⅱとつながりをもって学んでいく。 前半：数列 後半：確率変数と統計的な推測							必修
	受講条件	①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②数学Ⅰを修得していること。評価・評定が4以上であることが望ましい。 ③進学希望で、数学Bが必要な者。加えて、数学Ⅱを受講していることが望ましい。 ④次年度数学Ⅲの受講を考えている者。 ※旧課程の数学Bとして受講可						必修	
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数		国語
公地民歴	1学期	数列と一般項	・数列 ・一般項		知 数列の規則性から各項を求めることができる。 思 数列の規則性を考えることができる。 態 日常生活から数列になっているものを見つけようとしている。	〇〇〇	8	公地民歴	
		等差数列	・等差数列の一般項 ・等差数列の和		知 等差数列の一般項や和を求めることができる。 思 等差数列の一般項を利用して、数列の各項を考えることができる。 態 等差数列の規則性を見つけようとしている。	〇〇〇	8	数学	
		中間考査				〇〇	1		
		等比数列	・等比数列の一般項 ・等比数列の和		知 等比数列の一般項や和を求めることができる。 思 等比数列の一般項を利用して、数列の各項を考えることができる。 態 等比数列の規則性を見つけようとしている。	〇〇〇	8		
		いろいろな数列	・和を表す記号Σ ・階差数列		知 階差数列を求め、階差数列の規則性を求めることができる。 思 階差数列ともとの数列の一般項との関係が分かる。 学 和の記号を理解し、使ってみようとする。	〇〇〇	10		
		期末考査				〇〇	1	芸術	
英語	2学期	漸化式と数学的帰納法	・漸化式と階差数列 ・数学的帰納法		知 漸化式から数列の一般項を求めることができる。 思 簡単な命題を用いて、数学的帰納法のしくみを考察することができる。 態 漸化式に具体的な数値を代入してみようとしている。	〇〇〇	10		英語
		確率変数と確率分布	・確率変数と確率分布 ・確率変数の平均、分散、標準偏差 ・二項分布		知 確率分布表を用いて、確率変数の平均を計算することができる。 思 確率変数の分散や標準偏差を求めて、二つの事象を比較して考えることができる。 態 試行の結果を確率分布で整理しようとしている。	〇〇〇	10		家庭
		中間考査				〇〇	1		
		正規分布	・連続的な確率変数 ・正規分布 ・確率変数の標準化 ・二項分布と正規分布		知 標準平均分布表を用いて、確率を求めることができる。 思 正規分布の値を利用して、いろいろな現象を考察することができる。 態 連続的な確率変数の特徴を調べようとしている。	〇〇〇	10		
		期末考査				〇〇	1		
		商業	3学期	統計的な推測	・母集団と標本 ・標本平均の分布 ・母平均の推定 ・信頼区間 ・仮説検定		知 信頼度95%の信頼区間の公式を活用して推定できる。 思 仮説検定を用いて、身の回りの事象を考えることができる。 態 ささまざまな集団の特徴を理解するためにいろいろな調査方法を調べようとしている。	〇〇〇	9
学年末考査					〇〇	1	総合		
その他								その他	

1 年	講座名	数学C			単位数	2単位	1 年			
					対象年次	3・4年次				
		教科・科目名	数学・数学C	定員	30	難易度		☆☆☆☆	2 年	
		担当者名								
		教科書	最新 数学C（数研出版）					3 年		
副教材	3 ROUND（数研出版）									
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 自主的に学習に取り組むことができる。	4 年			
	平面および空間ベクトルの基本的な概念について理解し、加法・減法・実数倍の計算をすることができる。 ベクトルの大きさとなす角から、内積を求めることができる。 複素数平面を用いて、複素数を図表示することができる。 二次曲線の性質について理解し、放物線の概形をかくことができる。	空間ベクトルを平面ベクトルの拡張として捉え、多面的に考察することができる。 複素数の乗法・除法を、複素数平面上の回転および拡大・縮小と関連付けて考察することができる。 与えられた条件を満たす点の軌跡として、二次曲線の方程式を導くことができる。								
概要	1・2年次で学習した内容をもとに、「ベクトル」「平面上の曲線と複素数平面」を学んでいく。 前半：平面ベクトル、空間ベクトル 後半：複素数平面、式と曲線						必修 必修 自選			
受講条件	①受講希望者は、必ず、事前に数学科へ相談すること。 ②数学Ⅰを修得していること。 ③進学希望で、数学Cが必要な者。加えて、数学Ⅲを受講していることが望ましい。 ※旧課程の数学Ⅲとして受講可（ただし、新課程の数学Ⅲ及び数学Cの受講が必要）									
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語		
公 地 民 歴	1学期	平面上のベクトル	・ベクトルの相等・和・差・実数倍 ・ベクトルの成分 ・ベクトルの内積		知 ベクトルの意味と表し方を理解し、加法・減法・実数倍の計算ができる。 思 内積のもつ図形的な意味を考察することができる。 態 ベクトルと数式の演算法則の類似点を見つけようとしている。	〇〇〇	16	公地民歴		
		中間考査				〇〇	1	数 学		
		ベクトルと平面図形	・位置ベクトル ・ベクトルと図形 ・ベクトル方程式		知 線分の内分点・外分点を位置ベクトルで表すことができる。 思 ベクトルの分解の一意性が分る。 態 ベクトルと数式の演算法則の類似点を考察しようとしている。	〇〇〇	8		理 科	
		空間のベクトル	・空間の座標 ・空間ベクトルの成分と演算 ・内積と位置ベクトル ・空間図形への応用		知 成分表示された空間ベクトルの大きさ、相等、和、差、実数倍の計算ができる。 思 ベクトルの考えを平面から空間に拡張し、空間ベクトルと座標空間と関連付けて考察することができる。	〇〇〇	10			体育 保健
		期末考査				〇〇	1			芸 術
2学期	複素数平面	・複素数平面 ・複素数の実数倍・和・差		知 複素数を、複素数平面上の点として表示できる。 思 複素数の演算を図形の移動として考察することができる。 態 複素数平面を用いて、複素数を図形的に表現することに興味・関心を持ち、理解しようとしている。。	〇〇〇	10	英 語			
	複素数の極形式と平面図形	・複素数の極形式 ・ド・モアブルの定理 ・複素数と平面図形		知 複素数を極形式で表すことができる。 思 複素数の乗法・除法は回転移動及び拡大・縮小として考えることができる。 態 複素数が絶対値と偏角を用いて表されることに興味・関心	〇〇〇	10		家 庭		
	中間考査				〇〇	1			情 報	
	2次曲線	・放物線・楕円・双曲線の概形と方程式 ・2次曲線の平行移動 ・2次曲線と直線		知 2次曲線の性質を理解し、グラフの概形をかくことができる。 思 与えられた条件を満たす点の軌跡として、2次曲線の方程式を導くことができる。 態 軌跡の考え方を利用して、2次曲線の方程式を導くことに興味・関心を持ち、理解しようとしている。	〇〇〇	10				
	期末考査				〇〇	1				教 養
3学期	媒介変数表示と極座標	・曲線の媒介変数表示 ・極座標と極方程式 ・いろいろな曲線		知 曲線を媒介変数表示できる。 思 x,yについての方程式では表すことの難しい曲線を、媒介変数表示を用いて考察することができる。 態 平面上の点を表す様々な座標系があることに、興味・関心を持ち、理解しようとしている。	〇〇〇	9	総合 その他			
	学年末考査				〇〇	1				

1年	講座名	科学と人間生活			単位数	2単位	1年	
2年					対象年次	1年次	2年	
3年	教科・科目名	理科・科学と人間生活	定員	—	難易度	—	3年	
4年	担当者名						4年	
必修	教科書	第一学習社 高等学校 科学と人間生活					必修	
	副教材	第一学習社 新課程版 ネオパルノート 科学と人間生活						
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選	
		科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける。			
自選	概要	科学の4分野（生物、化学、物理、地学）に関して、身の回りの物質や現象と結びつけながら理解を深める。目的意識をもって観察，実験などを行い，探究する能力と態度を育てるとともに，理科の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。 物質の科学、熱や光の科学、生命の科学、地球や宇宙の科学。					自選	
	受講条件	なし						
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地 民歴	1学期 プラスチックの特徴	プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から，用途に違いがあることを考察する。	・プラスチックの特徴 ・原子、陽子、中性子、電子、分子 ・共有結合		人間生活に不可欠なプラスチックについて大いに興味をもち，それらの性質，化学構造，用途について主体的に理解しようとする。	〇〇〇	5	公地 民歴
	金属結合	身のまわりの金属に関心を示し，その種類，化学的性質，日常生活への利用方法について知識を習得する。	・金属結合 ・分留・精錬		身のまわりの金属に関心を示し，その種類，化学的性質，日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	〇〇〇	4	
	中間考査					〇〇	1	数学
	食品中の栄養素	炭水化物，タンパク質，脂質やその他の栄養素について関心を抱き，化学的な構造や性質，生体内でのはたらきについて理解する。	・炭水化物、タンパク質、脂質、無機物、ビタミン ・消化酵素 ・各栄養素の生体内でのはたらき		炭水化物，タンパク質，脂質やその他の栄養素について関心を抱き，化学的な構造や性質，生体内でのはたらきについて理解しようとする。	〇〇〇	8	理科
	DNAとタンパク質	・生体を構成する物質の1つ，タンパク質に興味をもち，DNAの塩基配列との関係について理解する。	・DNAとタンパク質の合成と構造 ・血糖値の調整		・生体を構成する物質の1つ，タンパク質に興味をもち，DNAの塩基配列との関係について理解しようとする。	〇〇〇	8	体育 保健
	期末考査					〇〇	1	芸術
英語	2学期 免疫のしくみ 視覚のしくみ	・免疫の複雑なしくみを理解する。 ・ヒトの視覚について理解する。	・免疫のしくみ ・ワクチンのしくみ ・眼球の構造 ・視覚のしくみ		・日常的にも使われる「ワクチン」や「アレルギー」といった語に関心をもち，科学的に理解しようとする。 ・ヒトの視覚について理解しようとする。	〇〇〇	7	英語
	微生物とその利用	・日常生活への微生物の応用に興味をもち，医薬品への利用や，これからの微生物の利用について思考する。	・身近な微生物 ・発酵のしくみ ・微生物と医療		・日常生活への微生物の応用に興味をもち，医薬品への利用や，これからの微生物の利用について思考しようとする。	〇〇〇	7	家庭
	中間考査					〇〇	1	情報
	熱運動	・熱運動に興味を抱き，発火の現象や，熱量の計算について理解しようとする。	・熱運動 ・セルシウス度 ・絶対温度		・熱運動に興味を抱き，発火の現象や，熱量の計算について理解しようとする。	〇〇〇	10	商業
	光の回折・干渉・偏光	・身のまわりの光に興味をもち，光の回折・干渉・偏光などの現象について理解する。 ・赤外線や紫外線に関心を抱き，人間生活に利用されている電磁波の知識を習得する。	・光の回折・干渉・偏光 ・電磁波 ・可視光、紫外線、赤外線		・身のまわりの光に興味をもち，光の回折・干渉・偏光などの現象について理解しようとする。 ・赤外線や紫外線に関心を抱き，人間生活に利用されている電磁波の知識を習得しようとする。	〇〇〇	10	教養
	期末考査					〇〇	1	総合
その他	3学期 自然景観と自然災害	・日本の火山活動に関心をもち，噴火や火山の形のでき方を理解する。 ・地震に関心をもち，地震の発生するしくみを理解する。	・地震の仕組み ・火山活動		・日本の火山活動に関心をもち，噴火や火山の形のでき方を理解しようとする。 ・地震に関心をもち，地震の発生するしくみを理解しようとする。	〇〇〇	10	その他
	太陽と地球	・太陽系とそれを構成する天体に興味をもち，太陽系を構成する天体の共通点や相違点を理解する。	・太陽系 ・地球型惑星と木星型惑星		・太陽系とそれを構成する天体に興味をもち，太陽系を構成する天体の共通点や相違点を理解しようとする。	〇〇〇	5	
	学年末考査					〇〇	1	

1 年	講座名	化学基礎			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	2年次			
	教科・科目名	理科・化学基礎	定員	—	難易度	—	2 年		
	担当者名								
	教科書	高等学校 新化学基礎（第一学習社）					3 年		
副教材	新課程版 ネオバルノート化学基礎 化学基礎（第一学習社）								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		必修			
		物質の成り立ちとその変化について、知識を身に つけようとする。実験についての正しい技能を知 り、化学的視野を身に付ける。	基本的な概念や原理・法則を理解し、実験等を通 して、化学的に思考し、その内容を表現できる。	観察、実験などを通して化学に対する興味・関心 を高め、意欲的に学習しようとする。					
必修	概要	化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。また、日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行う。					必修		
必選	受講条件	小数や分数を含む計算が問題なくできることが望ましい。					自選		
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	化学と人間生活 混合物の分離 元素の確認	知 混合物と純物質の違いが分かる。 思 混合物と純物質について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、物質について意欲的に学ぶ。	・混合物、純物質の定義 ・同素体	知 分離操作について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	6	公地民歴	
数学		物質の三態とエ ネルギー 原子の構造と周 期表	知 三態変化について理解する。 思 三態変化について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、三態変化について意欲的に学ぶ。	・水を例にとった三態変化 ・周期表	知 三態変化について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	4	数学	
理科		中間考査					〇〇	1	理科
		化学結合と物質 の性質	知 化学結合、物質の性質について理解する。 思 化学結合、物質の性質について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、化学結合、物質の性質について意欲 的に学ぶ。	・電子配置 ・イオン結合、共有結合、金属結合	知 化学結合、物質の性質について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		原子量・分子量・ 式量 物質質量	知 原子量・分子量・式量について理解する。 思 原子量・分子量・式量について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、原子量・分子量・式量について意欲 的に学ぶ。	・物質の重さの概念 ・分子量計算	知 原子量・分子量・式量について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		期末考査					〇〇	1	
芸術	2学期	溶解と濃度	知 物質質量、溶解と濃度について理解する。 思 物質質量、溶解と濃度について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、物質質量、溶解と濃度について意欲 的に学ぶ。	・molの考え方 ・濃度の種類	知 物質質量、溶解と濃度について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	6	芸術	
英語		化学反応式、化 学の基本法則	知 化学反応式、化学の基本法則について理解する。 思 化学反応式、化学の基本法則について、日常生活の関 連を調べる。 学 実験等を通して、化学反応式、化学の基本法則につい て意欲的に学ぶ。	・化学反応式 ・化学の基本法則	知 化学反応式について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	9	英語	
家庭		中間考査					〇〇	1	家庭
		化学反応式と量 的關係 酸・塩基の定義	知 化学反応式と量的関係について理解する。 思 化学反応式と量的関係、酸・塩基の定義について、日 常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、化学反応式と量的関係、酸・塩基の 定義について意欲的に学ぶ。	・量的関係の概念 ・酸・塩基の定義(アレニウスの定義、ブレン ステッド・ローリーの定義)	知 化学反応式と量的関係について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		中和反応 中和反応の量的 関係 中和滴定と滴定 曲線	知 中和反応、中和滴定について理解する。 思 中和反応、中和滴定について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、中和反応、中和滴定について意欲 的に学ぶ。	・中和反応 ・中和滴定(弱酸×強塩基、等)	知 中和反応について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		期末考査					〇〇	1	
商業	3学期	酸化還元反応の定義 酸化還元反応	知 酸化還元反応の定義、酸化還元反応について理解する。 思 酸化還元反応の定義、酸化還元反応について、日 常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、酸化還元反応の定義、酸化還元反 応について意欲的に学ぶ。	・酸化と還元 ・酸化還元滴定(酸化剤×還元剤)	知 酸化還元反応の定義について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8	商業	
教養		酸化還元反応の 量的関係	知 酸化還元反応の量的関係について理解する。 思 酸化還元反応の量的関係について、日常生活の関連 を調べる。 学 実験等を通して、酸化還元反応の量的関係について 意欲的に学ぶ。	・半反応式(酸化反応式と還元反応式) ・酸化還元反応式の操作	知 酸化還元反応の量的関係について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8	教養	
総合		学年末考査					〇〇	1	その他

1 年	講座名	生物基礎			単位数	2単位	1 年	
		教科・科目名	理科・生物基礎	定員	—	対象年次		2年次
2 年	担当者名						2 年	
3 年	教科書	新編 生物基礎（東京書籍）						
4 年	副教材	新課程 ニュースリープ 生物基礎 （東京書籍）					4 年	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等				
		生物や生物現象に関わる知識を獲得し、顕微鏡により生物の微細な構造を知る。	生物学の基本的な概念や原理、法則を応用し、これからの地球環境や生物の暮らしについて想像できるようにする。		基本的な生命現象に関する知識をもとに、持続可能な社会を実現するために考え行動できるようにする。			
必修 必選	概要	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 細胞、代謝、DNA、恒常性の維持、生態系、顕微鏡観察、細胞とDNA、解剖等の実験を行いレポートを作成する。					必修 必選	
	受講条件	なし						
自選							自選	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴 数学 理科 体育健	1学期	生物の多様性と共通性	知 生物の特徴について、生物の共通性と多様性のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物の共通性と多様性を見だして表現する。 学 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生物の多様性 ・生物の共通性 細胞の特徴	知 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 生物の共通性と多様性について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	3	公地民歴
		生物とエネルギー	知 生物の特徴について、生物とエネルギーのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物とエネルギーを見いだして表現する。 学 生物とエネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生体とATP ・酵素のはたらき ・呼吸と光合成	知 生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 生物とエネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	2	数学
		中間考査				〇〇	1	理科
		遺伝情報とDNA	知 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 学 遺伝子とそのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生物と遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製と分配	知 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 遺伝情報とDNAについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	4	体育健
		遺伝情報とタンパク質の合成	知 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 遺伝子とそのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とタンパク質の合成の関係を見いだして表現する。 学 遺伝情報とタンパク質合成に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・タンパク質 ・タンパク質と遺伝情報 細胞の分化と遺伝子	知 遺伝子とそのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	3	芸術
		期末考査				〇〇	1	英語
英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	2学期	ヒトの体を調節するしくみ	知 神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、体内での情報の伝達について調節に関係していることを見いだして表現する。 学 情報の伝達に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・体内環境 ・神経系による情報伝達 ・内分泌系による情報伝達 血糖濃度の調節	知 神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 情報の伝達について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	8	家庭
		中間考査				〇〇	1	情報
		免疫のはたらき	知 免疫について、免疫のはたらきのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 免疫について、観察、実験などを通して探究し、免疫を排除する防御機構が働いていることを見いだして表現する。 学 免疫のはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・免疫のしくみ ・免疫の応用 ・免疫とさまざまな疾患	知 免疫について、免疫の働きの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 免疫の働きについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	3	商業
		植生と遷移	知 植生と遷移について、植生と遷移のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、遷移の要因を見いだして表現する。 学 植生と遷移に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・身のまわりの植生 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム	知 植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 植生と遷移について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	4	教養
		期末考査				〇〇	1	総合
		3学期	生態系と生物の多様性	知 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 生態系とその保全について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物の種多様性を見いだしたとともに、生態系のバランスと保全について表現する。 学 生態系とその保全に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生態系における生物の多様性 ・生態系における生物間の関係 ・生態系と人為的攪乱 ・生態系の保全	知 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	7
	学年末考査				〇〇	1		

1年	講座名	物理基礎			単位数	2単位	1年	
					対象年次			1・2・3・4年次
	教科・科目名	理科・物理基礎	定員	30	難易度	☆☆☆	2年	
	担当者名							
	教科書	第一学習社 高等学校 新物理基礎					3年	
副教材	第一学習社 新課程版ネオパルノート物理基礎							
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4年	
		日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。		物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。			
必修	概要	個々の現象から共通点を探り、原理や法則性を見つけ出し、それを数式で表すことによって現象をより統一的にとらえ、説明していくことを学ぶ。					必修	
必選	受講条件	比の計算、グラフの扱いや、小数・分数・ルートを含む計算が問題なくできる生徒が望ましい。 自選「たのしい物理」を履修したものは受講不可。※旧課程の物理基礎として受講可。					必選	
自選							自選	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	物体の運動	知 物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 思 直線上を運動している物体の合成速度を考えることができる。 学 身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解できる。	・等速直線運動 ・等加速度直線運動	知 速さと速度の違いを理解している。 思 日常の現象について、合成速度や相対速度を考えることができる 態 身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。	〇〇〇	5	公地民歴
数学		物体の運動	知 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 思 物体が空中を落下するときの運動の特徴を理解する。 学 身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解できる。	・重力加速度と自由落下 ・鉛直投射 ・水平投射	知 速さと速度の違いを理解している。 思 日常の現象について、合成速度や相対速度を考えることができる 態 身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。	〇〇〇	4	数学
理科		中間考査	なし	なし	なし			理科
体育健		力と運動の法則	知 物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。 思 作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを理解する。 学 さまざまな力を含めた物体の運動について、物理学的に理解しようとしている。	・力と質量 ・作用・反作用の法則 ・力と質量と加速度の関係	知 力の表し方とともに、さまざまな力のはたらき方を理解する。 思 つりあう2力と作用・反作用の2力の違いを説明できる。 態 力のつりあいや作用・反作用の法則を確認する実験などに意欲的に取り組んでいる。	〇〇〇	8	体育健
芸術		仕事と力学的エネルギー	知 物理における「仕事」について理解する。 思 力学的エネルギーの保存について実験などを通して学習し、法則が成り立つ条件とともに理解する 学 振り子の速さの測定などの実験に積極的に取り組んでいる。	・運動エネルギー ・重力による位置エネルギー ・力学的エネルギー	知 物理における仕事、仕事率を計算することができる。 思 動滑車や斜面などを用いた場合の仕事について考えることができる 態 物理における仕事について理解しようとする。	〇〇〇	8	芸術
英語		期末考査				〇〇	1	英語
家庭	2学期	熱とエネルギー	知 熱量の保存を利用し、物質の比熱を測定する。 思 さまざまなエネルギーの移り変わりを学習したのち、エネルギーの保存について理解する。 学 熱と仕事の関係について、日常における現象と結びつけて考えようとする。	・温度と熱運動 ・物質の三態 ・エネルギーの変換と保存	知 熱運動と温度との関係を理解する。 思 温度の異なる物体を接触させたときに、熱がどちら向きに移動するかを考えることができる。 態 日常よく使われる温度と絶対温度との違いを認識し、温度と熱との関係を主体的に考えようとする。	〇〇〇	7	家庭
情報		波の性質	知 波の伝わり方について理解し、振動数と周期の関係を学習する。 思 波の伝わり方を説明することができる。 学 自由端、固定端での反射の仕方を、観察などを通して物理学的に理解しようとする。	・波と振動 ・横波と縦波 ・波の反射	知 水面に浮かぶ木の葉などから、波と媒質について理解する。 思 波源の振動の仕方によってどのような波の波ができるのかを表すことができる。 態 反射の仕方を、観察などを通して物理学的に理解しようとする。	〇〇〇	7	情報
商業		中間考査				〇〇	1	商業
教養		音波	知 身近な現象と関連させ、音の反射について理解する。 思 音波の波形の特徴を理解する。 学 音のしくみなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。	・音の速さと3要素 ・波としての音の性質 ・弦の固有振動	知 オシロスコープで表示した音波の波形を比較し、音の振動数、大きさを比べることができる。 思 音の高さ、大きさなどが、音波の波形の何で表されるかを理解する。 態 音の伝わるようすや音が波である特徴を理解しようとする。	〇〇〇	10	教養
総合		電荷と電流	知 静電気の現象を学習し、帯電のしくみについて理解する。 思 電流や電圧とは何かを学習し、オームの法則について理解する。 学 静電気力の性質を確認する実験に意欲的に取り組んでいる。	・電荷 ・電流と電気抵抗 ・電力量と電力	知 オームの法則を用いて、電流、電圧、抵抗のそれぞれの量を求めることができる。 思 物体が帯電するしくみを説明することができる。 態 オームの法則について意欲的に学習しようとする。	〇〇〇	10	総合
その他		期末考査				〇〇	1	その他
	3学期	電流と磁場	知 電流がつくる磁場について理解する。 思 モーターが回転するしくみ、発電機で電気が生じるしくみを理解する。 学 モーターや電磁誘導に関する実験などに意欲的に取り組んでいる。	・磁場 ・モーターと発電機 ・電磁波	知 電流が磁場から受ける力の特徴、電磁誘導の特徴を知る。 思 電流が磁場から受ける力をもとに、モーターの原理を理解する。 態 モーターや電磁誘導に関する実験などに意欲的に取り組んでいる。	〇〇〇	10	
		エネルギーとその利用	知 エネルギーの流れや問題点などを理解する。 思 利用しているエネルギー資源について調べることができる 学 日常生活と深く関わる電気エネルギーが、どのようにつけられているのかに関心を示している。	・太陽エネルギーの利用 ・原子核と放射線 ・原子力とその利用	知 太陽エネルギーや化石燃料を用いた発電方法について理解する。 思 原子力発電のメリット、デメリットを説明することができる。 態 日常生活と深く関わる電気エネルギーが、どのようにつけられているのかに関心を示している。	〇〇〇	5	
		学年末考査				〇〇	1	

1年	講座名	地学基礎			単位数	2単位	1年
					対象年次	1・2・3・4年次	
	教科・科目名	理科・地学基礎	定員	30	難易度	☆☆	3年
	担当者名						
教科書	地学基礎 実教出版					必修	
副教材	ビジュアルプラス地学基礎ノート新課程版 実教出版						必選
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		自選	
	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。		地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。			
概要	日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、自ら課題を設定し、見通しをもって観察、実験などを行うことができる、科学的に探究する資質・能力を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的に探究しようとする態度を養う。						
受講条件	自選「たのしい地学」を履修したものは受講不可。						

国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
								1学期
	太陽系と地球の誕生	知・惑星の環境の違いを生じさせる要因について理解し、地球にだけ生命が存在する条件を知識として身に付ける。 思・地球型惑星と木星型惑星の内部構造について考察する。 学・地球だけに生命が存在する理由に関心を持ち、太陽系の惑星の環境を変化させる要因について考察する。	・太陽系と地球の誕生 ・地球型惑星と木星型惑星	知・惑星の環境の違いを生じさせる要因について理解し、地球にだけ生命が存在する条件を知識として身に付けている。 思・地球型惑星と木星型惑星の内部構造の違いについて考察することができる。 態・地球だけに生命が存在する理由に関心を持つとする。	〇〇〇	8	数学	
	中間考査					なし		理科
2学期	地層と化石	知・堆積物の種類などによって堆積岩を分類する。 思・化石の種類と与えられた資料から、化石の生物が生息していた地質年代を推測する。 学・地球の環境と生物の変遷に関心を持ち、理解を深める。	・地層と化石 ・地質年代 ・堆積岩	知・堆積物の種類などによって堆積岩を分類できる。 思・化石の種類と与えられた資料から、化石の生物が生息していた地質年代を推測することができる。 態・地球の環境と生物の変遷に関心をもち理解を深めようとしている。	〇〇〇	7	体育健	
	地球と生物の変遷	知・先カンブリア時代から新生代第四紀までの、地球環境の変化と生物界の変遷を理解し、知識を身に付けている。 思・生物の進化や絶滅と地球環境の変化について考察する。 学・地質時代の生物界の移り変わりについて理解を深める。	・地球と生物の変遷 ・生物の進化 ・絶滅	知・先カンブリア時代から新生代第四紀までの、地球環境の変化と生物界の変遷を理解し、知識を身に付けている。 思・生物の進化や絶滅について考察することができる。 態・地質時代の生物界の移り変わりについて理解を深めようとしている。	〇〇〇	7		芸術
	期末考査				〇〇	1		
	3学期	地球の概観	知・計算によって地球の大きさを求める。・地球の層構造、地球内部の構成物質や性質の違いを理解する。 思・地球の正確な形を考察する。・地球の構成要素を示すグラフから、地球内部の構成物質の違いについて考察する。 学・地球の形や大きさについて与えられた課題の解決を図る。	・地球の大きさ ・地球の形 ・地球の内部構造	知・計算によって地球の大きさを求めることができる。・地球の層構造、地球内部の構成物質や性質の違いを理解している。 思・地球の正確な形を考察することができる。・地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。 態・地球の形や大きさについて、課題の解決を図ろうとしている。	〇〇〇		7
プレートの運動		知・プレートの種類と世界のプレートの分布を理解する。 ・変成岩を、組織や鉱物の種類から分類する。 思・プレートの動きとプレート境界で見られる地形的な特徴を関連付けて理解する。・断層や褶曲がどのように形成されたかを考察する。 学・プレートの運動から造山帯の形成についてを深める。	・プレートの運動 ・断層、褶曲、変性 ・変成岩	知・プレートの種類と世界のプレートの分布を理解している。 ・変成岩を、組織や鉱物の種類から分類することができる。 思・プレートの動きとプレート境界で見られる地形的な特徴を関連付けて理解できる。・断層や褶曲の形成過程を考察できる。 態・プレートの運動から造山帯の形成についてを深めようとしている。	〇〇〇	8	情報	
中間考査					〇〇	1		商業
地震		知・初期微動継続時間から震源までの距離を計算によって求める。 思・日本付近の地震の分布の特徴を見出す。 学・地震の知識をもとに、地震の分布の特徴や、震源の決定のしかたについて理解を深める。	・地震 ・初期微動継続時間	知・初期微動継続時間から震源までの距離を計算によって求めることができる。 思・日本付近の地震の分布の特徴を見出すことができる。 態・地震の知識をもとに、地震の分布の特徴や、震源の決定のしかたについて理解を深めようとしている。	〇〇〇	7	教養	
火山活動	知・火山噴出物の種類や、マグマの性質と噴火の様式・火山の形の関連について理解し、知識として身に付ける。 思・火成岩の観察を通して、火成岩の成り立ちを考察する。 学・火山活動や火成岩の知識をもとに理解を深める。	・火山活動 ・火成岩 ・噴火	知・火山噴出物の種類や、マグマの性質と噴火の様式・火山の形の関連について理解し、知識として身に付けている。 思・火成岩の観察を通して、火成岩の成り立ちを考察できる。 態・火山活動や火成岩の知識をもとに理解を深めようとしている。	〇〇〇	8	総合		
期末考査				〇〇	1		その他	
4学期	大気と海水の運動	知・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解する。 思・緯度ごとのエネルギー収支のグラフから低緯度地域の熱が高緯度地域へ輸送されていることを考察する。 学・大気と海洋の相互作用に関心を持ち、エルニーニョ現象やラニーニャ現象について理解を深める。	・大気と海水の運動 ・エルニーニョ現象 ・地球のエネルギー収支	知・エルニーニョ現象とラニーニャ現象について理解している。 思・緯度ごとのエネルギー収支のグラフから低緯度地域の熱が高緯度地域へ輸送されていることを考察できる。 態・大気と海洋の相互作用に関心を持ち、エルニーニョ現象やラニーニャ現象について理解を深めようとしている。	〇〇〇	8		
	日本の自然環境	知・地球の気候変動やオゾン層について、知識を身に付ける。 思・ハザードマップから、どのような災害が発生する可能性があるのか判断し、その対策について考察する。 学・日本の自然環境の知識をもとに、自然環境と人間生活との関わりについて理解を深める。	・オゾン層 ・ハザードマップ	知・地球の気候変動やオゾン層について、知識を身に付けている。 思・ハザードマップから、どのような災害が発生する可能性があるのか判断し、その対策について考察することができる。 態・日本の自然環境の知識をもとに、自然環境と人間生活との関わりについて理解を深めようとしている。	〇〇〇	7		
	学年末考査				〇〇	1		

1 年	講座名	科学と人間生活R			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	2・3・4年次			
	2 年	教科・科目名	理科・科学と人間生活	定員	30	難易度		－	2 年
	担当者名								
3 年	教科書	第一学習社 高等学校 科学と人間生活					3 年		
副教材	第一学習社 新課程版 ネオパルノート 科学と人間生活								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年		
		科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける。				
必修 必選 自選	概要	科学の4分野（生物、化学、物理、地学）に関して、身の回りの物質や現象と結びつけながら理解を深める。目的意識をもって観察，実験などを行い，探究する能力と態度を育てるとともに，理科の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。 物質の科学、熱や光の科学、生命の科学、地球や宇宙の科学。					必修 必選 自選		
	受講条件	1年次の必修科目「科学と人間生活」が未履修となっている生徒。 ※旧課程の科学と人間生活（初級）として受講可							
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
	1学期	プラスチックの特徴	プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から，用途に違いがあることを考察する。	・プラスチックの特徴 ・原子、陽子、中性子、電子、分子 ・共有結合		人間生活に不可欠なプラスチックについて大いに興味をもち，それらの性質，化学構造，用途について主体的に理解しようとする。	〇〇〇	5	
		金属結合	身のまわりの金属に関心を示し，その種類，化学的性質，日常生活への利用方法について知識を習得する。	・金属結合 ・分留・精錬		身のまわりの金属に関心を示し，その種類，化学的性質，日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	〇〇〇	4	
		中間考査					〇〇	1	
		食品中の栄養素	炭水化物，タンパク質，脂質やその他の栄養素について関心を抱き，化学的な構造や性質，生体内でのはたらきについて理解する。	・炭水化物、タンパク質、脂質、無機物、ビタミン ・消化酵素 ・各栄養素の生体内でのはたらき		炭水化物，タンパク質，脂質やその他の栄養素について関心を抱き，化学的な構造や性質，生体内でのはたらきについて理解しようとする。	〇〇〇	8	
		DNAとタンパク質	・生体を構成する物質の1つ，タンパク質に興味をもち，DNAの塩基配列との関係について理解する。	・DNAとタンパク質の合成と構造 ・血糖値の調整		・生体を構成する物質の1つ，タンパク質に興味をもち，DNAの塩基配列との関係について理解しようとする。	〇〇〇	8	
		期末考査					〇〇	1	
	2学期	免疫のしくみ 視覚のしくみ	・免疫の複雑なしくみを理解する。 ・ヒトの視覚について理解する。	・免疫のしくみ ・ワクチンのしくみ ・眼球の構造 ・視覚のしくみ		・日常的にも使われる「ワクチン」や「アレルギー」といった語に関心をもち，科学的に理解しようとする。 ・ヒトの視覚について理解しようとする。	〇〇〇	7	
		微生物とその利用	・日常生活への微生物の応用に興味をもち，医薬品への利用や，これからの微生物の利用について思考する。	・身近な微生物 ・発酵のしくみ ・微生物と医療		・日常生活への微生物の応用に興味をもち，医薬品への利用や，これからの微生物の利用について思考しようとする。	〇〇〇	7	
		中間考査					〇〇	1	
		熱運動	・熱運動に興味を抱き，発火の現象や，熱量の計算について理解しようとする。	・熱運動 ・セルシウス度 ・絶対温度		・熱運動に興味を抱き，発火の現象や，熱量の計算について理解しようとする。	〇〇〇	10	
		光の回折・干渉・偏光	・身のまわりの光に興味をもち，光の回折・干渉・偏光などの現象について理解する。 ・赤外線や紫外線に関心を抱き，人間生活に利用されている電磁波の知識を習得する。	・光の回折・干渉・偏光 ・電磁波 ・可視光、紫外線、赤外線		・身のまわりの光に興味をもち，光の回折・干渉・偏光などの現象について理解しようとする。 ・赤外線や紫外線に関心を抱き，人間生活に利用されている電磁波の知識を習得しようとする。	〇〇〇	10	
		期末考査					〇〇	1	
	3学期	自然景観と自然災害	・日本の火山活動に関心をもち，噴火や火山の形のでき方を理解する。 ・地震に関心をもち，地震の発生するしくみを理解する。	・地震の仕組み ・火山活動		・日本の火山活動に関心をもち，噴火や火山の形のでき方を理解しようとする。 ・地震に関心をもち，地震の発生するしくみを理解しようとする。	〇〇〇	10	
		太陽と地球	・太陽系とそれを構成する天体に興味をもち，太陽系を構成する天体の共通点や相違点を理解する。	・太陽系 ・地球型惑星と木星型惑星		・太陽系とそれを構成する天体に興味をもち，太陽系を構成する天体の共通点や相違点を理解しようとする。	〇〇〇	5	
		学年末考査					〇〇	1	

1 年	講座名	化学			単位数	4単位	1 年		
					対象年次	3・4年次			
		教科・科目名	理科・化学	定員	30	難易度		☆☆☆☆	2 年
		担当者名							
		教科書	高等学校 化学 （第一学習社）					3 年	
副教材	新課程版セミナー化学基礎+化学（第一学習社）								
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		観察、実験などを通して化学に対する興味・関心を高め、意欲的に学習しようとする。	4 年		
	物質の成り立ちとその変化についての知識を身につける。実験についての正しい技能を知り、化学的視野を身につける。	基本的な概念や原理・法則を理解し、実験等を通して、化学的に思考し、その内容を表現できる。							
概要	「化学基礎」の学習の積み重ねをもとに、講義・実験・観察を通して正しい物質観を身につける。化学結合と結晶、気体や溶液の性質、物質とエネルギー、物質の変化と平衡、無機物質、有機化合物等について理解を深める。								必修 必選 自選
受講条件	化学基礎を修得していること。 そのうえで、化学をさらに学びたい生徒、あるいは理系〔理学部、理工学部、薬学部など〕大学を目指している生徒が望ましい。 ※旧課程の化学として受講可。								
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態		配当時数	
公地 民歴	1学期	エネルギー	知 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、電池・電気分解の基本的概念や原理・原則などを理解する。 思 電池、電気分解について問題を見だし、見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 学 電池、電気分解について、意欲的に学ぶ。	・電池 ・電気分解	知 電池と電気分解の違いについて説明し、電気分解の酸化還元反応について説明できる。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられている。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	16	公地 民歴	
		物質の三態	知 三態変化について理解する。 思 三態変化について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、三態変化について意欲的に学ぶ。	・水を例にとった三態変化 ・周期表	知 三態変化について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート等にまとめられている。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	14	数学	
		中間考査				〇〇	1		
		気体の性質	知 物質の状態とその変化についての実験などを通して、気体の性質の基本的な概念や原理・法則などを理解する。 思 気体の性質について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、気体の性質について意欲的に学ぶ。	・飽和蒸気圧と蒸気圧曲線 ・気体の状態方程式 ・理想気体と実在気体	知 気体の性質について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート等にまとめられている。 また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	30		理科
		期末考査				〇〇	1	体育 保健	
芸術	2学期	溶液	知 溶液の性質について理解する。 思 溶液の性質について、日常生活との関連を調べる。 学 実験等を通して、溶液の性質について意欲的に学ぶ。	・溶液の性質 ・希薄溶液の性質	知 溶液の性質について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート等にまとめられている。 また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	12		英語
		化学平衡	知 化学平衡について理解する。 思 化学平衡の基本法則について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、化学平衡について意欲的に学ぶ。	・化学反応の速さ ・化学平衡 ・平衡の移動	知 化学平衡について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート等にまとめられている。 また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	18	家庭	
		中間考査				〇〇	1		情報
		有機化合物	知 有機化合物について理解する。 思 有機化合物について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、有機化合物の定義について意欲的に学ぶ。	・有機化合物 ・脂肪酸炭化水素 ・酸素を含む脂肪酸炭化水素	知 有機化合物について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート等にまとめられている。 また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	30		
		期末考査				〇〇	1	教養	
総合 その他	3学期	有機化合物	知 有機化合物について理解する。 思 有機化合物について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、有機化合物の定義について意欲的に学ぶ。	・芳香族化合物 ・有機化合物と人間生活	知 有機化合物について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート等にまとめられている。 また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加している。	〇〇〇	31		総合 その他
		学年末考査				〇〇	1		

1 年	講座名	生物			単位数	4単位	
					対象年次	3・4年次	
		教科・科目名	理科・生物	定員	30	難易度	☆☆☆☆
		担当者名					
		教科書	生物（東京書籍）				
2 年	副教材	新課程　ニューアチーブ　生物（東京書籍）					
		目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
			日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付ける。		観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。		生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。
			「生物基礎」の学習の積み重ねをもとに，講義・観察・実験を通して生物についてより深い理解をしていく。細胞とタンパク質、遺伝子のはたらき、生殖と発生、生物の環境応答、生態と環境、生物の進化と系統について理解させ、知識の習得と技能の習熟を図り、生物の多様性や共通性について考察する能力を伸ばすとともにそれらを積極的に活用する態度を育てる。				
			生物基礎を修得していること。 生物をさらに学びたい生徒または理系（看護や栄養、柔道整復師など）進学を目指している生徒が望ましい。 ※旧課程の生物として受講可。				
3 年	受講条件						
4 年							
必修	必選						
自選							
国語							
公地 民歴							
数学							
理科							
体育 保健							
芸術							
英語							
家庭							
情報							
商業							
教養							
総合							
その他							

1 年	講座名	化学基礎（自選）			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	3・4年次			
	教科・科目名	理科・化学基礎	定員	30	難易度	☆☆	2 年		
	担当者名								
	教科書	高等学校 新化学基礎（第一学習社）					3 年		
副教材	新課程版 ネオバルノート化学基礎 化学基礎（第一学習社）								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			4 年		
		物質の成り立ちとその変化について、知識を身に つけようとする。実験についての正しい技能を知 り、化学的視野を身に付ける。	基本的な概念や原理・法則を理解し、実験等を通 して、化学的に思考し、その内容を表現できる。	観察、実験などを通して化学に対する興味・関心 を高め、意欲的に学習しようとする。					
必修 必選	概要	化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。また、日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識を持って観察、実験を行う。						必修 必選	
自選	受講条件	2年次の必修選択科目「化学基礎」を履修していない生徒。 かつ、小数や分数を含む計算が問題なくできることが望ましい。 ※旧課程の化学基礎（初級）として受講可。							
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地 民歴	1学期	化学と人間生活 混合物の分離 元素の確認	知 混合物と純物質の違いが分かる。 思 混合物と純物質について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、物質について意欲的に学ぶ。	・混合物、純物質の定義 ・同素体	知 分離操作について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられて いる。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	6	公地 民歴	
数学		物質の三態とエ ネルギー 原子の構造と周 期表	知 三態変化について理解する。 思 三態変化について、日常生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、三態変化について意欲的に学ぶ。	・水を例にとった三態変化 ・周期表	知 三態変化について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられて いる。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	4	数学	
理科		中間考査					〇〇	1	理科
		化学結合と物質 の性質	知 化学結合、物質の性質について理解する。 思 化学結合、物質の性質について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、化学結合、物質の性質について意欲的 に学ぶ。	・電子配置 ・イオン結合、共有結合、金属結合	知 化学結合、物質の性質について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		原子量・分子量・ 式量 物質質量	知 原子量・分子量・式量について理解する。 思 原子量・分子量・式量について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、原子量・分子量・式量について意欲的 に学ぶ。	・物質の重さの概念 ・分子量計算	知 原子量・分子量・式量について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		期末考査					〇〇	1	
芸術	2学期	溶解と濃度	知 物質質量、溶解と濃度について理解する。 思 物質質量、溶解と濃度について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、物質質量、溶解と濃度について意欲的に 学ぶ。	・molの考え方 ・濃度の種類	知 物質質量、溶解と濃度について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	6	芸術	
英語		化学反応式、化 学の基本法則	知 化学反応式、化学の基本法則について理解する。 思 化学反応式、化学の基本法則について、日常生活の関 連を調べる。 学 実験等を通して、化学反応式、化学の基本法則について 意欲的に学ぶ。	・化学反応式 ・化学の基本法則	知 化学反応式について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	9	英語	
家庭		中間考査					〇〇	1	家庭
		化学反応式と量 的關係 酸・塩基の定義	知 化学反応式と量的関係について理解する。 思 化学反応式と量的関係、酸・塩基の定義について、日常 生活の関連を調べる。 学 実験等を通して、化学反応式と量的関係、酸・塩基の定 義について意欲的に学ぶ。	・量的関係の概念 ・酸・塩基の定義(アレニウスの定義、ブレン ステッド・ローリーの定義)	知 化学反応式と量的関係について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		中和反応 中和反応の量的 関係 中和滴定と滴定 曲線	知 中和反応、中和滴定について理解する。 思 中和反応、中和滴定について、日常生活の関連を調 べる。 学 実験等を通して、中和反応、中和滴定について意欲的に 学ぶ。	・中和反応 ・中和滴定(弱酸×強塩基、等)	知 中和反応について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8		
		期末考査					〇〇	1	
商業	3学期	酸化還元反応の定義 酸化還元反応	知 酸化還元反応の定義、酸化還元反応について理解する。 思 酸化還元反応の定義、酸化還元反応について、日常生活 の関連を調べる。 学 実験等を通して、酸化還元反応の定義、酸化還元反応につ いて意欲的に学ぶ。	・酸化と還元 ・酸化還元滴定(酸化剤×還元剤)	知 酸化還元反応の定義について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8	商業	
教養		酸化還元反応の 量的関係	知 酸化還元反応の量的関係について理解する。 思 酸化還元反応の量的関係について、日常生活の関連を 調べる。 学 実験等を通して、酸化還元反応の量的関係について意 欲的に学ぶ。	・半反応式(酸化反応式と還元反応式) ・酸化還元反応式の操作	知 酸化還元反応の量的関係について理解している。 思 単元と日常生活との関連をレポート、ノート等にまとめられ ている。また、自分の考えを表現できる。 態 積極的に個別学習、グループワーク、実験に参加してい る。	〇〇〇	8	教養	
総合 その他		学年末考査					〇〇	1	総合 その他

1年
2年
3年
4年

必修
必選
自選

国語
公地
民歴
数学
理科
体育
健
芸術
英語
家庭
情報
商業
教養
総合
その他

講座名	生物基礎（自選）			単位数	2単位
				対象年次	3・4年次
教科・科目名	理科・生物基礎	定員	30	難易度	☆☆
担当者名					
教科書	新編 生物基礎（東京書籍）				
副教材	新課程 ニューサポート 新編生物基礎（東京書籍）				
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等	
	生物や生物現象に関わる知識を獲得し、顕微鏡により生物の微細な構造を知る。	生物学の基本的な概念や原理、法則を応用し、これからの地球環境や生物の暮らしについて想像できるようにする。		基本的な生命現象に関する知識をもとに、持続可能な社会を実現するために考え行動できるようにする。	
概要	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。 細胞、代謝、DNA、恒常性の維持、生態系、顕微鏡観察、細胞とDNA、解剖等の実験を行いレポートを作成する。				
受講条件	2年次の必修選択科目「生物基礎」を履修していない生徒。 ※旧課程の生物基礎（初級）として受講可。				

1年
2年
3年
4年
必修
必選
自選

	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	生物の多様性と共通性	知 生物の特徴について、生物の共通性と多様性のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物の共通性と多様性を見いだして表現する。 学 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生物の多様性 ・生物の共通性 ・細胞の特徴	知 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 生物の共通性と多様性について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	3
	生物とエネルギー	知 生物の特徴について、生物とエネルギーのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 生物の特徴について、観察、実験などを通して探究し、生物とエネルギーを見いだして表現する。 学 生物とエネルギーに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生体とATP ・酵素のはたらき ・呼吸と光合成	知 生物の特徴について、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 生物とエネルギーについて、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 生物とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	2
	中間考査				〇〇	1
	遺伝情報とDNA	知 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とDNAのことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 遺伝子とのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 学 遺伝子とのはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生物と遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製と分配	知 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とDNAの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 遺伝情報とDNAについて、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 遺伝情報とDNAに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	4
	遺伝情報とタンパク質の合成	知 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 遺伝子とのはたらきについて、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とタンパク質の合成の関係を見いだし表現する。 学 遺伝情報とタンパク質合成に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・タンパク質 ・タンパク質と遺伝情報 ・細胞の分化と遺伝子	知 遺伝子とのはたらきについて、遺伝情報とタンパク質の合成の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 遺伝情報とタンパク質の合成について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 遺伝情報とタンパク質の合成に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	3
	期末考査				〇〇	1
2学期	ヒトの体を調節するしくみ	知 神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 神経系と内分泌系による調節について、観察、実験などを通して探究し、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして表現する。 学 情報の伝達に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・体内環境 ・神経系による情報伝達 ・内分泌系による情報伝達 ・血糖濃度の調節	知 神経系と内分泌系による調節について、情報の伝達の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 情報の伝達について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 情報の伝達に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	8
	中間考査				〇〇	1
	免疫のはたらき	知 免疫について、免疫のはたらきを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 免疫について、観察、実験などを通して探究し、異物を排除する防御機構が働いていることを見いだして表現する。 学 免疫のはたらきに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・免疫のしくみ ・免疫の応用 ・免疫とさまざまな疾患	知 免疫について、免疫の働きを基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 免疫の働きについて、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 免疫の働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	3
	植生と遷移	知 植生と遷移について、植生と遷移のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 植生と遷移について、観察、実験などを通して探究し、遷移の要因を見いだして表現する。 学 植生と遷移に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・身のまわりの植生 ・植生の遷移 ・遷移とバイオーム	知 植生と遷移について、植生と遷移の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 植生と遷移について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 植生と遷移に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	4
	期末考査				〇〇	1
3学期	生態系と生物の多様性	知 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 思 生態系とその保全について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物の種多様性を見いだすととともに、生態系のバランスと保全について表現する。 学 生態系とその保全に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	・生態系における生物の多様性 ・生態系における生物間の関係 ・生態系と人為的攪乱 ・生態系の保全	知 生態系とその保全について、生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 思 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全について、問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 態 生態系と生物の多様性、ならびに生態系のバランスと保全に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	〇〇〇	7
	学年末考査				〇〇	1

国語
公地
民歴
数学
理科
体育
健
芸術
英語
家庭
情報
商業
教養
総合
その他

1年	講座名	好きになる理科			単位数	2単位	1年	
					対象年次	4年次		2年
2年	教科・科目名	理科・理科基礎（学校設定）	定員	30	難易度	☆	3年	
3年	担当者名							4年
4年	教科書	なし					必修	
	副教材	なし						必選
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		自選	
		科学技術の発展の人間生活への貢献，身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ，これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。	身近な事物・現象の中に問題を見出し，観察，実験，調査などを行って得た結果について，科学的に思考し，判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。		身近な事物・現象に関心や探究心をもち，科学的な視点・考察力を養うとともに，科学技術に対する関心を高める態度を身につける。生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。			
	概要	1年次に学んだ科学と人間生活の内容をさらに実験などの探究活動を用いて理解を深める。 科学の4分野（生物、化学、物理、地学）に関して、身の回りの物質や現象と結びつけながら理解を深める。目的意識をもって観察，実験などを行い，探究する能力と態度を育てるとともに，理科の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方を養う。						
	受講条件	なし						
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	プラスチックの特徴	プラスチックの性質の違いや化学的な構造上の特徴から，用途に違いがあることを考察する。	・プラスチックの特徴 ・原子、陽子、中性子、電子、分子 ・共有結合	人間生活に不可欠なプラスチックについて大いに興味をもち，それらの性質，化学構造，用途について主体的に理解しようとする。	〇〇〇	3	公地民歴
		金属結合	身のまわりの金属に関心を示し，その種類，化学的性質，日常生活への利用方法について知識を習得する。	・金属結合 ・分留・精錬	身のまわりの金属に関心を示し，その種類，化学的性質，日常生活への利用方法について知識を習得しようとする。	〇〇〇	2	数学
		食品中の栄養素	炭水化物，タンパク質，脂質やその他の栄養素について関心を抱き，化学的な構造や性質，生体内でのはたらきについて理解する。	・炭水化物、タンパク質、脂質、無機物、ビタミン ・消化酵素 ・各栄養素の生体内でのはたらき	炭水化物，タンパク質，脂質やその他の栄養素について関心を抱き，化学的な構造や性質，生体内でのはたらきについて理解しようとする。	〇〇〇	6	理科
		DNAとタンパク質	・生体を構成する物質の1つ，タンパク質に興味をもち，DNAの塩基配列との関係について理解する。	・DNAとタンパク質の合成と構造 ・血糖値の調整	・生体を構成する物質の1つ，タンパク質に興味をもち，DNAの塩基配列との関係について理解しようとする。	〇〇〇	6	体育健
		実験・探究活動	学習した内容について、さらに理解を深めるための実験やレポートを作成する。	・探究学習の進め方 ・科学的思考について ・実験計画 ・レポートの書き方	知 探究学習の進め方を理解できる。 思 事象を論理的に考察することができる。 態 探究することに興味をもち、学習に取り組むことができる。	〇〇〇	9	芸術
英語	2学期	免疫のしくみ 視覚のしくみ	・免疫の複雑なしくみを理解する。 ・ヒトの視覚について理解する。	・免疫のしくみ ・ワクチンのしくみ ・眼球の構造 ・視覚のしくみ	・日常的にも使われる「ワクチン」や「アレルギー」といった語に関心をもち，科学的に理解しようとする。 ・ヒトの視覚について理解しようとする。	〇〇〇	5	英語
		微生物とその利用	・日常生活への微生物の応用に興味をもち，医薬品への利用や，これからの微生物の利用について思考する。	・身近な微生物 ・発酵のしくみ ・微生物と医療	・日常生活への微生物の応用に興味をもち，医薬品への利用や，これからの微生物の利用について思考しようとする。	〇〇〇	5	家庭
		熱運動	・熱運動に興味を抱き，発火の現象や，熱量の計算について理解しようとする。	・熱運動 ・セルシウス度 ・絶対温度	・熱運動に興味を抱き，発火の現象や，熱量の計算について理解しようとする。	〇〇〇	8	情報
		光の回折・干渉・偏光	・身のまわりの光に興味をもち，光の回折・干渉・偏光などの現象について理解する。 ・赤外線や紫外線に関心を抱き，人間生活に利用されている電磁波の知識を習得する。	・光の回折・干渉・偏光 ・電磁波 ・可視光、紫外線、赤外線	・身のまわりの光に興味をもち，光の回折・干渉・偏光などの現象について理解しようとする。 ・赤外線や紫外線に関心を抱き，人間生活に利用されている電磁波の知識を習得しようとする。	〇〇〇	8	商業
		実験・探究活動	学習した内容について、さらに理解を深めるための実験やレポートを作成する。	・探究学習の進め方 ・科学的思考について ・実験計画 ・レポートの書き方	知 探究学習の進め方を理解できる。 思 事象を論理的に考察することができる。 態 探究することに興味をもち、学習に取り組むことができる。	〇〇〇	9	教養
総合	3学期	自然景観と自然災害	・日本の火山活動に関心をもち，噴火や火山の形のでき方を理解する。 ・地震に関心をもち，地震の発生するしくみを理解する。	・地震の仕組み ・火山活動	・日本の火山活動に関心をもち，噴火や火山の形のでき方を理解しようとする。 ・地震に関心をもち，地震の発生するしくみを理解しようとする。	〇〇〇	8	その他
		実験・探究活動	学習した内容について、さらに理解を深めるための実験やレポートを作成する。	・探究学習の進め方 ・科学的思考について ・実験計画 ・レポートの書き方	知 探究学習の進め方を理解できる。 思 事象を論理的に考察することができる。 態 探究することに興味をもち、学習に取り組むことができる。	〇〇〇	3	

1年	講座名	1年体育			単位数	2単位	1年
2年		教科・科目名	保健体育・体育	定員	—	対象年次	1年次
3年		担当者名					
4年		教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)				
必修		副教材	なし				
必修	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。			
必修	概要	1 基本的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ゲームや記録会を行い、自己の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 チームでの作戦会議や他者との話し合いを通して、学びが深くなる活動を行う。					
必修	受講条件	なし					
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
公地民歴	1学期	陸上競技	知 記録に挑戦し、基本的な技術を身につけることができるようになる。 思 記録を向上させるためにどのように身体を動かすと効率のかを考えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・走跳投の基本的な方法 ・計測およびその方法 ・一人一台端末の活用	知 基本的な走跳投ができる。 思 技を習得するための課題を発見することができる。 学 様々な走跳投に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	14
数学		水泳(共通)	知 クロール、平泳ぎの泳ぎ方について理解し、正しいフォームで泳げるようになる。 思 正しく泳ぐための課題を発見することができるようになる。 学 泳法の習得に取り組もうとする。	・クロール、平泳ぎを中心とする泳法の習得 ・クロール、平泳ぎ25mのタイム測定 ・10分～15分程度の時間泳 ・一人一台端末の活用	知 クロール、平泳ぎの泳ぎ方について理解し、正しいフォームで泳げることができる。 思 正しく泳ぐための課題を発見することができる。 学 泳法の習得に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16
理科		バスケットボール	知 基本的なシュートやドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・セットシュート、レイアップシュート、ドリブル、パスといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
体育健		なわとび	知 基本的な技や跳び方ができるようになる。思 技を習得するための課題を発見することができるようになる。学 様々な技や跳び方に取り組もうとする。	・前跳びや後ろ跳び等の基本的な技の習得・二重跳びや側回旋跳び等の発展技の習得・一人一台端末の活用	知 基本的な技や跳び方ができる。思 技を習得するための課題を発見することができる。学 様々な技や跳び方に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
芸術	2学期	バドミントン	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 短距離走やリレーの技能について理解し、記録を伸ばすことができる。 思 記録を伸ばすための課題を発見することができる。 学 記録向上のために課題に気づき、改善しようとしている。	〇 〇 〇	16
英語		アルティメット	知 基本的なスローができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	バックハントスロー、フォアハントスローといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なスローができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
家庭		卓球(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
情報		サッカー(男子)	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・シュート、パス練習 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16
商業		バレーボール	知 基本的なレシーブやトス、サーブができるようになる。 思 自己や仲間の課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し健康・安全を確保しながら取り組もうとする。	・レシーブ、トス、サーブといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なレシーブやトス、サーブができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
教養		テニス(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンドストローク、バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
総合	3学期	長距離走(共通)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 長距離走を生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用	知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 長距離走を生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	〇 〇 〇	16
その他		ウォーキング(共通)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用	知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	〇 〇 〇	

1年	講座名	1年保健			単位数	1単位	1年	
2年					対象年次	1年次	2年	
3年	教科・科目名	保健体育・保健	定員	—	難易度	—	3年	
4年	担当者名						4年	
必修	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					必修	
	副教材	なし						
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選	
		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけることができるようになる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。			
自選	概要	1 現代社会と健康について知識を深め、実生活に関連付けて考えることができるよう指導を行う。 2 学習シートや話し合い活動を通じて、自他の健康について考査し、生涯にわたって健康を保持増進するための指導を行う。 3 健康を保持増進するための実践的スキルを高める指導を行う。					自選	
	受講条件	なし						
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	国語	
公地民歴	1学期	国民の健康水準の向上と変化する健康課題	知 健康水準の向上した理由と今後の健康課題について理解することができるようになる。 思 日本の健康課題について実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 日本の健康課題について考察しようとする。	・健康水準の向上 ・病気の傾向と新たな健康課題 ・一人一台端末の活用	知 健康水準の向上した理由と今後の健康課題について理解することができる。 思 日本の健康課題について実生活と関連付けて考察することができる。 学 日本の健康課題について考察している。	〇〇〇 3	公地民歴	
数学		健康の保持増進とヘルスプロモーション	知 健康の考え方とヘルスプロモーションについて理解することができるようになる。 思 ヘルスプロモーションについて理解し、実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 健康の考え方について考察しようとする。	・健康の考え方 ・ヘルスプロモーションの進め方 ・一人一台端末の活用	知 健康の考え方とヘルスプロモーションについて理解することができる。 思 ヘルスプロモーションについて理解し、実生活と関連付けて考察することができる。 学 健康の考え方について考察している。	〇〇〇 4	数学	
理科		中間考査	なし	なし	なし	〇〇		理科
体育健		感染症の予防	知 感染症の発症と流行・予防について理解することができるようになる。 思 感染症予防について具体的な予防方法を考察することができるようになる。 学 様々な感染症について考察しようとする。	・感染症の発症と流行 ・感染症予防のために ・一人一台端末の活用	知 感染症の発症と流行・予防について理解することができる。 思 感染症予防について具体的な予防方法を考察することができる。 学 様々な感染症について考察している。	〇〇〇 4	体育健	
芸術		性感染症とその予防	知 性感染症の感染源、感染経路、感受性者について理解することができるようになる。 思 性感染症の予防について具体的な方法を考察することができるようになる。 学 性感染症の流行と予防について考察しようとする。	・性感染症を予防するために ・HIV感染症とエイズ ・一人一台端末の活用	知 性感染症の感染源、感染経路、感受性者について理解することができる。 思 性感染症の予防について具体的な方法を考察することができる。 学 性感染症の流行と予防について考察している。	〇〇〇 4	芸術	
英語	2学期	期末考査				〇〇	英語	
家庭		生活習慣病とその予防	知 糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病の発症と原因について理解することができるようになる。 思 一次・二次・三次予防について理解し、具体的な予防策について考察することができるようになる。 学 生活習慣病の予防について考察しようとする。	・生活習慣病とは ・生活習慣病を予防するには ・一人一台端末の活用	知 糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病の発症と原因について理解することができる。 思 一次・二次・三次予防について理解し、具体的な予防策について考察することができる。 学 生活習慣病の予防について考察している。	〇〇〇 4	家庭	
情報		食事と健康 健康と運動・休養・睡眠	知 食事・運動・休養と健康の関係について具体的に理解することができるようになる。 思 食事・運動・休養について実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 食事・運動・休養について生涯にわたって健康を保持増進するための手法を考察しようとする。	・食事について ・運動について ・休養について ・一人一台端末の活用	知 食事・運動・休養と健康の関係について具体的に理解することができるようになる。 思 食事・運動・休養について実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 食事・運動・休養について生涯にわたって健康を保持増進するための手法を考察しようとする。	〇〇〇 4	情報	
商業		中間考査	なし	なし	なし	〇〇	1	商業
教養		がんの発生とその予防	知 ガンの発症と若いころからの生活習慣が発症にかかわることについて理解できるようになる。 思 ガンを予防するために必要な生活習慣について、実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 ガンを予防するために必要な事項を考察しようとする。	・がんの発生とがん医療 ・がんの予防のために ・一人一台端末の活用	知 ガンの発症と若いころからの生活習慣が発症にかかわることについて理解できるようになる。 思 ガンを予防するために必要な生活習慣について、実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 ガンを予防するために必要な事項を考察しようとする。	〇〇〇 3	教養	
総合	3学期	喫煙・飲酒と健康	知 飲酒・喫煙と健康について、具体的に理解することができるようになる。 思 飲酒・喫煙が体に及ぼす影響について、実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 飲酒・喫煙による健康被害を防ぐための方法を考察しようとする。	・なぜ喫煙が健康によくないのか ・喫煙問題と20歳未満の者への対策 ・アルコールが体に及ぼす影響 ・飲酒による健康被害を防ぐには ・一人一台端末の活用	知 飲酒・喫煙と健康について、具体的に理解することができる。 思 飲酒・喫煙が体に及ぼす影響について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 飲酒・喫煙による健康被害を防ぐための方法を考察している。	〇〇〇 4	総合	
その他		期末考査				〇〇	1	その他
		薬物乱用とその防止	知 薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について理解できるようになる。 思 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について考察することができるようになる。 学 薬物乱用による健康被害を防ぐための方法を考察しようとする。	・薬物乱用がもたらす影響 ・薬物乱用を防止するために ・一人一台端末の活用	知 薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について理解できる。 思 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について考察することができる。 学 薬物乱用による健康被害を防ぐための方法を考察している。	〇〇〇 3		
	学年末考査	脳と神経のはたらき 欲求不満と適応機制	知 人間の欲求と欲求不満に対処するための適応機制について理解できるようになる。 思 欲求不満に対する適応機制について具体例を挙げて考察することができるようになる。 学 欲求不満に対する適応機制について具体的な方法を考察しようとする。	・欲求とは ・適応機制について ・一人一台端末の活用	知 人間の欲求と欲求不満に対処するための適応機制について理解できる。 思 欲求不満に対する適応機制について具体例を挙げて考察することができる。 学 欲求不満に対する適応機制について具体的な方法を考察しようとしている。	〇〇〇 3		
		学年末考査				〇〇	1	

1 年	講座名	1 年体育（自選）			単位数	2 単位	1 年	
	教科・科目名	保健体育・体育	定員	60	対象年次	1 年次		
	担当者名							2 年
	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)						
	副教材	なし						
3 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		3 年		
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。				
4 年	概要	1 ネット型スポーツにおける基本的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 ネット型スポーツを通して健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ネット型スポーツのゲームを行い、自己の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 ペアでの作戦会議や他者との話し合いを通して、学びが深くなる活動を行う。					4 年	
	受講条件	ルールやマナーを守り、健康・安全を確保して積極的に運動実践に取り組める生徒。 3年で卒業する生徒は、「体育（自選）」を1年生または2年生で履修すること。						
必修 必選 自選		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	必修 必選 自選
国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健	1学期	卓球 （男子）	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇	28	
		テニス （女子）	知 ストローク、ボレー、サービスといった基礎的な技能を習得し、ラリーを行うことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンド・バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基礎的な技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇		
芸術	2学期	バドミントン （男子）	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇	16	
		卓球 （女子）	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇		
		テニス （男子）	知 ストローク、ボレー、サービスといった基礎的な技能を習得し、ラリーを行うことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンド・バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基礎的な技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク、ボレー、サービスといった基礎的な技能を習得し、ラリーを行うことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇	16	
英語 家庭		バドミントン （女子）	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇		
	総合 その他	3学期	アルティメット （男子）	知 基本的なスローができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	バックハndsロー、フォアハndsローといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なスローができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	
		バレーボール （女子）	知 基本的なレシーブやトス、サーブができるようになる。 思 自己や仲間の課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し健康・安全を確保しながら取	・レシーブ、トス、サーブといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なレシーブやトス、サーブができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇		

1 年	講座名	2年体育			単位数	2単位	1 年	
					対象年次	2年次		
					難易度	—		
2 年	教科・科目名	保健体育・体育		定員	—		2 年	
3 年	担当者名							
4 年	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)						
必修	副教材							
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。			
	概要	1 基本的・発展的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ゲームや記録会を行い、自己や他者の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 チームでの作戦会議や他者との話し合いを通して、深い学びにつながる活動を行う。						必修 必選 自選
	受講条件	なし。						
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	
公地 民歴 数学 理科 体育 健	バスケットボール(男子)	知 基本的なシュートやドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・セットシュート、レイアップシュート、ドリブル、パスといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	14		
	アルティメット(女子)	知 基本的なスローができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	バックハndsロー、フォアハndsローといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なスローができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
	卓球(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
	1学期	サッカー(男子)	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・シュート、パス練習 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇		16
		バドミントン(女子)	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 短距離走やルールの技能について理解し、記録を伸ばすことができる。 思 記録を伸ばすための課題を発見することができる。 学 記録向上のために課題に気づき、改善しようとしている。	〇 〇 〇		
水泳(共通)		知 クロール、平泳ぎの泳ぎ方について理解し、正しいフォームで泳げるようになる。 思 正しく泳ぐための課題を発見することができるようになる。 学 泳法の習得に取り組もうとする。	・クロール、平泳ぎを中心とする泳法の習得 ・クロール、平泳ぎ25mのタイム測定 ・10分～15分程度の時間泳 ・一人一台端末の活用	知 クロール、平泳ぎの泳ぎ方について理解し、正しいフォームで泳げることができる。 思 正しく泳ぐための課題を発見することができる。 学 泳法の習得に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
2学期	バレーボール(男子)	知 基本的なレシーブやトス、サーブができるようになる。 思 自己や仲間の課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し健康・安全を確保しながら取り組もうとする。	・レシーブ、トス、サーブといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なレシーブやトス、サーブができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16		
	ソフトボール(女子)	知 基本的な送球、捕球、バット操作ができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・キャッチボールやゴロやフライの捕球、バット操作といった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的な送球、捕球、バット操作ができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
	テニス(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハndsストローク、バックハndsストローク、ボレー、サーブといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
	アルティメット	知 基本的なスローができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	バックハndsロー、フォアハndsローといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なスローができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16		
	フットサル(女子)	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・シュート、パス練習 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
	ニュースポーツ(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇			
3学期	長距離走(共通)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 長距離走を生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用	知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 長距離走を生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	〇 〇 〇	16		
	ウォーキング(共通)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用	知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	〇 〇 〇			

1年	講座名	2年保健			単位数	1単位	1年		
2年					対象年次	2年次	2年		
3年	教科・科目名	保健体育・保健	定員	—	難易度	—	3年		
4年	担当者名						4年		
必修	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					必修		
	副教材	なし							
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選		
		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけることができるようになる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。				
自選	概要	1 安全な社会生活、生涯を通じる健康について知識を深め、実生活に関連付けて考えることができるよう指導を行う。 2 学習シートや話し合い活動を通じて、自他の健康について考査し、生涯にわたって健康を保持増進するための指導を行う。 3 健康を保持増進するための実践的スキルを高める指導を行う。					自選		
	受講条件	なし							
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	心の健康と精神疾患	知 心の健康や精神疾患について理解することができる。 思 心の健康や精神疾患について実生活と関連付けて考察することができる。 学 心の健康や精神疾患について考察しようとする。		・心の健康とは ・精神疾患とは ・一人一台端末の活用	知 心の健康や精神疾患について理解することができる。 思 心の健康や精神疾患について実生活と関連付けて考察することができる。 学 心の健康や精神疾患について考察している。	〇〇〇	3	公地民歴
数学		精神疾患の予防と回復のために	知 心の健康の保ち方について理解することができる。 思 心の健康の保ち方について理解し、実生活と関連付けて考察することができる。 学 心の健康の保ち方について考察しようとする。		・心の健康の保ち方 ・精神疾患からの回復のために ・一人一台端末の活用	知 心の健康の保ち方について理解することができる。 思 心の健康の保ち方について理解し、実生活と関連付けて考察することができる。 学 心の健康の保ち方について考察している。	〇〇〇	3	数学
理科		中間考査	なし		なし	なし	〇〇	1	理科
体育健		交通事故と安全の確保	知 交通事故の特徴と原因について理解することができる。 思 交通事故の特徴と原因について実生活と関連付けて考察することができる。 学 交通事故の特徴と原因について考察しようとする。		・交通事故の特徴と原因 ・運転する人の安全意識と責任 ・一人一台端末の活用	知 交通事故の特徴と原因について理解することができる。 思 交通事故の特徴と原因について実生活と関連付けて考察することができる。 学 交通事故の特徴と原因について考察している。	〇〇〇	4	体育健
芸術		安全・安心な社会づくり	知 安全・安心な社会づくりについて理解することができる。 思 安全・安心な社会づくりについて具体的な方法を考察することができる。 学 安全・安心な社会づくりについて考察しようとする。		・安全に暮らすには ・安全・安心な社会へ向けた取り組み ・一人一台端末の活用	知 安全・安心な社会づくりについて理解することができる。 思 安全・安心な社会づくりについて具体的な方法を考察することができる。 学 安全・安心な社会づくりについて考察している。	〇〇〇	4	芸術
英語		期末考査					〇〇	1	英語
家庭	2学期	適切な応急手当の手順 心肺蘇生法の実践	知 適切な応急手当の手順について理解することができる。 思 適切な応急手当の手順について理解し、応急手当とAEDの効果について考察することができる。 学 適切な応急手当の手順について考察しようとする。		・応急手当とAEDの効果 ・心肺蘇生法の実践方法 ・一人一台端末の活用	知 適切な応急手当の手順について理解することができる。 思 適切な応急手当の手順について理解し、応急手当とAEDの効果について考察することができる。 学 適切な応急手当の手順について考察している。	〇〇〇	3	家庭
情報		日常的な応急手当	知 日常的な応急手当について具体的に理解することができる。 思 日常的な応急手当について実生活と関連付けて考察することができる。 学 日常的な応急手当について生涯にわたって健康を保持増進するための手法を考察しようとする。		・日常的な応急手当とは ・熱中症について ・一人一台端末の活用	知 日常的な応急手当について具体的に理解することができるようになる。 思 日常的な応急手当について実生活と関連付けて考察することができる。 学 日常的な応急手当について生涯にわたって健康を保持増進するための手法を考察している。	〇〇〇	4	情報
商業		中間考査	なし		なし	なし	〇〇	1	商業
教養		思春期と健康 思春期の体と健康	知 思春期と健康について理解できる。 思 思春期と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 性への意識・行動には個人差があることを考察しようとする。		・思春期の心の成長と性意識の変化 ・男女の体の変化 ・一人一台端末の活用	知 思春期と健康について理解することができる。 思 思春期と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 性への意識・行動には個人差があることを考察している。	〇〇〇	3	教養
総合		結婚生活と健康 新しい生命の誕生 家族計画と不妊治療	知 結婚生活と健康について、具体的に理解することができる。 思 家族と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 生涯を通じる健康について考察しようとする。		・健康な結婚生活のために ・家族と健康 ・新しい生命の誕生 ・一人一台端末の活用	知 結婚生活と健康について、具体的に理解することができる。 思 家族と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 生涯を通じる健康について考察しようとする。	〇〇〇	4	総合
その他		期末考査					〇〇	1	その他
	3学期	労働と健康	知 労働者の健康・安全と健康問題について理解できる。 思 労働と健康のための個人や社会環境への対策について考察することができる。 学 労働災害による健康被害を防ぐための方法を考察しようとする。		・労働者の健康・安全を守るしくみ ・労働災害・職業病とその予防 ・一人一台端末の活用	知 労働者の健康・安全と健康問題について理解できる。 思 労働と健康のための個人や社会環境への対策について考察することができる。 学 労働災害による健康被害を防ぐための方法を考察している。	〇〇〇	3	
		健康を支える環境づくり	知 健康を支える環境づくりについて理解できる。 思 健康を支える環境づくりについて具体例を挙げて考察することができる。 学 環境にやさしいライフスタイルの選択について具体的な方法を考察しようとする。		・環境づくりについて ・大気汚染について ・一人一台端末の活用	知 健康を支える環境づくりについて理解できる。 思 健康を支える環境づくりについて具体例を挙げて考察することができる。 学 環境にやさしいライフスタイルの選択について具体的な方法を考察しようとしている。	〇〇〇	3	
		学年末考査					〇〇	1	

1年	講座名	2年体育（自選）			単位数	2単位	1年	
2年					対象年次	2年次	2年	
3年	教科・科目名	保健体育・体育	定員	60	難易度	－	3年	
4年	担当者名						4年	
必修	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					必修	
	副教材	なし						
必修	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修	
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。			
自選	概要	1 ネット型スポーツにおける基本的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 ネット型スポーツを通して健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ネット型スポーツのゲームを行い、自己の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 ペアでの作戦会議や他者との話し合いを通して、学びが深くなる活動を行う。					自選	
自選	受講条件	ルールやマナーを守り、健康・安全を確保して積極的に運動実践に取り組める生徒。 3年で卒業をする生徒で、1年で「1年体育（自選）」を履修していない生徒は、履修すること。					自選	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	卓球（男子）	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇	28	公地民歴
数学		テニス（女子）	知 ストローク、ボレー、サービスといった基礎的な技能を習得し、ラリーを行うことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンド・バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基礎的な技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇		数学
理科	2学期	バドミントン（男子）	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇	16	理科
体育健康		卓球（女子）	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 基礎的なストロークやサービスの技能を習得することができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇		体育健康
芸術		テニス（男子）	知 ストローク、ボレー、サービスといった基礎的な技能を習得し、ラリーを行うことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンド・バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基礎的な技能の習得 ・ラリー練習 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク、ボレー、サービスといった基礎的な技能を習得し、ラリーを行うことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇	16	芸術
	英語	バドミントン（女子）	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	〇 〇 〇		英語
家庭	3学期	アルティメット（男子）	知 基本的なスローができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	バックハンドスロー、フォアハンドスローといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なスローができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	18	家庭
総合		バレーボール（女子）	知 基本的なレシーブやトス、サーブができるようになる。 思 自己や仲間の課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し健康・安全を確保しながら取り組もうとする。	・レシーブ、トス、サーブといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なレシーブやトス、サーブができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇		総合
その他								その他

1 年	講座名	3年体育			単位数	2単位	1 年					
		教科・科目名	保健体育・体育	定員	—	対象年次		3年次	2 年			
						担当者名				難易度	—	3 年
教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					4 年						
副教材							必修					
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			必修						
	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。				必 選					
概要	1 基本的・発展的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ゲームや記録会を行い、自己や他者の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 チームでの作戦会議や他者との話し合いを通して、深い学びにつながる活動を行う。							必 選				
受講条件	なし。						自 選					
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数		国 語				
1学期	テニス(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンドストローク、バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	14	公 地 民 歴					
	サッカー(男子)	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・シュート、パス練習 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
	バスケットボール(女子)	知 基本的なシュートやドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・セットシュート、レイアップシュート、ドリブル、パスといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
	水泳(共通)	知 クロール、平泳ぎの泳ぎ方について理解し、正しいフォームで泳げるようになる。 思 正しく泳ぐための課題を発見することができるようになる。 学 泳法の習得に取り組もうとする。	・クロール、平泳ぎを中心とする泳法の習得 ・クロール、平泳ぎ25mのタイム測定 ・10分～15分程度の時間泳 ・一人一台端末の活用	知 クロール、平泳ぎの泳ぎ方について理解し、正しいフォームで泳げることができる。 思 正しく泳ぐための課題を発見することができる。 学 泳法の習得に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16		数 学				
	バスケットボール(男子)	知 基本的なシュートやドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・セットシュート、レイアップシュート、ドリブル、パスといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
	ソフトボール(女子)	知 基本的な送球、捕球、バット操作ができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・キャッチボールやゴロやフライの捕球、バット操作といった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的な送球、捕球、バット操作ができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
2学期	ソフトボール(男子)	知 基本的な送球、捕球、バット操作ができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・キャッチボールやゴロやフライの捕球、バット操作といった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的な送球、捕球、バット操作ができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16	体 育 健 育					
	バレーボール(女子)	知 基本的なレシーブやトス、サーブができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し健康・安全を確保しながら取り組もうとする。	・レシーブ、トス、サーブといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なレシーブやトス、サーブができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
	ダンスエクササイズ(共通)	知 心と体の関係に気づき、運動に親しむことができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・リズムに合わせて運動に親しむ。 ・仲間と交流しながら課題に取り組む。 ・一人一台端末の活用	知 心と体の関係に気づき、運動に親しむことができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
	バレーボール(男子)	知 基本的なレシーブやトス、サーブができるようになる。 思 自己や仲間の課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し健康・安全を確保しながら取り組もうとする。	・レシーブ、トス、サーブといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なレシーブやトス、サーブができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇	16		芸 術				
	サッカー(女子)	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・シュート、パス練習 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやパス、ドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇							
	ウォーキング(共通)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用	知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	〇 〇 〇							
3学期	バドミントン(共通)	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 短距離走やラリーの技能について理解し、記録を伸ばすことができる。 思 記録を伸ばすための課題を発見することができる。 学 記録向上のために課題に気づき、改善しようとしている。	〇 〇 〇	16	英 語					
	卓球(共通)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇 〇 〇				家 庭			
							情 報					
							商 業					
							教 養					
							総 合					
							そ の 他					

1 年	講座名	4 年体育				単位数	2 単位	1 年		
						対象年次	4 年次			
	教科・科目名	保健体育・体育	定員	—	難易度	—	2 年			
	担当者名									
	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					3 年			
副教材										
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年			
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。					
必修	概要	1 基本的・発展的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ゲームや記録会を行い、自己や他者の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 チームでの作戦会議や他者との話し合いを通して、深い学びにつながる活動を行う。						必修		
必修	受講条件	なし。						必修		
必修									必修	
自選									自選	
自選									自選	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地歴	1 学期	体力テスト 体育理論 (共通)	知 各種目の記録を伸ばすことができるようになる。 思 自己の運動習慣について理解し、課題を発見することができるようになる。 学 自己の運動習慣について改善しようとする。	・新体力テスト種目の測定 ・運動習慣についての見直し・考察 ・一人一台端末の活用		知 各種目の記録を伸ばすことができる。 思 自己の運動習慣について理解し、課題を発見することができる。 学 自己の運動習慣について改善しようとしている。	○ ○ ○	14	公地歴	
数学		卓球(男子)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用		知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	○ ○ ○	16	数学	
理科		バドミントン(女子)	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用		知 短距離走やルールの技能について理解し、記録を伸ばすことができる。 思 記録を伸ばすための課題を発見することができる。 学 記録向上のために課題に気づき、改善しようとしている。	○ ○ ○		理科	
体育健										体育健
芸術	2 学期	バドミントン(男子)	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用		知 短距離走やルールの技能について理解し、記録を伸ばすことができる。 思 記録を伸ばすための課題を発見することができる。 学 記録向上のために課題に気づき、改善しようとしている。	○ ○ ○	16	芸術	
英語		卓球(女子)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用		知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	○ ○ ○		英語	
家庭										家庭
情報		テニス(男子)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンドストローク、バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用		知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	○ ○ ○		情報	
商業		ウォーキング(女子)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用		知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	○ ○ ○		商業	
教養										教養
総合	3 学期	ウォーキング(男子)	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用		知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 ノルディックウォーキングを生産にわたって継続するための方法について考えようとしている。	○ ○ ○	16	総合	
その他		テニス(女子)	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンドストローク、バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用		知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	○ ○ ○		その他	

1年	講座名	スポーツ総合演習			単位数	2単位	1年
					対象年次	3・4年次	
2年	教科・科目名	体育・スポーツ総合演習	定員	60	難易度	－	3年
3年	担当者名						
4年	教科書						必修
	副教材						
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		自選
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。		
必修	概要	1 基本的・発展的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ゲームや記録会を行い、自己や他者の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 チームでの作戦会議や他者との話し合いを通して、深い学びにつながる活動を行う。					公地 民歴
必選	受講条件	スポーツをより活発に行いたい生徒。 ※体育の単位にはなりません。3年卒業で、体育の単位が不足している生徒は「体育R」を受講すること。 ※旧課程生もスポーツ総合演習として履修可					
自選							理科
国語							
公地 民歴							芸術
数学							
理科							家庭
体育 保健							
芸術							商業
英語							
家庭							総合
情報							
商業							
教養							
総合							
その他							

1年	講座名	体育R			単位数	2単位	1年	
					対象年次	3・4年次		2年
2年	教科・科目名	保健体育・体育	定員	—	難易度	—	3年	
3年	担当者名							4年
4年	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					必修	
	副教材							必修
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修	
		生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見することができる。 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		運動における競争や協働を通して、公正に取り組み、互いに協力することができる。 健康・安全を確保して生涯にわたって継続する態度を身につけることができる。			必修
	概要	1 基本的・発展的な運動技能を身につけるための指導を行う。 2 健康・安全に留意し、怪我や熱中症などの危険がないように指導を行う。 3 ゲームや記録会を行い、自己や他者の課題に気づき改善するための指導を行う。 4 チームでの作戦会議や他者との話し合いを通して、深い学びにつながる活動を行う。					必修	
	受講条件	原則、取り直し専用。1・2年次に「スポーツ（1・2年）」を受講している生徒は受講不可。 体育未履修でなくても、3年卒業で、体育の単位が不足している生徒は「体育R」を受講すること。 ※旧課程のスポーツ（3・4年）として履修可						自選
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	
公地民歴	1学期	卓球	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇〇〇	16	公地民歴
数学		テニス	知 ストローク技能を習得し、ラリーができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・フォアハンドストローク、バックハンドストローク、ボレー、サーブといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 ストローク技能を習得し、ラリーができる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇〇〇	16	数学
理科	2学期	バドミントン	知 クリア、ドライブ、ドロップ等の基礎的な技能を習得し、ラリーやゲームができるようになる。 思 ペアや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 練習やゲームにおいて他者と協働し公正に取り組もうとする。	・サーブ、ストローク、スマッシュといった基本的技能の習得 ・シングルス、ダブルスのゲーム ・一人一台端末の活用	知 短距離走やリレーの技能について理解し、記録を伸ばすことができる。 思 記録を伸ばすための課題を発見することができる。 学 記録向上のために課題に気づき、改善しようとしている。	〇〇〇	16	理科
体育健		バスケットボール	知 基本的なシュートやドリブルができるようになる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができるようになる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとする。	・セットシュート、レイアップシュート、ドリブル、パスといった基本的技能の習得 ・チーム練習、ゲーム ・一人一台端末の活用	知 基本的なシュートやドリブルができる。 思 チームや仲間に自己の考えや課題を伝えることができる。 学 他者と協働し公正に取り組もうとしている。	〇〇〇	16	体育健
芸術	3学期	長距離走 ウォーキング	知 記録を伸ばすことができるようになる。 思 記録向上のための課題を発見することができるようになる。 学 長距離走を生涯にわたって継続するための方法について考えようとする。	・体づくり運動 ・体育理論 ・50分程度の時間走 ・一人一台端末の活用	知 記録を伸ばすことができる。 思 記録向上のための課題を発見することができる。 学 長距離走を生涯にわたって継続するための方法について考えようとしている。	〇〇〇	14	芸術
英語								
家庭								家庭
情報								情報
商業								商業
教養								教養
総合								総合
その他								その他

1年	講座名	保健R			単位数	2単位	1年			
					対象年次	3・4年次				
		2年	教科・科目名	保健体育・保健	定員	—		難易度	—	2年
		担当者名								
		3年	教科書	高等学校 保健体育(第一学習社)					3年	
副教材	なし									
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			4年			
		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけることができるようになる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を養う。						
必修 必選 自選	概要	1 安全な社会生活、生涯を通じる健康について知識を深め、実生活に関連付けて考えることができるよう指導を行う。 2 学習シートや話し合い活動を通じて、自他の健康について考査し、生涯にわたって健康を保持増進するための指導を行う。 3 健康を保持増進するための実践的スキルを高める指導を行う。						必修 必選 自選		
	受講条件	取り直し専用。 ※旧課程の生活習慣として履修可								
国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		
	1学期	国民の健康水準の向上と変化する健康課題	知 健康水準の向上した理由と今後の健康課題について理解することができるようになる。 思 日本 の健康課題について実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 日本 の健康課題について考察しようとする。	・健康水準の向上 ・病気の傾向と新たな健康課題 ・一人一台端末の活用	知 健康水準の向上した理由と今後の健康課題について理解することができる。 思 日本 の健康課題について実生活と関連付けて考察することができる。 学 日本 の健康課題について考察している。	〇〇〇	7			
		感染症の予防	知 感染症の発症と流行・予防について理解することができるようになる。 思 感染症予防について具体的な予防方法を考察することができるようになる。 学 様々な感染症について考察しようとする。	・感染症の発症と流行 ・感染症予防のために ・一人一台端末の活用	知 感染症の発症と流行・予防について理解することができる。 思 感染症予防について具体的な予防方法を考察することができる。 学 様々な感染症について考察している。	〇〇〇	8			
		中間考査	なし	なし	なし	〇〇	0			
		生活習慣病とその予防	知 糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病の発症と原因について理解することができるようになる。 思 一次・二次・三次予防について理解し、具体的な予防策について考察することができるようになる。 学 生活習慣病の予防について考察しようとする。	・生活習慣病とは ・生活習慣病を予防するには ・一人一台端末の活用	知 糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病の発症と原因について理解することができる。 思 一次・二次・三次予防について理解し、具体的な予防策について考察することができる。 学 生活習慣病の予防について考察している。	〇〇〇	7			
		がんの発生とその予防	知 ガンの発症と若いころからの生活習慣が発症にかかわることについて理解できるようになる。 思 ガンを予防するために必要な生活習慣について、実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 ガンを予防するために必要な事項を考察しようとする。	・がんの発生とがん医療 ・がんの予防のために ・一人一台端末の活用	知 ガンの発症と若いころからの生活習慣が発症にかかわることについて理解できるようになる。 思 ガンを予防するために必要な生活習慣について、実生活と関連付けて考察することができるようになる。 学 ガンを予防するために必要な事項を考察しようとする。	〇〇〇	8			
		期末考査				〇〇	1			
	2学期	薬物乱用とその防止	知 薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について理解できるようになる。 思 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について考察することができるようになる。 学 薬物乱用による健康被害を防ぐための方法を考察しようとする。	・薬物乱用がもたらす影響 ・薬物乱用を防止するために ・一人一台端末の活用	知 薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について理解できる。 思 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策について考察することができる。 学 薬物乱用による健康被害を防ぐための方法を考察している。	〇〇〇	7			
		脳と神経のはたらき 欲求不満と適応機制	知 人間の欲求と欲求不満に対処するための適応機制について理解できるようになる。 思 欲求不満に対する適応機制について具体例を挙げて考察することができるようになる。 学 欲求不満に対する適応機制について具体的な方法を考察しようとする。	・欲求とは ・適応機制について ・一人一台端末の活用	知 人間の欲求と欲求不満に対処するための適応機制について理解できる。 思 欲求不満に対する適応機制について具体例を挙げて考察することができる。 学 欲求不満に対する適応機制について具体的な方法を考察しようとしている。	〇〇〇	8			
		中間考査	なし	なし	なし	〇〇	0			
		思春期と健康 思春期の体と健康	知 思春期と健康について理解できる。 思 思春期と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 性への意識・行動には個人差があることを考察しようとする。	・思春期の心の成長と性意識の変化 ・男女の体の変化 ・一人一台端末の活用	知 思春期と健康について理解することができる。 思 思春期と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 性への意識・行動には個人差があることを考察している。	〇〇〇	7			
		応急手当	知 適切な応急手当の手順について理解することができる。 思 適切な応急手当の手順について理解し、応急手当とAEDの効果について考察することができる。 学 適切な応急手当の手順について考察しようとする。	・応急手当とAEDの効果 ・心肺蘇生法の実践方法 ・一人一台端末の活用	知 適切な応急手当の手順について理解することができる。 思 適切な応急手当の手順について理解し、応急手当とAEDの効果について考察することができる。 学 適切な応急手当の手順について考察している。	〇〇〇	8			
		期末考査				〇〇	1			
	3学期	思春期と健康 思春期の体と健康	知 思春期と健康について理解できる。 思 思春期と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 性への意識・行動には個人差があることを考察しようとする。	・思春期の心の成長と性意識の変化 ・男女の体の変化 ・一人一台端末の活用	知 思春期と健康について理解することができる。 思 思春期と健康について、実生活と関連付けて考察することができる。 学 性への意識・行動には個人差があることを考察している。	〇〇〇	7			
		労働と健康	知 労働者の健康・安全と健康問題について理解できる。 思 労働など、個人や社会環境への対策について考察することができる。 学 労働災害による健康被害を防ぐための方法を考察しようとする。	・労働者の健康・安全を守るしくみ ・労働災害・職業病とその予防 ・一人一台端末の活用	知 労働者の健康・安全と健康問題について理解できる。 思 労働など個人や社会環境への対策について考察することができる。 学 労働災害による健康被害を防ぐための方法を考察している。	〇〇〇	8			
		健康を支える環境づくり	知 健康を支える環境づくりについて理解できる。 思 健康を支える環境づくりについて具体例を挙げて考察することができる。 学 環境にやさしいライフスタイルの実践について具体的な方法を考察しようとする。	・環境づくりについて ・大気汚染について ・一人一台端末の活用	知 健康を支える環境づくりについて理解できる。 思 健康を支える環境づくりについて具体例を挙げて考察することができる。 学 環境にやさしいライフスタイルの実践について具体的な方法を考察しようとする。	〇〇〇	8			
		学年末考査				〇〇	1			

1年	講座名	音楽Ⅰ				単位数	2単位	1年					
	教科・科目名	芸術・音楽Ⅰ	定員	25	対象年次	1年次							
	担当者名								2年				
	教科書	音楽Ⅰ　Tutti Plus(教育出版)								3年			
	副教材	New Chorus Friends（教育芸術社）　教員作成のワークシート											
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4年				
・歌唱において曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方ができる。 ・器楽、創作ではそれぞれの楽器の特徴を表現上の効果を理解し、様々な表現を工夫して演奏する。		・歌唱、合唱、器楽とともにグループでの活動を通じて、音の重なりや響きの違いを味わう。 ・鑑賞では曲の文化的・歴史的背景を理解を深めて鑑賞する。			・自ら学習の調整をし、取り組んでいる題材の学習に粘り強く取り組むことができる。 ・主体的、協働的に学習に取り組むことができる。								
必修	概要	・歌唱、器楽、鑑賞、創作、全ての領域の学習を行う。 ・上記の活動を支える音楽理論（楽典）の学習を行う。 ・個人学習だけでなくグループワークを通して、よい表現を考えたり工夫し合ったりする活動を行う。							必修				
必選	受講条件	・小・中学校の基礎的な内容を学び直そうという意欲がある。 ・2時間集中して授業に取り組むことができる。								必選			
自選											自選		
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知識	思考	表現	態度	評価規準	知 思 態		配当時数	国語
公民	1学期	オリエンテーションー歌おう、楽譜に慣れようー	知　楽譜を読む際に必要な知識を身に付ける。 思　身に付けた知識を演奏に生かす。 学　主体的に学習に取り組む。	・授業の流れをつかむ。 ・楽典(楽譜を読むための知識)	0	0	0		知　楽譜を読む際に必要な知識を身に付けている。 思　身に付けた知識を演奏に活かしている。 学　主体的に学習に取り組もうとしている	〇〇〇	2	公民	
数学		校歌に親しもう	知　楽曲を覚えて歌えるようにする。 思　曲の背景や特徴を理解する。 学　積極的に歌唱に取り組もうとする。	・「第1校歌」の歌唱 ・歌詞や曲の情景をイメージする ・「第1校歌」の歌唱テスト	0		0		知　姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能が身に付いている。 思　リズム、旋律を理解し、表現意図をもっている。 態　積極的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	〇〇〇	10		
理科		中間考査	なし	なし					なし			理科	
体育		アンサンブルを奏しもうー打楽器アンサンブルを演奏しようー	知　他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思　音楽表現を創意工夫する。 学　合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。	・トーンチャイム、その他小物楽器等を使用した少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価		0			知　合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。。 思　表現意図をもって演奏することができる。 学　主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	4		
芸術		世界の音楽を知ろう	知　作品の知識を身に付ける。 思　言語と音楽の関わりと表現上の効果を理解する。 学　作品や音楽のよさを味わって鑑賞する。	・様々な国の言語や曲に触れる ・様々な国の楽器や曲に触れる			0		知　作品の特徴と文化的・歴史的背景を理解できている。 思　作品や音楽に対する評価とその根拠を考えることができる。 態　主体的に鑑賞に取り組むことができる。	〇〇〇	4	芸術	
英語		期末考査	なし	なし					なし				
家庭	2学期	アンサンブルを奏しもうーリズムパーカッションを創作しようー	知　他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思　音楽表現を創意工夫する。 学　アンサンブル活動の楽しさを味わう。	・リズム創作・全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価		0	0		知　合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。。 思　表現意図をもって演奏することができる。 学　主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	6	家庭	
情報		総合芸術における音楽の魅力を味わおう	知　作品の知識を身に付ける。 思　物語と音楽の関わりと表現上の効果を理解する。 学　作品や音楽のよさを味わって鑑賞する。	・鑑賞(ミュージカル)			0		知　作品の特徴と文化的・歴史的背景を理解できている。 思　作品や音楽に対する評価とその根拠を考えることができる。 態　主体的に鑑賞に取り組むことができる。	〇〇〇	4		
商業		中間考査	なし	なし					なし			情報	
教養		地域にゆかりがある音楽に触れ演奏しよう	知　曲想と音楽の構造や歌詞の関わりを理解する。 思　音楽表現の共通性や固有性について考える。 学　曲の構造や曲の背景に関心をもち主体的に取り組む。	・八王子にゆかりのある、「夕焼け小焼け」を一人1台端末で調べ、グループにて演奏発表する。	0	0			知　曲想と音楽の構造や歌詞の関わりが理解できている。 思　自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えることができる。 学　音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	〇〇〇	6		
総合		混声合唱を美しく響かせよう	知　曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 思　音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚する。 学　曲想が歌詞の内容や「作曲家の思いなど」によってもたらされていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、	・「ニューコーラスフレンズ」より選曲した曲の混声合唱	0				知　他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で表すことができる。 思　知識を踏まえ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 態　混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことができる。	〇〇〇	6	商業	
その他		期末考査	なし	なし					なし				
	3学期	混声合唱を美しく響かせよう	知　曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 思　音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚する。 学　曲想が歌詞の内容や「作曲家の思いなど」によってもたらされていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、	・「ニューコーラスフレンズ」より選曲した曲の混声合唱	0		0		知　他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で表すことができる。 思　知識を踏まえ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 態　混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことができる。	〇〇〇	8	教養	
		世界のさまざまな音楽の魅力ー和楽器と世界の楽器ー	知　三線演奏のための基本を理解する。 思　身に付けた知識を演奏に生かす。 学　主体的に学習に取り組む。	・三線演奏のための基本		0	0		知　楽器の準備、チューニング、基本的な演奏ができる。 思　身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学　三線に興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	8		総合
		学年末考査	なし	なし					なし				

1 年	講座名	音楽Ⅱ			単位数		2単位	1 年			
					対象年次		2・3・4年次				
	教科・科目名	芸術・音楽Ⅱ	定員	20	難易度	☆☆☆	2 年				
	担当者名										
教科書	音楽Ⅱ Tutti plus（教育出版）							3 年			
副教材	教員作成のワークシート										
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等						
	(歌唱) 曲にふさわしい発声、言葉の発音、 体の使い方ができる。 (器楽) 器楽表現に関わる知識や技能を得る。 (創作) 創作表現に関わる知識や技能を得る。 (鑑賞) 曲の文化的・歴史的背景を理解し、 音楽のよさや美しさを味わって聴く。		(歌唱、器楽、創作) ・知識や技能を生かして、表現意図をもって演奏する。 ・グループ活動を通して、音の重なりや響きの違いを味わい、 他者と調和して演奏する。 (鑑賞) ・作品に対する知識と自分が感じたことの関わりを考える。		・自ら学習の調整をし、取り組んでいる題材の学習に粘 り強く取り組むことができる。 ・主体的、協働的に学習に取り組むことができる。						
概要	・音楽Ⅰで学んだことを基礎に、歌唱、器楽、鑑賞、創作等の応用的な学習を行う。 ・個人学習だけでなく、グループワークを通して表現の幅を広げ深める。 ・演奏を通して、表現力や鑑賞する態度を養う。							必修 必選 自選			
受講条件	・音楽Ⅰを修得していること。 ・2時間続けて技能の練習をメインとするため、指示を守り意欲的かつ継続的に取り組める生徒が望ましい。 ※旧課程の音楽Ⅱとして履修可										
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地 民歴	1学期	オリエンテーシ ョン 楽しんで歌おう	知 楽曲を覚えて歌えるようにする。 思 曲の成り立ちや特徴を理解する。 学 積極的に歌唱に取り組もうとする。	・「第2校歌」の歌唱 ・教科書掲載曲の歌唱	知	思	態	知 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能が身に付いてい る。 思 リズム、旋律を理解し、表現意図をもっている。 態 積極的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	〇〇〇	2	公地 民歴
		楽譜に親しもう	知 楽譜を読む際に必要な知識を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・楽典(楽譜を読むための知識)	知	思	態	知 楽譜を読む際に必要な知識を身に付けている。 思 身に付けた知識を演奏に活かしている。 学 主体的に学習に取り組もうとしている。	〇〇〇	10	
		中間考査	なし	なし				なし			
		実技試験 筆記試験	知 曲にふさわしい発声、発音、身体を使い方で歌う。 思 自己のイメージをもって歌唱表現を工夫する。 学 準備をして試験に臨む。	・「第2校歌」の歌唱実技試験 ・「第2校歌」筆記試験	知	思	態	知 曲にふさわしい発声、発音、身体を使い方で歌うことが できている。 思 表現意図をもって歌うことができる。 態 自ら学習の調整をすることができる。	〇〇〇	4	
		物語と音楽の関 わり	知 作品の知識を身に付ける。 思 物語と音楽の関わりと表現上の効果を理解する。 学 作品や音楽のよさを味わって鑑賞する。	・鑑賞(ミュージカル映画)	知	思	態	知 作品の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。 思 作品や音楽に対する評価とその根拠を考えることがで きる。 態 主体的に鑑賞に取り組もうとしている。	〇〇〇	4	
		期末考査	なし	なし				なし			
数学	2学期	地域探究①	知 曲想と音楽の構造や歌詞の関わりを理解する。 思 音楽表現の共通性や固有性について考える。 学 曲の構造や歌詞との関わりに関心をもち主体的に取り組 組む。	・松任谷由実の楽曲について一人1台端末で調べ て発表 ・松任谷由実の楽曲の鑑賞 ・松任谷由実の楽曲の歌唱	知	思	態	知 曲想と音楽の構造や歌詞の関わりが理解できている。 思 自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えることが できる。 学 音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	〇〇〇	6	
		地域探究②	知 曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する。 思 音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚する。 学 知覚したことと感受したことの関わりについて考える。	・松任谷由実の楽曲の演奏、アンサンブル	知	思	態	知 曲や表現形態にふさわしい演奏ができている。 思 知識を踏まえ、表現意図をもって演奏できている。 態 主体的・協働的に学習活動に取り組むことができる。	〇〇〇	4	
		中間考査	なし	なし				なし			
		器楽アンサンブ ルの楽しみ	知 楽器の奏法を理解し、曲にふさわしい奏法で演奏する 技術を身に付ける。 思 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、 構成を知覚する。 学 アンサンブル活動に関心をもち、音楽表現を創意工夫 する。	・キーボード、ギター、三線、その他小物楽器を 使用したアンサンブル及び発表	知	思	態	知 身体の使い方などの技能を身に付けて演奏することができ ている。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図をも っている。 態 主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む、音楽表現を 創意工夫している。	〇〇〇	6	
		混声合唱を美しく 響かせよう	知 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 思 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚する。 学 曲想が歌詞の内容や「作曲者の思いなど」によってもたら されていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫するこ とに関心をもち。	・「ニューコーラスフレンズ」より選曲した曲の混 声合唱	知	思	態	知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で表 すことができる。 思 知識を踏まえ、どのように歌うかについて表現意図をも っている。 態 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して 歌うことができる。	〇〇〇	6	
		期末考査	なし	なし				なし			
英語	3学期	混声合唱を美しく 響かせよう	知 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 思 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚する。 学 曲想が歌詞の内容や「作曲者の思いなど」によってもたら されていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫するこ とに関心をもち。	・「ニューコーラスフレンズ」より選曲した曲の混 声合唱	知	思	態	知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で 表すことができる。 思 知識を踏まえ、どのように歌うかについて表現意図をも っている。 態 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して 歌うことができる。	〇〇〇	8	
		総合芸術におけ る音楽の魅力	知 作品の知識を身に付ける。 思 物語と音楽の関わりと表現上の効果を理解する。 学 作品や音楽のよさを味わって鑑賞する。	・鑑賞(オペラ、ミュージカル映画)	知	思	態	知 作品の特徴と文化的・歴史的背景を理解できている。 思 作品に対する評価とその根拠を考えることができる。 態 主体的に鑑賞に取り組むことができる。	〇〇〇	8	
		学年末考査	なし	なし				なし			
商業											商業
教養											教養
総合											総合
その他											その他

1 年	講座名	音楽Ⅰ(自選)				単位数	2単位	1 年				
		教科・科目名		芸術・音楽Ⅰ	定員	25	対象年次		2・3・4年次			
		担当者名							2 年			
		教科書		音楽Ⅰ Tutti Plus(教育出版)						3 年		
		副教材		New Chorus Friends (教育芸術社) 教員作成のワークシート								
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			4 年				
	・歌唱において曲にふさわしい発声、言葉の発音体の使い方ができる。 ・器楽、創作ではそれぞれの楽器の特徴を表現上の効果を理解し、様々な表現を工夫して演奏する。		・歌唱、合唱、器楽とともにグループでの活動を通じて、音の重なりや響きの違いを味わう。 ・鑑賞では曲の文化的・歴史的背景を理解を深めて鑑賞する。		・自ら学習の調整をし、取り組んでいる題材の学習に粘り強く取り組むことができる。 ・主体的、協働的に学習に取り組むことができる。							
必修 必選	概要	・歌唱、器楽、鑑賞、創作、全ての領域の学習を行う。 ・上記の活動を支える音楽理論(楽典)の学習を行う。 ・個人学習だけでなくグループワークを通して、よい表現を考えたり工夫し合ったりする活動を行う。							必修 必選			
	受講条件	・音楽Ⅰの未履修者優先。・美術Ⅰ・書道Ⅰ未履修者も可。また、美術Ⅰ・書道Ⅰを修得しているが、音楽Ⅰも学びたい者 ・小・中学校の基礎的な内容を学び直そうという意欲がある。 ・2時間集中して授業に取り組むことができる ※旧課程の音楽Ⅰとして履修可。										
国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		学習目標	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	
	1学期	オリエンテーション歌おう、楽譜に慣れようー	知 楽譜を読む際に必要な知識を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・授業の流れをつかむ。 ・楽典(楽譜を読むための知識)		知 楽譜を読む際に必要な知識を身に付けている。 思 身に付けた知識を演奏に活かしている。 学 主体的に学習に取り組もうとしている	〇〇〇	2				
		校歌を親しもう	知 楽曲を覚えて歌えるようにする。 思 曲の背景や特徴を理解する。 学 積極的に歌唱に取り組もうとする。	・「第1校歌」の歌唱 ・「第1校歌」の歌唱テスト		知 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能が身に付いている。 思 リズム、旋律を理解し、表現意図をもっている。 態 積極的に歌唱の学習活動に取り組むことができる。	〇〇〇	10				
		中間考査	なし		なし		なし					
		世界のさまざまな音楽の魅力ー和楽器と世界の楽器ー	知 三線演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・三線演奏のための基本		知 楽器の準備、チューニング、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 三線に興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	4				
		世界の音楽を知ろう	知 作品の知識を身に付ける。 思 言語と音楽の関わりと表現上の効果を理解する。 学 作品や音楽のよさを味わって鑑賞する。	・様々な国の言語や曲に触れる ・様々な国の楽器や曲に触れる		知 作品の特徴と文化的・歴史的背景を理解できている。 思 作品や音楽に対する評価とその根拠を考えることができる。 態 主体的に鑑賞に取り組むことができる。	〇〇〇	4				
		期末考査	なし		なし		なし					
	2学期	アンサンブルを楽しもうーリズムパーカッションを創作しようー	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 アンサンブル活動の楽しさを味わう。	・リズム創作・全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価		知 合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。 思 表現意図をもって演奏することができている。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	6				
		総合芸術における音楽の魅力を楽しむ	知 作品の知識を身に付ける。 思 物語と音楽の関わりと表現上の効果を理解する。 学 作品や音楽のよさを味わって鑑賞する。	・鑑賞(ミュージカル)		知 作品の特徴と文化的・歴史的背景を理解できている。 思 作品や音楽に対する評価とその根拠を考えることができる。 態 主体的に鑑賞に取り組むことができる。	〇〇〇	4				
		中間考査	なし		なし		なし					
		地域にゆかりがある音楽に触れ演奏しよう	知 曲想と音楽の構造や歌詞の関わりを理解する。 思 音楽表現の共通性や固有性について考える。 学 曲の構造や曲の背景に関心をもち主体的に取り組む。	・八王子にゆかりのある、「夕焼け小焼け」を一人1台端末で調べ、グループにて演奏発表する。		知 曲想と音楽の構造や歌詞の関わりが理解できている。 思 自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考えることができる。 学 音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	〇〇〇	6				
		混声合唱を美しく響かせよう	知 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 思 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚する。 学 曲想が歌詞の内容や「作曲者の思いなど」によってもたらされていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	・「ニューコーラスフレンズ」より選曲した曲の混声合唱		知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で表すことができる。 思 知識を踏まえ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 態 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことができる。	〇〇〇	6				
		期末考査	なし		なし		なし					
	3学期	混声合唱を美しく響かせよう	知 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する。 思 音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚する。 学 曲想が歌詞の内容や「作曲者の思いなど」によってもたらされていることを理解しながら、歌唱表現を創意工夫することに関心をもつ。	・「ニューコーラスフレンズ」より選曲した曲の混声合唱		知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で表すことができる。 思 知識を踏まえ、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 態 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことができる。	〇〇〇	8				
		アンサンブルを楽しもうー打楽器アンサンブルを演奏しようー	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。	・トーンチャイム、その他小物楽器等を使用した少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価		知 合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。 思 表現意図をもって演奏することができている。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	8				
学年末考査		なし		なし		なし						

1年	講座名	はじめてのピアノ			単位数		2単位	1年			
					対象年次		2・3・4年次				
2年	教科・科目名	芸術・ピアノ基礎（学校設定）	定員	15	難易度		☆☆	2年			
3年	担当者名								3年		
	教科書	―									
4年	副教材	ピアノ教本							4年		
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等						
		・器楽表現するために必要な技術を身に付ける。 ・専門的な資質や能力、音楽的な見方・考え方を育成する。	・楽曲の表現内容について理解を深める。 ・表現意図を明確にもって演奏することができる。		・音楽性豊かな表現について考え、表現を追求する態度を養う。						
必修	概要	・ピアノの演奏技能の習得を中心に行う。 ・ピアノの演奏技能の習得に必要な、音楽の基礎知識の習得及び鑑賞を行う。 ・ワークシートに基づいて、時間ごとの目標を立て振り返りを行う。 ・公開実技試験を通して、表現の技能を身に付ける。							必修		
必選	受講条件	2時間続けてピアノの練習をメインとするため、指示を守り、意欲的かつ持続的に取り組める生徒。							必選		
自選											
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知識	思考	判断	表現	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	オリエンテーション 楽典 ピアノの基礎練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	2	公地民歴
		楽典 ピアノの基礎練習 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	10	
数学	中間考査	なし	なし					なし			数学
理科	楽典 ピアノの基礎練習 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	4	理科	
		楽典 課題曲練習 公開実技発表	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・第1回発表				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	4	
体育健	期末考査	なし	なし					なし			体育健
芸術	2学期	楽典 ピアノの基礎練習 グループワーク 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・グループ学習				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	4	芸術
		楽典 ピアノの基礎練習 グループワーク 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・グループ学習				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	6	
英語	中間考査	なし	なし					なし			英語
		楽典 ピアノの基礎練習 グループワーク 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・グループ学習				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	6	
家庭	楽典 課題曲練習 公開実技発表	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・第2回発表				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	6	家庭	
期末考査		なし	なし				なし				
情報	3学期	楽典 ピアノの基礎練習 創作を含めた練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・ピアノ創作				知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして歌唱で表すことができる。 思 知識を踏まえ、どのように歌うか表現意図をもっている。 態 混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことができる。	〇〇〇	8	情報
		楽典 課題曲練習 公開実技発表	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・最終発表				知 楽器の準備、基本的な演奏ができている。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	8	
商業	学年末考査	なし	なし					なし			商業
教養											教養
総合											総合
その他											その他

1 年	講座名	器楽基礎				単位数		2単位		1 年			
						対象年次		2・3・4年次					
	教科・科目名	音楽・器楽		定員	15		難易度	☆☆		2 年			
	担当者名												
	教科書	―									3 年		
副教材	教員作成のワークシート												
4 年	目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4 年			
		・器楽表現するために必要な技術を身に付ける。 ・専門的な資質や能力、音楽的な見方・考え方を育成する。		・楽曲の表現内容について理解を深める。 ・表現意図を明確にもって演奏することができる。			・音楽性豊かな表現について考え、表現を追求する態度を養う。						
必修	概要	・弦楽器（ギター、ウクレレ、三線）の独奏 ・様々な形態のアンサンブル									必修		
必選	受講条件	・2時間続けて技能の練習をメインとするため、指示を守り意欲的かつ継続的に取り組める生徒が望ましい。									必選		
自選												自選	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		知	思	態	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	ギター演奏の基本を学ぼう	知 ギター演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・ギター演奏のための基本					知 楽器の準備、チューニング、基本的な演奏ができる。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 ギターに興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	2	公地民歴
数学		ギターで様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏					知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができる。 学 演奏することに関心をもち、集中して練習に取り組むことができる。	〇〇〇	10	数学
理科		中間考査	なし		なし					なし			理科
体育健		ギターで様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏					知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができる。 学 演奏することに関心をもち、集中して練習に取り組むことができる。	〇〇〇	4	体育健
芸術		ギターによる合奏やアンサンブルを楽しもう	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。		・ギターによる全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価					知 合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。 思 表現意図をもって演奏することができる。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	4	芸術
英語		期末考査	なし		なし					なし			英語
家庭	2学期	ウクレレ演奏の基本を学ぼう	知 ウクレレ演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・ウクレレ演奏のための基本					知 楽器の準備、チューニング、基本的な演奏ができる。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができる。 学 ウクレレに興味・関心をもって授業に取り組むことができる。	〇〇〇	4	家庭
情報		ウクレレで様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏					知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができる。 学 演奏することに関心をもち、集中して練習に取り組むことができる。	〇〇〇	6	情報
商業		中間考査	なし		なし					なし			商業
教養		ウクレレで様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏					知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 態 アンサンブルの響きを味わいながら他者との調和を意識して演奏することができる。	〇〇〇	6	教養
総合		ウクレレによる合奏やアンサンブルを楽しもう	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。		・ウクレレによる全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価					知 合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。 思 表現意図をもって演奏することができる。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	6	総合
その他		期末考査	なし		なし					なし			その他
その他	3学期	三線演奏の基本を学ぼう	知 三線演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。		・三線演奏のための基本					知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして演奏することができる。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 態 アンサンブルの響きを味わいながら他者との調和を意識して演奏することができる。	〇〇〇	8	その他
		三線による合奏やアンサンブルを楽しもう	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。		・三線による全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価					知 合奏やアンサンブル活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組むことができる。 思 表現意図をもって演奏することができる。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	〇〇〇	8	その他
		学年末考査	なし		なし					なし			その他

1年	講座名	たのしいピアノ			単位数		2単位		1年		
					対象年次		3・4年次				
2年	教科・科目名	芸術・ピアノ発展（学校設定）		定員	15		難易度	☆☆☆		2年	
	担当者名										
3年	教科書	—								3年	
	副教材	ピアノ教本									
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4年		
		・創意工夫を生かした器楽表現するために、必要な技術を身に付ける。 ・専門的な資質や能力、音楽的な見方・考え方を育成する。	・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などについて理解を深める。 ・表現意図を明確にもって演奏することができる。			・音楽性豊かな表現について考え、自己のイメージをもって、表現を創意工夫する態度を養う。					
必修 必選 自選	概要	・ピアノの演奏技能及び、必要な基礎知識の習得と鑑賞を中心に行う。 ・個性豊かに創意工夫して表現することを目指す。 ・ワークシートに基づいて、時間ごとの目標を立て振り返りを行う。 ・公開実技試験を通して、表現の技能を身に付ける。								必修 必選 自選	
	受講条件	2時間続けてピアノの練習をメインとするため、指示を守り、意欲的かつ持続的に取り組める生徒。									
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知識	思考	表現	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
1学期	オリエンテーション 楽典 ピアノの基礎練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	2		
	楽典 ピアノの基礎練習 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	10		
	中間考査	なし	なし				なし				
	楽典 ピアノの基礎練習 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	4		
	楽典 課題曲練習 公開実技発表	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・第1回発表		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	4		
	期末考査	なし	なし				なし				
2学期	楽典 ピアノの基礎練習 グループワーク 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・グループ学習		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	4		
	楽典 ピアノの基礎練習 グループワーク 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・グループ学習		0	0	知 楽譜を読むことができ、ピアノの特徴を生かして演奏することができています。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するか表現意図をもっている。 態 曲の完成度を高めようと努力したり、他者との調和を意識して演奏することができます。	〇〇〇	6		
	中間考査	なし	なし				なし				
	楽典 ピアノの基礎練習 グループワーク 課題曲練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・グループ学習		0	0	知 楽譜を読むことができ、ピアノの特徴を生かして演奏することができています。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するか表現意図をもっている。 態 曲の完成度を高めようと努力したり、他者との調和を意識して演奏することができます。	〇〇〇	6		
	楽典 課題曲練習 公開実技発表	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・第2回発表		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	6		
	期末考査	なし	なし				なし				
3学期	楽典 ピアノの基礎練習 創作を含めた練習	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・ピアノ創作		0	0	0	知 楽譜を読むことができ、ピアノの特徴を生かして演奏することができています。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するか表現意図をもっている。 態 曲の完成度を高めようと努力したり、他者との調和を意識して演奏することができます。	〇〇〇	8	
	楽典 課題曲練習 公開実技発表	知 楽譜・ピアノの基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・読譜力表現力向上 ・ピアノ演奏のための基本 ・最終発表		0	0	知 楽器の準備、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇〇〇	8		
	学年末考査	なし	なし				なし				

1 年	講座名	器楽発展										単位数		2単位		1 年	
												対象年次		3・4年次			2 年
		教科・科目名		芸術・器楽発展（学校設定）		定員		15		難易度		☆☆☆		3 年			
		担当者名													4 年		
		教科書		―													
副教材		教員作成のワークシート										必選					
目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等				学びに向かう力、人間性等					自選				
		・創意工夫を生かした器楽表現するために、必要な技術を身に付ける。 ・専門的な資質や能力、音楽的な見方・考え方を育成する。		・曲にふさわしい奏法、身体の使い方などについて理解を深める。 ・表現意図を明確にもって演奏することができる。				・音楽性豊かな表現について考え、自己のイメージをもって、表現を創意工夫する態度を養う。									
概要		・弦楽器（ギター、箏、ヴァイオリン）の独奏 ・楽器の演奏に必要な基礎知識の習得 ・様々な形態のアンサンブル及び発表												国語			
受講条件		・2時間続けて技能の練習をメインとするため、指示を守り意欲的かつ継続的に取り組める生徒が望ましい。													公地民歴		
												数学					
													理科				
																体育健	
														芸術			
															英語		
												家庭					
													情報				
																商業	
														教養			
															総合		
												その他					

		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	判	断	表	現	評価規準	知	思	態	配当時数	
1学期	ギター演奏の基本を学ぼう	知 ギター演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・ギター演奏のための基本								知 楽器の準備、チューニング、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 ギターに興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇	〇	〇	2	
	ギターで様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏								知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができています。 学 演奏することに関心を持ち、集中して練習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	10	
	中間考査	なし	なし								なし					
	ギターで様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏								知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができています。 学 演奏することに関心を持ち、集中して練習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	4	
	ギターによる合奏やアンサンブルを楽しもう	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。	・ギターによる全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価								知 合奏やアンサンブル活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組むことができています。 思 表現意図をもって演奏することができています。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	4	
	期末考査	なし	なし								なし					
2学期	箏演奏の基本を学ぼう	知 箏演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・箏演奏のための基本								知 楽器の準備、調弦、基本的な演奏ができています。 思 身に付けた知識を演奏で表すことができています。 学 箏に興味・関心をもって授業に取り組むことができています。	〇	〇	〇	4	
	箏で様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏								知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができています。 学 演奏することに関心を持ち、集中して練習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	6	
	中間考査	なし	なし								なし					
	箏で様々な曲を演奏しよう	知 奏法や身体の使い方などの技能を身に付ける。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・技能の習熟度に応じた楽曲の演奏								知 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能が身に付いている。 思 演奏する技能を身に付け、表すことができています。 学 演奏することに関心を持ち、集中して練習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	6	
	箏による合奏やアンサンブルを楽しもう	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。	・箏による全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価								知 合奏やアンサンブル活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組むことができています。 思 表現意図をもって演奏することができています。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	6	
	期末考査	なし	なし								なし					
3学期	ヴァイオリン演奏の基本を学ぼう	知 ヴァイオリン演奏のための基本を理解する。 思 身に付けた知識を演奏に生かす。 学 主体的に学習に取り組む。	・ヴァイオリン演奏のための基本								知 他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして表すことができています。 思 知識を踏まえ、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 態 アンサンブルの響きを味わいながら他者との調和を意識して演奏ができています。	〇	〇	〇	8	
	ヴァイオリンによる合奏やアンサンブルを楽しもう	知 他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 思 音楽表現を創意工夫する。 学 合奏やアンサンブル活動の楽しさを味わう。	・ヴァイオリンによる全員での合奏、少人数でのアンサンブルと発表及び相互評価								知 合奏やアンサンブル活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組むことができています。 思 表現意図をもって演奏することができています。 学 主体的・協働的に学習に取り組むことができています。	〇	〇	〇	8	
	学年末考査	なし	なし								なし					

1年	講座名	美術Ⅰ			単位数		2単位	1年			
					対象年次		1年次				
	教科・科目名	芸術・美術Ⅰ	定員	25	難易度		－				
	担当者名										
2年	教科書	「美術1」光村図書						2年			
3年	副教材	なし						3年			
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			4年			
		○ 課題の意図を理解し、コツコツと時間をかけて制作することができる。 ○ 用具の扱い方や技法について理解し、より効果的な表現方法を工夫することができる。	○ 課題に対して多角的な視点で取り組み、自分なりの表現をすることができる。 ○ 自身でよく「考え・探し・試す」プロセスを繰り返し、制作に取り組むことができる。		○ 主体的、協働的に学習に取り組むことができる。 ○ きちんと準備をし、集中して制作に取り組むことができる。						
必修	概要	1 制作活動を中心に、基本的な形や色の表し方、用具の扱い方を習得する。 2 コツコツと時間をかけて取り組んだことが作品の完成度に繋がるような題材に取り組み、達成感を得ることを目的とする。 3 グループワーク等の活動を通じて、他者の良さと違いを認め合う。							必修		
必選	受講条件	・美術への興味関心が高く、2時間集中して作品制作をできることが望ましい。							必選		
自選									自選		
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価規準	知 思 態	配当時間	国語	
公地民歴	1学期	デザイン 「グラデーションを編む」	知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組む。	・色彩の学び(色の三属性、色のグラデーションなど) ・用具の使用法(筆や絵具、カッターナイフ、定規など)	知	思	態	知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 態 デザインの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	10	公地民歴
	中間考査	なし	なし				なし				
	デザイン 「グラデーションを編む」	知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組む。	・色彩の学び(色の三属性、色のグラデーションなど) ・用具の使用法(筆や絵具、カッターナイフ、定規など)	知	思	態	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫することができる。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	22		
	期末考査	なし	なし				なし				
数学	2学期	絵画 「切り絵」	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫して表す。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・用具の使い方 ・切り絵の技法 ・明暗表現 ・絵画の構図、構成	知	思	態	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫することができる。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	12	数学
	中間考査	なし	なし				なし				
	絵画 「切り絵」	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫して表す。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・用具の使い方 ・切り絵の技法 ・明暗表現 ・絵画の構図、構成	知	思	態	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫することができる。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	16		
	期末考査	なし	なし				なし				
理科	3学期	彫刻 「銅板レリーフ」	知 銅のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。 思 形や素材がもつ特質などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 銅板レリーフの学習活動に、主体的に取り組む。	・素材について(銅の特質など) ・用具の使い方 ・レリーフの技法	知	思	態	知 銅のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉えることができる。 思 形や素材の特質を考え構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 銅板レリーフの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	18	理科
	学年末考査	なし	なし				なし				
体育健									体育健		
芸術									芸術		
英語									英語		
家庭									家庭		
情報									情報		
商業									商業		
教養									教養		
総合									総合		
その他									その他		

1年	講座名	美術Ⅰ（自選）			単位数		2単位	1年			
					対象年次		2・3・4年次				
2年	教科・科目名	芸術・美術Ⅰ	定員	20	難易度		☆☆	2年			
	担当者名										
3年	教科書	「美術1」光村図書							3年		
	副教材	なし									
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4年		
		○ 課題の意図を理解し、コツコツと時間をかけて制作することができる。 ○ 用具の扱い方や技法について理解し、より効果的な表現方法を工夫することができる。	○ 課題に対して多角的な視点で取り組み、自分なりの表現をすることができる。 ○ 自身でよく「考え・探し・試す」プロセスを繰り返し、制作に取り組むことができる。			○ 主体的、協働的に学習に取り組むことができる。 ○ きちんと準備をし、集中して制作に取り組むことができる。					
必修 必修 自選	概要	1 制作活動を中心に、基本的な形や色の表し方、用具の扱い方を習得する。 2 コツコツと時間をかけて取り組んだことが作品の完成度に繋がるような題材に取り組み、達成感を得ることを目的とする。 3 グループワーク等の活動を通じて、他者の良さと違いを認め合う。							必修 必修 自選		
	受講条件	・「美術Ⅰ」の未履修者を優先。（「音楽Ⅰ」、「書道Ⅰ」の未履修者も受講可） ・「音楽Ⅰ」、「書道Ⅰ」を修得者も受講可。 ※旧課程の美術Ⅰとして受講可。									
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
1学期	デザイン「グラデーションを編む」	知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組む。	・色彩の学び(色の三属性、色のグラデーションなど) ・用具の使用法(筆や絵具、カッターナイフ、定規など)	○	○		知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 態 デザインの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○ ○ ○	10		
	中間考査	なし	なし				なし				
	デザイン「グラデーションを編む」	知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組む。	・色彩の学び(色の三属性、色のグラデーションなど) ・用具の使用法(筆や絵具、カッターナイフ、定規など)	○	○		知 色彩、構成などの効果、統一感などを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 デザインの効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 態 デザインの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○ ○ ○	22		
	期末考査	なし	なし				なし				
2学期	絵画「切り絵」	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫して表す。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・用具の使い方 ・切り絵の技法 ・明暗表現 ・絵画の構図、構成	○	○		知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫することができる。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりできる。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○ ○ ○	12		
	中間考査	なし	なし				なし				
	絵画「切り絵」	知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫して表す。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・用具の使い方 ・切り絵の技法 ・明暗表現 ・絵画の構図、構成	○	○		知 構図の効果、図像の形態の捉え方、切り絵の技法などを学び、創意工夫することができる。 思 イメージなどを基に、構成や形態などを考え、構想を練ったり鑑賞したりできる。 学 絵画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○ ○ ○	16		
	期末考査	なし	なし				なし				
3学期	彫刻「銅板レリーフ」	知 銅のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。 思 形や素材がもつ特質などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 銅板レリーフの学習活動に、主体的に取り組む。	・素材について(銅の特質など) ・用具の使い方 ・レリーフの技法	○	○	○	知 銅のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉えることができる。 思 形や素材の特質を考え構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 銅板レリーフの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○ ○ ○	18		
	学年末考査	なし	なし				なし				

1年	講座名	美術Ⅱ			単位数		2単位		1年			
					対象年次		2・3・4年次					
		教科・科目名	芸術・美術Ⅱ		定員	15		難易度		☆☆☆		2年
		担当者名										
		教科書	「高校生の美術2」日本文教出版							3年		
副教材	なし											
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4年			
	○ 課題の意図を理解し、コツコツと時間をかけて制作することができる。 ○ 用具の扱い方や技法について理解し、より効果的な表現方法を工夫することができる。		○ 課題に対して多角的な視点で取り組み、「美術Ⅰ」の内容をさらに発展させ、自分なりの表現をすることができる。 ○ 自身でよく「考え・探し・試す」プロセスを繰り返し、制作に取り組むことができる。			○ 「美術Ⅰ」で学んだことを生かし、主体的、協働的に学習に取り組むことができる。 ○ きちんと準備をし、集中して制作に取り組むことができる。						
概要	1 制作活動を中心に、基本的な形や色の表し方、用具の扱い方を修得する。 2 コツコツと時間をかけて取り組んだことが作品の完成度に繋がるような題材に取り組み、達成感を得ることを目的とする。 3 グループワーク等の活動を通じて、他者の良さや違いを認め合う。 4 美的経験を豊かにし、日々の生活や、地域社会との関わりの中の美を発見する。								必修 必選 自選			
受講条件	・「美術Ⅰ」を修得していること。ただし「美術Ⅱ」過去に修得したものは不可。 ※旧課程の美術Ⅱとして履修可											
国語	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数	国語		
公地民歴 数学 理科 体育健	1学期	ポスター制作「文化祭ポスター」	知 形、色、文字などの効果を生かし表現方法を工夫する。 思 伝えたい情報の目的や対象、方法などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組む。	・ ケント紙の水張り(B3パネル) ・ アイデアスケッチ		0	0	知 形、色、文字などの効果を生かし表現方法を工夫しようとしている。 思 伝えたい情報の目的や対象、方法などを考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	4	公地民歴 数学	
				・ エスキース、色設計 ・ アクリル絵の具の特徴について ・ 色の見え方について						4		
	中間考査	なし	なし	なし	なし					理科		
	ポスター制作「文化祭ポスター」	知 形、色、文字などの効果を生かし表現方法を工夫する。 思 伝えたい情報の目的や対象、方法などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組む。	・ エスキースをパネルへ転写 ・ 効果的な配色、表現		0	0	知 形、色、文字などの効果を生かし表現方法を工夫しようとしている。 思 伝えたい情報の目的や対象、方法などを考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 デザインの学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	10	体育健		
			・ 効果的な配色、表現 ・ フィニッシュワーク ・ グループワーク(鑑賞活動)						10			
期末考査	なし	なし	なし	なし			なし			芸術		
英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	2学期	動く彫刻「モビールの制作」	知 素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。 思 形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 動く彫刻の学習活動に、主体的に取り組む。	・ テーマ設定、アイデアスケッチ ・ 完成予想図の作成、色彩計画		0	0	知 素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉えようとしている。 思 形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 彫刻の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	12	英語 家庭	
				中間考査	なし							なし
	動く彫刻「モビールの制作」	知 素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。 思 形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 動く彫刻の学習活動に、主体的に取り組む。	・ パーツの切り出し、彩色 ・ パーツの組立、仕上げ ・ グループワーク(鑑賞活動)		0	0	知 素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉えようとしている。 思 形や色彩の効果などを考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 彫刻の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	10	情報 商業		
	点描「タレントのイメージをもとに」	知 点や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を工夫する。 思 対象から感じ取った印象などを基に、点や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 点描の学習活動に、主体的に取り組む。	・ 写真の選定、トレース ・ ケント紙への転写 ・ おおまかな明暗の配置								0	0
	期末考査	なし	なし	なし			なし			教養 総合 その他		
3学期	点描「タレントのイメージをもとに」	知 銅のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。 思 形や素材がもつ特質などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 銅板レリーフの学習活動に、主体的に取り組む。	・ 細部の描き込み、質感の表現 ・ フィニッシュワーク ・ グループワーク(鑑賞活動)		0	0	知 点や明暗による表現の効果、全体のイメージなどを捉え、表現方法を工夫しようとしている。 思 点や明暗による表現の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 点描の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	18	その他		
			学年末考査	なし							なし	なし

1 年	講座名	構成				単位数		2単位		1 年		
						対象年次		1・3・4年次				
		教科・科目名	美術・構成		定員	20		難易度	☆☆☆☆		2 年	
		担当者名										
		教科書	なし									3 年
副教材	デザインの色彩（日本色研事業株式会社）											
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等			4 年			
	美術制作における色彩・形という2大要素について、その特性を理解し組合せることによって視覚的な伝達効果が生じることを理解する。		体系的な理論を使い、実際に試行錯誤し制作する力、完成度を高めようとする追求心を身につけるとともに、他者の作品や身近なものと自分の作品との違いを客観的に把握し、それぞれの良さを認識できる美術的観察能力を育む。			生活の中の美に触れ、それを再現しようとする追求心、何度でも挑戦しようとする粘り強い心を養う。準備から片付けまで仕事としてのルーティーンを確立し、制作に対する精神や他者を尊重し配慮できる社会性を身につける。						
概要		1 制作活動を中心に、基本的な形や色の表し方、用具の扱い方を習得する。 2 制作の完成度をあげるための理論的な知識や実技に取り組み、美術的な知識を得ることを目的とする。 3 グループワーク等の活動を通じて、他者の良さや違いを認め合う。								必修 必修 自選		
受講条件		・基礎的な色彩・形の造形に興味関心を持ち、2時間集中して作品制作をできることが望ましい。 ※旧課程の構成として履修可										
国語	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		評価規準		知 思 態	配当時数		国語	
1学期	色彩の基礎	知 色の科学的な見え方を理解し、見えている色が絶対的なものではなく光の反射作用であることを理解する。 思 理論に基づいた、丁寧な作業が行われているか。 学 最後まで丁寧な作業が行われているか。		・色彩の見え方 ・色彩テキストの利用法 ・色相環の理解		知 色相についての正しい理解ができているか。 思 日常の色彩についての把握ができているか。 態 丁寧な作業が行われているか。		〇〇〇	4		公地民歴	
	色の三属性	知 色の三属性による色彩の分析について理解する。 思 理論に基づいた、丁寧な作業が行われているか。 学 完成度を高めようとする態度。		・色の三属性の理解 ・テキストのカラーチャートの使い方 ・明度、彩度の理解		知 間違いなく色彩の法則が理解できている。 思 明度、彩度を正しく理解しようとしているか。 態 丁寧な作業が行われているか。		〇〇〇	10		数学	
	中間考査	なし		なし		なし				理科		
	色彩の効果	知 色の組み合わせによる季節感の違いの表現を行う。 思 季節感の言語的な把握。配置の関係によるイメージの違い。 学 効果的な作業の方法。		・色彩の組み合わせによる表現 ・共通感の理解、言語化 ・効率的な作業、きれいな完成度		知 色彩の情報を組み合わせ一定の感情が把握できている。 思 色相、明度、彩度を効果的に組み合わせ表現につなげようとしている。 態 完成に向けてさらに完成度をあげようとしているか。		〇〇〇	10	体育健		
	形の見え	知 グリッド線による拡大・縮小、転写の方法。 思 縦横比の理解。鉛筆の使い方。 学 粘り強く観る作業。		・鉛筆の効果的な使い方 ・転写する効果的な方法 ・拡大による形の表現		知 構成力を高めるための「形」の理解ができているか。 思 形を丁寧に転写できている。 態 最後まであきらめず、形を丁寧に追っている。		〇〇〇	4	芸術		
	期末考査	なし		なし		なし				英語		
2学期	トーン概念	知 色の科学的な見え方を 理解し、明度、彩度のイメージを一定にそろえることにより得られる効果を理解する。 思 理論に基づいて試行錯誤した作業が行われているか。 学 丁寧な作業が行われているか。		・カラーチャートを用いた理解 ・明度、彩度と色彩のグループ化 ・色彩と感情の関連		知 間違いなく色彩の法則が理解できている。 思 明度、彩度を正しくグループ化するトーンを理解できている。 態 丁寧な作業が行われているか。		〇〇〇	4	家庭		
	トーンの応用	知 色の科学的な見え方を 理解し、明度、彩度のイメージを一定にそろえることにより得られる効果を理解する。 思 理論に基づいて試行錯誤した作業が行われているか。 学 試行錯誤し、丁寧な作業が行われているか。		・絵具を用いた色彩の制作。 ・明度、彩度をそろえる方法 ・色彩と感情の関連		知 色彩の情報を組み合わせ一定の感情が把握できている。 思 色相、明度、彩度を効果的に組み合わせ表現につなげようとしている。 態 完成に向けてさらに完成度をあげようとしているか。		〇〇〇	20	情報		
	中間考査	なし		なし		なし				商業		
	形の見え	知 光の作用による明暗を観察し、鉛筆デッサンで立体的な表現を行う。 思 立体的空間的な把握。鉛筆の使い方。 学 粘り強く観る作業。		・鉛筆の効果的な使い方 ・二次元に三次元を表現する方法 ・明度による空間の表現		知 構成力を高めるための「形」の理解ができているか 思 鉛筆を効果的に使い、立体を表現できているか。 態 完成に向けて丁寧な作業が行われているか。最終的に見直し、さらに完成度をあげようとしているか。		〇〇〇	4	教養		
	色の対比と見え	知 色の見え方は常に一定ではなく、環境によって変わる。 思 色彩の対比による見え方の把握。 学 客観的な観察能力。		・明度、彩度、色相による対比の変化 ・残像による色の痕跡 ・表現の効果の幅を広げる		知 色彩の情報を組み合わせ対比の変化が把握できている。 思 色相、明度、彩度を効果的に組み合わせ表現を広げようとしている。 態 完成に向けて、さらに完成度をあげようとしているか。		〇〇〇	4	総合		
	期末考査	なし		なし		なし				その他		
3学期	平面構成	知 平面上の構成による美的空間の制作。 思 平面における空間的表現の理解。 学 数学的な構成能力。		・平面構成による表現 ・空間を視覚的に把握する理解 ・空間的な処理、構成力		知 平面上に空間構成が把握できている。 思 平面構成基に作品を制作し、表現力を広げようとしている。 態 完成に向けて丁寧な作業が行われているか。最終的に見直し、さらに完成度をあげようとしているか。		〇〇〇	18			
	学年末考査	なし		なし		なし						

1 年	講座名	絵画				単位数	4単位	1 年	
						対象年次	2・3・4年次		
		教科・科目名	美術・絵画	定員	15	難易度	☆☆☆		2 年
		担当者名							
		教科書	なし						
副教材	なし								
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			4 年			
	○ 課題の意図を理解し、コツコツと時間をかけて制作することができる。 ○ 用具の扱い方や技法について理解し、それらの特性を生かした表現をすることができる。	○ 課題に対して多角的な視点で取り組み、自分なりの表現をすることができる。 ○ 「考え・探し・試す」プロセスを繰り返し、より効果的な表現を工夫することができる。	○ 主体的、協働的に学習に取り組むことができる。 ○ きちんと準備をし、集中して制作に取り組むことができる。						
概要	様々な表現方法による絵画表現に関する学習を通して、表現と鑑賞の能力を高める。 ● アクリル画 ● 油彩画 ● アニメーション制作 など。						必修 必選 自選		
受講条件	・主に平面絵画の興味関心が高く、2時間集中して作品制作をできることが望ましい。								
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	学 習 負 担 時 間	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地 民歴	1学期	アクリル画 「静物画」	知 アクリル絵の具の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫する。 思 色の三属性について理解し、混色の効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 3原色カラーを用いた学習活動に主体的に取り組む。	・色の三属性について ・透明水彩絵の具の特徴、使い方について ・3原色カラーによるワーク	0 0 0	知 様々な錯視、錯覚について理解し、それらを活用した表現を工夫することができる。 思 線や明暗による表現の効果や描画材料の特性の活かし方を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 トリックアート演習の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○○○	10	公地 民歴
			知 アクリル絵の具の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫する。 思 色の三属性について理解し、混色の効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 3原色カラーを用いた学習活動に主体的に取り組む。	・色の三属性について ・アクリル絵の具の特徴、使い方について ・3原色カラーによるワーク	0 0 0	知 アクリル絵の具の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫することができる。 思 色の三属性について理解し、混色の効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 3原色カラーを用いた学習活動に主体的に取り組むことができる。	○○○	18	数学
	中間考査	なし	なし		なし				理科
	油彩画 「着彩」	知 もの、形を視覚的にとらえ平面上に描く。 思 形の捉え方や質感表現について理解し、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 静物着彩の学習活動に主体的に取り組む。	・鉛筆の特徴、描き方、使い方について ・形の捉え方や質感表現について ・グループワーク(鑑賞活動)	0 0 0	知 様々な錯視、錯覚について理解し、それらを活用した表現を工夫することができる。 思 線や明暗による表現の効果や描画材料の特性の活かし方を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。	○○○	14	体育 健	
	油彩画 「静物画」	知 油絵の具の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫する。 思 形の捉え方や質感表現について理解し、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 静物着彩の学習活動に主体的に取り組む。	・油絵の具の特徴、使い方について ・形の捉え方や質感表現について ・グループワーク(鑑賞活動)	0 0 0	知 油絵の具の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫することができる。 思 形の捉え方や質感表現について理解し、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 静物着彩の学習活動に主体的に取り組むことができる。	○○○	14	芸術	
	期末考査	なし	なし		なし				英語
英 語	2学期	版画制作(アルミ)	知 版画や平面表現の持つ特性や効果について理解し、表現方法を創意工夫する。 思 意図や表現方法を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・版画やイラストレーションによる表現について ・画面の構成や効果的な表現について ・グループワーク(鑑賞活動)	0 0 0	知 素材や描画材料などの特性や効果を捉え、木板・銅板の特徴を理解する。 思 版画技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○○○	18	家庭
		版画制作(銅)	知 版画や平面表現の持つ特性や効果について理解し、表現方法を創意工夫する。 思 意図や表現方法を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・版画やイラストレーションによる表現について ・画面の構成や効果的な表現について ・グループワーク(鑑賞活動)	0 0 0	知 素材や描画材料などの特性や効果を捉え、木板・銅板の特徴を理解する。 思 版画技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○○○	16	情報
	中間考査	なし	なし		なし				商業
	版画制作(木版)	知 版画や平面表現の持つ特性や効果について理解し、表現方法を創意工夫する。 思 意図や表現方法を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・版画やイラストレーションによる表現について ・画面の構成や効果的な表現について ・グループワーク(鑑賞活動)	0 0 0	知 素材や描画材料などの特性や効果を捉え、木板・銅板の特徴を理解する。 思 版画技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○○○	16	教養	
	版画制作(シルクスクリーン)	知 孔版画や平面表現の持つ特性や効果について理解し、表現方法を創意工夫する。 思 意図や表現方法を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組む。	・版画やイラストレーションによる表現について ・画面の構成や効果的な表現について ・グループワーク(鑑賞活動)	0 0 0	知 素材や描画材料などの特性や効果を捉え、木板・銅板の特徴を理解する。 思 版画技法による表現の特性や効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 版画制作の学習活動に、主体的に取り組むことができる。	○○○	16	総合	
	期末考査	なし	なし		なし				その他
3学期	木炭デッサン	知 木炭の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫する。 思 明暗を木炭で表現することについて理解し、混色の効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 木炭・木炭紙を用いた学習活動に主体的に取り組む。	・素描について ・形をとらえる	0 0 0 0 0	知 木炭を活用した表現を工夫することができる。 思 線や明暗による表現の効果や描画材料の特性の活かし方を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 素描・デッサンの活動に、主体的に取り組むことができる。	○○○	16		
	木炭画	知 木炭の特徴を理解し、効果的な表現方法を創意工夫する。 思 明暗を木炭で表現することについて理解し、混色の効果や工夫について考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 木炭・木炭紙を用いた学習活動に主体的に取り組む。	・石膏の面について ・石膏を描く ・光と影、面を意識して表現する	0 0 0 0	知 形や光を意識し、構図などの効果、全体のイメージを捉え、創意工夫して表すことができる。 思 意図や表現方法を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 木炭石膏の学習活動に主体的に取り組むことができる。	○○○	18		
	学年末考査	なし	なし		なし				

1 年	講座名	クラフトデザイン			単位数	4単位	1 年						
					対象年次	2・3・4年次							
	教科・科目名	美術・クラフトデザイン	定員	15	難易度	☆☆☆☆	2 年						
	担当者名												
	教科書	なし					3 年						
副教材	なし												
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			4 年						
		○ 課題の意図を理解し、粘り強く時間をかけて制作することができる。 ○ 用具の扱い方や技法について理解し、それらの特性を生かした表現をすることができる。	○ 課題に対して多角的な視点で取り組み、自分なりの表現をすることができる。 ○ 「考え・探し・試す」プロセスを繰り返し、より効果的な表現を工夫することができる。	○ 主体的、協働的に学習に取り組むことができる。 ○ きちんと準備をし、集中して制作に取り組むことができる。									
	概要	美的造形性や機能性を主とする造形のデザインについての理解を深め、表現と鑑賞の能力を高める。 ● デザインの基礎 ● 工芸 ● 伝統工芸 など。						必修 必選 自選					
	受講条件	・ 主に立体造形の興味関心が高く、2時間集中して作品制作をできることが望ましい。											
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知 感 態	思 考 力	評 価 規 準	知 思 態	配 当 時 数	国語			
公 地 民 歴	1学期	陶芸 「小物」 「プロダクト工芸」	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 生活の中の陶器のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 陶芸の学習活動に主体的に取り組む。	・ 陶芸の技法について ・ 生活の中の美について ・ プロダクト工芸について ・ グループワーク(鑑賞活動)	〇	〇	知 質感や全体のイメージなどを捉え、表現方法を工夫して表すことができる。 思 質感の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 彫刻の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	12	公 地 民 歴			
					〇	〇	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 表現素材としての木材のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 木工芸の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	20				
		中間考査	なし	なし			なし					数 学	
		陶芸 「器・花器」 「プロダクトデザイン」	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 生活の中の陶器のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 陶芸の学習活動に主体的に取り組む。	・ 陶芸の技法について ・ 生活の中の美について ・ プロダクトデザインについて ・ グループワーク(鑑賞活動)	〇	〇	知 質感や全体のイメージなどを捉え、表現方法を工夫して表すことができる。 思 質感の効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 彫刻の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	8				
					〇	〇	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 表現素材としての木材のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 木工芸の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	16				
期末考査	なし	なし			なし					理 科			
2学期	陶芸 「皿」	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 生活の中の陶器のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 陶芸の学習活動に主体的に取り組む。	・ 陶芸の技法について ・ 生活の中の美について ・ プロダクトデザインについて ・ グループワーク(鑑賞活動)	〇	〇	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 生活の中の陶器のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 陶芸の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	54	理 科				
				中間考査	なし	なし					なし		
	陶芸 「釉薬・絵付け表現」	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表す。 思 形や素材がもつ特質などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 陶芸制作と釉薬を用いた学習活動に主体的に取り組む。	・ 釉薬の種類と表現技法について ・ 生活の中の美について ・ グループワーク(鑑賞活動)	〇	〇	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 生活の中の陶器のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 陶芸の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	16					
				期末考査	なし	なし					なし		
	3学期	工芸制作 「身近な形」	知 銅のもつ素材の特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉える。 思 形や素材がもつ特質などを考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 学 銅板レリーフの学習活動に、主体的に取り組む。	・ 工芸の技法について ・ 生活の中の美について ・ グループワーク(鑑賞活動)	〇	〇	知 素材の持つ特質が感情にもたらす効果や全体のイメージなどを捉え、表現方法を創意工夫して表すことができる。 思 生活の中の皮革工芸品のよさや美しさを感じ取り、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。 学 皮革造形の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇		30	英 語		
学年末考査					なし	なし			なし				
										情 報			
												商 業	
													教 養
									総 合				
										そ の 他			

1 年	講座名	書道Ⅰ			単位数		2単位		1 年		
		教科・科目名	芸術・書道Ⅰ	定員	25	対象年次	1年次				
2 年	担当者名								2 年		
3 年	教科書	東京書籍 書Ⅰ							3 年		
4 年	副教材								4 年		
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等					
	書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。		作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。			主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。					
必修	概要	毛筆による授業を中心に行う。生徒の毛筆技術に応じて基本的な書写から復習する。自己表現をするために必要な古典の臨書学習を通して自分にあった表現を生徒自身で考えて見つけて行く。提出物を細かく分析しきめ細かい指導を実践すると共に、生徒の個性を磨く授業を提供する。							必修		
必選									必選		
自選	受講条件	なし							自選		
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	新	素	題	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	書写から書道へ	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】表現効果において、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【態】自身の表現の意図に基づき表現、楷書の表現の特質に基づき表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを甘受し、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 書写で学んできたこと。用具・用材。漢字の書の成立と変遷。 ・指導事項 古典に基づく学習。楷書の特徴 表現を比べよう。「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」「雁塔聖教序」「自書告身」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	【知】線質・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書の伝統と文化について理解している。技能や線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。 【思】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組んでいる。	〇〇〇	2	公地民歴
		漢字の書 楷書					0		〇〇〇	10	
	中間考査	なし	なし				なし				
	創作表現の使い分け鑑賞	【知】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書の伝統と文化について理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。技能、や線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思】表現効果において、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	〇〇〇	8		
	期末考査	なし	なし				なし				
	2学期	漢字の書 行書 創作 四字熟語 鑑賞	【知】書体や書風と用筆・運筆、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学】自身の表現の意図に基づき表現、行書の表現の特質に基づき表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組める。作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組むことができる。	・指導事項 行書の特徴「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	【知】書体や書風と用筆・運筆、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思】書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】自身の表現の意図に基づき表現、行書の表現の特質に基づき表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	〇〇〇	14	
中間考査		なし	なし				なし				
平仮名の単体		【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思】仮名の成立を理解し特徴を捉えられる。 【学】自身の表現の意図に基づき表現、仮名の書の表現の特質に基づき表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 仮名の成立 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。 【態】自身の表現の意図に基づき表現、仮名の書の表現の特質に基づき表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	〇〇〇	14		
期末考査		なし	なし				なし				
3学期	書初め	【知】書初めの歴史的背景を知る。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学】明確な目標設定を立てられる。	・指導事項 書初め ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	【知】書初めの歴史的背景を知る。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解している。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【態】明確な目標設定を立てられる。	〇〇〇	8		
	散らし書き	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。 【思】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できる。 【学】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組める。	・指導事項 全体構成 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組んでいる。	〇〇〇	8		
	学年末考査	なし	なし				なし				
その他										その他	

1 年	講座名	書道Ⅱ			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	2・3・4年次			
	教科・科目名	芸術・書道Ⅱ	定員	25	難易度	—	2 年		
	担当者名								
	教科書	東京書籍 書道Ⅱ					3 年		
副教材									
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年		
		書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。	作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。		主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。				
必修 必修 自選	概要	1．古典作品の臨書、鑑賞 2．創作 3．日常生活に役立つ書の習得 書くことへの興味、意欲、関心を育むと共に、自ら考え創作する力も育つようにする。					必修 必修 自選		
受講条件	書道Ⅰを修得しており、かつ毎時間の作品制作を意欲的に取り組める生徒。 ※旧課程の書道Ⅱとして履修可								
国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健康 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	新 展 覧 観 賞	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健康 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
1学期	授業ガイダンス 自己紹介の書	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】表現効果において、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。書の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学】自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを甘受し、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書の伝統と文化について理解している。技能や線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。 【思】書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組んでいる。	〇〇〇	4	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健康 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
	五書体について 初唐の三大家、 唐の四大家・ 楷書	【知】篆書、隸書、草書、行書について理解できる。 【思】各書において、字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。 【学】明確な目標設定を立てられ、主体的に取り組んでいる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】篆書、隸書、草書、行書について理解できている。 【思】各書において、字形、構成等の要素と表現効果を理解できている。 【態】明確な目標設定を立てられ、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	8	
	中間考査	なし	なし			なし			
	篆書 隸書 草書 行書	【知】篆書、隸書、草書、行書について理解できる。 【思】各書において、字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。 【学】明確な目標設定を立てられ、主体的に取り組んでいる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】篆書、隸書、草書、行書について理解できている。 【思】各書において、字形、構成等の要素と表現効果を理解できている。 【態】明確な目標設定を立てられ、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	4	
	文化祭の展示作品の創作	【知】文化祭で展示する制作意図を理解できる。 【思】書道で学んだ技能を活用し、創意工夫して制作できる。 【学】文化祭の展示に向けて、主体的に制作できる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】文化祭で展示する制作意図を理解できている。 【思】書道で学んだ技能を活用し、創意工夫して制作できている。 【態】文化祭の展示に向けて、主体的に制作できている。	〇〇〇	4	
	期末考査	なし	なし			なし			
2学期	平仮名・変体仮名について 平仮名の硬筆・毛筆	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、変体、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思】仮名の成立を理解し、仮名・変体の特徴を捉えられる。 【学】自身の表現の意図に基づく表現、平仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、変体、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できている。 【思】仮名の成立を理解し、仮名・変体の特徴を捉えることができる。 【態】自身の表現の意図に基づく表現、平仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	14	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健康 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
	中間考査	なし	なし			なし			
	仮名作品の臨書 百人一首の創作 年賀状	【知】臨書について理解できる。百人一首について理解でき、創作できる。年賀状における書について理解できる。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。書道で学んだことを創意工夫し、自己表現に活用できる。 【学】明確な目標設定を立てられ、主体的に取り組んでいる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】臨書、百人一首について理解でき、創作できている。年賀状における書について理解できている。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。書道で学んだことを創意工夫し、自己表現に活用できている。 【態】明確な目標設定を立てられ、主体的に取り組むことができる。	〇〇〇	14	
	期末考査	なし	なし			なし			
	漢字仮名交じりの書の作品の臨書	【知】漢字仮名交じりの書の作品の臨書の制作方法について知る。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学】明確な目標設定を立てられる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】漢字仮名交じりの書の作品の臨書の制作方法について理解できている。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられている。 【態】明確な目標設定を立てることができる。	〇〇〇	8	
3学期	歌詞の創作 身近なところにある書	【知】歌詞の創作方法や身近の書について関心を持つことができる。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学】明確な目標設定を立てられる。	・指導事項 ・教材 教科書 書道道具 ・1人一台端末の活用	0	0	【知】歌詞の創作方法や身近の書について関心を持つことができる。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられている。 【態】明確な目標設定を立てることができる。	〇〇〇	8	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 健康 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
	学年末考査	なし	なし			なし			

講座名		硬筆			単位数		2単位						
					対象年次		2・3・4年次						
教科・科目名		芸術・硬筆（学校設定）		定員		25		難易度		—			
担当者名													
教科書		—											
副教材		硬筆書写技能検定3級 合格のポイント（日本習字普及協会）											
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等				学びに向かう力、人間性等					
	硬筆の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。			文字による文章の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。				主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。					
概要		1.速書き 2.楷行草書 3.漢字仮名交じり文 4.ハガキ 5.掲示 6.漢字の部首 7.漢字の筆順 8.草書を読む 9.漢字の字体 を通して硬筆書写検定に合格する力を養うと共に文字というものに興味を持ち自らが考えて表現する力が育つようにする。											
受講条件		硬筆を学ぶ意欲がある者が対象。主に硬筆書写技能検定3級を合格するために必要な能力を養うのが目的。											
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容			新 規 課		評価規準		知 思 態	配当時数
1学期	速書き・楷書・行書	速書き 【知】文字を速く丁寧に書くための方法、行の使い方と文字の大小を理解する。 【思】読めることを前提にどこまで文字の形を崩したら良いか、また一定の文字の大きさでの構成を考える。 【学】時間を意識して書ききり、主体的に取り組める。 楷書・行書 【知】部首とつくりの関係を身に付け、ひらがなの正しい字形について理解する。 【思】文字構成のバランスを考える。 【学】主体的に様々な文字バランスを捉える。			・指導事項 ・教材 教科書 筆記用具(鉛筆、ボールペン) ・一人1台端末の活用			0	0	0	速書き 【知】文字を速く丁寧に書くための方法、行の使い方と文字の大小を理解できている。 【思】読めることを前提にどこまで文字の形を崩すか、一定の文字の大きさでの構成を考えることができる。 【態】時間を意識して書ききり、主体的に取り組める。 楷書・行書 【知】部首とつくりの関係を身に付け、ひらがなの正しい字形について理解できている。 【思】文字構成のバランスを考えている。 【態】主体的に様々な文字バランスを捉えている。	〇〇〇	12
	中間考査	なし			なし						なし		
	楷書・行書・部首・筆順(楷書)	楷書・行書 【知】字形をとらえるための長い線の考え方を理解する。楷書・行書の共通点・相違点を比較出来る。 【思】整った字形で書くための長い線について考える。 【学】長い線をどこに取り入れるかを考える。 部首 【知】部首の形と名称を理解する。 筆順(楷書) 【知】漢字の正しい筆順を理解する。 【学】漢字の正しい筆順の組み分けを考える。			・指導事項 ・教材 教科書 筆記用具(鉛筆、ボールペン) ・一人1台端末の活用			0	0	0	楷書・行書 【知】字形をとらえるための長い線の考え方を理解している。楷書・行書の共通点・相違点を比較出来ている。 【思】整った字形で書くための長い線について考えている。 【態】長い線をどこに取り入れるかを考えている。 部首 【知】部首の形と名称を理解できる。 筆順(楷書) 【知】漢字の正しい筆順を理解できる。 【思】漢字の正しい筆順の組み分けを考えている。	〇〇〇	8
	期末考査	なし			なし						なし		
2学期	漢字仮名交じり横書き・筆順(行書)	漢字仮名交じり横書き 【知】漢字に合う数字やローマ字を理解する。字間のそろえ方上下左右の空間の捉え方について知る。 【思】漢字・仮名・ローマ字・数字を調和させる。決められた行の中に余白を考えて文字を配置出来るようにする。 【学】文字の大小・バランスを考える。正しい筆順で文字を書く。 筆順(行書) 【知】漢字の正しい筆順を理解する。 【思】漢字の正しい筆順の組み分けを考える。			・指導事項 ・教材 教科書 筆記用具(鉛筆、ボールペン) ・一人1台端末の活用			0	0		漢字仮名交じり横書き 【知】漢字に合う数字やローマ字を理解できる。字間のそろえ方上下左右の空間の捉え方について知っている。 【思】漢字・仮名・ローマ字・数字を調和させる。決められた行の中に余白を考えて文字を配置できる 【態】文字の大小・バランスを考える。正しい筆順で文字を書くことができる。 筆順(行書) 【知】漢字の正しい筆順を理解できる。 【思】漢字の正しい筆順の組み分けを考えている。	〇〇〇	12
	中間考査	なし			なし						なし		
	縦書き・草書の読み	縦書き 【知】漢字と仮名の大小の違いとバランスについて知る。文字の中心と行の中心と気脈を理解する。 【思】画数の多い少ないによって大きさをかき分けられる。点画と点画、文字と文字の気脈を表現する。 【態】文字の大きさ、位置、行の長さ時間の空き具合を考える。連絡を意識して取り入れる。 草書 【学】草書の読み、楷書の行書との違いを理解する。			・指導事項 ・教材 教科書 筆記用具(鉛筆、ボールペン) ・一人1台端末の活用			0	0	0	縦書き 【知】漢字と仮名の大小の違いとバランスについて知っている。文字の中心と行の中心と気脈を理解できる。 【思】画数の多い少ないによって大きさをかき分けられる。点画と点画、文字と文字の気脈を表現できる。 【態】文字の大きさ、位置、行の長さ時間の空き具合を考えている。連絡を意識して取り入れている。 草書 【知】草書の読み、楷書の行書との違いを理解できる。	〇〇〇	16
	期末考査	なし			なし						なし		
3学期	ハガキ	【知】ハガキの正しい構成について知る。文字の大小について理解する。 【思】文字の数によって文字の大きさを考える。 【学】画数によって文字の大きさを考える。			・指導事項 ・教材 教科書 筆記用具(鉛筆、ボールペン) ・一人1台端末の活用			0	0	0	【知】ハガキの正しい構成について知る。文字の大小について理解できる。 【思】文字の数によって文字の大きさを考えられる。 【態】画数によって文字の大きさを考えられる。	〇〇〇	8
	掲示文(ポスター)	【知】油性マーカーの使い方、掲示文のバランスについて理解できる。 【思】見えやすい読みやすい適当な大きさ、行の長さ、行間に広さ、字間について考える。 【学】掲示されている様子を考えて取り組む。			・指導事項 ・教材 教科書 筆記用具(鉛筆、ボールペン) ・一人1台端末の活用			0	0	0	【知】油性マーカーの使い方、掲示文のバランスについて理解できる。 【思】見えやすい読みやすい適当な大きさ、行の長さ、行間に広さ、字間について考えられる。 【態】掲示されている様子を考えて取り組める。	〇〇〇	8
	学年末考査	なし			なし						なし		

講座名	書道Ⅰ（自選）				単位数	2単位				
			対象年次	3・4年次						
教科・科目名	芸術・書道Ⅰ		定員	25名	難易度	—				
担当者名										
教科書	東京書籍 書Ⅰ									
副教材										
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等					
	書の幅広い表現や鑑賞の活動を通して、習得されたり活用されたりする知識と効果的に表現するための技能を身に付ける。		作品の構想と表現の工夫、鑑賞における思考、判断を身に付ける。		主体的に学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情を身に付ける。					
概要	毛筆による授業を中心に行う。生徒の毛筆技術に応じて基本的な書写から復習する。自己表現をするために必要な古典の臨書学習を通して自分にあった表現を生徒自身で考えて見つけて行く。提出物を細かく分析しきめ細かい指導を実践すると共に、生徒の個性を磨く授業を提供する。									
受講条件	・書道Ⅰの未履修者優先。 ・音楽Ⅰ、美術Ⅰ未履修者也可。また、音楽Ⅰ、美術Ⅰを修得しているが、書道Ⅰも学びたい者。 ※旧課程の書道Ⅰとして履修可									
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	漢 仮	漢 仮	鑑賞	評価規準	知 思 態	配当時数	
1学期	書写から書道へ	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できる。楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】表現効果において、意図に基づいた表現について構想し工夫できる。書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【態】自身の表現の意図に基づき表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。楷書のよさや美しさを甘受し、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 書写で学んできたこと。用具・用材。漢字の書の成立と変遷。	0	0	0	0	【知】鑑賞・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書の伝統と文化について理解している。技能や線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。 【思】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組んでいる。	〇〇〇	2
	漢字の書 楷書		・指導事項 古典に基づく学習。 楷書の特徴 表現を比べよう。 「九成宮醴泉銘」「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」「自書告身」 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	0		〇〇〇	10
	中間考査	なし	なし					なし		
	創作表現の使い分け鑑賞	【知】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、文字と書との関わりについて理解できる。漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】漢字の書の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し工夫することができる。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組む。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組む。	・指導事項 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。技能、や線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思】表現効果において、意図に基づいた表現について構想し工夫している。漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	〇〇〇	8
	期末考査	なし	なし	なし				なし		
2学期	漢字の書行書創作四字熟語鑑賞	【知】書体や書風と用筆・運筆、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、伝統と文化について理解できる。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けられる。 【思】書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫できる。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えられる。 【学】自身の表現の意図に基づき表現、表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組める。作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとすることができる。	・指導事項 行書の特徴「蘭亭序」「争坐位文稿」「風信帖」 古典を生かそう。書の美や風趣を味わおう。 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	0	【知】書体や書風と用筆・運筆、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、伝統と文化について理解している。行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。 【思】書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【態】自身の表現の意図に基づき表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。	〇〇〇	14
	中間考査	なし	なし					なし		
	平仮名の単体	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書との伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解できる。 【思】仮名の成立を理解し特徴を捉えられる。 【学】自身の表現の意図に基づき表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 仮名の成立 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等			0	0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書との伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。 【思】平仮名の成立を理解し特徴を捉えている。 【態】自身の表現の意図に基づき表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	〇〇〇	14
	期末考査	なし	なし	なし				なし		
	3学期	書初め	【知】書初めの歴史的背景を知る。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解できる。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【学】明確な目標設定を立てられる。	・指導事項 書初め ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等	0			0	【知】書初めの歴史的背景を知る。 【思】字形、構成等の要素と表現効果を理解している。漢字と平仮名のバランスを考えられる。 【態】明確な目標設定を立てられる。	〇〇〇
散らし書き		【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できる。 【思】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できる。 【学】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組める。	・指導事項 全体構成 ・教材 教科書 書道道具 ・一人1台端末の活用 等				0	【知】用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【態】幅広い表現の学習活動に主体的に取り組んでいる。	〇〇〇	8
学年末考査		なし	なし	なし				なし		

講座名		英語コミュニケーションⅠ			単位数		3単位						
					対象年次		1年次						
教科・科目名		外国語・英語コミュニケーションⅠ		定員		—		難易度		—			
担当者名													
教科書		All Aboard! English CommunicationⅠ											
副教材		All Aboard! English CommunicationⅠ(ワークブック)・All Aboard! English CommunicationⅠ(ブリッジワークブック)・Word Tree 1700											
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等						
	基礎的な英単語、英文法を覚える 簡単な英作文、英会話などの英語表現ができる			英語で表現ができる 簡単な英語が理解できる			授業に意欲的に参加できる 他者の発言などに傾聴できる						
概要		基礎的な表現を用いて4技能に関わる英語活動を行う グループワークなどを通じて、他者と学びを深める活動を行う											
受講条件		なし											
	単元名	単元の具体的な指導目標			指導項目・内容			知 能 意 思 態 学 習	評価規準			知 思 態	配当時数
1学期	Pre-Lesson1 Pre-Lesson2 (be動詞、一般動詞)	知 be動詞、一般動詞を理解できるようになる 思 be動詞、一般動詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・be動詞、一般動詞 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 be動詞、一般動詞を理解できる 思 be動詞、一般動詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	7
	Lesson1 (過去形)	知 過去形を理解できるようになる 思 過去形を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・過去形 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 過去形を理解できる 思 過去形を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	7
	中間考査							00				00	1
	Lesson2 (進行形)	知 進行形を理解できるようになる 思 進行形を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・進行形 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 進行形を理解できる 思 進行形を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	7
	Lesson3,4 (助動詞、不定詞)	知 助動詞、不定詞を理解できるようになる 思 助動詞、不定詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・助動詞、不定詞 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 助動詞、不定詞を理解できる 思 助動詞、不定詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	7
	期末考査							00				00	1
2学期	Lesson5 (動名詞)	知 動名詞を理解できるようになる 思 動名詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・動名詞 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 動名詞を理解できる 思 動名詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	8
	Lesson6 (受動態)	知 受動態を理解できるようになる 思 受動態を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・受動態 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 受動態を理解できる 思 受動態を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	8
	中間考査							00				00	1
	Lesson7 (比較)	知 比較を理解できるようになる 思 比較を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・比較 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 比較を理解できる 思 比較を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	8
	Lesson8 (現在完了)	知 現在完了を理解できるようになる 思 現在完了を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・現在完了 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 現在完了を理解できる 思 現在完了を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	8
	期末考査							00				00	1
3学期	Lesson9 (分詞)	知 分詞を理解できるようになる 思 分詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・分詞 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 分詞を理解できる 思 分詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	6
	Lesson10 (関係代名詞)	知 関係代名詞を理解できるようになる 思 関係代名詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする			・関係代名詞 ・各種適切なデバイスの活用			000000	知 関係代名詞を理解できる 思 関係代名詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている			000	7
	学年末考査							00				00	1

1 年	講座名	論理・表現Ⅰ				単位数		3単位	1 年			
						対象年次		2年次				
2 年	教科・科目名	外国語・論理・表現Ⅰ	定員	—		難易度		—	2 年			
	担当者名											
3 年	教科書	VISTA Logic and ExpressionⅠ							3 年			
	副教材	VISTA Logic and ExpressionⅠサブノート										
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等				学びに向かう力、人間性等		4 年			
		基礎的な英単語、会話表現を覚える。 簡単な英語の発話、聞き取りができる。	書く、話すの技能を使い英語表現ができる。 読む、聞くの技能を使い簡単な英語が理解できる。				授業内の活動に意欲的に参加できる。 他者の発言などを理解しようとする。					
必修	概要	4技能に関わる英語活動を行い、総合的な英語力を鍛える。 グループワークなどを通じて、他者と交流し学びあう。							必修			
必選	受講条件	「論理・表現Ⅰ(自選)」との同時受講は不可							必選			
自選									自選			
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	聴	説	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地 民歴	1学期	Lesson1 Bouldering?How nice!	知 現在形を理解する 思 現在形を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・現在形 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 現在形を理解している 思 現在形を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	12	公地 民歴
		Lesson2 Famous People Lesson3 Aquarium Adventure	知 過去形、進行形を理解する 思 過去形、進行形を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・過去形、進行形 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 過去形、進行形を理解している 思 過去形、進行形を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	12	数学
		中間考査			0	0	0	0		〇〇	1	理科
		Lesson4 My Summer Plan	知 未来表現を理解する 思 未来表現を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・未来表現 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 未来表現を理解している 思 未来表現を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	12	体育 健
		Lesson5 UFO Sightings Lesson6 Homestay	知 現在完了形を理解する 思 現在完了形を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・現在完了形 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 現在完了を理解している 思 現在完了を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	12	芸術
		期末考査			0	0	0	0		〇〇	1	英語
英語	2学期	Lesson7 Which is faster?	知 比較を理解する 思 比較を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・比較 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 比較を理解している 思 比較を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	10	家庭
		Lesson8 Great Inventions Lesson9 Save the Earth	知 助動詞を理解する 思 助動詞を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・助動詞 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 助動詞を理解している 思 助動詞を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	12	情報
		中間考査			0	0	0	0		〇〇	1	商業
		Lesson10 Masterpiece	知 受動態を理解する 思 受動態を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・受動態 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 受動態を理解している 思 受動態を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	10	教養
		Lesson11 My Future Job Lesson12 World Heritage	知 不定詞を理解する 思 不定詞を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・不定詞 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 不定詞を理解している 思 不定詞を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	12	総合
		期末考査			0	0	0	0		〇〇	1	その他
教養	3学期	Lesson13 Pictogram	知 分詞を理解する 思 分詞を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・分詞 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 分詞を理解している 思 分詞を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	10	
		Lesson14 Cool Japan Lesson15 What's SDGs?	知 関係代名詞、仮定法を理解する 思 関係代名詞、仮定法を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・関係代名詞、仮定法 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 関係代名詞、仮定法を理解している 思 関係代名詞、仮定法を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	10	
		学年末考査			0	0	0	0		〇〇	1	

知:知識及び技能 思:思考力、判断力、表現力等 学:学びに向かう力、人間性等

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 態:主体的に学習に取り組む態度

1年	講座名	実践英語				単位数	2単位	1年			
2年						対象年次	3年次	2年			
2年	教科・科目名	外国語・実践英語（学校設定）	定員	－	難易度	－	2年				
3年	担当者名							3年			
3年	教科書	なし						3年			
4年	副教材	Reading Flash stage 1、Listening Trial、FACTBOOK						4年			
必修 必選 自選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		必修 必選 自選			
		基礎的な英文法理解をすることができる。 Reading、Listening活動を通して必要な情報を収集することができる。	基礎的な英文法の知識を用いて自身の考えを表現 することができる。 Reading、Listening活動を通して得た情報を適切に活用することができる。			授業内の活動に意欲的に参加できる。 英語を通じて他者とコミュニケーションを図ろうと試みることができる。					
必修 必選 自選	概要	基礎的な英文法学習を行う 比較的分量の少ない英文や資料を読んで適切に情報を収集する活動を行う Listeningを通して話の内容を理解する活動を行う							必修 必選 自選		
	受講条件	「実践英語」を受講希望の生徒は必修選択で「実践英語」を選択すること（自由選択には「実践英語」は存在しません）									
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	読解力	聴解力	表現力	評価規準	知 思 想	配当時数	国語
公地民歴	数学	1学期 Reading L1 掲示板 文法 1章 文型(1) Listening 描写(1)	知 基本的な文型構造を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・文型学習(第1～第3文型) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 基本的な文型構造を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	6	公地民歴
		Reading L2 メニュー表 文法 2章 文型(2) Listening 数字の聞き取り(1)	知 基本的な文型構造を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・文型学習(第4～第5文型) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 基本的な文型構造を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	8	
		Reading L3 英文読解 文法 3章 時制(1) Listening 短い会話の要点把握(1)	知 時制を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・時制(現在、過去、進行形) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 時制を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	8	数学
		中間考査	なし			0	0		0 0	1	
理科		Reading L4 広告 文法 4章 時制(2) Listening アナウンス	知 時制を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・時制(未来) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 時制を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	6	理科
体育保健		Reading L5 パッケージ 文法 5章 完了(1) Listening 描写(2)	知 完了形を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・完了(現在完了) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 完了形を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	6	体育保健
		Reading L6 ポスター 文法 6章 完了(2) Listening 電話	知 完了形を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・完了(過去完了、未来完了、現在完了進行形) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 完了形を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	6	
芸術		期末考査	なし			0	0		0 0	1	芸術
英語	家庭	2学期 Reading L7 パッケージ 文法 7章 助動詞(1) Listening 適切な応答(1)	知 助動詞を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・助動詞(must, may, will) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 助動詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	英語
		Reading L8 パッケージ 文法 8章 助動詞(2) Listening 店内での会話	知 助動詞を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・助動詞(can, should) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 助動詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	
		Reading L9 パッケージ 文法 9章 助動詞(3) Listening 数字の聞き取り(2)	知 助動詞を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・助動詞(shall, had better, used to, 依頼表現) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 助動詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	家庭
		中間考査	なし			0	0		0 0	1	
情報		Reading L10 パッケージ 文法 10章 受動態(1) Listening 位置	知 受動態を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・受動態 ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 受動態を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	情報
商業		Reading L11 email 文法 11章 受動態(2) Listening 適切な応答(2)	知 受動態を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・受動態(受動態＋前置詞) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 受動態を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	商業
		Reading L12 パッケージ 文法 12章 不定詞(1) Listening 天気予報	知 不定詞を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・不定詞(名詞的、形容詞的用法) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 不定詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	5	
教養		期末考査	なし			0	0		0 0	1	教養
総合	3学期	Reading L13 スピーチ 文法 13章 不定詞(2) Listening 道案内	知 不定詞を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・不定詞(副詞的用法) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 不定詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	総合
その他		Reading L14 パッケージ 文法 14章 不定詞(3) Listening 短い会話の要点把握(2)	知 不定詞を理解することができる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現することができる。	・不定詞(知覚、使役動詞) ・Reading、Listening活動	0	0	0	知 不定詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	0 0 0	4	その他
		学年末考査	なし			0	0		0 0	1	

1年	講座名	わかる英語A				単位数	2単位	1年					
						対象年次	1・2・3・4年次						
2年	教科・科目名	外国語・わかる英語A（学校設定）	定員	12	難易度	☆		2年					
3年	担当者名								3年				
	教科書	なし											
4年	副教材	本校オリジナル教材							4年				
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等							
		アルファベットを正確に用いて、基礎的な英単語・英文を書けるようにする。	基礎的な英単語・英文を聞き取り、それを発音できるようにする。			しっかりと授業に参加し、主体的に学習に取り組む態度・姿勢を身に付ける。							
必修 必選 自選	概要	英語の基礎的な部分を中心に学び直す 年度当初に理解度診断テストで個々の習熟度を測る MP3プレーヤーを用いたリスニング指導 単元ごとに確認テストを実施する							必修 必選 自選				
	受講条件	「伸ばす英語」もしくは「総合英語Ⅱ」と同時受講不可 「わかる英語A・B」の2講座同時受講不可 英語を苦手とし、アルファベットから学び直す意欲のある生徒 英語の基礎から学び直す意欲があり、2時間集中して自学自習ができること ※旧課程のわかる英語（4）として受講可											
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		知識	思考	判断	表現	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴 数学 理科 体育健	1学期	アルファベット英単語リスニング①	知 アルファベットを正しく書けるようにする。 思 基本的な単語を聞き取れるようにする。 学 意欲的に学習に取り組める。	・フォニックス ・アルファベットの綴り ・大文字、小文字の区別		0	0	0	0	知 アルファベットを正しく書ける。 思 基本的な単語を聞き取れ発音できる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	〇〇〇	8	公地民歴
		ローマ字英単語リスニング②	知 ローマ字を正しく書けるようにする。 思 基本的な単語を聞き取れる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・ローマ字のプリント ・英単語リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 ローマ字を正しく書ける。 思 基本的な単語を聞き取れ発音できる。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	〇〇〇	8	数学
		中間考査	なし	なし						なし			理科
		フォニックス音素リスニング①	知 フォニックスを理解できるようになる。 思 音素を区別し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・フォニックスのプリント ・音素リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 フォニックスを正しく理解する。 思 音素を区別し聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	体育健
		基礎英文法①絵本リスニング①	知 基礎英文法を理解し簡単な英文が書けるようになる。 思 絵本を聞き取り発音できるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・基礎英文法プリント ・絵本リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 基礎英文法を理解し簡単な英文が書ける。 思 絵本を聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	芸術
		期末考査	なし	なし						なし			英語
英語 家庭 情報 商業 教養	2学期	辞書引き基礎英文法リスニング①	知 辞書を正しく引けるようになる。 思 基礎英文法を正しく聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・辞書引きのプリント ・基礎英文法リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 辞書を正しく引ける。 思 基礎英文法を正しく聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	家庭
		動詞の変化音素リスニング②	知 不規則動詞の活用を理解できるようになる。 思 音素を区別し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・不規則動詞の活用プリント ・音素リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 不規則動詞の活用を理解し正しい綴りが書ける。 思 音素を区別し聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	情報
		中間考査	なし	なし						なし			商業
		ジャンル別英単語①絵本リスニング②	知 曜日・月・人名・地名等の単語を理解できるようになる。 思 絵本を聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・ジャンル別英単語プリント ・絵本リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 曜日・月・地名等の単語を理解し正しい綴りが書ける。 思 絵本を正しく聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	教養
		基礎英文法②日常会話リスニング	知 基礎英文法を理解し正しい英文が書けるようになる。 思 簡単な日常会話が聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・基礎英文法プリント ・日常会話リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 基礎英文法を理解し正しい英文が書ける。 思 簡単な日常会話を聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	〇〇〇	8	総合
		期末考査	なし	なし						なし			その他
その他	3学期	日常会話基礎英文法リスニング②	知 日常会話を理解し簡単な英文が書けるようになる。 思 基礎英文法を理解し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・日常会話プリント ・基礎英文法リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 日常会話を理解し簡単な英文が書ける。 思 基礎英文法を聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組める。	〇〇〇	7	
		ジャンル別英単語②リエゾン	知 動物・乗り物・職業等の単語を理解できるようになる。 思 リエゾンを理解し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。	・ジャンル別英単語プリント ・リエゾンリスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	0	知 動物・乗り物・職業等の単語を理解し正しい綴りが書ける。 思 リエゾンを理解し聞き取れるようになる。 態 意欲的に学習に取り組める。	〇〇〇	7	
		学年末考査	なし										

1年	講座名	わかる英語B				単位数		2単位		1年				
						対象年次		2・3・4年次						
2年	教科・科目名	外国語・わかる英語B（学校設定）		定員	15		難易度		☆		2年			
3年	担当者名											3年		
4年	教科書	なし									4年			
	副教材	本校オリジナル教材												
	目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等				学びに向かう力、人間性等						
		アルファベットを正確に用いて、基礎的な英単語・英文を書けるようにする。		基礎的な英単語・英文を聞き取り、それを発音できるようにする。				しっかりと授業に参加し、主体的に学習に取り組む態度・姿勢を身に付ける。						
	概要	英語の基礎的な部分を中心に学び直す 年度当初に理解度診断テストで個々の習熟度を測る MP3プレーヤーを用いたリスニング指導 単元ごとに確認テストを実施する												
	受講条件	「伸ばす英語」もしくは「総合英語Ⅱ」と同時受講不可 「わかる英語A・B」の2講座同時受講不可 英語を苦手とし、アルファベットから学び直す意欲のある生徒 英語の基礎から学び直す意欲があり、2時間集中して自学自習ができること												
国語		単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		知	思	態	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	アルファベット英単語リスニング①	知 アルファベットを正しく書けるようにする。 思 基本的な単語を聞き取れるようにする。 学 意欲的に学習に取り組める。		・フォニックス ・アルファベットの綴り ・大文字、小文字の区別		0	0	0	知 アルファベットを正しく書ける。 思 基本的な単語を聞き取れ発音できる。 態 粘り強くプリント学習に取り組もうとしている。	0	0	8	公地民歴
数学		ローマ字英単語リスニング②	知 ローマ字を正しく書けるようにする。 思 基本的な単語を聞き取れる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・ローマ字のプリント ・英単語リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 ローマ字を正しく書ける。 思 基本的な単語を聞き取れ発音できる。 態 意欲的に学習内容を振り返ろうとしている。	0	0	8	数学
理科		中間考査	なし		なし					なし				理科
体育保健		フォニックス音素リスニング③	知 フォニックスを理解できるようになる。 思 音素を区別し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・フォニックスのプリント ・音素リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 フォニックスを正しく理解する。 思 音素を区別し聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	0	0	8	体育保健
芸術		基礎英文法①絵本リスニング③	知 基礎英文法を理解し簡単な英文が書けるようになる。 思 絵本を聞き取り発音できるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・基礎英文法プリント ・絵本リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 基礎英文法を理解し簡単な英文が書ける。 思 絵本を聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	0	0	8	芸術
英語		期末考査	なし		なし					なし				英語
家庭	2学期	辞書引き基礎英文法リスニング①	知 辞書を正しく引けるようになる。 思 基礎英文法を正しく聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・辞書引きのプリント ・基礎英文法リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 辞書を正しく引ける。 思 基礎英文法を正しく聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	0	0	8	家庭
情報		動詞の変化音素リスニング②	知 不規則動詞の活用を理解できるようになる。 思 音素を区別し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・不規則動詞の活用プリント ・音素リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 不規則動詞の活用を理解し正しい綴りが書ける。 思 音素を区別し聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	0	0	8	情報
商業		中間考査	なし		なし					なし				商業
教養		ジャンル別英単語①絵本リスニング②	知 曜日・月・人名・地名等の単語を理解できるようになる。 思 絵本を聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・ジャンル別英単語プリント ・絵本リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 曜日・月・地名等の単語を理解し正しい綴りが書ける。 思 絵本を正しく聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	0	0	8	教養
総合		基礎英文法②日常会話リスニング	知 基礎英文法を理解し正しい英文が書けるようになる。 思 簡単な日常会話が聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・基礎英文法プリント ・日常会話リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 基礎英文法を理解し正しい英文が書ける。 思 簡単な日常会話を聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組んでいる。	0	0	8	総合
その他		期末考査	なし		なし					なし				その他
	3学期	日常会話基礎英文法リスニング②	知 日常会話を理解し簡単な英文が書けるようになる。 思 基礎英文法を理解し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・日常会話プリント ・基礎英文法リスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 日常会話を理解し簡単な英文が書ける。 思 基礎英文法を聞き取り発音できる。 態 意欲的に学習に取り組める。	0	0	7	
		ジャンル別英単語②リエゾン	知 動物・乗り物・職業等の単語を理解できるようになる。 思 リエゾンを理解し聞き取れるようになる。 学 意欲的に学習に取り組める。		・ジャンル別英単語プリント ・リエゾンリスニングプリント ・振り返りプリント		0	0	0	知 動物・乗り物・職業等の単語を理解し正しい綴りが書ける。 思 リエゾンを理解し聞き取れるようになる。 態 意欲的に学習に取り組める。	0	0	7	
		学年末考査	なし											

講座名		論理・表現Ⅰ（自選）			単位数		2単位					
					対象年次		2・3・4年次					
教科・科目名		外国語・論理・表現Ⅰ		定員		30		難易度		☆☆		
担当者名												
教科書		VISTA Logic and ExpressionⅠ										
副教材		VISTA Logic and ExpressionⅠサブノート										
目標	知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等					
	基礎的な英単語、会話表現を覚える。 簡単な英語の発話、聞き取りができる。			書く、話すの技能を使い英語表現ができる。 読む、聞くの技能を使い簡単な英語が理解できる。			授業内の活動に意欲的に参加できる。 他者の発言などを理解しようとする。					
概要		4技能に関わる英語活動を行い、総合的な英語力を鍛える グループワークなどを通じて、他者と交流し学びあう										
受講条件		2年次必修選択で「論理・表現Ⅰ」を選択している生徒は受講不可										
	単元名	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容		知 識 技 能	思 考 判 断 力 表 現 力	学 び に 向 か う 力 人 間 性 等		知 思 態	配 当 時 数	
1学期	Lesson1 Bouldering?How nice!	知 現在形を理解する 思 現在形を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・現在形 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 現在形を理解している 思 現在形を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8
	Lesson2 Famous People Lesson3 Aquarium Adventure	知 過去形、進行形を理解する 思 過去形、進行形を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・過去形、進行形 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 過去形、進行形を理解している 思 過去形、進行形を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8
	中間考査					0	0	0	0		〇〇	1
	Lesson4 My Summer Plan	知 未来表現を理解する 思 未来表現を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・未来表現 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 未来表現を理解している 思 未来表現を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8
	Lesson5 UFO Sightings Lesson6 Homestay	知 現在完了形を理解する 思 現在完了形を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・現在完了形 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 現在完了を理解している 思 現在完了を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8
	期末考査					0	0	0	0		〇〇	1
2学期	Lesson7 Which is faster?	知 比較を理解する 思 比較を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・比較 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 比較を理解している 思 比較を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	6
	Lesson8 Great Inventions Lesson9 Save the Earth	知 助動詞を理解する 思 助動詞を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・助動詞 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 助動詞を理解している 思 助動詞を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8
	中間考査					0	0	0	0		〇〇	1
	Lesson10 Masterpiece	知 受動態を理解する 思 受動態を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・受動態 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 受動態を理解している 思 受動態を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	7
	Lesson11 My Future Job Lesson12 World Heritage	知 不定詞を理解する 思 不定詞を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・不定詞 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 不定詞を理解している 思 不定詞を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8
	期末考査					0	0	0	0		〇〇	1
3学期	Lesson13 Pictogram	知 分詞を理解する 思 分詞を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・分詞 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 分詞を理解している 思 分詞を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	6
	Lesson14 Cool Japan Lesson15 What's SDGs?	知 関係代名詞、仮定法を理解する 思 関係代名詞、仮定法を使った英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする		・関係代名詞、仮定法 ・各種適切なデバイスの活用		0	0	0	0	知 関係代名詞、仮定法を理解している 思 関係代名詞、仮定法を使った英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	6
	学年末考査					0	0	0	0		〇〇	1

1年	講座名	英語コミュニケーションⅡ				単位数		2単位	1年			
2年						対象年次		2・3・4年次	2年			
3年		教科・科目名	外国語・英語コミュニケーションⅡ	定員	30	難易度		☆☆☆	3年			
4年		担当者名								4年		
必修 必選 自選	教科書	All Aboard! English Communication Ⅱ								必修 必選 自選		
	副教材	All Aboard! English Communication Ⅱ(ワークブック)										
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等				学びに向かう力、人間性等						
概要	基礎的な表現を用いて4技能に関わる英語活動を行う グループワークなどを通じて、他者と学びを深める活動を行う 「英語コミュニケーションⅠ」の発展的な内容を扱う											
受講条件	「英語コミュニケーションⅠ」を履修していること ※旧課程のコミュニケーション英語Ⅱとして受講可											
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	関	読	説	評	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地 民歴	1学期	Lesson 1 (関係代名詞 what)	知 関係代名詞whatを理解できるようになる 思 関係代名詞whatを使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・関係代名詞what ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 関係代名詞whatを理解できる 思 関係代名詞whatを使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	公地 民歴
数学		Lesson 2 (比較表現)	知 比較表現を理解できるようになる 思 比較表現を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・比較表現 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 比較表現を理解できる 思 比較表現を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	数学
理科		中間考査								〇〇		理科
体育 育健		Lesson 3 (itの用法)	知 itの用法を理解できるようになる 思 itの用法を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・itの用法 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 itの用法を理解できる 思 itの用法を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	体育 育健
芸術		Lesson 4 (間接疑問文)	知 間接疑問文を理解できるようになる 思 間接疑問文を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・間接疑問文 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 間接疑問文を理解できる 思 間接疑問文を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	芸術
英語		期末考査			0		0			〇〇	1	英語
家庭	2学期	Lesson 5 (to不定詞を含む表現)	知 to不定詞を含む表現を理解できるようになる 思 to不定詞を含む表現を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・to不定詞を含む表現 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 to不定詞を含む表現を理解できる 思 to不定詞を含む表現を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	家庭
情報		Lesson 6 (動詞の目的語になるif節)	知 動詞の目的語になるif節を理解できるようになる 思 動詞の目的語になるif節を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・動詞の目的語になるif節 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 動詞の目的語になるif節を理解できる 思 動詞の目的語になるif節を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	情報
商業		中間考査			0	0	0	0		〇〇	1	商業
教養		Lesson 7 (関係副詞)	知 関係副詞を理解できるようになる 思 関係副詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・関係副詞 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 関係副詞を理解できる 思 関係副詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	教養
総合		Lesson 8 (知覚動詞)	知 知覚動詞を理解できるようになる 思 知覚動詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・知覚動詞 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 知覚動詞を理解できる 思 知覚動詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	8	総合
その他		期末考査			0		0			〇〇	1	その他
	3学期	Lesson 9 (使役動詞)	知 使役動詞を理解できるようになる 思 使役動詞を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・使役動詞 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 使役動詞を理解できる 思 使役動詞を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	6	
		Lesson 10 (分詞構文)	知 分詞構文を理解できるようになる 思 分詞構文を使って英語表現ができるようになる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとする	・分詞構文 ・各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	知 分詞構文を理解できる 思 分詞構文を使って英語表現ができる 学 本単元の内容を理解し、活用して表現しようとしている	〇〇〇	4	
		学年末考査			0		0			〇〇	1	

1年	講座名	伸ばす英語			単位数	2単位	1年	
					対象年次	1・2・3・4年次		
2年	教科・科目名	英語・総合英語Ⅰ	定員	30	難易度	☆☆	2年	
	担当者名							
3年	教科書	なし					3年	
	副教材	英語総合問題 raise 1 SECOND EDITION						
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4年	
		基礎的な英単語を覚え、基礎的な英文法を理解し、「読むこと」「書くこと」に活かすことができる。	基礎的な英単語を覚え、基礎的な英文法を理解し、「聞くこと」「話すこと」に活かすことができる。		主体的に授業に参加する。授業に取り組む態度、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身に付ける。			
必修	概要	様々な題材の英文を扱う。英語を通して、外国の事情や異文化等についての知識を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図るための能力や態度の基礎を養う。また、中学校における基礎的な学習事項を整理し、それらの習熟を図りながら多様な場面での言語使用の経験をさせ、より豊かなコミュニケーション活動を行うようにする。						必修
必選	受講条件	「わかる英語A」もしくは「わかる英語B」との同時受講不可 中学基礎程度の学力があり、主体的に学ぶ意欲のある者						必選
自選								自選

国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価規準	知 思 態	配当時数	国語		
公地民歴	1学期	文の種類 ・アメリカのご近所事情 ・hotとcoldについての なぞかけ	知 文の種類(肯定文・否定文・疑問文など)を理解する。 思 文の種類(肯定文・否定文・疑問文など)を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・文の種類 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	知 文の種類(肯定文・否定文・疑問文など)を理解できる。 思 文の種類(肯定文・否定文・疑問文など)を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	8
	文型	知 文型を理解する。 思 文型を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・文型 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	0	知 文型を理解できる。 思 文型を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	8
	中間考査	なし		0	0	0		〇〇				
	時制	知 時制(現在・過去・未来形など)を理解する。 思 時制(現在・過去・未来形など)を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・時制 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	0	知 時制(現在・過去・未来形など)を理解できる。 思 時制(現在・過去・未来形など)を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	7
	助動詞	知 助動詞(can, may, mustなど)を理解する。 思 助動詞(can, may, mustなど)を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・助動詞 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	0	知 助動詞(can, may, mustなど)を理解できる。 思 助動詞(can, may, mustなど)を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	8
	期末考査			0	0	0		〇〇	1			
芸術	2学期	受動態 ・長さの単位	知 受動態を理解する。 思 受動態を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・受動態 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	知 受動態を理解できる。 思 受動態を理解できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	7
	不定詞	知 不定詞を理解する。 思 不定詞を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・不定詞 ・	0	0	0	0	0	0	知 不定詞を理解できる。 思 不定詞を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	8
	中間考査			0	0	0		〇〇	1			
	動名詞	知 動名詞を理解する。 思 動名詞を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・動名詞 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	0	知 動名詞を理解できる。 思 動名詞を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	7
	分詞	知 分詞を理解する。 思 分詞を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・分詞 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	0	知 分詞を理解する。 思 分詞を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	8
	期末考査			0	0	0		〇〇	1			
教養	3学期	比較 ・ウッドさんと鳥	知 比較を理解する。 思 比較を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・比較 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	知 比較を理解できる。 思 比較を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	6
	関係代名詞	知 関係代名詞を理解する。 思 関係代名詞を活用する。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組む。	・関係代名詞 ・プリント、各種適切なデバイスの活用	0	0	0	0	0	0	知 関係代名詞を理解できる。 思 関係代名詞を活用できる。 学 主体的かつ積極的に様々な活動に取り組める。	〇〇〇	7
	学年末考査			0	0	0		〇〇	1			

1年	講座名	総合英語			単位数		2単位	1年			
					対象年次		3・4年次				
2年	教科・科目名	英語・総合英語Ⅱ	定員	30	難易度		☆☆☆☆☆	2年			
	担当者名										
3年	教科書	なし						3年			
	副教材	英語総合問題集　Wonderland 3									
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			4年			
		長文読解、Listneing問題に対応する語彙力や英文構造理解力を身に着けることができる。 大学・短大レベルの英文を読んで内容を理解することができる。	英文を読んで自身の考えを表現することができる。基礎的な英文法を理解して「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」に結びつけることができる。		授業に意欲的に参加できる 英語を用いて他者理解を図ろうとすることができる。						
必修	概要	大学・短大レベルの英文を読む、長文読解力を高める活動を行う 発展的な英文法を学習して「読むこと」「書くこと」「話すこと」「聞くこと」に結びつけた学習を行う 大学受験等を意識した高度な内容を扱う									
必選	受講条件	「英語コミュニケーションⅠ」もしくは「伸ばす英語」を履修していること。「わかる英語A」もしくは「わかる英語B」との同時受講不可 大学・短大等進学希望する生徒を対象とする。受講を希望する人は、必ず予備調査提出前に英語科の教員に相談すること ※旧課程の総合英語（3・4年）として受講可									
自選											
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	知	思	態	評価規準	知 思 態	配当時間	国語
公地民歴	1学期	Unit 1 論説(環境)・文型	知 基本的な文型構造を理解できるようになる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・文型学習 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 基本的な文型構造を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している。	〇〇〇	8	公地民歴
数学		Unit 2 論説(生物)・時制	知 時制の概念を理解できるようになる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・時制 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 時制の概念を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	8	数学
理科		中間考査	なし						〇〇		理科
体育健		Unit 3 論説(文化)・助動詞	知 助動詞を理解できるようになる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・助動詞 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 助動詞理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	8	体育健
芸術		Unit 4 エッセイ(職業)・受動態	知 受動態を理解できるようになる。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・受動態 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 受動態を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	8	芸術
英語		期末考査	なし			0		0	〇〇	1	英語
家庭	2学期	Unit 5 論説(物の起源)・不定詞	知 不定詞を理解できるようになる 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・不定詞 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 不定詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	8	家庭
情報		Unit 6 物語(視点)・不定詞、動名詞	知 不定詞・動名詞を理解できるようになる 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・不定詞・動名詞 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 不定詞・動名詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	8	情報
商業		中間考査	なし			0		0	〇〇	1	商業
教養		Unit 7 論説(食)・分詞①	知 分詞を理解できるようになる 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・分詞 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 分詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	8	教養
総合		Unit 8 物語(速読)・分詞②	知 分詞構文を理解できるようになる 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・分詞構文 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 分詞構文を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	6	総合
その他		期末考査	なし			0		0	〇〇	1	その他
	3学期	Unit 9 論説(平和)・比較	知 比較を理解できるようになる 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・比較 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 分詞を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	6	
		Unit 10 論説(技術)・比較(最上級)	知 最上級を理解できるようになる 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解することができる。 学 本単元の内容を理解し、活用して表現できる。	・最上級 ・長文読解、Listening活動	0	0	0	知 最上級を理解している。 思 英文読解・Listeningを通して内容を理解している。 学 意欲的に本単元の内容を理解し、活用・表現している	〇〇〇	6	
		学年末考査	なし			0		0	〇〇	1	

1 年	講座名	家庭基礎			単位数	2単位	1 年					
					対象年次	2年次						
2 年	教科・科目名	家庭・家庭基礎	定員	—	難易度	—	2 年					
	担当者名											
3 年	教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 実教出版					3 年					
	副教材	LIFE おとなガイド家庭科 教育図書										
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年					
		人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識を衣食住を中心に理解して、それらにかかわる技能を身につけている。	家庭や地域社会における生活の中から問題や課題を見いだして課題を設定し、その解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。		さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭・地域の生活を創造して実践しようとしている。							
必修	概要	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、衣食住を中心に生活を主体的に営むための知識と技術を身につけられるように指導する。一人ひとりが「持続可能な社会の創り手」として課題意識をもって、自分の生活を見つめさせるように指導する。						必修				
	受講条件	なし										
必選	自選								自選			
国語	公地民歴	数学	理科	体育健	芸術	英語	家庭	情報	商業	教養	総合	その他

講座名		家庭基礎R			単位数	2単位
					対象年次	3・4年次
教科・科目名	家庭・家庭基礎	定員	20	難易度	—	
担当者名						
教科書	家庭基礎　気づく力　築く未来　実教出版					
副教材	LIFE おとなガイド家庭科　教育図書					
目標	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等		
	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な知識を衣食住を中心に理解して、それらにかかわる技能を身につけている。		家庭や地域社会における生活の中から問題や課題を見いだして課題を設定し、その解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭・地域の生活を創造して実践しようとしている。		
概要	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、衣食住を中心に生活を主体的に営むための知識と技術を身につけられるように指導する。一人ひとりが「持続可能な社会の創り手」として課題意識をもって、自分の生活を見つめさせるように指導する。					
受講条件	3,4年次：2年次で必修「家庭基礎」が未履修の生徒 ※旧課程の「家庭基礎」として履修可					
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	青年期と家族	知　自分と家族、社会の関わりを学ぶ。 思　家族を取り巻く問題について考える。 態　自分と家族、社会が関連していることを意識する。	・青年期の自立・性別役割分業意識・職業労働と家事労働・ワークライフバランス ・家族の法律・高齢者の特徴	知　自分、家族と社会は関わり合いを理解できたか。 思　家族をとりまく問題について考えることができたか。 態　自分と家族、社会が関連していることを意識できたか。	〇〇〇	8
		知　高齢者の心身の変化を学ぶ。 思　高齢者を取り巻く問題について考える。 態　自分と社会が関連していることを意識する。	・青年期の自立・性別役割分業意識・職業労働と家事労働・ワークライフバランス ・家族の法律・高齢者の特徴	知　自分、家族と社会は関わり合いを理解したか。 思　高齢者をとりまく問題について考えたか。 態　自分と社会が関連していることを意識できたか。	〇〇〇	6
	中間考査					
	衣生活	知　高齢者の心身の変化を学ぶ。 思　高齢者を取り巻く問題について考える。 態　自分と社会が関連していることを意識する。	・衣服の起源・衣服の機能・ファストファッションとエンカルファッション・衣服の表示・衣服の手入れと保管・環境にやさしい衣生活	知　衣服の機能を理解したか。 思　TPOに応じた衣服の選択ができるか。 態　衣服のよりよい入手方法や管理を意識できたか。	〇〇〇	8
	衣生活	知　縫製用具の扱い方を知る。 ミシンの使い方を知る。 思　縫製過程を理解する。 態　エプロンを完成させる。	・ミシンの基本的操作方法の習得 ・三つ折り、ポケット付けの方法 ・縫製用具の正しい使い方 ・ボタン付け	知　用具の使い方、基本的な縫い方を理解したか。 思　縫製過程を理解したか。 態　エプロンを完成させたか。	〇〇〇	8
	期末考査					1
2学期	食生活	知　私達の食生活の現状と課題を把握する。 思　栄養と食品のかかわりを理解する。 態　健康的な食生活を実践する力をつける。	・食と生活習慣病・食の改善と食生活 ・5大栄養素・食品の種類特徴 ・食品表示・食品の安全衛生	知　食生活の現状と課題を把握することができたか。 思　栄養と食品の関わりを理解することができたか。 態　健康的な食生活を身に付けようとしているか。	〇〇〇	6
		知　食事の計画と調理について理解を深める。 思　バランスの良い栄養摂取量の計算をする。 態　家族の食事計画を考え、献立を作成する。	・食事摂取基準と栄養素の推定平均必要量 ・食品群別摂取量のめやすと食事バランス ・食物費の予算と調理能率	知　食事計画と調理の大切さを理解できたか。 思　食品標準成分表から適切な栄養計算が出来たか。 態　家族構成と経費を考え、献立作成を工夫したか。	〇〇〇	8
	中間考査					
	食生活	知　和食・中華の調理実習を行う。 思　効率よく、調理手順、用具の準備、作業に取り組む。 態　食材の扱い方と加工調理を実践的に学ぶ。	・だしの取り方(混合だし) ・調理器具、調理道具の適切な使い方 ・盛り付け・食事作法、調理科学と理論	知　和だし(混合だし)をとることができたか。 思　調理実習において作業効率を考え工夫できたか。 態　衛生的な調理実習ができたか。	〇〇〇	8
	食生活	知　日本と世界の食文化を理解する。 思　食と環境についての課題を多方面から考える。 態　青年期の食と栄養について正しい知識を持つ。	・食文化と郷土料理(八王子の地域探求) ・世界の食文化 ・SDGSと食の安全(遺伝子組み換え)	知　日本と世界の食文化を理解したか。 思　世界の食文化について理解を深めようとしたか。 態　青年期の食と栄養について理解を深めた。	〇〇〇	8
	期末考査					1
3学期	保育	知　子どもの心身の発達、生活を知る。 思　自分の幼児期を思い出し理解する。 態　誰もが幼児期を経験し、青年期に至る過程がわかる。	・子どもを知る・子どもの心身の発達・愛着行動・子どもの遊びの重要性・基本的生活習慣・子どもの健康と安全・子どもの権利	知　子どもの心身の発達、生活を理解したか。 思　自分の幼児期を思い出すことができたか。 態　自分の幼児期から青年期の過程を認識できたか。	〇〇〇	8
		知　18歳成年でできること、悪徳商法、詐欺を理解する。 思　契約の法的責任を知り、日常の消費行動を振り返る。 態　日常生活の契約に気付き、契約の重要性を意識する。	・成年年齢でできること・契約とは何か ・契約の例・悪徳商法の例 ・若者を狙った詐欺商法・クーリングオフ ・消費生活センターとは	知　成年年齢でできることや悪徳商法を理解できたか。 思　契約の重要性を理解したか。 態　日常生活は消費行動で成立していることを理解したか。 態　日常生活での契約を意識できたか。	〇〇〇	7
	学年末考査					1

1 年	講座名	保育基礎			単位数	2単位	1 年		
					対象年次	3・4年次			
		教科・科目名	家庭・保育基礎	定員	20	難易度		☆☆☆	2 年
		担当者名							
		教科書	保育基礎 実教出版					3 年	
副教材	LIFE 大人のガイド 家庭科 教育図書								
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年			
	○乳幼児の発達の特徴について理解する。 ○子供の遊び・児童文化財について学習し、製作実習を行う。 ○子どもの健康管理(食事と栄養) や子育て全般について知識と技術を身に付ける。	○子どもが生まれながら備えている「育つ力」を引き出す環境を考える。 ○子どもの成長を促す児童文化財を製作する。		○乳幼児に関心を持つ。 ○人の発達過程を意識する。 ○家庭の力と共に今後求められる社会的な支援を考える。					
概要	○乳幼児の発達の特徴について理解する。 ○子供の遊び・児童文化財について学習し、製作実習を行う。 ○子どもの健康管理(食事と栄養) や子育て全般について知識と技術を身に付ける。					必修 必修 自選			
受講条件	○保育系進学希望者及び、保育に興味、関心が高いもの。 ○発展的内容のため、家庭基礎を習得した生徒。 ○グループで作業があるので、誰とでも協力して取り組むことができる生徒。 ※旧課程の「子どもの発達と保育」として受講可								
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地 民歴	1学期	子どもの発達の特性	・発達と乳幼児期の意義 ・発達と保育環境 ・児童観と発達観		知 乳幼児の身体的、精神的発達を理解できたか。 思 乳幼児の発達の問題について考えることができたか。 態 乳幼児の発達と生活環境が関連していることを意識できたか。	○○○	8	公地 民歴	
		子どもの生活	・絵本読み聞かせ ・絵本製作		知 乳幼児の身体的、精神的発達を理解できたか。 思 乳幼児の発達の問題について考えることができたか。 態 乳幼児の発達と生活環境が関連していることを意識できたか。	○○○	14	数学	
		子どもの発達の過程	・子どもの発育 ・子どもの精神発達 ・人間関係の発達		知 乳幼児の身体的、精神的発達を理解できたか。 思 乳幼児の発達の問題について考えることができたか。 態 乳幼児の発達と生活環境が関連していることを意識できたか。	○○○	8	理科	
		期末考査					1	体育健	
数学	2学期	子どもの生活	・子どもの栄養と食事 ・生活習慣 ・健康管理と事故防止		知 乳幼児への適切な養護について理解できたか。 思 乳幼児への適切な栄養と養護について考えることができたか。 態 乳幼児の健康管理について意識できたか。	○○○	10	数学	
		子どもの保育	・家庭保育と集団保育 ・保護者の役割		知 家庭保育と集団保育について理解できたか。 思 家庭保育と集団保育における保護者の役割を考えることができたか。 態 家庭保育と集団保育の役割を意識できたか。	○○○	10	理科	
		子どもの生活	・おもちゃ製作 ・離乳食実習		知 子どもの成長に合った児童文化財を学び、製作できたか。 子どもの成長に合ったおやつを学び、実習できたか。 思 子どもの成長に合った児童文化財を考えることができたか。 子どもの成長に合ったおやつについて考えることができたか。 態 子どもの成長を助ける児童文化財を意識できたか。 子どもの成長をふさわしいおやつに関心を持てたか。	○○○	10	体育健	
		期末考査					1	芸術	
	3学期	子どもの福祉	・児童憲章 ・子どもの権利条約 ・子育て支援		知 子どもの心身の発達、生活を理解したか。 思 自分の幼児期を思い出すことができたか。 態 自分の幼児期から青年期の過程を認識できたか。	○○○	10	芸術	
英語		まとめ	1年間のまとめ レポート製作			○○○	6	英語	
								家庭	
家庭								情報	
情報								商業	
商業								教養	
教養								総合	
総合								その他	
その他								その他	

1年	講座名	ファッション造形基礎			単位数	2単位	1年	
2年		教科・科目名	家庭・ファッション造形基礎	定員	16	対象年次	3・4年次	2年
3年		担当者名						3年
4年		教科書	ファッション造形基礎 実教出版					4年
		副教材	LIFE 大人のガイド 家庭科 教育図書					
必修	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			必修
		被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解して、関連する技術を身に付けるようにする。	被服製作に関する課題を発見し、その解決に向けて考察し、創造的に解決する力を養う。		被服製作の基礎について自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
必選	概要	2年次で学んだ被服製作に関する基礎的・基本的な知識や技術を発展的に学習する。 実生活の中で活用できる技術力を活用し、小物の製作を行う。 個々の課題を設定し、洋服や和服の製作を行う。 着装のマナーや和服の種類と用途を学び、TPOに合わせた美しい着装ができる。						必選
自選	受講条件	○服飾系進学希望者及び、裁縫に興味、関心が高い人。 ○発展的内容のため、家庭基礎を修得した生徒。 ○ミシンを自力で準備・使用できること。 ○細かい作業が多いので、こつこつ作業ができる人。 ○布など自分で用意しなければならないものが多く、材料費がかかることを理解して選択すること。※旧課程の「ファッション造形」として履修可						自選
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	衣服の構成	知 衣服に求められる着心地について考える。 思 既製服のサイズ表示を理解する。 態 体形の特徴や動作によって適した衣服があることを理解する。	・衣服の着心地 ・既製服サイズ表示 ・動作による人体寸法・形態の変化	知 衣服に求められる着心地について考えることができたか。 思 既製服のサイズ表示を理解できたか。 態 体形の特徴や動作によって適した衣服があることを理解できたか。	〇〇〇	4	公地民歴
数学		衣服の素材	知 様々な種類の素材があることを学び、それらを用いた日常に使用されている衣類について考える。 思 デザインや着用目的などに合わせて、衣服材料を適切に選択し、取り扱うことができる。 態 用途や好みを確認し、製作計画が立てられる。	・衣服の素材の種類 ・衣服素材の性能と選択	知 様々な種類の素材があることを学び、それらを用いた日常に使用されている衣類について考えることができたか。 思 デザインや着用目的などに合わせて、衣服材料を適切に選択し、取り扱うことができたか。 態 用途や好みを確認し、製作計画が立てられたか。	〇〇〇	4	数学
理科		基本の縫い方	知 用具の適切な使用方法や基礎的な縫製技術を理解する。 思 製作するものに合わせた、布地の扱い方や縫製技術を考えることができる。 態 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。	・製作の基礎 ・作品(基礎縫いを使った小物)の製作	知 用具の適切な使用方法や基礎的な縫製技術を理解できたか。 思 製作するものに合わせた、布地の扱い方や縫製技術を考えることができたか。 態 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしたか。	〇〇〇	8	理科
体育・保健		和服の製作	知 和服の歴史を踏まえ、伝統的な和服の意義について理解する。 思 和服の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 態 基礎的技法を意欲的に学ぼうとしている。	・和服の製作	知 和服の歴史を踏まえ、伝統的な和服の意義について理解できたか。 思 和服の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができたか。 態 基礎的技法を意欲的に学ぼうとしたか。	〇〇〇	12	体育・保健
芸術		まとめ		・1学期のまとめ				2
英語	2学期	和服の製作	知 和服の歴史を踏まえ、伝統的な和服の意義について理解する。 思 和服の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 態 基礎的技法を意欲的に学ぼうとしている。	・和服の製作	知 和服の歴史を踏まえ、伝統的な和服の意義について理解できたか。 思 和服の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができたか。 態 基礎的技法を意欲的に学ぼうとしたか。	〇〇〇	8	英語
家庭		着 装	知 和服の礼装と略礼装について理解する。 思 着装のマナーを学び、TPOに合わせた和服の着装ができる。 態 浴衣の着付けに意欲的に取り組み、着装の機会に活かそうとしている。	・和服の着装 ・着装とマナー	知 和服の礼装と略礼装について理解できたか。 思 着装のマナーを学び、TPOに合わせた和服の着装ができたか。 態 浴衣の着付けに意欲的に取り組み、着装の機会に活かされたか。	〇〇〇	4	家庭
情報		発展学習 洋服の製作	知 洋服の種類に応じて必要な手順と技術を理解する。 思 デザインを決定し、課題の実現に向け、計画的に実習することができる。 態 技法の学びや実践をとおして、積極的に学ぼうとしている。	・洋服の製作	知 洋服の種類に応じて必要な手順と技術を理解できたか。 思 デザインを決定し、課題の実現に向け、計画的に実習することができたか。 態 技法の学びや実践をとおして、積極的に学ぼうとしたか。	〇〇〇	14	情報
商業		発展学習 編物	知 用具の適切な使用方法や基礎的な編物の技術を理解する。 思 編物の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 態 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。	・編物の種類と特徴 ・作品(簡単な小物)の製作	知 用具の適切な使用方法や基礎的な編物の技術を理解できたか。 思 編物の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができたか。 態 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしたか。	〇〇〇	4	商業
教養		まとめ		・2学期のまとめ				2
総合	3学期	発展学習 編物	知 用具の適切な使用方法や基礎的な編物の技術を理解する。 思 編物の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 態 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしている。	・編物の種類と特徴 ・作品(簡単な小物)の製作	知 用具の適切な使用方法や基礎的な編物の技術を理解できたか。 思 編物の種類に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができたか。 態 基礎的知識と技術を積極的に学ぼうとしたか。	〇〇〇	10	総合
その他		まとめ		・1年間のまとめ ・レポートの作成		〇〇〇	6	その他

知:知識及び技能 思:思考力、判断力、表現力等 学:学びに向かう力、人間性等

知:知識・技能 思:思考・判断・表現 態:主体的に学習に取り組む態度

1年	講座名	フードデザイン			単位数	2単位	1年	
					対象年次	3・4年次		2年
2年	教科・科目名	家庭・フードデザイン	定員	16	難易度	☆☆☆	3年	
3年	担当者名							4年
4年	教科書	フードデザイン Food Changes LIFE 教育図書					必修	
	副教材	LIFE 大人のガイド 家庭科 教育図書						必修
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修	
		食物から栄養を摂り、生命活動を維持する生物としての人間の仕組みを学び、栄養素、食品、調理、献立、食卓作法。食生活の問題など、食に関わる知識と技術を身に付ける。	自分と社会の食生活に関する課題を知り、その解決を目指して考察し、より良い食生活を営む力を養う。		広範囲にわたる食物領域の基礎について自ら学び、よりよい人生を全うするために、主体的に学び、授業の中で協働的に取り組む姿勢を養う。			必修
	概要	○2年次で学んだ栄養素や食品に関する基礎的・基本的な知識や技術を発展的に学習する。 ○生涯にわたり、日常生活で活用できる調理技術を身につける。 ○各国の様式別の献立と調理を学び、グローバルな視点を育て、食卓作法を学ぶ。					必修	
	受講条件	○調理・栄養系進学、就職希望者、食物領域に特に興味・関心が高い生徒。 ○発展的内容のため、家庭基礎を習得した生徒。 ○調理は危険を伴うので、安全に、衛生管理に配慮して作業が行える生徒。 ○調理の実験実習が多いので、材料費がかかることを理解して選択すること。 ※旧課程の「フードデザイン」として履修可						必修
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	
公地民歴	1学期	食事の意義と役割	知 食事の意義と役割を学ぶ。 思 食事の重要性について考える。 態 人の生活は食事と関連していることを意識する。	・なぜ食べるのか、生命活動と食事	知 自分や家族の生命活動に食事が重要なことを理解した。 思 より良い食事のとり方を考えた。 態 実生活で活用しようとする意欲があった。	○○○	4	公地民歴
数学		食を取り巻く現状	知 私たちの食生活の現状と課題を把握する。 思 課題の解決を考える。 態 自分の食生活が社会と関連していることを意識する。	・自分の食生活を振り返る ・食品はどこから来るのか ・食生活と環境	知 食生活の現状と課題を把握した。 思 課題の解決方法を考えた。 態 実生活で課題に取り組む意欲があった。	○○○	10	数学
理科		栄養素の働き健康と栄養素	知 栄養素の働きを知る。健康に関わる栄養素を知る。 思 健康に生活するための栄養について考える。 態 よりよい栄養の取り方を意識する。	・からだの仕組みと栄養素の役割 ・体の維持	知 栄養素の働きを知る。 思 健康と栄養素の取り方を考えた。 態 栄養素について新しい知識を積極的に学んだ。	○○○	8	理科
体育健		調理の基本	知 調理の目的と操作について知る。 思 効率よい、調理手順、用具の扱い、作業を考える。 態 調理実習を主体的に行う。	・調理の目的 ・調理操作	知 用具の使い方、基本的な調理方法を理解した。 思 有効な調理方法を考えた。 態 主体的に調理実習に参加した。	○○○	8	体育健
芸術		期末考査						1
英語	2学期	食品の特徴食品加工と目的	知 食品の特徴を知る。食品加工の目的を知る。 思 特徴を知り、食品の扱いや摂り方を考える。 態 食品の特徴に合わせた取り方を意識する。	・主な食品の特徴 ・主な食品の加工	知 主な食品の特徴を理解した。 思 食品加工の必要性和利用の仕方考えた。 態 日常の食生活で利用することを意識した。	○○○	8	英語
家庭		食品の選択と取扱い	知 食品の安全な選択について学ぶ。 思 生活に活かす衛生的な食品の扱い方を考える。 態 調理実習で安全と衛生を意識して実践する。	・食品の選択 ・食品の衛生と安全	知 安全と衛生の大切さを理解した。 思 学校の実習時に安全と衛生を考えた。 態 安全で、衛生的な調理実習ができた。	○○○	6	家庭
情報		献立作成	知 献立作成の留意点を知る。 思 青年期や家族の理想的な献立を考える。 態 理想的な献立の必要性を意識する。	・青年期の献立 ・家族の献立 ・活用できる献立	知 食事計画の大切さを理解した。 思 健康に生活するための献立を考えた。 態 献立表の作成に取り組んだ。	○○○	8	情報
商業		様式別の献立と調理	知 日本で馴染みのある様式別の献立と調理を知る。 思 様式が異なる料理が受け入れられた理由を考える。 態 様式の違う献立を食生活に取り入れる。	・日本料理 ・西洋料理 ・中国料理	知 日本料理と異なる様式を理解した。 思 なぜ異なる様式になるか考えた。 態 様式の異なる実習に主体的に参加した。	○○○	8	商業
教養		期末考査						1
総合	3学期	食卓作法	知 社会人に必要な食卓作法を知る。 思 状況に応じた作法を考える。 態 実習での試食で食卓作法を体験する。	・様式別の食卓作法	知 社会人に必要な食卓作法を理解できた。 思 状況に応じた必要な作法考えた。 態 実習で食卓作法を主体的に実践した。	○○○	8	総合
その他		食文化を見つめる	知 日本と世界の食文化の違いを知る。 思 グローバルな見方について考える。 態 日本料理の良さを継続することを意識する。	・食と生活の関わり ・日本の四季と食事	知 日本と世界の食文化の違いを理解した。 思 世界の食文化の成り立ちを深く考えた。 態 食のグローバルな見方の必要性を意識した。	○○○	7	その他
		学年末考査						1

1 年	講座名	情報Ⅰ			単位数	2単位	1 年					
					対象年次	2年次						
	2 年	教科・科目名	情報・情報Ⅰ	定員	—	難易度	—	2 年				
	担当者名											
	3 年	教科書	東京書籍『情報Ⅰ』					3 年				
副教材		東京書籍『情報Ⅰ 資料ノート』										
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年					
		・情報技術に関する知識・技能を身に付ける。 ・タイピングやマウス操作、基本的なコンピュータ操作の習得。またアプリケーションを利用した文書作成等について習得する。	・アプリケーションを活用し、課題に応じたデジタル表現する力を身に付ける。 ・身近な課題、社会の抱える課題を把握し、情報技術を用いて解決する力を身に付ける。		・望ましい情報社会に向かう態度を育成する。 ・情報技術に興味を持ち課題を行う態度を身に付ける。							
必修	概要	情報科において身に付けるべき資質・能力は三つになる。「知識及び技能」では情報と情報技術についての知識・技能を身に付け、問題解決できる能力養う。また情報における法規や制度及びマナー、個人が果たす役割や責任等について理解する。「思考力、判断力、表現力等」では情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、アプリケーションを適切かつ効果的に活用する力を養い、効果的に情報表現・発信する力を身に付ける。「学びに向かう力、人間性等」は情報社会における法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、それを意識した情報活用を行う力を身に付ける。これら情報Ⅰではこれら3つの資質・能力を養い、基本的な情報機器・アプリケーション操作を習得していく。					必修					
	受講条件	なし										
必 選	自 選							必 選				
国 語	公 地 民 歴	数 学	理 科	体 育 健 育	芸 術	英 語	家 庭	情 報	商 業	教 養	総 合	そ の 他

1年	講座名	情報 I R			単位数	2単位	1年		
2年					対象年次	3・4年次	2年		
3年	教科・科目名	情報・情報 I	定員	30	難易度	—	3年		
4年	担当者名						4年		
必修	教科書	東京書籍『情報 I 』					必修		
	副教材	日本語ワープロ模擬問題集 3 級、情報処理技能検定表計算模擬問題集 3 級							
必選	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必選		
		・コンピュータの基本的な操作方法を身に付ける。 ・アプリケーションを用いて文書作成・表計算ができる(検定 3 級程度)。	・多様な検定課題に対応する力を身に付ける。		・期間内に課題を完成させる。 ・操作に関して質問し、それを取り入れて操作できる。				
自選	概要	2 年次必修履修科目「情報 I 」の取り直し科目になります。未履修の生徒は必ず履修する必要があります。また社会で活躍できるよう、以下の知識や技術の向上を目指します。1．タイピング技術、2．文書作成能力、3．表計算処理能力					自選		
	受講条件	1．「情報 I R」と「情報 II 」を同時受講することはできません。 2．「情報 I 」は未履修のまま卒業はできません。「情報 I 」が未履修かどうか確認し、担任の先生や授業担当の先生に相談して、卒業までに必ず受講しましょう。 ※旧課程の情報演習 A として履修可							
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	コンピュータ操作の基礎	・ファイル作成・保存方法の指導 ・マウス、キーボード操作の指導 ・文書作成ソフト操作の指導		知 指定された手順に基づき課題を作成し保存できているか。 思 指示通りのレイアウトで文書作成できているか。	〇 〇	7	公地民歴	
		文書作成基礎	・日本語ワープロ検定試験 3 級レベルの文書作成指導		知 日本語ワープロ検定試験 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	7	数学	
		中間考査	なし		なし				理科
		文書作成基礎(復習)	・日本語ワープロ検定試験 3 級レベルの文書作成指導		知 日本語ワープロ検定試験 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	7	体育健	
		文書作成発展	・日本語ワープロ検定試験 3 レベルの文書作成指導		知 日本語ワープロ検定試験 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	7	芸術	
		期末考査	なし		なし				英語
英語	2学期	文書作成発展(復習)	・日本語ワープロ検定試験 3 級レベルの文書作成指導		知 日本語ワープロ検定試験 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	家庭	
		表計算基礎	・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導		知 情報処理技能検定 表計算 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	情報	
		中間考査	なし		なし				商業
		表計算基礎(復習)	・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導		知 情報処理技能検定 表計算 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	教養	
		表計算発展	・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導		知 情報処理技能検定 表計算 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	総合	
		期末考査	なし		なし				その他
その他	3学期	表計算発展(復習)	・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導		知 情報処理技能検定 表計算 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	9		
		総復習	・日本語ワープロ検定試験 3 級レベルの文書作成指導 ・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導		知 複数年分の検定問題に合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、課題に取り組むことができる。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	9		
		学年末考査	なし		なし				

講座名	情報Ⅱ			単位数	2単位	
				対象年次	3・4年次	
教科・科目名	情報・情報Ⅱ	定員	30	難易度	☆☆☆	
担当者名						
教科書	東京書籍『情報Ⅱ』					
副教材	日本語ワープロ模擬問題集2級、情報処理技能検定表計算模擬問題集2級					
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		
	・コンピュータの基本的な操作方法を身に付ける。 ・アプリケーションを用いて文書作成・表計算ができる(検定2級程度)。	・多様な検定課題に対応する力を身に付ける。		・期間内に課題を完成させる。 ・操作に関して質問し、それを取り入れて操作できる。		
概要	「情報Ⅰ」「情報ⅠR」の上位科目になります。タイピング速度が10分間で400文字以上が必要となります。					
受講条件	1. 「情報Ⅰ」「情報ⅠR」どちらか一方を履修していること。評価・評定が4以上であることが望ましい。 2. 「情報ⅠR」「情報Ⅱ」を同時受講することはできません。					
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数
1学期	コンピュータ操作の基礎	知 コンピュータの基本操作を習得する。 思 文書作成ソフトを使って文書作成できる。	・ファイル作成・保存方法の指導 ・マウス、キーボード操作の指導 ・文書作成ソフト操作の指導	知 指定された手順に基づき課題を作成し保存できているか。 思 指示通りのレイアウトで文書作成できているか。	〇〇	7
	文書作成基礎	知 日本語ワープロ検定試験 3級「速度」合格程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 3級「速度」合格レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 3級「速度」を7割入力できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	7
	中間考査	なし	なし	なし		
	文書作成基礎(復習)	知 日本語ワープロ検定試験 3級「文書」合格程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 3級「文書」合格レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 3級「文書」を理解できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	7
	文書作成発展	知 日本語ワープロ検定試験 2級「速度」合格程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 2級「速度」合格レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 2級「速度」を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	7
	期末考査	なし	なし	なし		
2学期	文書作成発展(復習)	知 日本語ワープロ検定試験 2級「文書」合格程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 2級「文書」合格レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 2級「文書」を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	8
	表計算基礎	知 情報処理技能検定 表計算3級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算3級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算3級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	8
	中間考査	なし	なし	なし		
	表計算基礎(復習)	知 情報処理技能検定 表計算3級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算3級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算3級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	8
	表計算発展	知 情報処理技能検定 表計算2級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算2級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算2級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	8
	期末考査	なし	なし	なし		
3学期	表計算発展(復習)	知 情報処理技能検定 表計算2級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算2級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算2級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	9
	総復習	知 日本語ワープロ、表計算2級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 2級レベルの文書作成指導 ・情報処理技能検定 表計算2級レベルの表計算指導	知 複数年分の検定問題に合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、課題に取り組むことができる。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	9
	学年末考査	なし	なし	なし		

1 年	講座名	わかる P C			単位数	2 単位	1 年	
					対象年次	1 年次		
	教科・科目名	情報・わかる P C（学校設定）	定員	30	難易度	☆	2 年	
	担当者名							
	教科書	なし					3 年	
副教材	なし							
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年	
		・コンピュータの基本的な操作方法を身に付ける。 ・アプリケーションを用いて文書作成・表計算ができる。	・多様な検定課題に対応する力を身に付ける。		・期間内に課題を完成させる。 ・操作に関して質問し、それを取り入れて操作できる。			
必修 必修 自選	概要	2 年次必修科目「情報Ⅰ」はコンピュータをある程度扱える前提で授業を行います。この授業は、2 年次の授業に円滑に入れるように、文書作成や表計算処理の練習を通して、コンピュータ操作全般の技術向上を目指します。					必修 必修 自選	
	受講条件	コンピュータ操作を 0 から学びたい人や、コンピュータ操作に自信のない人対象です。						
国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	1 学期	コンピュータ操作の基礎	知 コンピュータの基本操作を習得する。 思 文書作成ソフトを使って文書作成できる。	・ファイル作成・保存方法の指導 ・マウス、キーボード操作の指導 ・文書作成ソフト操作の指導	知 指定された手順に基づき課題を作成し保存できているか。 思 指示通りのレイアウトで文書作成できているか。	〇 〇	7	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
		文書作成基礎	知 日本語ワープロ検定試験 4 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 4 級レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 4 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	7	
		中間考査	なし	なし	なし			
		文書作成基礎（復習）	知 日本語ワープロ検定試験 4 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 4 級レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 4 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	7	
		文書作成発展	知 日本語ワープロ検定試験 3 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 3 レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	7	
		期末考査	なし	なし	なし			
	2 学期	文書作成発展（復習）	知 日本語ワープロ検定試験 3 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 3 級レベルの文書作成指導	知 日本語ワープロ検定試験 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
		表計算基礎	知 情報処理技能検定 表計算 4 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算 4 級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算 4 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	
		中間考査	なし	なし	なし			
		表計算基礎（復習）	知 情報処理技能検定 表計算 4 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算 4 級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算 4 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	
		表計算発展	知 情報処理技能検定 表計算 3 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	8	
		期末考査	なし	なし	なし			
	3 学期	表計算発展（復習）	知 情報処理技能検定 表計算 3 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導	知 情報処理技能検定 表計算 3 級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、関数・数式、データ入力できるか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	9	国語 公地 民歴 数学 理科 体育 保健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
		総復習	知 日本語ワープロ、表計算 3 級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・日本語ワープロ検定試験 3 級レベルの文書作成指導 ・情報処理技能検定 表計算 3 級レベルの表計算指導	知 複数年分の検定問題に合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、課題に取り組むことができる。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇 〇 〇	9	
		学年末考査	なし	なし	なし			

1 年	講座名	情報の表現と管理			単位数	2単位	1 年	
					対象年次	3・4年次		
	2 年	教科・科目名	情報・情報の表現と管理	定員	30	難易度	☆☆	2 年
	担当者名						3 年	
	教科書	実教出版『情報の表現と管理』						
副教材	なし							
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年	
		・身近な情報を取り扱う技術を習得させ、情報を共有・発信させる体験活動を通じて、情報社会へ参画する意識の育成	・情報活用におけるコミュニケーション能力や情報処理能力を養い、多様な進路に対応できる情報活用能力の育成		・情報化が社会に及ぼす影響や、生徒個人がどう対応するかを考えさせ、表現・発信の知識や心構えを身につけさせる			
必修	概要	2年次必修修科目で学んだ基本的な考え方や、知識、技能の発展的内容についてを取り上げています。情報教育で定められている3つの目標「自らの学習や生活において情報活用を実践できる」「情報や情報技術の仕組み、あるいは情報の扱い方に関する基本的な理論や方法を理解する」「情報や情報技術が果たしている役割や及ぼす影響を理解し、情報の正しい扱い方を判断できる」のうち、1つ目に重きを置きながら、3つの能力をバランスよく身につくよう、学習内容や演習課題について取り組んでいきます。						必修
必選	受講条件	※旧課程の情報演習Cとして履修可						必選
自選								自選
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	コンピュータ操作の基礎	知 コンピュータの基本操作を習得する。 思 文書作成ソフトを使って文書作成できる。	・ファイル作成・保存方法の指導 ・マウス、キーボード操作の指導 ・文書作成ソフト操作の指導	知 指定された手順に基づき課題を作成し保存できているか。 思 指示通りのレイアウトで文書作成できているか。	〇〇	7	公地民歴
数学		プレゼンテーション基礎	知 プレゼンテーション作成検定試験試験 4級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・プレゼンテーション作成検定試験試験 4級レベルの文書作成指導	知 プレゼンテーション作成検定試験試験 4級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	7	数学
理科		中間考査				〇〇		理科
体育保健		プレゼンテーション応用	知 プレゼンテーション作成検定試験試験 3級程度の技術習得する。 思 多様な検定問題に対応することができる。 学 課題を完遂させる。	・プレゼンテーション作成検定試験試験 3級レベルの文書作成指導	知 プレゼンテーション作成検定試験試験 3級を合格できるか。 思 多様な検定問題に対応し、文書作成ができているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	7	体育保健
芸術		地域探究学習	知 八王子地域についてインターネット検索を行い、情報収集することができる。 思 情報を加工し、プレゼンテーションソフトで表現できる。 学 八王子地域について興味を持ち調査できる。	・インターネット検索 ・プレゼンテーション資料作成 ・グループワーク ・発表	知 インターネット検索を行い情報収集できているか。 思 プレゼンテーション資料を作成し、受け手を意識して情報を伝えることができるか。 学 八王子地域についての情報を集めることができるか。	〇〇〇	7	芸術
英語		期末考査				〇〇		英語
家庭	2学期	ビジュアルプログラミング基礎	知 scratchにおける基本操作を修得する。 思 scratchでクイズ、キャラを動かすことができる。 学 課題を完遂させる。	・ビジュアルプログラミング指導	知 scratchにおける基本操作が実現できるか。 思 cratchでクイズ、キャラを動かしているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇 〇〇〇	16	家庭
情報		中間考査				〇〇		情報
商業		ビジュアルプログラミング応用	知 scratchにおける応用操作を修得する。 思 scratchで簡単なゲームを作成することができる。 学 課題を完遂させる。	・ビジュアルプログラミング指導	知 scratchにおける応用操作を実現できているか。 思 scratchで簡単なゲームを作成できているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇 〇〇〇	16	商業
教養		期末考査				〇〇		教養
総合	3学期	画像作成基礎	知 画像編集ソフトウェアにおける基本操作を修得する。 思 画像編集ソフトウェアで簡単な画像加工をすることができる。 学 課題を完遂させる。	・ソフトウェア実習指導(画像編集)	知 画像編集ソフトウェアにおける基本操作を実現できているか。 思 画像編集ソフトウェアで簡単な画像編集ができているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	9	総合
その他		画像作成応用	知 画像編集ソフトウェアにおける応用操作を修得する。 思 画像編集ソフトウェアでレイヤー等を用いた画像加工をすることができる。 学 課題を完遂させる。	・ソフトウェア実習指導(画像編集)	知 画像編集ソフトウェアにおける基本操作を実現できているか。 思 画像編集ソフトウェアでレイヤー等を用いた画像編集ができているか。 学 指定された期間に課題を完遂させているか。	〇〇〇	9	その他
		学年末考査	なし	なし	なし	〇〇		

1年	講座名	ビジネス基礎			単位数	2単位	1年					
					対象年次	2年次		2年				
2年	教科・科目名	商業・ビジネス基礎	定員	30	難易度	☆☆	3年					
3年	担当者名							4年				
	教科書	ビジネス基礎（実教出版）					必修					
4年	副教材	－						必選				
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		自選					
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。		ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。		ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		国語						
概要	①商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。 ②ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う。 ③職業人として必要な資質・能力を育成する。 ④ビジネスの基礎学習として、「ビジネス計算」「ビジネスとコミュニケーション」「企業活動の基礎」を中核として指導する。						公地民歴					
受講条件	社会に出て必要なビジネス知識、ビジネスマナー、企業（会社）について勉強をしたい人。							数学				
	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数		理科			
1学期	学習ガイダンス 計算の基礎	知 計算用具に関する知識と技術を学ぶ。 思 機能を使いこなして、速く正確な計算を行う。 学 機能を組み合わせて効率的な計算に取り組む。	・計算用具の歴史と発展について ・計算用具の正しい使い方について ・さまざまな機能と操作方法について		知 計算用具に関する知識と技術を理解している。 思 機能を使いこなして、速く正確な計算ができる。 態 機能を組み合わせて効率的な計算に取り組んでいる。	〇〇〇	7	体育健				
	ビジネス計算の 基礎	知 割合に関する知識と技術を学ぶ。 思 割合の考え方を使得、正確な計算を行う。 学 学習した知識と技術を経済社会で活かす。	・割合について ・割合の表し方について		知 割合に関する知識と技術を理解している。 思 割合の考え方を使得、正確な計算ができる。 態 学習した知識と技術を経済社会で活かそうとしている。	〇〇〇	8		芸術			
	中間 考査					〇〇	1			英語		
	ビジネス計算の 基礎	知 割増・割引に関する知識と技術を学ぶ。 思 割増・割引の考え方を使得、売買計算を行う。 学 学習した知識と技術を売買計算に取り入れる。	・割増の考え方・計算について ・割引の考え方・計算について ・その他のビジネス計算について		知 割増・割引に関する知識と技術を理解している。 思 割増・割引の考え方を使得、売買計算ができる。 態 学習した知識と技術を売買計算に取り入れている。	〇〇〇	8				家庭	
	ビジネス計算の 応用	知 ビジネス計算を応用する知識と技術を学ぶ。 思 経済社会に必要な売買計算を行う。 学 ビジネス計算に関心をもち、意欲的に取り組む。	・各種ビジネス計算の紹介と活用について		知 ビジネス計算を応用する知識と技術を理解している。 思 経済社会に必要な売買計算ができる。 態 ビジネス計算に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	〇〇〇	7					情報
	期末 考査					〇〇	1					
2学期	コミュニケーション	知 コミュニケーションに関する知識と技術を学ぶ。 思 話す人・聞く人の立場での対応法を実践する。 学 コミュニケーション力を日常生活に活かす。	・コミュニケーションの役割について ・話し方と聞き方について		知 コミュニケーションに関する知識と技術を理解している。 思 話す人・聞く人の立場での対応法が実践できる。 態 コミュニケーション力を日常生活に活かそうとしている。	〇〇〇	8	教養				
	ビジネスマナー	知 ビジネスマナーに関する知識と技術を学ぶ。 思 身に付けた知識・技術を実践する。 学 身に付けた知識・技術を経済社会で活かす。	・ビジネスマナーの重要性について ・基本的なビジネスマナーについて		知 ビジネスマナーに関する知識と技術を理解している。 思 身に付けた知識・技術が実践できる。 態 身に付けた知識・技術を経済社会で活かそうとしている。	〇〇〇	7		総合			
	中間 考査					〇〇	1			その他		
	ビジネスマナー	知 場面に応じたビジネスマナーに関する知識と技術を学ぶ。 思 場面に応じた立場での対応法を実践する。 学 場面に応じて身に付けた力を経済社会で試す。	・場面に応じたビジネスマナーについて （来客、名刺交換、電話対応など）		知 場面に応じたビジネスマナーに関する知識と技術を理解している。 思 場面に応じた立場での対応法が実践できる。 態 場面に応じて身に付けた力を経済社会で試そうとしている。	〇〇〇	8				その他	
	ビジネスマナー	知 各種ビジネスマナーに関する知識と技術を学ぶ。 思 ビジネスマナーを総合的に実践する。 学 ビジネスマナーを日常生活に活かす。	・各種ビジネスマナー例の紹介について		知 各種ビジネスマナーに関する知識と技術を理解している。 思 ビジネスマナーを総合的に実践できる。 態 ビジネスマナーを日常生活に活かそうしている。	〇〇〇	7					その他
	期末 考査					〇〇	1					
3学期	ビジネスと企業 資金調達	知 企業と経営、資金に関する知識と技術を学ぶ。 思 企業の経営・資金のしくみを考察する。 学 企業のしくみを理解し、経済社会で活かす。	・企業の役割と経営、種類について ・企業の経営組織・経営戦略について ・企業の資金調達の方法及び責任について		知 企業と経営、資金に関する知識と技術を理解している。 思 企業の経営・資金のしくみを考察している。 態 企業のしくみを理解し、経済社会で活かそうとしている。	〇〇〇	8	その他				
	企業活動と税 雇用	知 企業の税と雇用に関する知識と技術を学ぶ。 思 企業の税・雇用のしくみを考察する。 学 企業活動を理解し、職業人としての意識を高める。	・企業の税の役割と種類について ・雇用の特徴・形態、企業責任について		知 企業の税と雇用に関する知識と技術を理解している。 思 企業の税・雇用のしくみを考察している。 態 企業活動を理解し、職業人としての意識を高めている。	〇〇〇	5		その他			
	学年末 考査					〇〇	1			その他		

1年	講座名	簿記			単位数	2単位	1年	
					対象年次	2・3・4年次		
	教科・科目名	商業・簿記	定員	30	難易度	☆☆☆	2年	
	担当者名							
	教科書	新簿記（実教出版）					3年	
副教材	最新段階式簿記検定問題集全商3級（実教出版）							
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等			4年	
		簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
必修 必選 自選	概要	①商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行う。 ②取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成する。 ③簿記の基礎学習として、「簿記の基礎」から「取引と勘定」「決算」までの簿記一巡の手続きを指導する。						必修 必選 自選
	受講条件	（将来機会があれば）事務系の仕事や学校で学ぶ機会がないと学べない簿記について興味をもっている人。 個人商店の経営やお金のやりとりの記録に興味がある人で、細かいことでも粘り強くがんばれる人。						
国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他
1学期	学習ガイダンス 簿記の基礎	知 基本的な専門用語に関する知識と技術を学ぶ。 思 簿記を学ぶ意義と必要性を考察する。 学 簿記に関心をもち、意欲的に取り組む。	・簿記の基礎について ・簿記の目的、種類、前提条件等について	知 基本的な専門用語に関する知識と技術を理解している。 思 簿記を学ぶ意義と必要性を考察しようとしている。 態 簿記に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	〇〇〇	7	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	
	資産・負債・純資産と 貸借対照表 収益・費用と損益計算書	知 5要素と決算書類に関する知識と技術を学ぶ。 思 必要な5要素を理解し、決算書類が作成できる。 学 5要素の関係性を理解し、意欲的に取り組む。	・簿記の5要素について ・貸借対照表の作成について ・損益計算書の作成について	知 5要素と決算書類に関する知識と技術を理解している。 思 必要な5要素を理解し、決算書類の作成ができている。 態 5要素の関係性を理解し、意欲的に取り組んでいる。	〇〇〇	8		
	中間考査				〇〇	1		
	取引と勘定	知 取引と勘定に関する知識と技術を学ぶ。 思 ルールに基づいて、勘定記入ができる。 学 取引と勘定の各種パターンに対応できる。	・取引と勘定について ・勘定口座と記入のルールについて	知 取引と勘定に関する知識と技術を理解している。 思 ルールに基づいて、勘定記入ができている。 態 取引と勘定の各種パターンに正しく対応している。	〇〇〇	8		
	仕訳と転記	知 仕訳と転記に関する知識と技術を学ぶ。 思 手順と方法を理解し、正しい記入ができる。 学 すべての仕訳と転記を正しく理解し対応できる。	・仕訳の手順について ・転記の方法について	知 仕訳と転記に関する知識と技術を理解している。 思 手順と方法を理解し、正しい記入ができている。 態 すべての仕訳と転記を正しく理解し対応しようとしている。	〇〇〇	7		
	期末考査				〇〇	1		
2学期	仕訳帳と総勘定元帳	知 仕訳帳と総勘定元帳に関する知識と技術を学ぶ。 思 記入方法を理解し、正しい記入ができる。 学 各取引をすべて正しく記入し、完成できる。	・仕訳帳の記入方法について ・総勘定元帳の記入方法について	知 仕訳帳と総勘定元帳に関する知識と技術を理解している。 思 記入方法を理解し、正しい記入ができている。 態 各取引をすべて正しく記入し、完成させようとしている。	〇〇〇	8	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	
	試算表	知 試算表に関する知識と技術を学ぶ。 思 各種試算表の違いを理解し、試算表の作成ができる。 学 各種試算表の意義を理解し、正しく完成できる。	・試算表の役割・種類・特徴について ・試算表の作成方法について	知 試算表に関する知識と技術を理解している。 思 各種試算表の違いを理解し、試算表の作成ができている。 態 各種試算表の意義を理解し、正しく完成できている。	〇〇〇	7		
	中間考査				〇〇	1		
	精算表	知 精算表に関する知識と技術を学ぶ。 思 精算表のしくみを理解し、精算表の作成ができる。 学 精算表の意義を理解し、正しく完成できる。	・精算表の役割について ・精算表の作成方法について	知 精算表に関する知識と技術を理解している。 思 精算表のしくみを理解し、精算表の作成ができている。 態 精算表の意義を理解し、正しく完成できている。	〇〇〇	8		
	決算1	知 決算の手続きに関する知識と技術を学ぶ。 思 手順にしたがって、決算の手続きができる。 学 決算の手続きを理解し、経済社会で活かす。	・決算について ・決算の一連の手続きについて ・決算の本手続きについて	知 決算の手続きに関する知識と技術を理解している。 思 手順にしたがって、決算の手続きができている。 態 決算の手続きを理解し、経済社会で活かそうとしている。	〇〇〇	7		
	期末考査				〇〇	1		
3学期	決算2	知 決算手続きに関する知識と技術を学ぶ。 思 決算報告の書類作成ができる。 学 企業の決算に関心をもち、意欲的に取り組む。	・決算について ・決算の報告について	知 決算手続きに関する知識と技術を理解している。 思 決算報告の書類作成ができている。 態 企業の決算に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。	〇〇〇	8	国語 公地民歴 数学 理科 体育健 芸術 英語 家庭 情報 商業 教養 総合 その他	
	現金・預金などの取引	知 現金・預金に関する知識と技術を学ぶ。 思 現金・預金の記入・管理ができる。 学 発展的内容に触れ、企業経営に活かす。	・現金、現金出納帳、現金過不足について ・当座預金、当座借越について ・当座預金出納帳について	知 現金・預金に関する知識と技術を理解している。 思 現金・預金の記入・管理ができている。 態 発展的内容に触れ、企業経営に活かそうとしている。	〇〇〇	5		
	学年末考査				〇〇	1		

1年	講座名	理数探究基礎			単位数	2単位	1年	
					対象年次	2・3・4年次		
2年	教科・科目名	理数・理数探究基礎	定員	30	難易度	☆☆☆	2年	
	担当者名							
3年	教科書	理数探究基礎（数研出版）					3年	
	副教材	なし						
4年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4年	
		正確な情報を集めることができる。 調査したデータをグラフにかくことができる。 実験器具を正確に扱うことができる。	課題とした事象に対して仮説を設定することができる。 調査・実験結果から考察することができる。研究結果をまとめ、発表し、他者に伝えることができる。		授業に意欲的に参加することができる。 学習を振り返り、活かすことができる。 探究することに興味をもち、学習に取り組むことができる。			
必修 必選	概要	関心をもっていることや疑問に思っていることについて、テーマを設定し、探究する方法を学ぶ。探究学習により、知的好奇心を満たすとともに課題解決能力や課題解決に挑戦しようという態度を身に付ける。 前半：探究学習を行うための研究の基礎・基本を学ぶ。（データの読み取りかた・かきかた、調査・観察・実験の方法、考察・推論の方法） 後半：探究学習のテーマを設定し、研究・発表を行う。						必修 必選
	受講条件	理数探究基礎は、自分で探究するテーマを見つけ、それに対する理解を深め、数的処理を行いながら、自ら答えを見出すという探究学習を行う。 よって、理数の標準的な学力が身につけており、パソコンの一般的な操作ができることが前提となる。根気強く探究する力と、理科・数学への強い好奇心を持っている者の受講が望ましい。						
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴 数学 理科 体育 芸術	1学期	探究とは	知 探究学習の進め方を理解することができるようになる。 思 事象を論理的に考察することができるようになる。 学 探究することに興味をもち、学習に取り組むことができるようになる。	・探究学習の進め方 ・科学的思考について	知 探究学習の進め方を理解することができる。 思 事象を論理的に考察することができる。 態 探究することに興味をもち、学習に取り組むことができる。	〇〇〇	7	公地民歴
		結果の分析・処理	知 信用できるデータを集めることができるようになる。 思 調査結果や分析結果を評価することができるようになる。 学 データを積極的に集めようとしている。	・情報収集の方法 ・グラフのかきかた ・分析結果とその評価 ・一人1台端末の活用	知 信頼できるデータを集めることができる。 思 調査結果や分析結果を評価することができる。 態 データを積極的に集めようとしている。	〇〇〇	8	数学
		中間考査	なし	なし	なし			理科
		観察と実験	知 実験・観察器具を正しく扱うことができるようになる。 思 結果を考察することができるようになる。 学 実験結果を正確に観察・記録しようとしている。	・実験器具、観察器具の扱い方 ・スケッチ ・有効数字 ・記録の方法	知 実験・観察器具を正しく扱うことができる。 思 結果を考察することができる。 態 実験結果を正確に観察・記録しようとしている。	〇〇〇	15	体育
		期末考査	なし	なし	なし			芸術
英語 家庭 情報 商業 教養	2学期	探究課題の設定	知 予備調査から、課題を設定できるようになる。 思 研究課題の仮説を設定することができるようになる。 学 意欲的に研究課題を設定しようとしている。	・文献の読み方 ・研究計画書の作成 ・一人1台端末の活用（研究データの整理） ・中間発表	知 予備調査から、課題を設定できる。 思 研究課題の仮説を設定することができる。 態 意欲的に研究課題を設定しようとしている。	〇〇〇	15	英語
		中間考査	なし	なし	なし			家庭
		探究課題の研究と考察	知 実験・調査結果を分析することができるようになる。 思 分析結果をもとに考察し、まとめることができるようになる。 学 研究結果から、仮説を積極的に吟味しようとしている。	・研究結果のまとめ方 ・研究結果の分析とその評価 ・研究結果の考察と推論	知 実験・調査結果を分析することができる。 思 分析結果をもとに考察し、まとめることができる。 態 研究結果から、仮説を積極的に吟味しようとしている。	〇〇〇	15	情報
		期末考査	なし	なし	なし			商業
総合 その他	3学期	ポスター作製と発表	知 ポスターの構成を理解することができるようになる。 思 聞き手に伝わりやすいように発表を工夫しようとしている。 学 積極的に発表を行い、他者の発表を聞くとしている。	・ポスター作製 ・ポスター発表	知 ポスターの構成を理解することができるようになる。 思 聞き手に伝わりやすいように発表を工夫している。 態 積極的に発表を行い、他者の発表を聞くとしている。	〇〇〇	18	教養
		学年末考査	なし	なし	なし			総合
その他								その他

1年	講座名	声優・ナレーション			単位数	2単位	1年	
					対象年次	3・4年次		2年
2年	教科・科目名	教養・声優ナレーション（学校設定）	定員	20	難易度	☆	3年	
3年	担当者名	市民講師および担当教員						4年
4年	教科書	なし					必修	
	副教材	なし						必修
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修	
		基礎的な身体訓練、発声訓練、アテレコ・オフレコ練習、朗読練習	アテレコ・オフレコ練習やナレーションの練習を通して、コミュニケーション能力や表現力の大切さについて考え、表現活動に積極的に参加する。		発表会などの公演に積極的に参加し、他者と協力することの大切さや喜びを知るなど、人間関係作りの基本を身に付け、自分の役割を果たす重要性を学ぶ。			必修
	概要	声優やナレーターに必要な力を伸ばすため、発声練習や朗読、アテレコ・オフレコ練習を行い、文化祭や教養科目発表会で発表する。発表や授業を通して、自己の課題を見つけ、それを解決する意欲を持つ。					必修	
	受講条件	3年次以上。 チャレンジクラス生徒優先。 休まず積極的に授業に参加し、集団で表現活動を行うこと、一つの作品を作りあげることにより意欲を持つ生徒。 ※旧課程の声優・ナレーションとして履修可						必修
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	
	1学期	基礎的な・発声訓練・アテレコ・オフレコ練習	知…発声の基本を学ぶ 思…実技とイメージの擦り合わせを行う 学…継続的に実技を積み重ねる	ストレッチ・発声練習・アテレコ・オフレコ練習	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	14	公地民歴
中間考査		なし	なし	なし		0		
文化祭の発表へ向けた準備		知…発声や演技の基本を学ぶ 思…役のイメージをつかむ 学…演技における個人の役割を考える	ストレッチ・発声練習・アテレコ・オフレコ練習	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	16		
期末考査		なし	なし	なし		0		
理科	2学期	文化祭の発表・	知…上演時の準備、発表のプロセスを学ぶ 思…役のイメージを表現する 学…協力して作品を作り上げる	ストレッチ・発声練習・アテレコ・オフレコ練習 文化祭での発表・発表の振り返り	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	16	理科
		中間考査	なし	なし	なし		0	
		教養科目発表会の発表に向けた準備	知…イメージを表現するための技術を学ぶ 思…役の感情や場面を考えて表現する 学…演技における個人の役割を考える	ストレッチ・発声練習・アテレコ・オフレコ練習	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	14	
		期末考査	なし	なし	なし		0	
芸術	3学期	教養科目発表会	知…役に合わせた表現の技術を学ぶ 思…自分なりのキャラクター像を作り上げ、役をより豊かに表現する 学…全員で協力して作り上げた作品を演じ切る	ストレッチ・発声練習・アテレコ・オフレコ練習 教養科目発表会での発表	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	18	芸術
		学年末考査	なし	なし	なし		0	
英語								英語
情報								情報
教養								教養
総合								総合

1年	講座名	演劇			単位数	2単位	1年	
					対象年次	3・4年次		
2年	教科・科目名	教養・演劇（学校設定）	定員	20	難易度	☆	2年	
3年	担当者名	市民講師および担当教員					3年	
	教科書	なし						
4年	副教材	なし					4年	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等				
必修	目標	基礎的な身体訓練、発声訓練、演技訓練、朗読、エチュード。	演劇に必要な様々な訓練・練習を通じて、コミュニケーション能力や表現力の大切さについて考える。		発表会などの公演に積極的に参加し、他者と協力することの大切さや喜びを知るなど、人間関係作りの基本を身に付ける。			
		概要						
必修	概要	朗読やエチュードの練習を通して表現力を伸ばし、自己を表現することの意義や大切さを知り、それを通して他者と関わることの喜びを経験する。						
必修	受講条件	3年次以上。 チャレンジクラス生徒優先。 休まず積極的に授業に参加し、集団で表現活動を行うこと、一つの作品を作りあげることの意欲を持つ生徒。 ※旧課程の演劇として履修可						
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語
	1学期	基礎的な身体訓練・発声訓練①	知…身体表現の基本を学ぶ 思…身体表現とイメージの擦り合わせを行う 学…継続的に実技を積み重ねる	・基本技能の習得	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	14	
公地民歴		中間考査	なし	なし	なし		0	公地民歴
		基礎的な演技訓練①	知…演技の基本を学ぶ 思…表現力を高める 学…演技における個人の役割を考える	・基礎的な演技技能の習得	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	16	
理科		期末考査	なし	なし	なし		0	理科
芸術	2学期	基礎的な身体訓練・発声訓練②	知…身体表現の基本を学ぶ 思…身体表現とイメージの擦り合わせを行う 学…継続的に実技を積み重ねる	・基本技能の習得	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	16	芸術
		中間考査	なし	なし	なし		0	
英語		基礎的な演技訓練②・エチュード	知…演技の基本を学ぶ 思…表現力を高める 学…演技における個人の役割を考える	・基礎的な演技技能の習得	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	14	英語
		期末考査	なし	なし	なし		0	
情報	3学期	教養科目発表会	知…基礎的な技能を身に付ける 思…より豊かな表現をめざす 学…計画したプログラムを完遂する	・発表に向けて精度を高める ・発表会自体の進行、運営に寄与する	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	18	情報
		学年末考査	なし	なし	なし		0	
教養								教養
総合								総合

1年	講座名	コミュニケーションスキル			単位数	2単位	1年	
					対象年次	1・2・3・4年次		2年
2年	教科・科目名	教養・コミュニケーションスキル（学校設定）	定員	20	難易度	☆	3年	
3年	担当者名	市民講師および担当教員						4年
4年	教科書	なし					必修	
	副教材	なし						必修
目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	目標			必修	
								目標
概要	理論学習とワークショップ形式の演習を組み合わせ、社会生活に欠かせないコミュニケーション技術について学ぶ。理論学習とワークショップ形式の演習を組み合わせ、自分と他者との関りから得た気づきをもとに、他者だけでなく自分への理解を深めていく。						必修	
受講条件	休まず、毎回授業に出席し、真面目に取り組む意欲を持つ生徒。 チャレンジクラス生徒優先。 1年次生徒については応相談。							必修
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	コミュニケーションへの理解①	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとれるようになる。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加する。 学 他者と協調性を持って関われるようになる。	・指導事項 自己紹介 ゲームを通したコミュニケーション活動 身体を動かしながら、他者と共同作業	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとろうとしている。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加している。 学 他者と協調性を持って関わろうとしている。	〇〇〇		14
数学	中間考査	なし	なし	なし	なし			数学
理科	2学期	コミュニケーションへの理解②	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとれるようになる。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加する。 学 他者と協調性を持って関われるようになる。	・指導事項 ゲームを通したコミュニケーション活動 身体を動かしながら、他者と共同作業	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとろうとしている。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加している。 学 他者と協調性を持って関わろうとしている。	〇〇〇	16	
体育保健	期末考査	なし	なし	なし	なし			体育保健
芸術	3学期	コミュニケーションへの理解③	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとれるようになる。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加する。 学 他者と協調性を持って関われるようになる。	・指導事項 ゲームを通したコミュニケーション活動 身体を動かしながら、他者と共同作業 面接練習に向けた礼法指導・発声練習	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとろうとしている。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加している。 学 他者と協調性を持って関わろうとしている。	〇〇〇	16	
英語	中間考査	なし	なし	なし	なし			英語
家庭	4学期	コミュニケーションへの理解④	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとれるようになる。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加する。 学 他者と協調性を持って関われるようになる。	・指導事項 ゲームを通したコミュニケーション活動 身体を動かしながら、他者と共同作業 礼法指導・発声練習 面接練習 プレゼンテーションの準備	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとろうとしている。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加している。 学 他者と協調性を持って関わろうとしている。	〇〇〇	16	
情報	期末考査	なし	なし	なし	なし			情報
商業	5学期	コミュニケーションへの理解⑤	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとれるようになる。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加する。 学 他者と協調性を持って関われるようになる。	・指導事項 礼法指導・発声練習 面接練習 プレゼンテーションの準備 プレゼンテーション	知「振り返りシート」により、授業の理解度・各メニューの体得し、各個人の心の変化を感じとろうとしている。 思「実技的メニュー」を体験し、ロールプレイ等に参加している。 学 他者と協調性を持って関わろうとしている。	〇〇〇	16	
教養	学年末考査	なし	なし	なし	なし			教養
総合								
その他								その他

1年	講座名	ジャズダンス			単位数	2単位	1年	
					対象年次	2・3・4年次		2年
2年	教科・科目名	教養・ジャズダンス（学校設定）	定員	20	難易度	☆☆	3年	
3年	担当者名	市民講師および担当教員						4年
4年	教科書	なし					必修	
	副教材	なし						必修
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修	
		筋肉の伸縮および関節の折り曲げに関する基礎的知識を身に付け、身体の動きとリズムを連動させることができる。	自己表現の楽しさを経験しつつ、振り付けの意味を理解し、より高度な表現をめざす。また、集団で作品をつくり上げる過程で、自己の役割や他者への支援を考え、行動できるようにする。		継続的に学習に取り組み、基本的なダンスの動きを学びながら、自己表現の楽しさや、互いの表現を鑑賞し合う喜びを経験する。			必修
	概要	リズムカルな音楽に合わせて身体を動かすことにより、心の緊張をほぐし、自己表現の楽しさを経験していく。ジャズダンスの基本動作やジャズ音楽に合わせた振り付けに基づく動作の練習を行い、習った動作を応用しながらダンスの創作へと発展させていく。年度に2回、縁起の発表を行う。					必修	
	受講条件	休まず、毎回授業に出席し、まじめに練習に取り組む意欲をもつ生徒。チャレンジクラス生徒を優先。						必修
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	
公地民歴	1学期	ダンスの基礎	知…ストレッチの基本を理解する 思…身体表現とイメージの擦り合わせを行う 学…継続的に実技を積み重ねる	・ストレッチの基本動作 ・ダンスの基礎的な動き ・復習と発展的学習	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	14	公地民歴
		中間考査	なし	なし	なし		0	
		文化祭での発表に向けた準備	知…課題曲の基本動作を身につける 思…振り付けの意味を理解し、表現力を高める 学…集団表現における個人の役割を考える	・リズムに合わせた身体表現 ・表現すべき内容の積み上げ ・周囲の動きをよく見る	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	16	理科
		期末考査	なし	なし	なし		0	芸術
英語	2学期	文化祭発表	知…上演時の準備、発表のプロセスを学ぶ 思…見られる立場を意識した動きを工夫する 学…全員で協力して作品を仕上げる	・練習の成果を発表で表現する ・発表内容の鑑賞と評価 ・集団の中で自分の役割を果たす	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	16	英語
		中間考査	なし	なし	なし		0	
		教養科目発表会に向けた準備①	知…ダンスのパリエーションを知る 思…基本動作に創作的要素を加える 学…発表プログラムを組み立てる	・発表曲の選定を行う ・振り付け内容を考え、評価し合う ・集団で表現する内容を議論する	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	14	情報
		期末考査	なし	なし	なし		0	教養
総合	3学期	教養科目発表会	知…リズムに合わせた振り付けを身につける 思…より豊かな表現をめざす 学…計画したダンス表現プログラムを完遂する	・発表に向けて精度を高める ・身体表現のレベルを上げる ・発表会自体の進行、運営に寄与する	知…目標を達成できたか 思…目標を達成できたか 態…目標を達成できたか	〇〇〇	18	総合
		学年末考査	なし	なし	なし		0	

1年	講座名	総合的な探究の時間R			単位数	2単位	1年	
					対象年次	3・4年次		
2年	教科・科目名	総合的な探究の時間	定員	30	難易度	－	2年	
3年	担当者名						3年	
	教科書	なし						
4年	副教材	なし					4年	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等			
必修	概要	環境について学び、特に本校を実践の場とする環境整備の計画を立て、実施する。 身近な環境の問題点を分析し、改善の方策を考え、実践計画を立て、実行する。環境整備作業の実施。					必修	
		環境について学び、特に本校を実践の場とする環境整備の計画を立て、実施する。 身近な環境の問題点を分析し、改善の方策を考え、実践計画を立て、実行する。環境整備作業の実施。						
自選	受講条件	要相談（科目選択説明会での説明をよく聞くこと） ※旧課程の環境デザインとして履修可					自選	
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
公地民歴	1学期	知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を育てる。 思 身の周りの環境について考える。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動する。	環境デザインの意義・理念の周知 自発性と積極性の重要性 敷地内清掃(昇降口、正門等)		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を身につけている。 思 身の周りの環境について考えることができる。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動することができる。	〇〇〇	8	公地民歴
	中間考査	なし	なし		なし			数学
		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を育てる。 思 身の周りの環境について考える。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動する。	スポーツ大会に関連した清掃活動 夏季休業を控えての清掃活動		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を身につけている。 思 身の周りの環境について考えることができる。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動することができる。	〇〇〇	8	理科
	期末考査	なし	なし		なし			芸術
数学	2学期	知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を育てる。 思 身の周りの環境について考える。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動する。	文化祭活動場所を中心とした清掃活動 床清掃のポイント学習		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を身につけている。 思 身の周りの環境について考えることができる。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動することができる。	〇〇〇	8	英語
	中間考査	なし	なし		なし			家庭
		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を育てる。 思 身の周りの環境について考える。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動する。	落ち葉掃き 年末大掃除		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を身につけている。 思 身の周りの環境について考えることができる。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動することができる。	〇〇〇	8	情報
	期末考査	なし	なし		なし			商業
理科	3学期	知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を育てる。 思 身の周りの環境について考える。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動する。	年度の終わりの美化活動		知 身近な環境問題の解決や探究活動に取り組むための知識・技能を身につけている。 思 身の周りの環境について考えることができる。 態 環境整備作業を通して自ら課題を見付け、主体的に判断し行動することができる。	〇〇〇	8	教養
	学年末考査	なし	なし		なし			総合
その他								その他

1年	講座名	人間と社会			単位数	1単位	1年	
2年		教科・科目名	人間と社会・人間と社会	定員	—	対象年次	1年次	2年
3年		担当者名						3年
4年		教科書	「人間と社会」 東京都教育委員会著					4年
必修	副教材	なし					必修	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等				必選
必選	概要	地域と連携し体験活動や演習を通じて道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実と照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。					自選	
自選	受講条件	なし						自選
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	学ぶことの意義 テストバッテリー	思 学ぶことの意義について考え、集団で思考し、協力して取り組みめるようになる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度を身に付ける。	・学ぶことの意義について考える ・グループで意見を出し合う。	思 学ぶことの意義について考え、集団で思考し、協力して取り組んでいる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。	○ ○	4	公地民歴
		図書館でのルールとマナー	知 公共施設を使用する際のマナーを理解し、実践できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・図書館でのマナーについて、現状の課題を把握し、解決方法を考える。・	知 公共施設を使用する際のマナーを理解し、実践しようとしている。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	3	数学
	中間考査	なし	なし	なし				理科
	車椅子体験等	知 車椅子等の介助方法を身に付けて実践できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・車椅子に乗って介助を受ける。 ・車椅子に乗っている人を介助する。	知 車椅子等の介助方法を身に付けて実践している。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	体育健	
	視覚障害者の理解と支援	思 視覚障害者の生活上の課題について理解し、表現できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・視覚障害者について学ぶ。	思 視覚障害者の生活上の課題について理解している。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	芸術	
	期末考査	なし	なし	なし				英語
芸術	2学期	ガイドヘルプ体験等	知 視覚障害者の方への介助法を理解し、実践できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・アイマスク等を用いて、視覚障害者の方の体験を行う。 ・視覚障害者の方への介助法を体験する。	知 視覚障害者の方への介助法を理解し、実践している。 思 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	家庭
		消費者教育	思 ゲームを通して、生活で起こるリスクを軽減する方法を考え、表現できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・ライフサイクルゲームⅡ ・漫才から消費者教育を学ぶ	思 ゲームを通して、生活で起こるリスクを軽減する方法を考えている。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	情報
	中間考査	なし	なし	なし				商業
	地域清掃	知 ゴミの問題を理解し、地域清掃を実践できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	・ゴミ処理の問題や実情を学ぶ。 ・地域清掃活動により、地域のゴミ問題を学ぶ。・	知 ゴミの問題を理解し、地域清掃を実践している。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	教養	
	子育て支援	知 リースを作るために協力できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。。	・クリスマスリースを作製し、地域の子ども広場へ寄贈する。	知 リースを作るために協力している。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	総合	
	期末考査	なし	なし	なし				その他
総合	3学期	防災教育	知 首都直下地震についての想定を理解できる。 思 災害が起こったとき、どういった危険回避行動を取るべきが考えて、表現できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・映像資料等を用いて、首都直下地震についての想定から、自他を守る行動を学ぶ。	知 首都直下地震についての想定を理解している。 思 災害が起こったとき、どういった危険回避行動を取るべきが考えている。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○ ○	4	その他
		貧困教育	知 貧困状態について理解できる。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとすることができる。 自らの活動を改善できる。	・貧困がもたらす、生活への影響を学ぶ。・	知 貧困状態について理解している。 態 学んだことを生かして、よりよい生活を築こうとする態度が見られる。自らの活動を改善しようとする態度が見られる。	○ ○	4	
	学年末考査	なし	なし	なし				

1年	講座名	キャリアガイダンスⅠ			単位数	1単位	1年	
2年		教科・科目名	総合的な探究の時間	定員	—	対象年次	1年次	
3年		担当者名						3年
4年		教科書	なし					4年
必修	副教材	なし					必修	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等				
必選	概要	1 職業・上級学校研究等を通して、生徒が進路を考える上で必要となる基礎的・基本的な知識・技能を習得する。 2 様々な職業観の理解やキャリア設計に必要な知識及び技能を身に付け、自らのキャリア設計への課題設定やその解決に生かそうとする力を養う。					必選	
自選	受講条件	なし					自選	
国語	単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数	国語	
公地民歴	1学期	知 目標の設定のために必要な知識・技能を身につけられる。 学 主体的に手帳を活用し、自己の目標に向けた学びを見通せるようになる。	・1学期の目標設定 ・手帳の活用方法 ・職業適性診断テスト ・コンセンサスワーク	知 目標の設定のために必要な知識・技能を身につけている。 態 主体的に手帳を活用し、自己の目標に向けた学びを見通している。	○ ○	3	公地民歴	
数学		知 高校や人生において、自分は「どうしたいのか」(あり方や生き方)といったことを意識することができる。 学 役割に焦点を置き、自分に向いているタイプを客観的に知る手段があることを理解する。	・私たちの歩む未来と働くということ、その先のあり方とは ・高校生活における自分の役割について	知 高校や人生において、自分は「どうしたいのか」(あり方や生き方)といったことを意識することができる。 態 役割に焦点を置き、自分に向いているタイプを客観的に知る手段があることを理解する。	○ ○	4	数学	
理科		中間考査	なし	なし	なし			理科
体育健		知 高校や人生において、自分は「どうしたいのか」(あり方や生き方)といったことを意識することができる。 学 メンバーの適性に合った役割を割り振り、イベントを考えることができる。	・職業適性診断テスト講話 ・学校生活における役割(グループワーク)	知 高校や人生において、自分は「どうしたいのか」(あり方や生き方)といったことを意識することができる。 態 メンバーの適性に合った役割を割り振り、イベントを考えることができる。	○ ○	4	体育健	
芸術		知 「何のために働くのか」に焦点を置き、その価値観について知る 学 将来の希望に近づくためのライフキャリアの入り口と進路選択の関連について理解する。	・働くとは/働く際のモチベーション ・キャリアを考えることと進路選択 ・高校生活の先に待っていること	知 「何のために働くのか」に焦点を置き、その価値観について知る 態 将来の希望に近づくためのライフキャリアの入り口と進路選択の関連について理解する。	○ ○	4	芸術	
英語		期末考査	なし	なし	なし			英語
家庭	2学期	知 社会に出たときの一般常識を学ぶことで、周囲の人達と仕事をするための知識を習得する。 思 データ結果を適切に整理分析し、考察・表現することができる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組む。	・仕事、資格40+1種類バズルワーク ・働くための一般常識とワークルール	知 社会に出たときの一般常識を学ぶことで、周囲の人達と仕事をするための知識を習得する。 思 データ結果を適切に整理分析し、考察・表現することができる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組む。	○ ○ ○	4	家庭	
情報		知 上級学校における学部学科の一般的な進路と高校で学ぶ教科の関連性を知る 思 データ結果を適切に整理分析し、考察・表現することができる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組む。	・文理選択ワーク ・エゴグラム検査	知 上級学校における学部学科の一般的な進路と高校で学ぶ教科の関連性を知る 思 データ結果を適切に整理分析し、考察・表現することができる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組む。	○ ○ ○	4	情報	
商業		中間考査	なし	なし	なし			商業
教養		知 自分を理解することは自分の性格のことを言われがちだが、「経験」を重ねるうえで、それに対しどのように考え動くかという「考え方の特徴」にあることを知る 学 自分を理解していると、選択を迫られるときの判断の方向を決めやすくなる、ということを理解する	・社会の中の自分の姿とは ・自分から見た自分	知 自分を理解することは自分の性格のことを言われがちだが、「経験」を重ねるうえで、それに対しどのように考え動くかという「考え方の特徴」にあることを知る 学 自分を理解していると、選択を迫られるときの判断の方向を決めやすくなる、ということを理解する	○ ○ ○	4	教養	
総合		知 仲間から見た自分について聞き、普段自分が気付いていない強みを知る 思 多面的・多角的な視点から考察し、表現できる。 学 自分を理解していると、選択を迫られるときの判断の方向を決めやすくなる、ということを理解する	・他者からみた自分 ・学校生活のこんなときどう決める？ ・自分を客観視してみる	知 仲間から見た自分について聞き、普段自分が気付いていない強みを知る 思 多面的・多角的な視点から考察し、表現できる。 学 自分を理解していると、選択を迫られるときの判断の方向を決めやすくなる、ということを理解する	○ ○	4	総合	
その他		期末考査	なし	なし	なし			その他
総合	3学期	知 進路選択をするために基本となる日本の産業について知る。 学 自己のキャリアを積極的に切り開こうとする態度を身につけられる。	・これからの日本の産業の流れ、働く産業のしくみ、日本の産業について ・系統、分野別分科会	知 進路選択をするために基本となる日本の産業について知る。 学 自己のキャリアを積極的に切り開こうとする態度を身につけられる。	○ ○ ○	4	総合	
		知 進路選択の基本となる日本の業種や職種について知る。 思 まとめを通して、探究学習に必要な知識・技能を認識し、多面的・多角的な角度から分析し、表現できる。 学 自分の意志で課題に向きあおうとする。	・業種の役割と働く人々 ・業種と職種の違い、職業と職種を知る ・1年間のまとめ	知 進路選択の基本となる業種や職種について知る。 思 まとめを通して、探究学習に必要な知識・技能を認識し、多面的・多角的な角度から分析し、表現できる。 学 自分の意志で課題に向きあおうとする。	○ ○	4		
		学年末考査	なし	なし				39

1 年	講座名	キャリアガイダンスⅡ				単位数	1単位	1 年	
						対象年次	2年次		
	教科・科目名	総合的な探究の時間		定員	—	難易度	—	2 年	
	担当者名								
	教科書	なし						3 年	
副教材	なし								
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			学びに向かう力、人間性等		4 年	
		探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解する。	働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することが出来る。			主体的・協働的に探究に取り組み、自己実現しようとする態度や自己のキャリアを積極的に切り開こうとする態度を身に付ける。			
必修	概要	1 職業・上級学校研究等を通して、生徒が進路を考える上で必要となる基礎的・基本的な知識・技能の習得を目標とした指導を行う。 2 他者や社会の持つ職業観・キャリア設計の考え方を理解し、整理して、自分自身のことや将来のことについて深く見つめ、解決できる力を養う。							必修
	受講条件	なし							
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知 思 態	配当時数	国語
	1学期		知 目標の設定のために必要な知識・技能を身につけられる。 学 主体的に手帳を活用し、自己の目標に向けた学びを見逃せるようになる。	・今年度の目標設定 ・手帳の活用方法 自分の「適性」と職業理解 職業・進路 適性診断テスト・分析職業調べ		知 目標の設定のために必要な知識・技能を身につけている。 態 主体的に手帳を活用し、自己の目標に向けた学びを見通している。	○ ○	4	
公地民歴			知 職業に対する興味・関心傾向を理解できる。 思 自己分析を通して、自己を知り、行動の特徴を理解できる。 学 自らの職業適性について考察し、その実現に向けて現在の学習や生活について振り返ることができる。	・学びと社会との関連性－自分のあり方まとめワーク ・学校を決めるために必要な観点 ・学校種による違い		知 職業・学びに対する興味・関心傾向を理解している。 思 自己分析を通して、自己を知り、行動の特徴を理解している。 態 適性テストの結果、及び結果に関する講話を通して自己の将来の職業について主体的に考えることができる。	○ ○ ○	5	公地民歴
	数学	中間考査	なし	なし		なし			
理科			知 仕事に関連する資格・免許に関する知識を理解できる。 思 情報の整理・分析に主体的に取り組み、まとめることができる。 学 協働的に探究課題に取り組むことができる。	・大学？短期大学？専門学校？/仕事と資格について ・多様な選抜試験による違い / 学費による違い / 具体的な費用		知 仕事に関連する資格・免許に関する知識を理解している。 思 情報の整理・分析に主体的に取り組み、まとめられる。 態 協働的に探究課題に取り組んでいる。	○ ○ ○	4	理科
	体育健		知 人の生き方や働くことについて関心を持ち、将来設計や自己実現していくことの意義を理解できる。 思 働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析することが出来る。	・学校を知る(大学・短期大学・専門学校) ・まとめワーク～社会とのつながりを意識した進路(進学)～		知 人の生き方や働くことについて関心を持ち、将来設計や自己実現していくことの意義を理解している。 思 働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析することが出来た。	○ ○	4	
芸術		期末考査	なし	なし		なし			芸術
	2学期		知 社会人として必要となる手紙やコミュニケーションの基本的知識を理解できる。 思 手紙の作成やコミュニケーションの際に学んだ知識をTPOに応じて活用することができる。	・2学期の目標、手帳記入、系統・分野別分科会アンケート ・就職を決めるために必要な観点は ・ひとあし早く『社会』の一員になること / ルールやスケジュール		知 社会人として必要となる手紙やコミュニケーションの基本的知識を理解している。 思 手紙の作成やコミュニケーションの際に学んだ知識をTPOに応じて活用することができた。	○ ○	4	
英語			知 人の生き方や働くことについて関心を持ち、将来設計や自己実現していくことの意義を理解できる。 思 働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析することが出来る。	・会社のしくみ 会社組織について ・会社内の職種・役割マップ(基本編)【グループワーク】		知 人の生き方や働くことについて関心を持ち、将来設計や自己実現していくことの意義を理解している。 思 働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析することが出来た。	○ ○	4	英語
	家庭	中間考査	なし	なし		なし			
情報			知 上級学校に関する基本的知識を理解できる。 思 情報の整理・分析に主体的に取り組み、まとめることができる。 学 協働的に探究課題に取り組むことができる。	・雇用のしくみは さまざまな雇用形態 系統・分野別分科会 求人票について 企業研究をするために		知 上級学校に関する基本的知識を理解している。 思 情報の整理・分析に主体的に取り組み、まとめられる。 態 協働的に探究課題に取り組んでいる。	○ ○ ○	4	情報
	商業		知 人の生き方や働くことについて関心を持ち、将来設計や自己実現していくことの意義を理解できる。 学 将来就きたい職業について考察し、その実現に向けて現在の学習や生活について振り返ることができる。	・「Handy進路指導室」求人票探身体験 ・進路決定のためのアドバイス(講演会)		知 人の生き方や働くことについて関心を持ち、将来設計や自己実現していくことの意義を理解できた。 態 将来就きたい職業について考察し、その実現に向けて現在の学習や生活について振り返ることができた。	○ ○	4	
教養		期末考査	なし	なし		なし			教養
	3学期		知 進学や就職のために必要な知識を身につけられる。 思 進学や就職活動に必要な情報を整理し、自分の考えを持てる。 学 協働的に探究課題に臨み、望ましい態度を身につけている。	・進路実現のための実践に向けて/自己分析を生かした実践へ ・コミュニケーション講座		知 進学や就職のために必要な知識を身につけている。 思 進学や就職活動に必要な情報を整理し、自分の考えを持てる。 態 協働的に探究課題に臨み、望ましい態度を身につけた。	○ ○ ○	4	
総合			知 志望理由や自己PR作成における文章の基本的知識を理解している。 思 進路活動と関連付けながら学んだ知識を活用することができる。	・系統・分野別分科会 ・まとめワーク・振り返り		知 志望理由や自己PR作成における文章の基本的知識を理解できた。 思 進路活動と関連付けながら学んだ知識を活用することができた。	○ ○	4	総合
	その他	学年末考査	なし	なし		なし			

1 年	講座名	キャリアガイダンスⅢ			単位数	1 単位	1 年					
					対象年次	3 年次						
	教科・科目名	総合的な探究の時間	定員	—	難易度	—	2 年					
	担当者名											
	教科書	なし					3 年					
副教材	なし											
4 年	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		4 年					
		探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解する。	働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することが出来る。		主体的・協働的に探究に取り組み、自己実現しようとする態度や自己のキャリアを積極的に切り開こうとする態度を身に付ける。							
必修	概要	1 職業・上級学校研究等を通して、生徒が進路を考える上で必要となる基礎的・基本的な知識・技能の習得を目標とした指導を行う。 2 他者や社会の持つ職業観・キャリア設計の考え方を理解し、整理して、自分自身のことや将来のことについて深く見つめ、解決できる力を養う。					必修					
	受講条件	なし										
必 選	自 選							必 選				
国 語	公 地 民 歴	数 学	理 科	体 育 健	芸 術	英 語	家 庭	情 報	商 業	教 養	総 合	そ の 他

1年	講座名	キャリアガイダンスⅣ			単位数	1単位	1年		
					対象年次	4年次		2年	
2年	教科・科目名	総合的な探究の時間	定員	—	難易度	—	3年		
3年	担当者名							4年	
4年	教科書	なし					必修		
	副教材	なし						必修	
	目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		学びに向かう力、人間性等		必修		
		探究の過程を通して、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解する。	働くことや社会に貢献することについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することが出来る。		主体的・協働的に探究に取り組み、自己実現しようとする態度や自己のキャリアを積極的に切り開こうとする態度を身に付ける。			必修	
	概要	1 職業・上級学校研究等を通して、生徒が進路を考える上で必要となる基礎的・基本的な知識・技能の習得を目標とした指導を行う。 2 他者や社会の持つ職業観・キャリア設計の考え方を理解し、整理して、自分自身のことや将来のことについて深く見つめ、解決できる力を養う。					必修		
	受講条件	なし						必修	
国語		単元名	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態	配当時数		国語
公地民歴	1学期		知 目標の設定のために必要な知識・技能を身につけられる。 学 主体的に手帳を活用し、自己の目標に向けた学びを見通せるようになる。	・今年度の目標設定 ・手帳の活用方法	知 目標の設定のために必要な知識・技能を身につけている。 態 主体的に手帳を活用し、自己の目標に向けた学びを見通している。	○ ○	4	公地民歴	
			知 面接の意義や基本的なマナーを理解できる。 思 場にふさわしい言葉遣いを考え、表現できる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができる。	・面接基礎講話(実施、講話) ・社会人としてふさわしい言葉遣い ・面接ノート作成	知 面接の意義や基本的なマナーを理解している。 思 場にふさわしい言葉遣いを考え、表現できた。 態 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができた。	○ ○ ○	5	数学	
		中間考査	なし	なし	なし				理科
			知 自分の強みや特徴についての理解を深められる。 思 地域の上級学校や企業について多角的な視点から情報を集め、表現できる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができる。	・自己分析 ・地域の上級学校・企業研究 (地域探究、一人一台端末の活用)	知 自分の強みや特徴についての特徴を深められた。 思 地域の上級学校や企業について多角的な視点から情報を集め、表現できた。 態 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができた。	○ ○ ○	4	体育健	
			知 面接における適切な表現について理解できる。 思 自己分析や志望先研究を踏まえ、具体的な面接の受け答えを表現できる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができる。	・面接の受け答えを考える ・面接ノート記入	知 面接における適切な表現について理解できた。 思 自己分析や志望先研究を踏まえ、具体的な面接の受け答えを表現できた。 態 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができた。	○ ○ ○	4	芸術	
		期末考査	なし	なし	なし				英語
数学	2学期		知 面接練習の中で自分の考えを適切に伝えられる。 思 実際のコミュニケーションの際に学んだ知識をTPOに応じて活用することができる。 学 面接練習に主体的・協働的に取り組むことができる。	・模擬面接指導(グループワーク) ・コミュニケーション講座	知 面接練習の中で自分の考えを適切に伝えられた。 思 実際のコミュニケーションの際に学んだ知識をTPOに応じて活用することができた。 態 面接練習に主体的・協働的に取り組むことができた。	○ ○ ○	4	家庭	
			知 ビジネスマナーについて関心をもち、理解を深めることができる。 思 ビジネスマナーについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析することができる。 学 他者とのコミュニケーションに主体的に取り組むことができる。	・ビジネスマナー	知 ビジネスマナーについて関心をもち、理解を深めることができる。 思 ビジネスマナーについて、多面的・多角的な視点から、適切な情報を集め、整理・分析することができた。 態 他者とのコミュニケーションに主体的に取り組むことができた。	○ ○ ○	4	情報	
		中間考査	なし	なし	なし				商業
			知 社会人として必要となる法律や一般常識について理解を深めることができる。 思 情報の整理・分析に主体的に取り組む、まとめることができる。 学 主体的に課題に取り組む、望ましい態度を身につけられる。	・働くための一般常識 ・ビジネスメールの書き方	知 社会人として必要となる法律や一般常識について理解を深めることができた。 思 情報の整理・分析に主体的に取り組む、まとめられた。 態 主体的に課題に取り組む、望ましい態度を身につけられた。	○ ○ ○	4	教養	
			知 卒業後を視野に入れた高校生活の過ごし方について、理解を深められる。 学 自己実現の方法を考えられる態度を身につけられる。	・高校生活の過ごし方について(講演) ・2学期の振り返り	知 卒業後を視野に入れた高校生活の過ごし方について、理解を深められた。 態 自己実現の方法を考えられる態度を身につけられた。	○ ○ ○	4	総合	
		期末考査	なし	なし	なし				その他
英語	3学期		知 進学や就職のために必要な知識を身につけられる。 思 進学や就職活動に必要な情報を整理し、自分の考えを持てる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができる。	・進路活動の振り返り ・ハローワークによる卒業講話	知 進学や就職のために必要な知識を身につけられた。 思 進学や就職活動に必要な情報を整理し、自分の考えを持てた。 態 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができた。	○ ○ ○	4	その他	
			思 進路活動と関連付けながら学んだ知識を活用することができる。 学 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができる。	・進路活動の振り返り ・1年間のまとめ	思 進路活動と関連付けながら学んだ知識を活用することができた。 態 情報の整理・分析に主体的に取り組むことができた。	○ ○	4		
		学年末考査	なし	なし	なし				